

鞍手町再生可能エネルギー設備導入 ポテンシャル等調査業務

業務報告書

本資料は「(一社)地域循環共生社会連携協会から交付された環境省 補助事業 である令和3年度(補正予算) 二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(地域脱炭素実現に向けた再エネの最大限導入のための計画づくり支援事業)により作成された」ものである。

令和5年2月

鞍手町再エネ導入調査R&C共同企業

報告書本編

1. 課題目的等の情報整理 1-1
 - 1-1 調査の背景と目的 1-1
 - 1-2 地域の基礎情報の収集・整理 1-1
 - 1-3 太陽光発電設備を設置するにあたっての課題の整理、現状分析の実施 1-5

2. 地域特性、環境特性等の調査・検討 2-1
 - 2-1 考慮すべき地域特性・環境特性の調査、検討 2-1
 - 2-2 建築物や周辺環境等の確認のための現地調査 2-4

3. 設置施設・場所・負荷・規模の検討 3-1
 - 3-1 導入先となる施設及び場所の選定基準の検討 3-1
 - 3-2 法令確認の実施 3-1
 - 3-3 設置施設の建築的視点・構造的視点からの検討 3-1
 - 3-4 導入先となる施設及び場所の選定 3-19

4. 発電量及び日射量等の調査、検討 4-1
 - 4-1 公共施設 4-1
 - 4-2 公共遊休地 4-44
 - 4-3 ため池 4-48
 - 4-4 導入先の受変電設備との系統連系接続の可否調査 4-81

5. 地域の経済・社会にもたらす効果等の分析と事業採算性評価のための調査、検討 . . . 5-1
 - 5-1 設備導入によるイニシャルコスト及びランニングコストの調査、検討 5-2
 - 5-2 地域の経済、社会にもたらす効果の調査、検討 5-3
 - 5-3 設備導入による事業採算性の調査、検討 5-7

6. 資料編(ため池台帳 (案)) 6-1

1. 課題目的等の情報整理

1-1 調査の背景と目的

鞍手町（以下「町」という。）では、将来にわたって地域住民が豊かな自然のなかで生きる喜びを感じ、健康で安心して暮らすことができる環境を次世代に引き継ぐため、2021年3月に「ゼロカーボンシティ」を宣言している。その達成に向けては、再生可能エネルギーの普及・促進が不可欠だが、町における公共施設への太陽光発電設備等の導入率は現状低いことから、当該設備等の迅速、計画的、効率的な設置導入が求められている。

本調査では、町の公共施設、公共遊休地及びため池（以下「公共施設等」という。）への太陽光発電設備及び蓄電設備（以下「太陽光発電設備等」という。）の導入可能性について調査を行い、効率的な太陽光発電設備等の導入に係る基礎資料とすることを目的としている。

1-2 地域の基礎情報の収集・整理

1-2-1 位置・町域

鞍手町は、福岡県北西部・北九州地域に位置し、北九州市と福岡市の中間にあり共に車で一時間の距離にある。東は直方市及び遠賀川を隔てて北九州市八幡西区に接し、北は遠賀町と中間市、南は直方市と宮若市が六ヶ岳(339m)山系の稜線を境とし、西に西山山系を界して宮若市と宗像市に隣接している。

町域は東西の距離 6.5 km、南北 9.0 kmと南北にやや細長く、総面積は 35.6 km² (林野: 1,254 ha、水田: 725 ha、畑地: 107 ha)で、人口は 15,433 人である。

1-2-2 社会条件

(1) 町の沿革と交通環境

本町は、昭和 30 年（1955 年）1月に剣村、西川村、古月村が合併し、鞍手町として発足した。

本町は、もともと石炭産業を基盤として栄えた町だったが、昭和 30 年代の後半、高度経済成長期に石炭から石油へエネルギー転換政策が進行し、炭鉱の閉山が相次ぎ、町は大きな打撃を受けた。このため、1955(昭和 30)年に 30,794 人であった人口もその後 20 年間で 18,045 人(1975 年=昭和 50 年)まで減少した。その後、企業誘致や住宅の誘致、農業の振興などに取り組んできた結果、1985(昭和 60)年から 1995(平成 7)年までの間は、20,000 人強の人口を維持することができた。し



鞍手 I.C

しかしそれ以降は、5年間に年間 1,000 人ずつのペースで減少しており、2015(平成 27 年)は 16,000 人と人口減少に歯止めがかからない状況となっている。昭和 62 年（1987 年）には町の東部に J R 筑豊本線の駅として鞍手駅が開業し、同線は 2001(平成 13)年には電化(愛称: 福北ゆたか線)され、よりいっそう利便性が増してきている。さらに町の南部を九州自動車道が横断、北九州市と福岡市を結ぶ高速バス(直方市)や直方市から遠賀町、宗像市への市町間を跨ぐ路線バス(西鉄バス)が運行しており、比較的アクセスに恵まれた町である。また、2011(平成 23)年には鞍手 I C、2015(平成 27)年には遠賀川渡河橋「北九鞍手夢大橋」が開通するなど、広域道路網や町内幹線道路、生活道路の整備が進み、町民の日常生活の利便性が向上している。

(2) 人口の現況と将来予測

2020(令和2)年10月国勢調査による本町の総人口は、15,080人(世帯数6,263世帯)で高齢化率は39.2%、過去5年間の増減率は-5.79%、人口密度423.6人/km²であった。エネルギー消費量やCO₂排出量に影響する今後の人口推移(国立社会保障・人口問題研究所 2018年3月推計)については、2025(令和7)年で13,584人(対2020年比:-9.9%)、2030年(令和2)年で12,372人(対2020年比:-20.0%)、2045(令和27)年で8,879(対2020年比:-41.1%)と予測されている。



図 1-1 鞍手町の交通環境



注 1): 2020 年国勢調査/住民台帳 2025 以降は国立社会保障・人口問題研究所 2018 年 3 月推計
 注 2): 2025 年以降の世帯数は 2020 年の平均世帯人数で割り戻し

図 1-2 鞍手町の人口予測

1-2-3 公共施設

町が保有する公共施設の総量は、全 78 施設、409 棟、総延床面積は 112,915.9 m²となっている。施設用途による分類では、延床面積で最も多く占めているのは「学校教育施設」で、全体の 36.6%を占めている。次いで「住宅」の 25.8%、また、旧学校施設を含む「その他施設」も 3 番目に多い状況である。

番号	大分類	施設数	棟数	総延床面積 (m ²)	延床面積割合
1	行政施設	8	17	3,932.2	3.5%
2	社会教育施設	3	3	3,567.9	3.2%
3	スポーツ・レクリエーション施設	13	19	4,495.9	4.0%
4	学校教育施設	8	52	41,374.9	36.6%
5	社会福祉施設	11	14	4,771.6	4.2%
6	子育て支援施設	5	5	1,985.8	1.8%
7	住宅	14	250	29,186.4	25.8%
8	供給処理施設	1	2	1,966.3	1.7%
9	その他施設	20	47	21,634.9	19.2%
合計		83	409	112,915.9	

図 1-3 分類別公共施設の集計結果

出典：鞍手町公共施設等総合管理計画より

1-2-4 公共遊休地

町が保有する土地のうち、遊休地は町内に点在しており、その中には太陽光発電設備導入のポテンシャルを有しているものも存在している。公共遊休地としては、下図のような雑種地や遊休農地等があり、日射時間などの条件のよいものもある。公共遊休地は町内に大小にかかわらず数多く分布していることから、一定の選定基準を用いて特に導入ポテンシャルの高いものを抽出していくこととする。



図 1-4 町内の遊休地の例

1-2-5 ため池

鞍手町におけるため池について、「福岡県ため池台帳」より整理すると、全部で 59 面ある。その個別データリストを表 1-1 に、分布状況を図 1-6 に示す。なお、「特定農業用ため池」の指定を受けたものは 14 面である。また、各ため池の権利関係で「管理者」は、全て鞍手町だが、「所有者」は、町所有(単独)のものが 27 面(45.8%)と最も多く、町所有(共有)のものが 15 面(25.4%)、国有地のものが 6 面(10.2%)、字所有のものが 5 面(中山地区のみ 8.5%)、個人所有が 6 面(10.2%)の内訳である。各ため池の規模(満水面積)は、0.1~4.0ha の範囲にあり、0.5ha 未満のものが 33 面(全体の 55.9%) で最も多く、次いで 0.5~0.99ha 以下のものが 13 面(22.0%)、1.0~1.99ha 以下のものが 9 面(15.2%)、2.0~2.99ha 以下のものが 1(1.7%)面、3.0~3.99ha 以下のものが 2 面(3.4%)、4.0ha のものが 1 面(1.7%)となっている(図 1-5)。

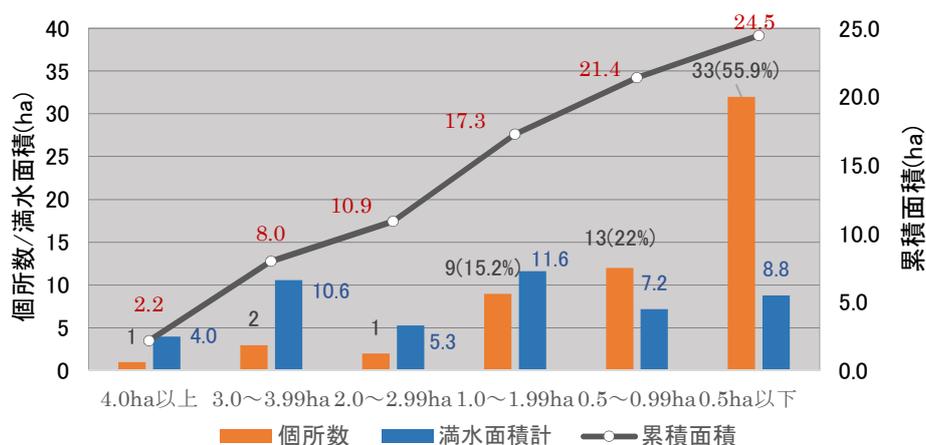


図 1-5 鞍手町ため池の規模別箇所下数

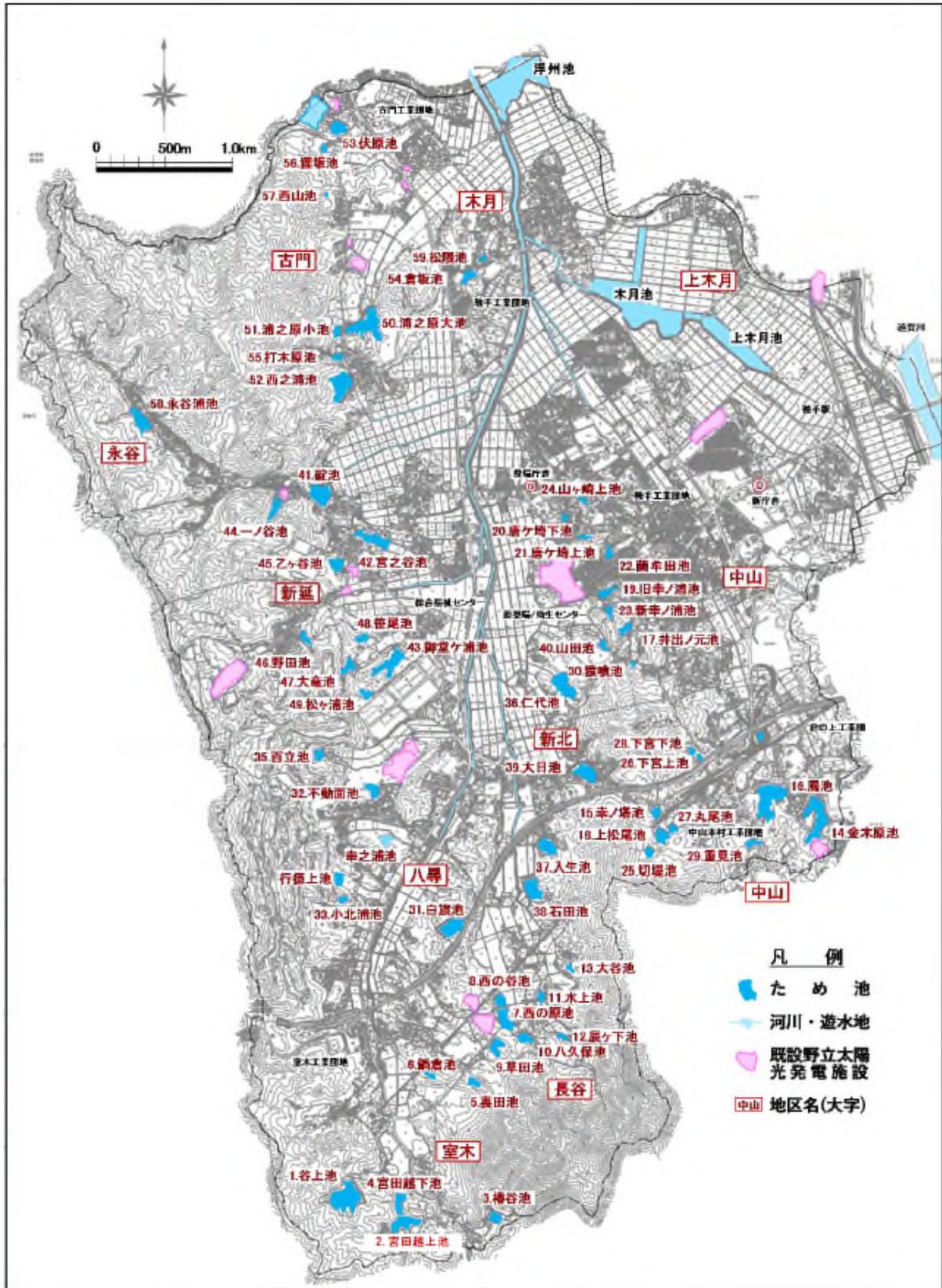


図 1-6 鞍手町ため池分布図

出典：福岡県ため池台帳より引用して作成

表 1-1 鞍手町ため池リスト

出典：福岡県ため池台帳より引用して作成

NO	台帳 -NO	名 称	地区 名	住 所	満水 面積 (ha)	提体 高(m)	提頂 長(m)	総貯水 量(千 m ³)	平均 水深 (m)	所有者	管理者	
1	48	谷山池	室木	字谷山205-6 外	4.00	23.9	224	305	7.6	町	町	
2	32	宮田越上池		字ユスノ木原188-1	1.00	5.0	70	26	2.1	町	町	
3	47	椿谷池		字椿谷50 外	0.57	11.5	75	20	3.5	町	町	
4	26	宮田越下池		字宮田越192	0.38	4.0	77	16	4.2	官有地	町	
5	24	裏田池		字浦田614	0.25	5.0	70	17	6.8	個人	町	
6	25	鍋倉池		字鍋倉650	0.20	4.0	32	7	3.5	町	町	
7	2	西の原池	長谷	字西の原859	0.70	7.6	142	24	3.4	町	町	
8	29	西の谷池		字西の原897-1	0.50	4.0	160	11	2.2	建設省	町	
9	22	草田池		字草田817-2外	0.50	4.0	92	10	2.0	個人	町	
10	27	八久保池		字八久保767外	0.40	6.0	90	35	8.8	町	町	
11	30	水上池		字水上544外	0.10	4.5	112	5	5.0	町	町	
12	59	辰ヶ下池		字辰ヶ下607	0.10	2.0	20	1	1.0	町	町	
13	61	大谷池		字辰ヶ下607	0.10	2.5	27	0.25	0.3	町	町	
14	41	金木原池	中山	字大正寺1-51外	3.80	10.5	88.5	103.3	2.7	町/他	町	
15	35	幸ノ塔池		字上松尾529外	0.30	4.5	80	6	0.2	町	町	
16	40	濁池		字濁93-1外	2.80	9.5	226	150	5.4	町/他	町	
17	10	井手ノ元池		字井手ノ元2743-1外	0.70	5.0	75	20	2.9	町	町	
18	28	上松尾池		字上松尾416外	0.62	6.9	92.6	16	2.6	町	町	
19	9	旧幸ノ浦池		字幸ノ浦3361-1	0.40	3.5	50	10	2.5	中山	町	
20	4	唐ヶ崎下池		字唐ヶ崎3536外	0.30	5.5	45	11	3.7	町/他	町	
21	5	唐ヶ崎上池		字唐ヶ崎3516	0.20	4.5	40	12	6.0	中山	町	
22	8	蘭牟田池		字蘭牟田3334-1外	0.20	4.0	50	8	4.0	町	町	
23	12	新幸ノ浦池		字幸ノ浦3364外	0.20	3.0	36	19	9.5	町	町	
24	15	山ヶ崎上池		字山ヶ崎3788	0.20	4.0	35	6	3.0	中山	町	
25	31	切堤池		字上松尾391	0.20	5.0	100	6	3.0	中山	町	
26	33	下宮上池		字尾登1354-2外	0.20	5.0	70	8	4.0	町	町	
27	3	丸尾池		字上松尾419外	0.16	4.45	97.7	3.7	2.3	町	町	
28	56	下宮下池		字尾登1349	0.10	2.0	80	2.5	2.5	中山	町	
29	60	重見池		字重見201-1付近	0.10	2.0	20	0.8	0.8	町	町	
30	11	猿喰池		字猿喰1654付近	0.30	5.0	50	8	2.7	町	町	
31	1	白旗池	八尋	字白旗163外	1.50	6.0	263	34	2.3	町/他	町	
32	21	不動面池		字不動面1441	0.80	3.5	50	10	1.3	官有地	町	
33	62	小北浦池		字小北浦673	0.06	3.5	50	3.5	5.8	町	町	
34	63	徳楽上池		字徳楽75	0.10	3.5	11	1.8	1.8	町	町	
35	49	百立池		字百立1329-23	0.39	7.0	104	16	4.1	町	町	
36	13	仁代池		字仁代1964	1.20	6.0	120	41	3.4	個人	町	
37	50	入生池	新北	字入生浦445外	0.90	4.0	60	41	4.6	町/他	町	
38	34	石田池		字石田680外	0.80	7.0	260	53	6.6	町	町	
39	16	大日池		字大日前1370外	0.50	3.0	60	45	9.0	町/他	町	
40	14	山田池		字山田1803	0.40	4.0	30	12	3.0	個人	町	
41	44	碓池	新延	1575-1外	1.50	6.5	7.0	81	5.4	町/他	町	
42	43	宮ノ谷池		字宮ノ谷722-1外	1.20	5.5	90	49	4.1	町	町	
43	18	御堂ヶ浦池		字御堂ヶ浦953外	1.10	6.5	86	88	8.0	官有地	町	
44	45	一ノ谷池		字一ノ谷1608	0.74	7.4	80	18	2.0	町	町	
45	17	乙ヶ谷池		字乙ヶ谷1186外	0.71	10.3	61	22	3.1	町/他	町	
46	46	野田池		字野田1280外	0.40	11.5	75	19	4.8	町/他	町	
47	42	大竜池		字大竜1012	0.25	9.5	130	15	6.0	町	町	
48	19	笹尾池		字笹尾1076外	0.20	4.5	100	7	3.5	町/他	町	
49	20	松ヶ浦池		字松ヶ浦956外	0.20	4.5	62	5	2.5	町/他	町	
50	37	浦ノ原大池		古門	字浦ノ原1972-1外	3.80	8.9	172	150	3.9	町/他	町
51	36	浦ノ原小池	字浦ノ原1972-2外		0.25	5.0	70	6	0.2	町/他	町	
52	38	西ノ浦池	字神崎2137-2外		1.90	10.0	240	103	5.4	町/他	町	
53	7	伏原池	字伏原68外		1.00	5.0	310	30	3.0	官有地	町	
54	6	倉坂池	字倉坂2854		0.80	5.4	35	25	3.1	個人	町	
55	55	打木原池	字打木原1992外		0.30	4.0	60	2	0.7	官有地	町	
56	51	狸坂池	字狸坂1182外		0.10	3.0	80	4	4.0	町/他	町	
57	52	西山池	字大久保1294-1		0.16	4.0	60	3	1.9	町	町	
58	39	永谷裏池	永谷		字向山303	1.00	5.0	68	63	6.3	町	町
59	53	松隈池	木月		字貝殻2168	0.10	2.2	50	2	2.0	個人	町

1-3 太陽光発電設備を設置するにあたっての課題の整理、現状分析の実施

1-3-1 反射光問題（光・熱）

反射光問題とは、太陽光の光を太陽光パネルが反射し、ご近所の建物の窓などに反射した光が差し込んでしまう問題で、光害とも呼ばれている。反射光が差し込むことで与える被害は以下2つが代表的である。

- ①単純にまぶしい
- ②反射光が原因で部屋が暑くなり、熱中症になる恐れがある

太陽光パネルを南側に設置した場合、反射光は上空に向かうため、光害は発生しにくい。一方、北側に設置した場合、反射光は地上方向に向かうため、光害が発生しやすい(図 1-7)。近隣建物が高い地盤に設置されている場合など、高さ関係により、反射光が入りやすい位置関係にも注意が必要である(図 1-8)。

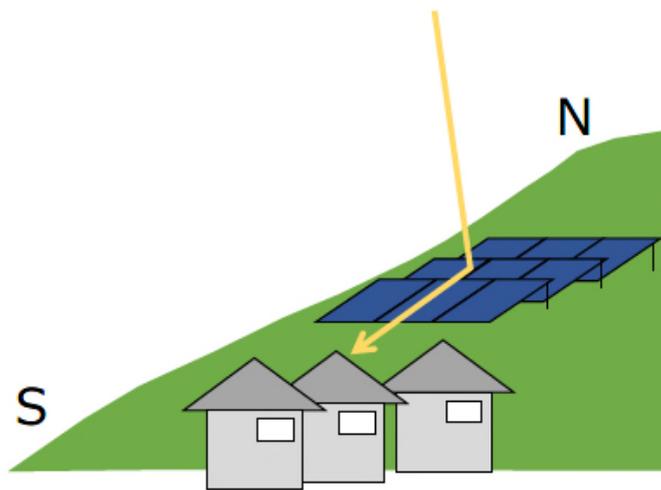


図 1-7 太陽光パネルを北側に設置したイメージ

出典：太陽光発電の環境配慮ガイドライン（環境省）

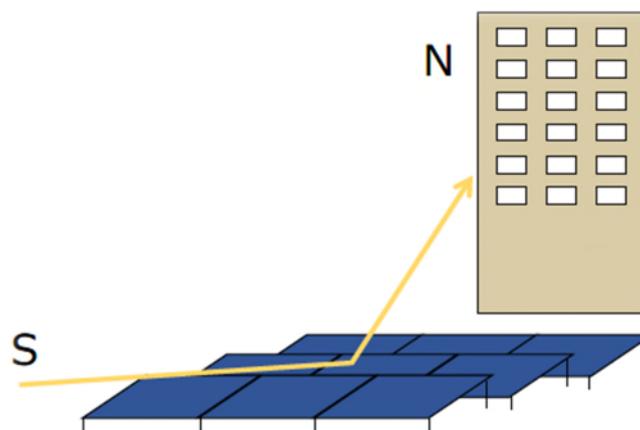


図 1-8 太陽光パネルの設置場所の北側に高い建物がある場合

出典：太陽光発電の環境配慮ガイドライン（環境省）

1-3-2 水上型太陽光発電の課題

(1) 水上設置型太陽光発電設備の特徴

ため池や遊水地等での太陽光発電導入には、一般に広く利用されている「屋根置き型」や「地上設置型」とは異なり、水上設置型太陽光発電設備（以下「水上ソーラー」という。）が使用される。水上ソーラーの設備機器構成は、基本的に屋根置き型タイプや地上設置(野立て)型タイプと同じだが、発電アレイを取り付ける架台が水面に浮かべたフロートに設置され、フロートは係留索でため池に固定されるという違いがある。なお、こうした機器構成上の違いの他、水上ソーラーには、表 1-2 に示すようなメリットとデメリットがある。



図 1-9 太陽光発電の設置別タイプ

出典：「太陽光発電協会 HP」、「農業用ため池における水上設置型太陽光発電設備の設置に関する手引き」

表 1-2 水上ソーラーのメリットとデメリット

	項目	項目詳細
メ リ ツ ト	■ 発電効率が下がりにくい = 年間稼働率が高い	<ul style="list-style-type: none"> 太陽光パネルの最適発電効率のパネルの表面温度は 25℃であり、温度が上昇すると電流は上がるがそれ以上に電圧が下がり、表面温度の上昇に伴い発電効率が低下する傾向がある。 水上ソーラーは、水面の温度の方が屋根や地面より低く、パネルの表面温度を低い状態で保てる上に、水面からの照り返しで、より多くの太陽光を集めることもできるため、発電効率が下がりやすく、結果として年間稼働率は屋根置き型タイプより 10～15%程度高いと言われている。
	■ 障害物が少なく影がでにくい	<ul style="list-style-type: none"> 太陽光パネルに障害物や遮蔽物などがあると光が遮られ発電効率が下がるが、水上ソーラーの場合、設置場所はため池など周りに遮蔽物が少ない場所に設置するため、発電効率低下を心配する必要なく発電を行える。
	■ 導入経費の縮減	<ul style="list-style-type: none"> 水上ソーラーでは敷地の土木造成工事が一般に不要であり、地上設置型の発電設備に比べ、設置の時間や設置コストを節約することが出来る。
	■ 維持管理経費の縮減 / 水質改善	<ul style="list-style-type: none"> 水上ソーラーの場合、地上設置型では必須となる敷地内の除草作業の必要がない。パネルが太陽光の日射を遮る事になるので、結果として水の蒸発を抑え貯水量の減少を抑制するとともに、水草、藻、アオコなどの発生も抑えられる。
デ メ リ ツ ト	■ 増水や濁水、強風対策等が必要	<ul style="list-style-type: none"> 濁水や豪雨による増水の外、台風時などの強風対策が必要とされる。 また、太陽光パネルや配線の防水、絶縁、耐食処理等や漏電などの特別な対策も必要。

(2) 水上ソーラーシステムの設備機器構成

水上ソーラーシステムの一連の設備機器構成は、図 1-10 及び表 1-3 に示すとおりである。屋根置き型や土地上設置タイプと異なり、太陽電池モジュール（P V）や電池アレイがフロートで水面に設置され、パワーコンディショナー（P C S）や分電盤、売電用積算電力量計等は提体等の地上部に設置される。

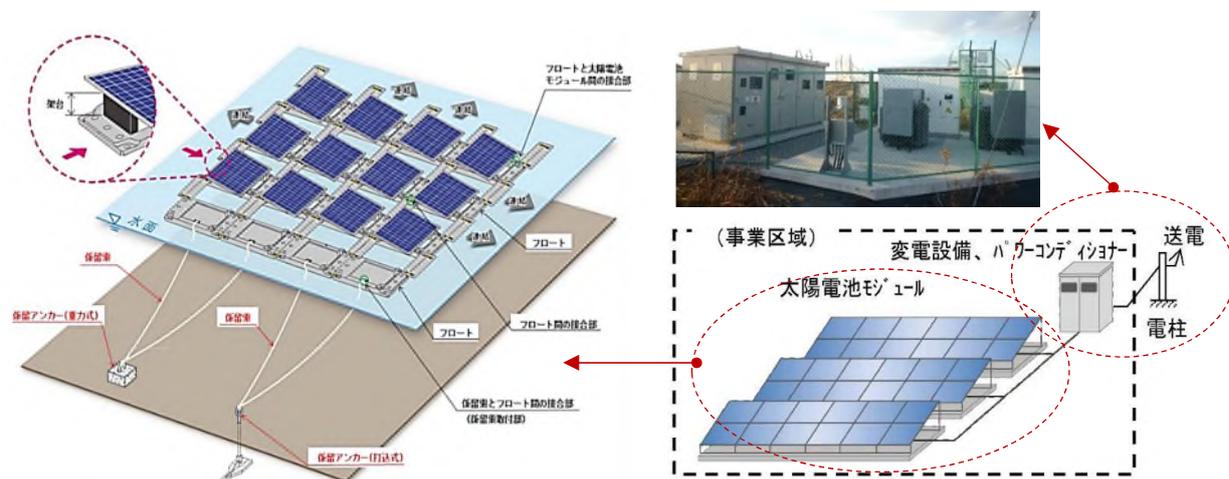


図 1-10 水上ソーラーシステムの設備機器構成

出典：「ため池管理マニュアル別冊」兵庫県ため池保全協会

表 1-3 水上ソーラーシステムの設備機器

	機 器	概 要
水 上	太陽電池モジュール（P V）	・ 太陽光エネルギーを直接電気エネルギー（直流）に変換するパネル
	電池アレイ	・ 直並列接続された複数の太陽電池モジュールを機械的、電氣的に架台に取り付けた太陽電池群
	太陽電池架台	・ 太陽電池モジュールを所定の傾斜角を持って取り付けるための架台。一般的には鋼やアルミ合金製であることが多い。
	フロート	・ 水面上に太陽光発電設備を浮かべる部材
	係留索	・ アンカーとフロートをつなぐ設備。貯水位の変動、外力（風力、波浪等）に対応し係留索の長さや配置を決定する。
	アンカー	・ フロートを固定するための部材。池底等の土中に差し込むもの、コンクリートブロックなどがある。
	接続箱	・ 直列ごとに接続された太陽電池モジュールから配線の一つにまとめるためのボックス。開閉器や避雷素子の他、逆流防止ダイオード又はヒューズも内蔵している。PCS と一体になっている場合もある。
陸 上	パワーコンディショナー(PCS)	・ 太陽電池モジュールから発生する直流電力を、最大限引き出すように制御するとともに、交流電力に変換する。通常、連系保護装置を内蔵する。 ・ 自立運転機能を備えている場合は、商用電力が停電した際に特定の負荷に供給できる。
	分電盤	・ 商用（買電）電力を建物内の電気負荷に分配する。
	託送用積算電力量計	・ 太陽電池で発電した電力を商用電力系統へ売電する時の売電量を測定するための電力量計。需要者側で費用負担する必要がある。
	P A S	・ 高圧気中負荷開閉器のことで、架空引込方式の場合の配電線路の分岐・区分用開閉器。

フロートは、メーカーの違いにより「樹脂製中空フロート」、「発砲スチロール製フロート」、「発泡性充填パイプフロート」があり、形式の違いにより 1kW 当りの必要フロート面やフロート安定性に差がある(表 1-4)。なお、水上ソーラー取扱い専門企業については下記に示す企業等が見られる(表 1-5)。

表 1-4 フロートタイプ別の形状と性能

フロートタイプ	樹脂製中空フロート	発砲スチロール製フロート	発泡性充填パイプフロート
フロートの概要と特性	<ul style="list-style-type: none"> 既製品のフロート毎に分割でき人力運搬が可能で施工性が良い パネル角度は 12° で固定 	<ul style="list-style-type: none"> フロートは現地組み立て後クレーンでの投入が必要 パネルの角度は任意設定可 経済性は一番良い 	<ul style="list-style-type: none"> 塩ビ製パイプ内に発砲スチロールを充填した構造で発砲スチロール製よりは高価。 フロートの現地組み立て後クレーンでの投入が必要。 パネルの角度は任意設定可
1フロート面積	16.6m×7.8m≒129m ²	15.6m×5.0m≒78m ²	9.2m×6.1m≒56m ²
太陽光パネル	6.12kW(255W×24枚)	6.12kW(255W×24枚)	6.12kW(255W×24枚)
パネル角度	12度	5度/12度/30度	5度/12度/30度
	*パネル設置角度が大きい程発電量が増加(5度: 100%、12度: 119%、30度: 130% 但し、パネル間の離隔距離が広がるのでフロート必要面積が拡大する。		
1kW 当り必要フロート面積	21.00 m ² /kW	12.75 m ² /kW	9.15 m ² /kW
フロート安定性(上下移動量)	無風時(0.5m/s) 2mm やや強風(6.0m/s) 9mm 強風時(11.0m/s) 18mm 強風時(11.4m/s) 18mm	無風時(0.5m/s) 2mm やや強風(6.0m/s) 4mm 強風時(11.0m/s) 8mm 強風時(11.4m/s) 8mm	無風時(0.5m/s) 2mm やや強風(6.0m/s) 7mm 強風時(11.0m/s) 15mm 強風時(11.4m/s) 15mm



樹脂製中空フロート



発砲スチロール製フロート



発泡性充填パイプフロート

出典:「ため池を活用した太陽光発電施設実証実験結果」香川県農政水産部農村整備課、平成28年7月より作表

表 1-5 水上ソーラーシステム取扱い専門企業

企業名	システム名	フロート種別	実績	備考
キョウラク(株)	ミナモソーラーシステム	樹脂製中空フロート	50MW (2019/3)	・フロートに分散型 PCS や接続箱をフロートに設置可能。
ため池ソーラー社	ため池ソーラーフロート架台 S165	発砲スチロール製フロート	44.6MW (2022/3)	・10° モジュール積載数 9枚 25m ² ・遮蔽シートによるフロートのめくり上り防止装置付き。
東和アークス(株)	水上太陽光発電システム	樹脂製中空フロート	-	・最大風速 45m/sec での実績
三井住友建設(株)	水上太陽光発電用フロートシステム	発砲スチロール製フロート	14.9MW (2020/9)	・外国での実績有 ・8人1組で1MW 当り 20日 で設置

出典: 各社 HP より作成。

(3) 水上ソーラーシステムの台風被災と対策

全国で現在までに導入された水上ソーラーシステムは 150 箇所前後と推計されるが、これまでに台風時の強風により被災したケースは、表 1-6 に示す 3 事例がある。被災事例のいずれも発電出力 2.0～13.7MW で、満水面積では 3.1～40ha 以上の極めて大きなため池に限られており、フロートタイプも全て樹脂製中空タイプであった。また、設備の設計風速は現在ではいずれのメーカーも瞬間最大風速 60m/s に引き上げているが、被災事例はいずれも 40m/s であった。各事例の被災状況と復旧対策事項を参考とすると、本町での事業化においても、下記の 3 つの対策は、設計・施工段階では留意する必要がある。

- ・安定性の高い発砲スチロール製フロートタイプの採用
- ・設計風速(60m/s)は、フロートをつなぐ金具など設備全体の各所でも徹底すること
- ・係留索・アンカーは、強風による各フロートの揺動が共振により拡大するアイランド外周辺部だけでなく、その内側でも設置すること。
- ・風で全体が流される、壊れた部材が流される等によって洪水吐の通水を阻害することの無いよう対策を講じる。
- ・目視点検困難な水中の部材(アンカー、ワイヤー等)の管理方法について検討し、定めておく
- ・発電施設設置後の浚渫作業が困難となるため、設置時に池底の浚渫が必要

表 1-6 水上ソーラーシステムの台風被災と対策事例

対象施設 所在	狭山池水上メガソーラー 大阪府大阪狭山市	千葉山倉水上メガソーラー発電所 千葉県市原市	新拓溜池 MS 発電所 佐賀県白石町
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ・出力 1.99MW(満水面積:40.0ha) ・設計風速 (41.53m/s) ・樹脂製中空フロート 	<ul style="list-style-type: none"> ・出力 13.7MW(満水面積:16.0ha) ・アイランド 503×487m ・樹脂製中空フロート ・設計風速 (41.53m/s) 	<ul style="list-style-type: none"> ・出力 2.37MW(満水面積:3.1ha) ・アイランド 100×100m ・樹脂製中空フロート ・設計風速 (41.53m/s)
被災日	<ul style="list-style-type: none"> ・2019/9 台風 21 号(風速 30～40m/s?) 	<ul style="list-style-type: none"> ・2019/7 台風 15 号(最大瞬間風速 42.6m/s 45.8m/s?) 	<ul style="list-style-type: none"> ・2019/9 台風 21 号(最大瞬間風速～40m/s)
被災状況 と 復旧対策	<ul style="list-style-type: none"> ・強風によりアイランドの分断・フロート流動損壊/外周部のめくり上がり(733 枚) ・係留ワイヤー抜け ・係留ワイヤーや湖底アンカーの設計強度の強化 ・フロートとアンカーを接続するボルトの空洞内に金属製の芯を入れ強化 ・風速 60m/s にも耐えられるように強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・強風によりアイランドが 3 つに分断 ・フロート流動損壊/外周部のめくり上がり・折り重ね ・太陽光モジュール全 50,904 枚の約 8 割が破損 ・パネル連結ピンの破損損壊 ・複数箇所での火災 ・南橋の係留ワイヤー68 本の内 7 本抜け ・アイランドの 6 分割小型化 ・係留アンカーの倍増 ・電気による火災を防ぐために電気ケーブルを+と-に分けて保護管に入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・強風で四角いアイランドの南東端が東岸側に傾きながら、全体が北岸に押し流された。 ・岸に達したフロート架台は後ろの架台に押しされ、数 m の岸をせり上がった。 ・先端部分の架台は、池を囲む周回道の外周柵(RC 製)に衝突・横転しつつ折り重なる。 ・太陽光パネルをより高出力(275W/枚)に変更し枚数を≒900 枚減少。 ・フロート係留アンカーの取り付け位置をアイランドの外周のみから、内側にも格子状の配置に分散設置。



狭山池での被災状況(出典:日経 BP)



山倉池での被災状況(出典:日経 BP)



新拓溜池での被災状況
(出典:経産省・電力安全課資料)

1-3-3 再生可能エネルギーの導入実績

鞍手町における再生可能エネルギー設備導入の経年推移と実績量は、図 1-11、表 1-7 に示すとおりである。なお、太陽光発電以外の風力発電、地熱発電、小水力発電、バイオマス発電等は未導入である。直近の 2019(平成 31)年度では、全体では 21,054kW が導入され、その内訳は太陽光発電(10kW 未満)が 2,479kW(11.7%)、太陽光発電(10kW 以上)が 8,574kW(88.2%)である。主に家庭等で設置される太陽光発電(10kW 未満)の導入件数(2018 年度)は 519 件で、全世帯数の 6.91%に、翌年(2019 年度)は 546 件で、普及率は 7.28%と想定される。

また、太陽光発電(10kW 以上)設備 106 件(18,574kW)の内、空地等での土地系設備設置状況は航空写真より実測した結果によると、16 件(14,952kW、平均 935kW/箇所)である。したがって、建物設置系設備の設置状況は 90 件(2,986kW、平均 33kW/箇所)と想定される。以上の太陽光発電設備でのカーボンフリーな発電による CO₂削減量(2018 年度)は 8.5 千 t-CO₂で、これは町全体の CO₂排出量(241.8 千 t-CO₂)の 3.5%に相当し、基準年比の CO₂削減率では▲3.0%に相当する。

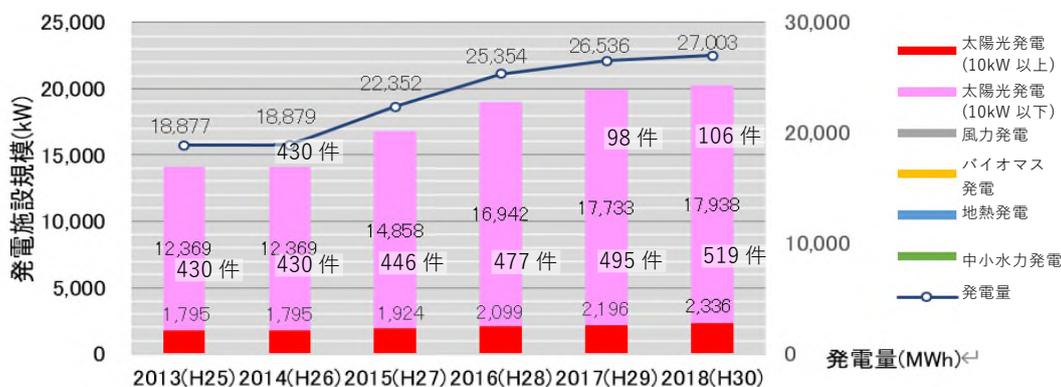


図 1-11 鞍手町の再生可能エネルギー導入推移

出典「自治体排出量カルテ」環境省:令和 4 年 3 月 より作図

表 1-7 鞍手町の再生可能エネルギー導入実績

		単位	2013(H25)	2014(H26)	2015(H27)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)
設備整備量	太陽光発電(10kW未満)	kW	1,795	1,795	1,924	2,099	2,196	2,336	2,479
	太陽光発電(10kW以上)		12,369	12,369	14,858	16,942	17,733	17,938	18,574
	風力発電/水力発電/地熱発電		0	0	0	0	0	0	0
	合計		14,164	14,164	16,782	19,041	19,929	20,274	21,054
設備普及率	太陽光発電(10kW未満)導入件数	件	430	430	446	477	495	519	546
	平均出力規模	kW	3.8	3.8	3.9	4.0	4.1	4.1	4.15
	太陽光発電(10kW未満)普及率	%	5.68%	5.68%	5.88%	6.30%	6.58%	6.91%	7.28%
	太陽光発電(10kW以上)導入件数	件	70	70	83	91	98	106	110
発電量	太陽光発電(10kW未満)平均出力規模	kW	176.7	176.7	179.0	186.2	180.9	169.2	168.90
	太陽光発電(10kW未満)	MWh	2,152	2,154	2,309	2,519	2,636	2,803	2,976
	太陽光発電(10kW以上)		16,361	16,361	19,653	22,410	23,456	23,728	24,569
合計	18,513	18,515	21,962	24,929	26,092	26,531	27,545		
電力自給状況	町内電力使用量	MWh	166,639	164,559	167,845	161,986	163,903	150,231	-
	電力自給率	%	11.1%	11.3%	13.1%	15.4%	15.9%	17.7%	-
CO ₂ 削減関係	鞍手町CO ₂ 排出量	千t	282	295	297	269	267	242	-
	再生CO ₂ 削減量		11.3	10.8	11.2	11.5	11.4	8.5	-
	再生CO ₂ 削減率	%	4.0%	3.7%	3.8%	4.3%	4.3%	3.5%	-
	2013年比再生CO ₂ 削減率	%	4.02%	3.83%	3.96%	4.08%	4.05%	3.00%	-

出典:「自治体排出量カルテ」環境省:令和 4 年 3 月 より作表

1-3-4 水上ソーラーの全国・福岡県での導入状況

我が国における水上ソーラーの導入ポテンシャル(湖沼・ダム・ため池水面)は、NEDOの「再生可能エネルギー白書(第2版)」によると、設置可能面積は448km²、発電出力で38.8GW(3,880万kW)で、建物以外の導入ポテンシャルでは「耕地」に次いで高く評価されている。これを背景に我が国での水上ソーラーの導入はFIT制度(2012年)を契機として拡大してきている。具体的にはため池数が多く、日照条件の良い兵庫県、香川県、三重県その他、関東地方(埼玉県、茨城県)でも導入が進んでいる。そのほとんどはFIT制度による売電タイプである。

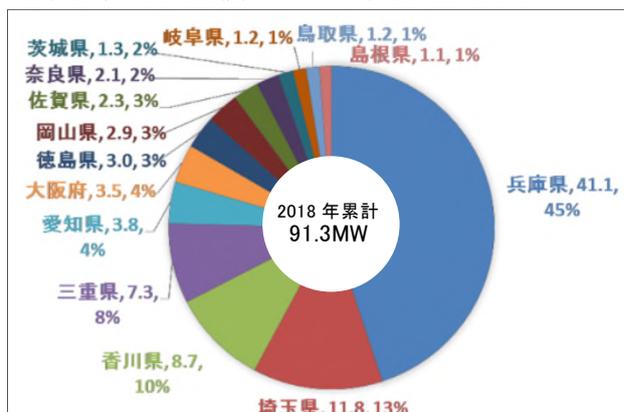


図 1-12 我が国の水上ソーラー導入累積実績

出典 www.solarassetmanagement.asia

なお、世界的に見ても我が国は水上ソーラー発電規模世界ランキング上位100位中の内70施設(2018年時点)を占め、世界総出力の約半分を担う一大勢力となっている。

福岡県全体では農業用ため池が5,000カ所以上もあり、九州7県の中では最も数多く分布している、県内のソーラー発電導入の事例としては3事例がある。田川郡福智町の朝倉池(敷地面積:4.94ha)で発電出力528kW(フロート面積:0.64a≒13%)の水上ソーラーの導入事例(2015年8月)の他、プロポーザル方式により、福岡市と太陽光発電事業を手掛ける「パワーマックス(福岡市)」が協力し、市が管理する蓮花寺池(満水時面積約0.78ha)で発電出力300kW(フロート面積:0.34ha≒44%)の水上ソーラーの導入事例(2016年7月)がある。福岡市に入る賃貸料は20年間で約700万円を見込んでいる。その他230kW(遠賀郡岡垣町用水池)の例もある。



福岡市蓮花寺池水上ソーラー(528kW)



福岡県福智町朝倉池水上ソーラー(300kW)

わが国で導入された水上ソーラーの発電規模の上位例は、以下のとおりである。その内最大出力は千葉県市原市山倉ダムの13.7MWである。一方、発電規模の最小事例では1,241kW(兵庫県加西市野田池)である。

千葉県市原市	山倉ダム	出力: 13.7MW	発電量: 1,617万kWh	2018年
千葉県川島町	梅ノ木古凍貯水池	出力: 7.55MW	発電量: 830万kWh	2015年
兵庫県稲美町	広谷池	出力: 6.80MW	発電量: 790万kWh	2018年
兵庫県	皿池	出力: 3.07MW	発電量: 367万kWh	2021年
香川県	御厩池	出力: 2.84MW	発電量: 19.9万kWh	2019年
佐賀県白石町	有明貯水池	出力: 2.38MW	発電量: 24.0万kWh	2016年

2 地域特性、環境特性等の調査・検討

2-1 考慮すべき地域特性・環境特性の調査、検討

2-1-1 自然条件

【地勢・地形】

本町は、地勢的には遠賀川中流域で、その左岸(西側)を流れる支流の西川の沖積平野と三群山地に属する丘陵地で構成され、本町の西部、南部は丘陵地で、北部及び北東部は平坦地で北に開けた地形となっている。中央部を北流する西川は非常に勾配が緩く、平坦地の大半は石炭採掘による地盤沈下により低地化し、河川への排水が困難であるため、排水機で強制排水しており、降雨時には農地の冠水のおそれが大きくなっている。

太陽光発電設備は浸水した場合でも光が当たれば発電する為、水没・浸水をした太陽光発電設備に接触すると感電するおそれがある。浸水被害を最小限にするためには、水害リスクを認識したうえで対策をたてることが重要である。太陽電池発電設備の設置場所が、河川氾濫した場合に浸水が想定される区域であるかどうかを、公表されている洪水ハザードマップで確認し、河川氾濫した場合に浸水が想定される区域である場合は、想定される浸水深より高い位置に設置するなどの浸水リスクの回避を検討する必要がある。また風水害の被害にあった太陽光発電システムにはむやみに近づかずに、事業者や管理者へ連絡する等の対策の徹底が必要となる。



図 2-1 鞍手町の位置



図 2-2 鞍手町の地勢

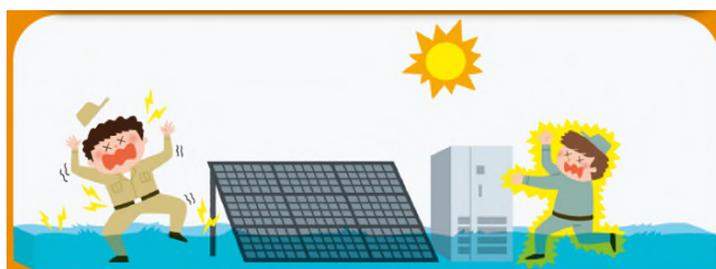


図 2-3 太陽光発電設備の水害時の危険性について

出典：太陽光発電協会

【気象】

本町の気象は、日本海型気候区に属しているが、年間平均気温は 15.7℃と比較的温暖であり、年間降水量も 1,767mm で、そのほとんどが梅雨期や台風期の降雨に集中している。冬期は冷たい北西の季節風が強く、年平均降雪日数は 17 日と少なく、生活しやすい地域である。なお、10月から12月には霧が多く発生する。

太陽光発電と関係する日照時間は、月間では 104~196 時間の範囲にあり、年間では 1,831 時間となっている(飯塚観測所:1981~2010 年)。太陽光発電は、日射量に応じて発電する。日射

量は、日の出とともに増加しはじめ、正午頃に最大となり、その後、低下して日の入りでなくなる。また、日射量は、雲や砂塵他（大気の混濁）などの日射をさえぎるものが空に存在すると減少する。

2-1-2 社会条件

【土地利用】

本町の面積は 35.6km² で、福岡県の約 0.7% を占めている。その内、林野面積は 1,254ha (35.2%)、耕地面積は 832ha (23.3%)、その他 1,474ha (41.4%) である。耕地は沖積低地に水田が 725ha (20.3%/耕地の 87.1%) で、比較的少雨のことから大小の溜池(59 箇所)が分布している。畑地は 107ha (3.0%/耕地の 12.96%) と少なく、その内 20ha は特産のブドウ畑に利用されている。

土地利用の変遷は、町の活性化対策として企業の誘致、住宅の誘致を推進したこともあり、農地、原野が減少し、宅地が増加している。一方、人口減少に伴い空き家が増加している。本町の都市計画では「豊かな自然と歴史に囲まれた、魅力あふれるコンパクトなまち」をテーマに、JR 鞍手駅から町庁舎を結ぶ軸を「都市機能拠点(まちなか)」、鞍手 IC 周辺を「産業拠点」、西部のゴルフ場及び古門・長谷地区を「観光レクリエーション拠点」の 3 つの拠点づくりを進め、都市機能拠点や交通軸の位置付け、土地利用ゾーニングによる都市構造の明確化を図ることとしている。また、土地利用的には「都市形成ゾーン」、「新産業ゾーン」、「田園集落ゾーン」、「山林保全ゾーン」の 4 つのゾーンを設定している。近年、太陽光発電事業の実施に伴い、土砂流出や濁水の発生、景観への影響、反射光による生活環境への影響などの問題が生じる事例が増えている。太陽光発電事業の実施にあたっては、地域や環境と調和した形での事業の実施が重要である。

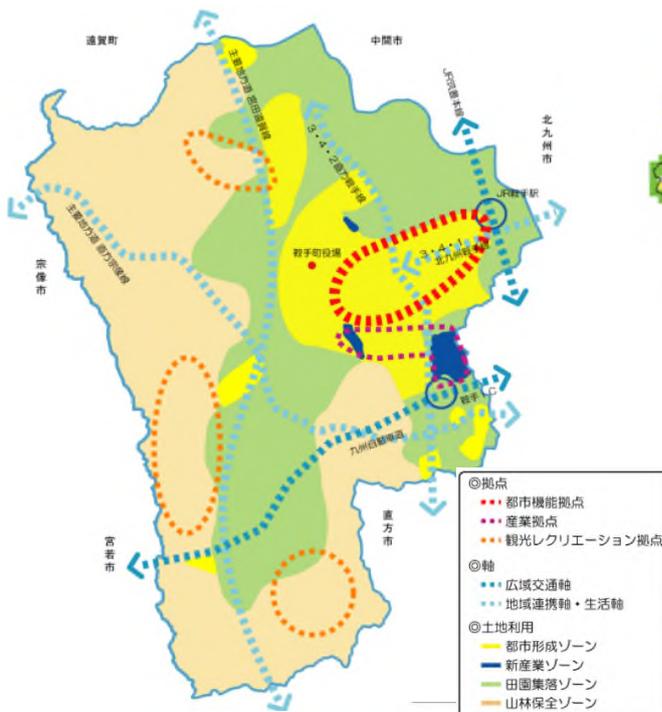


図 2-4 鞍手町の都市計画によるまちづくり

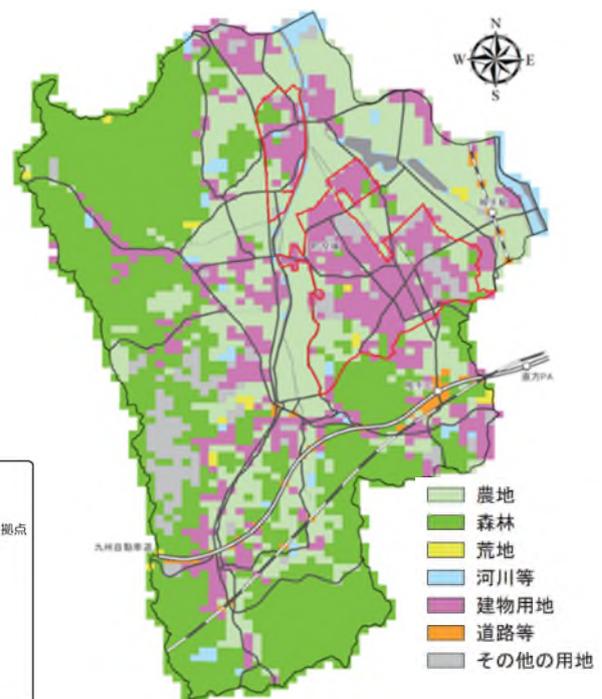


図 2-5 鞍手町の土地利用現況

2-2 建築物や周辺環境等の確認のための現地調査

調査結果報告書

施設名 1 鞍手町浄水場

1	受変電設備	キュービクル仕様	<input type="checkbox"/> 屋内 <input checked="" type="checkbox"/> 屋外
		増設スペースの確認	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		系統連系の設備（送電）の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		その他（ ）	
2	搬入ルート メンテナンスルート	搬入ルートの確認（重機置場）	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		屋上へのメンテナンスルートの確認	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
		※管理棟はメンテルート無し	
3	周辺の状況	パネル反射による付近への影響	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
		付近建物による影の影響	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
		災害時の利用可能な施設か	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可
		糞害の状況	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
4	建屋の状況	防水の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 数年で更新 <input type="checkbox"/> 早急に更新要
		屋根の形状	<input type="checkbox"/> 傾斜 <input checked="" type="checkbox"/> 陸屋根
		屋上の状況（アンカーの強度がでるか）	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可
		太陽光配置スペース	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
		配線ルートの確認	<input type="checkbox"/> 屋内 <input checked="" type="checkbox"/> 屋外
		屋上の他設備の設置状況	干渉等は特になし

現場写真

施設名： 鞍手町浄水場

		撮影年月日	令和4年10月20日
写真の説明	上空写真	写真の説明	2系浄水池 屋上
			
写真の説明	2系浄水池 梯子による屋上へのメンテルート	写真の説明	2系沈殿池・沈殿池奥の建屋
			
写真の説明	移動式汚泥乾燥装置	写真の説明	電気室・機械室・薬品室の屋上
			

現場写真

学校名： 鞍手町浄水場

		撮影年月日	令和4年2月17日
写真の説明	汚泥濃縮槽奥の建屋	写真の説明	受変電設備の状況
			
写真の説明	浄水場近辺の遊休地		
			

調査結果報告書

施設名 2 鞍手町総合福祉センター、3 勤労者ふれあい棟

1	受変電設備	キュービクル仕様	<input type="checkbox"/> 屋内 <input checked="" type="checkbox"/> 屋外
		増設スペースの確認	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		系統連系の設備（送電）の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		その他（ ）	
2	搬入ルート メンテナンスルート	搬入ルートの確認（重機置場）	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		屋上へのメンテナンスルートの確認	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		※梯子によるメンテルート	
3	周辺の状況	パネル反射による付近への影響	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
		付近建物による影の影響	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
		災害時の利用可能な施設か	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可
		糞害の状況	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
4	建屋の状況	防水の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 数年で更新 <input type="checkbox"/> 早急に更新要
		屋根の形状	<input checked="" type="checkbox"/> 傾斜 <input type="checkbox"/> 陸屋根
		屋上の状況（アンカーの強度がでるか）	<input type="checkbox"/> 可 <input checked="" type="checkbox"/> 不可
		※鋼板屋根へ設置	
		太陽光配置スペース	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
		配線ルートの確認	<input type="checkbox"/> 屋内 <input checked="" type="checkbox"/> 屋外
		屋上の他設備の設置状況	干渉等は特になし
		<ul style="list-style-type: none"> ・屋上への設置スペースに限られる為、駐車場も設置対象として検討 ・体育館(勤労者ふれあい棟)は屋根の形状から判断して設置対象外 	

現場写真

施設名： 鞍手町総合福祉センター

		撮影年月日	令和4年10月20日
写真の説明	福祉管理棟 北東より撮影	写真の説明	屋上屋根の状況
			
写真の説明	東側駐車場	写真の説明	福祉管理棟 北西より撮影
			
写真の説明	体育館(勤労者ふれあい棟)	写真の説明	体育館裏の駐車場
			

調査結果報告書

施設名 4. 浮州池ポンプ場（取水塔）

1	受変電設備	キュービクル仕様	<input type="checkbox"/> 屋内 <input checked="" type="checkbox"/> 屋外
		増設スペースの確認	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		系統連系の設備（送電）の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		その他（ 低圧受電	）
2	搬入ルート メンテナンスルート	搬入ルートの確認（重機置場）	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		屋上へのメンテナンスルートの確認	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
3	周辺の状況	パネル反射による付近への影響	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
		付近建物による影の影響	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
		災害時の利用可能な施設か	<input type="checkbox"/> 可 <input checked="" type="checkbox"/> 不可
		糞害の状況	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
4	建屋の状況	防水の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 数年で更新 <input type="checkbox"/> 早急に更新要
		屋根の形状	<input type="checkbox"/> 傾斜 <input type="checkbox"/> 陸屋根
		屋上の状況（アンカーの強度がでるか）	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可
		太陽光配置スペース	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
		配線ルートの確認	<input type="checkbox"/> 屋内 <input checked="" type="checkbox"/> 屋外
		屋上の他設備の設置状況	

施設名： 浮州池ポンプ場(取水塔)

		撮影年月日	令和4年11月24日
写真の説明	ポンプ場外観	写真の説明	ポンプ場へのわたり廊下
			
写真の説明	キュービクル置き場	写真の説明	キュービクル置き場
			
写真の説明	連携の状況	写真の説明	
			

調査結果報告書

施設名 5 鞍手町営葬斎場

1	受変電設備	キュービクル仕様	<input type="checkbox"/> 屋内 <input checked="" type="checkbox"/> 屋外
		増設スペースの確認	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		系統連系の設備（送電）の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		その他（ ）	
2	搬入ルート メンテナンスルート	搬入ルートの確認（重機置場）	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		屋上へのメンテナンスルートの確認	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
3	周辺の状況	パネル反射による付近への影響	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
		付近建物による影の影響	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
		災害時の利用可能な施設か	<input type="checkbox"/> 可 <input checked="" type="checkbox"/> 不可
		糞害の状況	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
4	建屋の状況	防水の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 数年で更新 <input type="checkbox"/> 早急に更新要
		屋根の形状	<input type="checkbox"/> 傾斜 <input checked="" type="checkbox"/> 陸屋根
		屋上の状況（アンカーの強度がでるか）	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可
		太陽光配置スペース	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
		配線ルートの確認	<input type="checkbox"/> 屋内 <input checked="" type="checkbox"/> 屋外
		屋上の他設備の設置状況	第1斎場屋上に、煙突あり

現場写真

施設名: 鞍手町営斎場

		撮影年月日	令和4年10月19日
写真の説明	南側より撮影	写真の説明	第1斎場 屋上の状況
			
写真の説明	第1斎場 裏駐車場の遊休地	写真の説明	南側駐車場
			
写真の説明	南側駐車場裏の生垣	写真の説明	受変電設備の状況
			

調査結果報告書

施設名 6_文化体育総合施設

1	受変電設備	キュービクル仕様	<input type="checkbox"/> 屋内 <input checked="" type="checkbox"/> 屋外
		増設スペースの確認	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		系統連系の設備（送電）の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		その他（ ）	
2	搬入ルート メンテナンスルート	搬入ルートの確認（重機置場）	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		屋上へのメンテナンスルートの確認	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		※武道館はメンテルート無し	
3	周辺の状況	パネル反射による付近への影響	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
		付近建物による影の影響	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
		災害時の利用可能な施設か	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可
		糞害の状況	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
4	建屋の状況	防水の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 数年で更新 <input type="checkbox"/> 早急に更新要
		屋根の形状	<input checked="" type="checkbox"/> 傾斜 <input checked="" type="checkbox"/> 陸屋根
		屋上の状況（アンカーの強度がでるか）	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可
		太陽光配置スペース	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
		配線ルートの確認	<input type="checkbox"/> 屋内 <input checked="" type="checkbox"/> 屋外
		屋上の他設備の設置状況	公民館に空調室外機等あり

現場写真

施設名： 文化体育総合施設

		撮影年月日	令和4年11月24日
写真の説明	中央公民館屋上	写真の説明	防水の状況
			
写真の説明	体育館メンテラート	写真の説明	体育館屋上
			
写真の説明	民俗博物館屋上	写真の説明	武道館
			

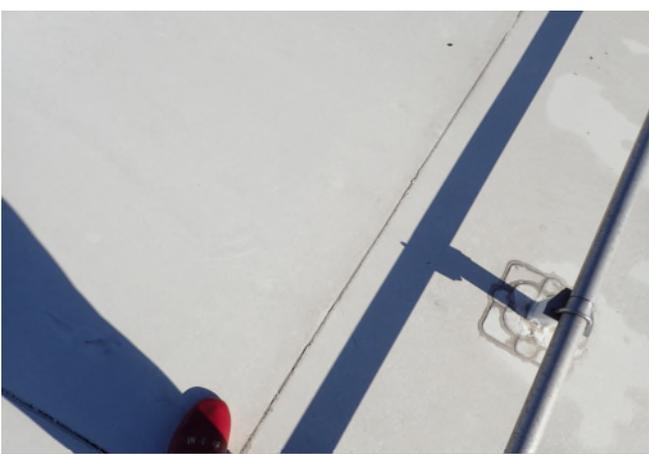
調査結果報告書

施設名 7 鞍手中学校

1	受変電設備	キュービクル仕様	<input type="checkbox"/> 屋内 <input checked="" type="checkbox"/> 屋外
		増設スペースの確認	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		系統連系の設備（送電）の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		その他（ ）	
2	搬入ルート メンテナンスルート	搬入ルートの確認（重機置場）	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		屋上へのメンテナンスルートの確認	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
3	周辺の状況	パネル反射による付近への影響	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
		付近建物による影の影響	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
		災害時の利用可能な施設か	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可
		糞害の状況	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
4	建屋の状況	防水の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 数年で更新 <input type="checkbox"/> 早急に更新要
		屋根の形状	<input checked="" type="checkbox"/> 傾斜 <input checked="" type="checkbox"/> 陸屋根
		屋上の状況（アンカーの強度がでるか）	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可
		太陽光配置スペース	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
		配線ルートの確認	<input type="checkbox"/> 屋内 <input checked="" type="checkbox"/> 屋外
		屋上の他設備の設置状況	中学校棟は太陽光発電設備あり

現場写真

施設名： 鞍手中学校

		撮影年月日	令和4年11月24日
写真の説明	中学校棟屋上	写真の説明	中学校棟屋上
			
写真の説明	体育館屋上	写真の説明	体育館屋上の安全対策
			
写真の説明	別棟	写真の説明	別棟屋上
			

調査結果報告書

施設名 8 剣南小学校

1	受変電設備	キュービクル仕様	<input type="checkbox"/> 屋内	<input checked="" type="checkbox"/> 屋外
		増設スペースの確認	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
		系統連系の設備（送電）の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
		その他（	）	
2	搬入ルート メンテナンスルート	搬入ルートの確認（重機置場）	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
		屋上へのメンテナンスルートの確認	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
3	周辺の状況	パネル反射による付近への影響	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
		付近建物による影の影響	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
		災害時の利用可能な施設か	<input checked="" type="checkbox"/> 可	<input type="checkbox"/> 不可
		糞害の状況	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
4	建屋の状況	防水の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 良好	<input type="checkbox"/> 数年で更新
			<input type="checkbox"/> 早急に更新要	
		屋根の形状	<input checked="" type="checkbox"/> 傾斜	<input checked="" type="checkbox"/> 陸屋根
		屋上の状況（アンカーの強度がでるか）	<input checked="" type="checkbox"/> 可	<input type="checkbox"/> 不可
		太陽光配置スペース	<input checked="" type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし
		配線ルートの確認	<input type="checkbox"/> 屋内	<input checked="" type="checkbox"/> 屋外
		屋上の他設備の設置状況		
		体育館屋上はメンテルートなしの為、パネル設置不可		

現場写真

施設名： 剣南小学校

		撮影年月日	令和4年11月24日
写真の説明	屋上の状況	写真の説明	防水の状況
			
写真の説明	南側の状況	写真の説明	低層等の樹木による影の影響
			
写真の説明	体育館屋上	写真の説明	
			

調査結果報告書

施設名 9 剣北小学校

1	受変電設備	キュービクル仕様	<input type="checkbox"/> 屋内 <input checked="" type="checkbox"/> 屋外
		増設スペースの確認	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		系統連系の設備（送電）の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		その他（ ）	
2	搬入ルート メンテナンスルート	搬入ルートの確認（重機置場）	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		屋上へのメンテナンスルートの確認	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
3	周辺の状況	パネル反射による付近への影響	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
		付近建物による影の影響	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
		災害時の利用可能な施設か	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可
		糞害の状況	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
4	建屋の状況	防水の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 数年で更新 <input type="checkbox"/> 早急に更新要
		屋根の形状	<input type="checkbox"/> 傾斜 <input checked="" type="checkbox"/> 陸屋根
		屋上の状況（アンカーの強度がでるか）	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可
		太陽光配置スペース	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
		配線ルートの確認	<input type="checkbox"/> 屋内 <input checked="" type="checkbox"/> 屋外
		屋上の他設備の設置状況	

現場写真

施設名: 剣北小学校

		撮影年月日	令和4年11月24日
写真の説明	屋上の状況	写真の説明	防水の状況
			
写真の説明	南側の状況	写真の説明	体育館屋上
			
写真の説明	受変電設備	写真の説明	
			

調査結果報告書

施設名 10 古月小学校

1	受変電設備	キュービクル仕様	<input type="checkbox"/> 屋内 <input checked="" type="checkbox"/> 屋外
		増設スペースの確認	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		系統連系の設備（送電）の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		その他（ ）	
2	搬入ルート メンテナンスルート	搬入ルートの確認（重機置場）	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		屋上へのメンテナンスルートの確認	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
3	周辺の状況	パネル反射による付近への影響	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
		付近建物による影の影響	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
		災害時の利用可能な施設か	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可
		糞害の状況	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
4	建屋の状況	防水の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 数年で更新 <input type="checkbox"/> 早急に更新要
		屋根の形状	<input type="checkbox"/> 傾斜 <input checked="" type="checkbox"/> 陸屋根
		屋上の状況（アンカーの強度がでるか）	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可
		太陽光配置スペース	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
		配線ルートの確認	<input type="checkbox"/> 屋内 <input checked="" type="checkbox"/> 屋外
		屋上の他設備の設置状況	干渉等は特になし

現場写真

施設名： 古月小学校

		撮影年月日	令和4年10月20日
写真の説明	校舎屋上 北東より撮影	写真の説明	校舎屋上 南西より撮影
			
写真の説明	校舎屋上 防水の状況	写真の説明	南側に光害を受ける施設なし
			
写真の説明	屋上からの配線ルート	写真の説明	受変電設備の状況
			

調査結果報告書

施設名 11 西川小学校

1	受変電設備	キュービクル仕様	<input type="checkbox"/> 屋内 <input checked="" type="checkbox"/> 屋外
		増設スペースの確認	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		系統連系の設備（送電）の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		その他（ ）	
2	搬入ルート メンテナンスルート	搬入ルートの確認（重機置場）	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		屋上へのメンテナンスルートの確認	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
3	周辺の状況	パネル反射による付近への影響	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
		付近建物による影の影響	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
		災害時の利用可能な施設か	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可
		糞害の状況	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
4	建屋の状況	防水の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 数年で更新 <input type="checkbox"/> 早急に更新要
		屋根の形状	<input checked="" type="checkbox"/> 傾斜 <input checked="" type="checkbox"/> 陸屋根
		屋上の状況（アンカーの強度がでるか）	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可
		太陽光配置スペース	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
		配線ルートの確認	<input type="checkbox"/> 屋内 <input checked="" type="checkbox"/> 屋外
		屋上の他設備の設置状況	屋上にトップライトあり

現場写真

施設名： 西川小学校

	校舎屋上	撮影年月日	令和4年10月19日
写真の説明	屋上 東側より撮影	写真の説明	鋼板屋根の状況
			
写真の説明	屋上 南側より撮影	写真の説明	防水の状況
			
写真の説明	南側駐車場	写真の説明	受変電設備の状況
			

調査結果報告書

施設名 12 新延小学校

1	受変電設備	キュービクル仕様	<input type="checkbox"/> 屋内	<input checked="" type="checkbox"/> 屋外
		増設スペースの確認	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
		系統連系の設備（送電）の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
		その他（	）	
2	搬入ルート メンテナンスルート	搬入ルートの確認（重機置場）	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
		屋上へのメンテナンスルートの確認	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
3	周辺の状況	パネル反射による付近への影響	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
		付近建物による影の影響	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
		災害時の利用可能な施設か	<input checked="" type="checkbox"/> 可	<input type="checkbox"/> 不可
		糞害の状況	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
4	建屋の状況	防水の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 良好	<input type="checkbox"/> 数年で更新 <input type="checkbox"/> 早急に更新要
		屋根の形状	<input checked="" type="checkbox"/> 傾斜	<input checked="" type="checkbox"/> 陸屋根
		屋上の状況（アンカーの強度がでるか）	<input checked="" type="checkbox"/> 可	<input type="checkbox"/> 不可
		太陽光配置スペース	<input checked="" type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし
		配線ルートの確認	<input type="checkbox"/> 屋内	<input checked="" type="checkbox"/> 屋外
		屋上の他設備の設置状況		

現場写真

施設名： 新延小学校

		撮影年月日	令和4年11月24日
写真の説明	屋上写真	写真の説明	防水の状況
			
写真の説明	南側の状況	写真の説明	配線ルート
			
写真の説明	体育館屋根	写真の説明	体育館メンテルート
			

調査結果報告書

施設名 13 室木小学校

1	受変電設備	キュービクル仕様	<input type="checkbox"/> 屋内 <input checked="" type="checkbox"/> 屋外
		増設スペースの確認	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		系統連系の設備（送電）の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		その他（ ）	
2	搬入ルート メンテナンスルート	搬入ルートの確認（重機置場）	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		屋上へのメンテナンスルートの確認	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
3	周辺の状況	パネル反射による付近への影響	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
		付近建物による影の影響	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
		災害時の利用可能な施設か	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可
		糞害の状況	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
4	建屋の状況	防水の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 数年で更新 <input type="checkbox"/> 早急に更新要
		屋根の形状	<input type="checkbox"/> 傾斜 <input checked="" type="checkbox"/> 陸屋根
		屋上の状況（アンカーの強度がでるか）	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可
		太陽光配置スペース	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
		配線ルートの確認	<input type="checkbox"/> 屋内 <input checked="" type="checkbox"/> 屋外
		屋上の他設備の設置状況	

現場写真

施設名： 室木小学校

		撮影年月日	令和4年11月24日
写真の説明	屋上の状況	写真の説明	防水の状況
			
写真の説明	南側の状況	写真の説明	体育館
			
写真の説明	体育館屋上	写真の説明	
			

調査結果報告書

施設名 14 鞍手駅舎

1	受変電設備	キュービクル仕様	<input type="checkbox"/> 屋内 <input type="checkbox"/> 屋外
		増設スペースの確認	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		系統連系の設備（送電）の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		その他（ 低圧受電	）
2	搬入ルート メンテナンスルート	搬入ルートの確認（重機置場）	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		屋上へのメンテナンスルートの確認	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
3	周辺の状況	パネル反射による付近への影響	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
		付近建物による影の影響	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
		災害時の利用可能な施設か	<input type="checkbox"/> 可 <input checked="" type="checkbox"/> 不可
		糞害の状況	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
4	建屋の状況	防水の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 数年で更新 <input type="checkbox"/> 早急に更新要
		屋根の形状	<input type="checkbox"/> 傾斜 <input type="checkbox"/> 陸屋根
		屋上の状況（アンカーの強度がでるか）	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可
		太陽光配置スペース	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
		配線ルートの確認	<input type="checkbox"/> 屋内 <input checked="" type="checkbox"/> 屋外
		屋上の他設備の設置状況	

現場写真

施設名: 鞍手町駅舎

		撮影年月日	令和4年11月24日
写真の説明	駅舎 北側より	写真の説明	駅舎 南側より
			
写真の説明	駅舎引込盤	写真の説明	トイレ引込盤
			
写真の説明	駅舎内	写真の説明	駅舎南側の状況
			

調査結果報告書

施設名 15 舟川町営住宅 浄化槽

1	受変電設備	キュービクル仕様	<input type="checkbox"/> 屋内 <input type="checkbox"/> 屋外
		増設スペースの確認	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		系統連系の設備（送電）の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		その他（ 低圧受電	）
2	搬入ルート メンテナンスルート	搬入ルートの確認（重機置場）	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		屋上へのメンテナンスルートの確認	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
3	周辺の状況	パネル反射による付近への影響	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
		付近建物による影の影響	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		災害時の利用可能な施設か	<input type="checkbox"/> 可 <input checked="" type="checkbox"/> 不可
		糞害の状況	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
4	建屋の状況	防水の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 数年で更新 <input type="checkbox"/> 早急に更新要
		屋根の形状	<input type="checkbox"/> 傾斜 <input type="checkbox"/> 陸屋根
		屋上の状況（アンカーの強度がでるか）	<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可
		太陽光配置スペース	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
		配線ルートの確認	<input type="checkbox"/> 屋内 <input checked="" type="checkbox"/> 屋外
		屋上の他設備の設置状況	

現場写真

施設名： 舟川町営住宅 浄化槽

		撮影年月日	令和4年11月24日
写真の説明	住宅棟写真	写真の説明	浄化槽北側より
			
写真の説明	浄化槽 南側より	写真の説明	浄化槽 南側より
			
写真の説明	浄化槽制御盤	写真の説明	住宅棟前面空き地
			

調査結果報告書

施設名 16 室木町営住宅 浄化槽

1	受変電設備	キュービクル仕様	<input type="checkbox"/> 屋内 <input type="checkbox"/> 屋外
		増設スペースの確認	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		系統連系の設備（送電）の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		その他（ 低圧受電	）
2	搬入ルート メンテナンスルート	搬入ルートの確認（重機置場）	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		屋上へのメンテナンスルートの確認	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
3	周辺の状況	パネル反射による付近への影響	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
		付近建物による影の影響	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		災害時の利用可能な施設か	<input type="checkbox"/> 可 <input checked="" type="checkbox"/> 不可
		糞害の状況	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
4	建屋の状況	防水の状況	<input type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 数年で更新 <input type="checkbox"/> 早急に更新要
		屋根の形状	<input type="checkbox"/> 傾斜 <input type="checkbox"/> 陸屋根
		屋上の状況（アンカーの強度がでるか）	<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可
		太陽光配置スペース	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
		配線ルートの確認	<input type="checkbox"/> 屋内 <input checked="" type="checkbox"/> 屋外
		屋上の他設備の設置状況	

現場写真

施設名： 室木町営住宅 浄化槽

		撮影年月日	令和4年11月24日
写真の説明	南側の状況	写真の説明	浄化槽制御盤への電力引込
			
写真の説明	浄化槽制御盤	写真の説明	浄化槽設置場所
			
写真の説明		写真の説明	

調査結果報告書

施設名 17 泉水団地改良住宅 浄化槽

1	受変電設備	キュービクル仕様	<input type="checkbox"/> 屋内	<input type="checkbox"/> 屋外
		増設スペースの確認	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
		系統連系の設備（送電）の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
		その他（ 低圧受電	）	
2	搬入ルート メンテナンスルート	搬入ルートの確認（重機置場）	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
		屋上へのメンテナンスルートの確認	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
3	周辺の状況	パネル反射による付近への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
		付近建物による影の影響	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
		災害時の利用可能な施設か	<input type="checkbox"/> 可	<input checked="" type="checkbox"/> 不可
		糞害の状況	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
4	建屋の状況	防水の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 良好	<input type="checkbox"/> 数年で更新
			<input type="checkbox"/> 早急に更新要	
		屋根の形状	<input type="checkbox"/> 傾斜	<input type="checkbox"/> 陸屋根
		屋上の状況（アンカーの強度がでるか）	<input type="checkbox"/> 可	<input type="checkbox"/> 不可
		太陽光配置スペース	<input checked="" type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし
		配線ルートの確認	<input type="checkbox"/> 屋内	<input checked="" type="checkbox"/> 屋外
		屋上の他設備の設置状況		
		<ul style="list-style-type: none"> ・住宅への電力供給想定無し（浄化槽のみ） ・浄化槽部分への太陽光発電設置にて検討 ・南側に住宅がある為、住宅窓前を避けたパネルレイアウトが必要 ・背面擁壁による影の範囲を考慮したレイアウトが必要 ・安全対策としてフェンス等の設置が必要 		

現場写真

施設名： 泉水団地改良住宅 浄化槽

		撮影年月日	令和4年11月24日
写真の説明	浄化槽設置場所	写真の説明	浄化槽設置場所の南側の状況
			
写真の説明	浄化槽設置場所の南側の状況	写真の説明	浄化槽制御盤
			
写真の説明	引込盤	写真の説明	
			

調査結果報告書

施設名 18 幸ノ浦団地改良住宅 浄化槽

1	受変電設備	キュービクル仕様	<input type="checkbox"/> 屋内 <input type="checkbox"/> 屋外
		増設スペースの確認	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		系統連系の設備（送電）の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		その他（ 低圧受電 ）	
2	搬入ルート メンテナンスルート	搬入ルートの確認（重機置場）	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		屋上へのメンテナンスルートの確認	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
3	周辺の状況	パネル反射による付近への影響	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
		付近建物による影の影響	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
		災害時の利用可能な施設か	<input type="checkbox"/> 可 <input checked="" type="checkbox"/> 不可
		糞害の状況	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
4	建屋の状況	防水の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 数年で更新 <input type="checkbox"/> 早急に更新要
		屋根の形状	<input checked="" type="checkbox"/> 傾斜 <input type="checkbox"/> 陸屋根
		屋上の状況（アンカーの強度がでるか）	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可
		太陽光配置スペース	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
		配線ルートの確認	<input type="checkbox"/> 屋内 <input checked="" type="checkbox"/> 屋外
		屋上の他設備の設置状況	

現場写真

施設名： 幸ノ浦団地改良住宅 浄化槽

		撮影年月日	令和4年11月24日
写真の説明	浄化槽外観	写真の説明	浄化槽内観
			
写真の説明	引込盤	写真の説明	連系の状況
			
写真の説明		写真の説明	

調査報告書		所属		
		調査日	2022/12/20	～ 2022/12/20
遊休地名：八尋草場				
八尋地区；字草場1638-1 地目；雑種地 面積A=2893㎡、所有者；鞍手町、				
	調査項目	調査細目	備考	
①	受変電設備	キュービクル設置スペース有り。 接続候補電柱まで10m程度。		
②	工事中搬入路	北側へつながる里道が有る。 里道入口は町道に接道している。		
③	周辺の状況	南西部に森林が有るが影響は少ない。 南側に2軒住家が有る。		
④	近隣施設の状況	幸ノ浦浄化施設が有る。		
⑤	被災履歴の状況	特になし。		
⑥	阻害要因	野鳥が確認された。		
その他特記事項				
防災マップで浸水被害想定区域になっている。				

遊休地：八尋草場	調査日：2022/12/20
住所：鞍手町八尋 1628-2,1638-1	所有者：鞍手町
地目：雑種地	面積：1326 m ² ,1487 m ²
 <p>①八尋草場-全景 1</p>  <p>③八尋草場-全景 3</p>  <p>⑤侵入路入口から候補地方向 (備考)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西側に一部ブッシュがあり伐開が必要 ・西側隣接地に高木あり ・南部隣家は窓が少なく反射光影響は少ない 	 <p>②八尋草場-全景 2</p>  <p>④侵入路入口接道状況</p>  <p>⑥接続候補電柱 (電柱番号:173 ヒ 151 11)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南東隣家は反射光に配慮が必要 ・森林などの影響も少なく日当たり良好

調査報告書		調査日	2022/12/20	～	2022/12/20
遊休地名：旧古月保育所跡地					
八尋地区；木月字片原1346-1地目；宅地 面積A=1529㎡、所有者；鞍手町					
	調査項目	調査細目	備考		
①	受変電設備	キューピクル設置スペース有り。 接続候補電柱まで150m程度ある。			
②	工事中搬入路	神社参道に接している。 東側神社前で町道に接道。 西側参道入口で剣道に接している。			
③	周辺の状況	新設保育所が50m程度で有る。 南側に1軒住家がある。 北側住家は高台にある。また、西側住家があるが影響は少ない。			
④	近隣施設の状況	新設保育所がある。 他に神社が東側に有る。			
⑤	被災履歴の状況	特になし。			
⑥	阻害要因	野鳥が確認された。			
その他特記事項					
特になし。					

遊休地：②旧古月保育所跡地	調査日：2022/12/20
住所：鞍手町木月字片原 1346-1	所有者：鞍手町
地目：宅地	面積：1529 m ²
 <p>①旧古月保育所跡地-全景 1</p>  <p>②旧古月保育所跡地-全景 2</p>  <p>③旧古月保育所跡地 侵入路入口側接道状況及び接続電柱</p>	 <p>④侵入路神社側接道状況</p>  <p>⑤候補地と侵入路の隣接状況</p> <p>(備考)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東側に 2 軒家屋が有るが、離隔を確保する必要がある。 ・ 南側に 1 軒家屋あり。 ・ 東側に神社林がある。 ・ 南側に離隔が確保されている ・ 日当たり良好

調査報告書		調査日	2022/12/20	～	2022/12/20
遊休地名：藤郷用地					
小牧地区；小牧字大池2435-1地目；雑種地 面積A=2513㎡、所有者；鞍手町、					
	調査項目	調査細目	備考		
①	受変電設備	キューピクル設置スペース有り。 侵入路入口に接続候補電柱がある。			
②	工事用搬入路	侵入路が有り、舗装町道に繋がっている。			
③	周辺の状況	南側と東側に住家が接している。いずれも高台にある。北西側にメガソーラー発電所が隣接している。			
④	近隣施設の状況	住宅街にあり、近隣に公共施設はない。			
⑤	被災履歴の状況	特になし。			
⑥	阻害要因	北西部に高木が覆っている。			
その他特記事項					
特になし。					

遊休地：藤郷用地	調査日：2022/12/20
住所：鞍手町小牧 2435-1 外	所有者：鞍手町
地目：雑種地	面積：2513 m ²
 <p data-bbox="240 853 523 887"><u>入口部から中央方向 1</u></p>  <p data-bbox="240 1570 416 1603"><u>奥端部境界杭</u></p> <p data-bbox="240 1619 347 1653"><u>(備考)</u></p> <ul data-bbox="240 1668 804 1939" style="list-style-type: none"> ・候補地は平坦で良好 ・全体的に候補地は宅地より低く影響は少ない ・入口より奥部に向けて左側に高木が多く一段上がっている ・入口部は道路敷形態となっている 	 <p data-bbox="831 853 1230 887"><u>入口から中央部付近拡幅部方向</u></p>  <p data-bbox="831 1332 1171 1366"><u>奥端部付近から中央部方向</u></p>  <p data-bbox="831 1807 1086 1841"><u>中央部から奥部方向</u></p>

調査報告書		調査日	2022/12/20	～	2022/12/20
遊休地名：猪倉用地					
上木月地区；字広狭432地目；田 面積A=2091㎡、所有者；鞍手町、					
	調査項目	調査細目	備考		
①	受変電設備	キューピクル設置スペース有り。 接続候補電柱まで100m程度ある。			
②	工事用搬入路	未舗装農道に接している。 南西側で剣道とつながっている。			
③	周辺の状況	北東に1軒住家が有るが特に影響なし。 南東部に住家が有るが影響は少ない。			
④	近隣施設の状況	近隣に公共施設はない。			
⑤	被災履歴の状況	特になし。			
⑥	阻害要因	特になし。			
その他特記事項					
浸水被害想定区域となっている。					

遊休地：猪倉用地	調査日：2022/12/20
住所：鞍手町猪倉字広狭 432	所有者：鞍手町
地目：田	面積：2091 m ²
	
猪倉用地全景 1	猪倉用地全景 2
	
侵入路北西側から接道方向、敷地全景	侵入路入口から敷地方向
	
接続候補電柱	接続候補電柱番号

調査報告書		調査日	2022/12/20	～	2022/12/20
遊休地名：旧鞍手町土地開発公社所有地					
上木月地区；字沼550地目；田 面積A=2391㎡、所有者；鞍手町、					
	調査項目	調査細目	備考		
①	受変電設備	キューピクル設置スペース有り。			
②	工事用搬入路	舗装道路に接している。			
③	周辺の状況	周辺は、田園地帯にあり、木月池に面している。 住家はない。 用地一角に高圧鉄塔がある。 高圧線は南東から北西に横切っている。			
④	近隣施設の状況	近隣に公共施設、工場などは立地していない。			
⑤	被災履歴の状況	特になし。			
⑥	阻害要因	水鳥が確認された。			
その他特記事項					
県の土捨場となっており、3m以上盛り立てられている。 また、浸水被害想定3m以上が想定されている。					

遊休地：旧鞍手町土地開発公社所有地	調査日：2022/12/20
住所：鞍手町上木月字沼 550 外	所有者：鞍手町
地目：田	面積：2301 m ²
	
西側からの遠景	接続候補電柱
	
南側からの遠景	接続候補電柱番号

調査報告書		調査日	2022/12/20	～	2022/12/20
遊休地名：中山重見用地					
中山地区；中山字重見155番25地目；雑種地 面積A=1442㎡、所有者；鞍手町					
	調査項目	調査細目	備考		
①	受変電設備	キュービクル設置スペース有り。 用地に隣接して接続候補電柱あり。			
②	工事中搬入路	舗装道路に面しており、侵入口も2箇所設置してある。			
③	周辺の状況	北側に高木が多い。南側には道路を隔てて工場駐車場がある。 近隣に住家はない。			
④	近隣施設の状況	南側に工場敷地があるが、公共施設はない。			
⑤	被災履歴の状況	北側、南側にブロック積があり災害要因は特になし。			
⑥	阻害要因	野鳥が確認されたが少ない。			
その他特記事項					
西側敷地内に高木が数本ある。 北側の高木の影響は少ないと思われる。					

遊休地：中山重見用地	調査日：2022/12/20
住所：鞍手町中山字重見 155 番 25	所有者：鞍手町
地目：雑種地	面積：1442 m ²
	
<p>猪倉用地全景 1</p>	
	
	

調査報告書		調査日	2022/12/20	～	2022/12/20
遊休地名：京ノ上旧整備公園用地					
中山地区；字濁り828-2地目；宅地 面積A=1139㎡、所有者；鞍手町、					
	調査項目	調査細目	備考		
①	受変電設備	キューピクル設置スペースあり。 系統連系電柱まで100m程度			
②	工事用搬入路	未舗装ではあるが幅員は2.5m程度確保されている。 2車線道路に接道している。			
③	周辺の状況	農業地帯にあり、周辺は畑地となっている。 住家は、入口の高台にあり影響はない。			
④	近隣施設の状況	公共施設はない。 東側高台に工場がある。			
⑤	被災履歴の状況	特になし。			
⑥	阻害要因	南側濁池に水鳥が棲息しているが、影響は少ない。 野鳥の影響は配慮。			
その他特記事項					
特に阻害するものはない。					

遊休地：京ノ上旧整備公団用地	調査日：2022/12/20
住所：鞍手町中山字濁り 828-2	所有者：鞍手町
地目：宅地	面積：1139 m ²
	
侵入路入口から用地遠景	用地遠景
	
用地全景	用地から侵入路入口方向、接道
	
<p>侵入路入口から用地北側茂み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平坦な用地 ・畑地帯にあり住家はない ・日当たりは良好 	<p>用地西部擁壁状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・接続候補電柱まで100m程度

調査報告書		調査日	2022/10/19	～	2022/10/20
ため池名：西の原池					
長谷地区；字西の原859他 面積A=0.7ha 所有者；町					
	調査項目	調査細目	備考		
①	受変電設備	キュービクル設置スペースが多く有る。 系統連系電柱有り。			
②	工事用搬入路	堤体自体が道路となっており搬入車両の進入路は確保できる。			
③	周辺の状況	隣接地にメガソーラー発電所がある。阻害樹木が一部確認できる。 周辺に住家や工場はない。			
④	近隣施設の状況	工場等施設はなし。			
⑤	被災履歴の状況	特になし。			
⑥	阻害要因	僅かに水草が見受けられる。 野鳥等の影響を確認する必要が有る。			
その他特記事項					
西側に樹木が確認できるが、僅かな影響。 池面の大半が設置可能。 堤体上流側斜面が南向きとなり、法面ブロックが設置されておりパネル設置可。					

現場写真

ため池名:西の原池

		撮影年月日	10月20日
写真の説明	北からの全景	写真の説明	北側、土手
			
写真の説明	西側、土手	写真の説明	電柱番号173ハ882
			
写真の説明	キュービクル設置候補	写真の説明	
			

調査報告書		調査日	2022/11/24	～	2022/11/25
ため池名：丸尾池					
中山地区；字上松尾419外 面積A=0.16ha 所有者；町					
	調査項目	調査細目	備考		
①	受変電設備	キュービクルスペースあり。 系統連系電柱なし。(150～ 200m程度)			
②	工事用搬入路	工事用搬入路あり。			
③	周辺の状況	森林に囲まれ田園地帯となっ ている。			
④	近隣施設の状況	住家より00m程度離れてい る。			
⑤	被災履歴の状況	特になし。			
⑥	阻害要因	野鳥が僅かに確認された。			
その他特記事項					
パネル設置は、堤体寄りの一部に限定される。					

現場写真

ため池名:丸尾池

		撮影年月日	11月24日
写真の説明	南西からの全景、東に林があります	写真の説明	進入口①、奥の法面の上にため池があります
			
写真の説明	進入口②、一応は入れますが途中新幹線の下を通らないといけないうえ、高さ制限があります。	写真の説明	進入口③、軽トラックなら問題なく入れますが左右溝で幅に不安があります。
			
写真の説明	電柱174ヒ232	写真の説明	
			

調査報告書		調査日	2022/10/19	～	2022/10/20
ため池名：新幸ノ浦池					
中山地区；字幸ノ浦3364他 面積A=0.2ha 所有者；町					
	調査項目	調査細目	備考		
①	受変電設備	キュービクル設置スペース有り。			
②	工事用搬入路	隣接道路有り。			
③	周辺の状況	左岸・右岸共に樹木が覆い、日照時間が少ないと思われる。			
④	近隣施設の状況	住宅街にある。			
⑤	被災履歴の状況	特になし。			
⑥	阻害要因	全般的に樹木に覆われている。			
その他特記事項					
不適地。					

現場写真

ため池名:新幸ノ浦池

		撮影年月日	10月19日
写真の説明	北西からの全景、木々に囲まれています。	写真の説明	北西土手のスペース
			
写真の説明	北西、建物との境界	写真の説明	電柱番号153/673
			
写真の説明	キュービクル設置候補	写真の説明	
			

調査報告書		調査日	2022/11/24	～	2022/11/25
ため池名：笹尾池					
新延地区;字笹尾1076外 面積A=0.20ha 所有者;町/外					
	調査項目	調査細目	備考		
①	受変電設備	キュービクル設置スペースあり。系統連系は大竜池と連携する。			
②	工事用搬入路	大竜池側農道から一部(数10m)借地が必要。			
③	周辺の状況	池全体を森林が囲んでいる。東側西側ともに日照時間が少ないと思われる。			
④	近隣施設の状況	近隣に建物等施設はなし。			
⑤	被災履歴の状況	近年回収されたと思われる。頑丈な擁壁で堤体を形成している。			
⑥	阻害要因	野鳥を確認している。			
その他特記事項					
奥部に高圧鉄塔線がある。池面の他に堤体下流部などフラット部にパネル配置可。大竜池の系統と連携することによりコストを縮減する。					

現場写真

ため池名:笹尾池

		撮影年月日	11月25日
写真の説明	北からの全景、木々に囲まれています	写真の説明	コンクリートに囲まれた人口池となっています
			
写真の説明	池の方から撮影。奥は柵で通れないようになっていますが道が続いています	写真の説明	進入路、先の方に大竜池への道があり茂みを少し整備すれば車で通ることも出来そうです
			
写真の説明	キュービクル設置個所	写真の説明	電柱番号152へ002
			

調査報告書		調査日	2022/11/24	～	2022/11/25
ため池名：上松尾池					
中山地区；字上松尾416外 面積A=0.62ha 所有者；町					
	調査項目	調査細目	備考		
①	受変電設備	キュービクル設置スペースあり。系統連系電柱あり。			
②	工事用搬入路	左岸側に農道がある。			
③	周辺の状況	右岸側、左岸側、奥部を森林が取り囲んでいる。			
④	近隣施設の状況	森林の他、影響の有る住家はなし。			
⑤	被災履歴の状況	特になし。			
⑥	阻害要因	野鳥が確認できる。 近隣施設なし。			
その他特記事項					
左岸側・右岸側・奥部で樹木を確認され、設置スペースは限定的となる。					

現場写真

ため池名:上松尾池

		撮影年月日	10月19日
写真の説明	北東から全景	写真の説明	進入口①、奥の法面の上にため池があります
			
写真の説明	進入口②、入れますが途中新幹線の下を通らないといけいない為、高さに制限があります。	写真の説明	進入口③、軽トラックなら問題なく入れますが左右溝で幅に不安があります。
			
写真の説明	電柱174ヒ232	写真の説明	キュービクル設置スペース
			

調査報告書		調査日	2022/11/24	～	2022/11/25
ため池名：永谷裏池					
永谷地区；字向山303 積A=1.0ha 所有者；町					
面					
	調査項目	調査細目	備考		
①	受変電設備	キュービクル設置スペース有り。系統連系電柱30m程度			
②	工事用搬入路	県道に隣接しており、間口も確保されている。			
③	周辺の状況	池西側に森林が覆っている。東側は水路・県道が有り。			
④	近隣施設の状況	東側に公民館が有る。離れている。			
⑤	被災履歴の状況	特になし。			
⑥	阻害要因	野鳥の糞害の影響を配慮。反射光の影響する住家はない。			
その他特記事項					
西側に樹木が覆っているため控える必要がある。日射量を確保できる。					

現場写真

ため池名:永谷裏池

		撮影年月日	11月25日
写真の説明	南東からの全景	写真の説明	法面、日当たりも良く面積もあります
			
写真の説明	法面②	写真の説明	進入口、県道に面しており分かりやすいです
			
写真の説明	キュービクル設置候補地	写真の説明	番号131へ241、キュービクル候補地から2mと離れていません
			

調査報告書		調査日	2022/11/24	～	2022/11/25
ため池名：大竜池					
新延地区；字大竜1012 面積A=0.25ha 所有者；町					
	調査項目	調査細目	備考		
①	受変電設備	キュービクル設置スペース2箇所あり。系統連系電柱は250mほどある。			
②	工事用搬入路	W=2m～2.5mの農道が堤体右岸部でつながっている。			
③	周辺の状況	池東側、西側、奥部共に森林に接している。			
④	近隣施設の状況	田園地帯にあり、近隣に家屋等なし。西寄りに笹尾池がある。奥部に高圧線が走っている。			
⑤	被災履歴の状況	全体的に老朽化が進んでいる。下流側法面の変形がみられる。			
⑥	阻害要因	自然の中に有り野鳥が棲息している。森林により池際から控える必要あり。			
その他特記事項					
池水の混濁がある。 下流側法面腰フラット部に設置可。 工事用道路となる農道に系統電柱設置可。笹尾池が近隣にあり、系統連系の共有可。					

現場写真

ため池名:大竜池

		撮影年月日	11月25日
写真の説明	北東からの全景	写真の説明	法面
		写真の説明	電柱の側の道から進入して左奥の法面の上に大竜池があります
		写真の説明	キュービクル設置位置② 車で普通に通って来れます
		写真の説明	電柱番号152へ002

調査報告書		調査日	2022/11/24	～	2022/11/25
ため池名：宮ノ谷池					
新延地区；字宮ノ谷722-1外 面積A=1.2ha 所有者；町					
	調査項目	調査細目	備考		
①	受変電設備	キュービクル設置スペース2箇所あり。系統連系電柱は、保育園内が最短。100m程の路上にもあり。			
②	工事用搬入路	道路に隣接して堤頂部に繋がっている。			
③	周辺の状況	田園地帯にある。東側から南東部側にかけて樹木が茂っている。日当たり良好。			
④	近隣施設の状況	法人保育園がる。他に建物はなし。			
⑤	被災履歴の状況	特になし。			
⑥	阻害要因	自然豊かな環境にあり鳥の鳴き声が聞こえる。水鳥を確認。			
その他特記事項					
堤体よりの広い部分は日当たり良好。					

現場写真

ため池名:宮ノ谷池

		撮影年月日	11月25日
写真の説明	西からの全景	写真の説明	法面
			
写真の説明	進入口	写真の説明	近くに保育園があります
			
写真の説明	進入口の左のスペースです	写真の説明	電柱番号152ヒ021 茂みを突っ切る形でキュービクルと繋がります
			

調査報告書		調査日	2022/11/24	～	2022/11/25
ため池名：一ノ谷池					
新延地区;字一ノ谷1608 面積A=0.9ha 所有者:町					
	調査項目	調査細目	備考		
①	受変電設備	キュービクル設置スペース有り。系統連系ルートは2ルート考えられる。			
②	工事用搬入路	200m程度の進入路がある。			
③	周辺の状況	東側及び西側に森林があり、特に東側は高い山となっている。下流側には太陽光発電所が出来ている。			
④	近隣施設の状況	堤体下流側の低い位置に太陽光発電所がある。堤体西側に住家(社屋)が有るが樹木に囲まれており影響はない。			
⑤	被災履歴の状況	特になし。			
⑥	阻害要因	野鳥の糞害の影響を配慮。池奥の方位日照に影響がある。			
その他特記事項					
パネル配置は堤体付近となる。上流側法面上部フラット部に設置可能。					

現場写真

ため池名:一ノ谷池

		撮影年月日	11月25日
写真の説明	北東からの全景	写真の説明	進入口、一本道になっており池まで200mほど
			
写真の説明	北側、法面	写真の説明	キュービクル設置位置
			
写真の説明	電柱番号1327292	写真の説明	
			

3 設置施設・場所・負荷・規模の検討

3-1 導入先となる施設及び場所の選定基準の検討

導入先となる施設及び場所の選定の為、「表 3-1」の選定基準を検討した。また、「2-2 建築物や周辺環境等の確認のための現地調査」の現地調査は、調査対象施設の選定に伴い実施した。

表 3-1 導入先となる施設及び場所の選定基準

導入先	施設及び場所選定基準
公共施設 (※1)	町が電気料金を支払っている施設
	鞍手町公共施設等個別施設計画において、現存率評価C以上の施設
	地球温暖化対策実行計画(事務事業編)の対象となっている施設(移転、廃止等は除く)
	築年数50年未満の施設
公共遊休地	地積が500㎡以上であること
	関連所管課との協議結果により調査対象が可となった場所
ため池	満水や越水の危険性が少ないため池
	工事車両やメンテナンス時にアクセス可能なため池
	町が所有者であること(※2)

※1 公共施設においては、上記選定基準に関わらず、関連所管課との調整により調査対象とする施設や指定管理の施設を含む。

※2 所有者が「堤」と「池敷」に分かれている場合があるため、原則堤と池敷がどちらも町所有のため池を対象とした。

3-2 法令確認の実施

既存建築物の屋上に太陽電池発電設備を設置する際の建築基準法の取扱いについては、「新耐震基準による建築物」もしくは「耐震補強済みの建築物」である必要がある。施設の耐震基準を確認することで法令確認を実施した。耐震基準は 1981 年 6 月に改正された為、旧耐震基準は 1981 年 5 月 31 日までに建築確認申請を行った建物に適用された耐震基準となる。「3-2」ページからの各施設の調査結果に耐震基準を記載した。

②鞍手町総合福祉センター							
建築概要	構造	階数	建築年度	築年数	耐震基準	屋根仕上げ	
	RC造	1	2000	43	新	丸棧瓦棒葺	
発電概要	設置方法	パネル設置後の荷重[kg/㎡]					

図 3-1 耐震基準の確認結果記載場所

3-3 設置施設の建築的視点・構造的視点からの検討

各施設の建築的視点からの設置手法(図 3-2)と、構造的視点からの検討内容を「3-2」ページからの各施設の調査結果にまとめた。

図 3-2 太陽光パネルの設置手法

	陸屋根 コンクリート基礎	陸屋根 乾式基礎(防水アンカー/あと基礎)	陸屋根 乾式基礎(鋼製基礎)	陸屋根 アンカーレス(置き型架台)	折板屋根 ハゼ式用
設置 イメージ					
概要	標準的な工法。新築時や大規模改修時等によく使用される。建築躯体の運搬される為、強度上も優れている。	既築の建物等に設置する際によく使用される工法。アンカーに防水を巻くことで防水を行う。一つ当たりの強度が弱い為、多段設置や高角度には不向き。	既築の建物等に設置する際によく使用される工法。基礎の下部に防水を巻き上げることによって防水を行う。	既築の建物等に設置する際によく使用される工法。架台内部にコンクリート二次製品を置き、その重量で風圧荷重に耐える。設置角度は低角度で固定で、設置高さが高い場合は、設置不可。	折板屋根の場合によく使用される工法。屋根のハゼ部分を金具で挟み込むことにより固定を行う。重量は最も軽量となる。
メリット	強度が強く様々な設置に対して対応可能。	コンクリート養生期間の短縮が可能	コンクリート養生期間の短縮が可能	コンクリート養生期間の短縮が可能	軽量・低コスト
備考	参考重量(大) パネル含む荷重：90kg~250kg/ ㎡程度	参考重量(中) パネル含む荷重：15kg~50kg/㎡程度	参考重量(大) パネル含む荷重：26g~250kg/ ㎡程度	参考重量(小) パネル含む荷重：15kg~30kg/㎡程度	参考重量(小) パネル含む荷重：15kg~30kg/ ㎡程度

①鞍手町浄水場

建築概要	構造	階数	建築年度	築年数	耐震基準	屋根仕上げ
	RC造	2	1979	43	旧	
発電概要	設置方法	パネル設置後の荷重[kg/m ²]				
	陸屋根方式	50				
積載荷重[kg/m ²]	床小梁用	梁柱用	地震用	その他		
	-	-	-	-		
判定	パネル設置後の荷重[kg/m ²]		屋根全体の限度荷重[kg/m ²]		判定	
	30		-		-	

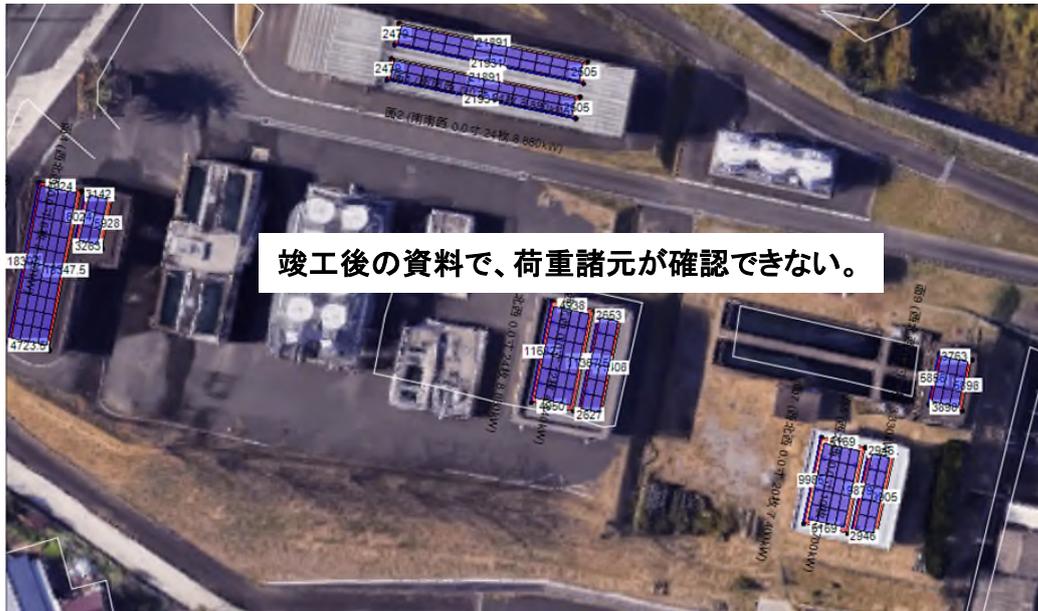


図1: 建物全景

	陸屋根 コンクリート基礎	陸屋根 乾式基礎(防水アンカー/あと基礎)	陸屋根 乾式基礎(鋼製基礎)	陸屋根 アンカーレス(置き型架台)	折板屋根 ハゼ式用
設置イメージ					
概要	標準的な工法。新築時や大規模改修時によく使用される。建築躯体の連結される為、強度上も優れている。	既築の建物等に設置する際によく使用される工法。アンカーに防水を巻き上げることで防水を行う。一つ当たりの強度が弱い為、多段設置や高角度には不向き。	既築の建物等に設置する際によく使用される工法。基礎の下部に防水を巻き上げることで防水を行う。	既築の建物等に設置する際によく使用される工法。架台内部にコンクリート二次製品を置き、その重量で風圧荷重に耐える。設置角度は低角度で固定で、設置高さが高い場合は、設置不可。	折板屋根の場合によく使用される工法。屋根のハゼ部分を金具で挟み込むことにより固定を行う。重量は最も軽量となる。
メリット	強度が強く様々な設置に対応可能。	コンクリート養生期間の短縮が可能	コンクリート養生期間の短縮が可能	コンクリート養生期間の短縮が可能	軽量・低コスト
備考	参考重量 パネル含む荷重: 90kg~250kg/m ² 程度	参考重量 パネル含む荷重: 15kg~50kg/m ² 程度	参考重量 パネル含む荷重: 26g~250kg/m ² 程度	参考重量 パネル含む荷重: 15kg~30kg/m ² 程度	参考重量 パネル含む荷重: 15kg~30kg/m ² 程度

2系浄水池
1系脱臭タンク弁

移動式汚泥乾燥装置

- ①建物の老朽化を考慮し、より荷重の軽いアンカーレス基礎の採用が望ましい
- ②移動式汚泥装置への設置はハゼ式用が望ましい

図2: 太陽光パネル設置方法

②鞍手町総合福祉センター

建築概要	構造	階数	建築年度	築年数	耐震基準	屋根仕上げ
	RC造	1	2000	23	新	丸棧瓦棒葺
発電概要	設置方法	パネル設置後の荷重[kg/m ²]				
	折板屋根方式	15				
積載荷重[kg/m ²]	床小梁用	梁柱用	地震用	その他		
	-	-	-	-		
判定	パネル設置後の荷重[kg/m ²]		屋根全体の限度荷重[kg/m ²]		判定	
	15		-			

竣工後の資料で、荷重諸元が確認できない

図1:構造標準図

4. 地業工事

(1) 直接基礎 ベタ基礎 布基礎 独立基礎 試験地 有 無

深さ GL- m、支持層- 長期許容地耐力度 1/㎡ 載荷試験 有 無

(2) 杭基礎 支持層-GL-2.91m 以深の土砂層

杭種	材料	施工法	備考
<input type="checkbox"/> RC <input type="checkbox"/> PC	PC (□A種 □B種 □C種)	<input type="checkbox"/> 打ち込み <input type="checkbox"/> 埋め込み (セメントミルク工法)	
<input type="checkbox"/> PHC <input type="checkbox"/> H鋼	PHC (■A種 ■B種 □C種)	<input type="checkbox"/> 回転掘削工法、S.T既用 (孤立掘削機+杭用固定液注入方式)	大臣認定 号 年 月 日
<input type="checkbox"/> 鋼管 <input type="checkbox"/> 鋼管杭	鋼管 □SS400 □STK400	<input type="checkbox"/> オールケーシング <input type="checkbox"/> 拡張杭 <input type="checkbox"/> リバースサーキュレーション	拡張杭 日本建築外-認定 号 年 月 日
<input type="checkbox"/> 埋戻し コンクリート杭	コンクリート Fc= セメント量 (g/㎡) 鉄筋 主筋 SD HOOP SD	<input type="checkbox"/> アースドリル <input type="checkbox"/> ミニアース <input type="checkbox"/> 〇H <input type="checkbox"/> 深礎 <input type="checkbox"/> 掘削機	深礎 掘削機 号 年 月 日

図3:支持層

3. 工事種目

《建物別概要》

保健センター棟
構造・規模 鉄骨造 平屋建(準耐火建築物)
建築面積 1,260.00㎡
床面積 1,251.60㎡
最高軒高 地上 6.30m
最高高さ 地上 7.87m
床仕上げ 鉄筋コンクリート造及び躯体鉄骨造
床厚 7.78㎡ 基礎埋深 110.62㎡

管理棟・キョーセルスペース
構造・規模 鉄筋コンクリート造・土間 フォンズによる間壁
フロアー 鉄筋コンクリート造壁による間壁+アルミ扉
窓外構スペース 自噴し壁 鉄筋コンクリート造壁による間壁
L.P.G 鉄筋コンクリート造壁による間壁+小波スレート葺屋根

管理棟
構造・規模 鉄骨造 平屋建(準耐火建築物)
建築面積 1,097.84㎡
床面積 975.14㎡
最高軒高 地上 6.40m
最高高さ 地上 8.07m
床仕上げ 鉄筋コンクリート造壁による間壁

保健センター棟・管理棟間の埋り込み
構造・規模 鉄骨造 平屋建
建築面積 15.00㎡
床面積 15.00㎡
最高軒高 地上 2.88m
最高高さ 地上 3.10m
窓外構スペース 自噴し壁 鉄筋コンクリート造壁による間壁

福祉センター棟(管理棟との接続部及び浴室棟を含む)
構造・規模 鉄骨造及び鉄筋コンクリート造 平屋建(準耐火建築物)
建築面積 1,499.56㎡
床面積 1,489.56㎡
最高軒高 地上 8.24m
最高高さ 地上 9.99m
窓外構スペース 自噴し壁 鉄筋コンクリート造壁による間壁
L.P.G 鉄筋コンクリート造壁による間壁+小波スレート葺屋根

図2:建物別概要

(1) コンクリート

使用箇所	種類	設計基準強度	f _c (N/mm ²)	スランプ(cm)	備考
池+中央基礎・浴室棟全域		Fc = 21 N/mm ²		15	
土間部分		Fc = 18 N/mm ²		15	
浴室棟 階床より上		Fc = 21 N/mm ²		18	

図4:コンクリート設計基準強度

	陸屋根 コンクリート基礎	陸屋根 乾式基礎(防水アンカー/あと基礎)	陸屋根 乾式基礎(鋼製基礎)	陸屋根 アンカーレス(置き型架台)	折板屋根 ハゼ式用
設置イメージ					
概要	標準的な工法。 新築時や大規模改修時等によく 使用される。建築躯体の連結さ れる為、強度上も優れている。	既築の建物等に設置する際によく 使用される工法。アンカーに 防水を巻き上げることで防水を 行う。一つ当たりの強度が弱い 為、多段設置や高角度には不向 き。	既築の建物等に設置する際によく 使用される工法。基礎の下部 に防水を巻き上げることで防水 を行う。	既築の建物等に設置する際によく 使用される工法。架台内部に コンクリート二次製品を置き、 その重量で風圧荷重に耐える。 設置角度は低角度で固定で、 設置高さが高い場合は、設置不 可。	折板屋根の場合によく使用され る工法。屋根のハゼ部分を金具 で挟み込むことにより固定を行 う。 重量は最も軽量となる。
メリット	強度が強く様々な設置に対して 対応可能。	コンクリート養生期間の短縮が 可能	コンクリート養生期間の短縮が 可能	コンクリート養生期間の短縮が 可能	軽量・低コスト
備考	参考重量 パネル含む荷重: 90kg~250kg/ ㎡程度	参考重量 パネル含む荷重: 15kg~50kg/ ㎡程度	参考重量 パネル含む荷重: 26g~250kg/ ㎡程度	参考重量 パネル含む荷重: 15kg~30kg/ ㎡程度	参考重量 パネル含む荷重: 15kg~30kg/ ㎡程度

①管理棟・保健センター・浴室棟共に、ハゼ式用が望ましい

図2:太陽光パネル設置方法

③勤労者ふれあい棟

建築概要	構造	階数	建築年度	築年数	耐震基準	屋根仕上げ
			2002	19	新	
発電概要	設置方法	パネル設置後の荷重[kg/m ²]				
	折板屋根方式	15				
積載荷重[kg/m ²]	床小梁用	梁柱用	地震用	その他		
	-	-	-	-		
判定	パネル設置後の荷重[kg/m ²]	屋根全体の限度荷重[kg/m ²]		判定		
	15	-				

構造設計標準仕様

竣工後の資料で、荷重諸元が確認できない

(4) ポーリング締結実入量、土質構成(高層・鉄骨)の位置を明記すること

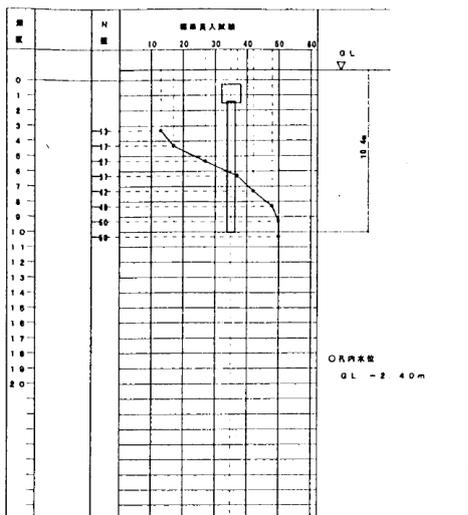


図2: 柱状図

図1: 構造標準図

- (1) 荷重基準 ベタ基礎 内基礎 独立基礎 試験値 有 無
 固定GL- m、支持層- 基礎許容支持力 $2_t/m^2$ 地盤試験 有 無

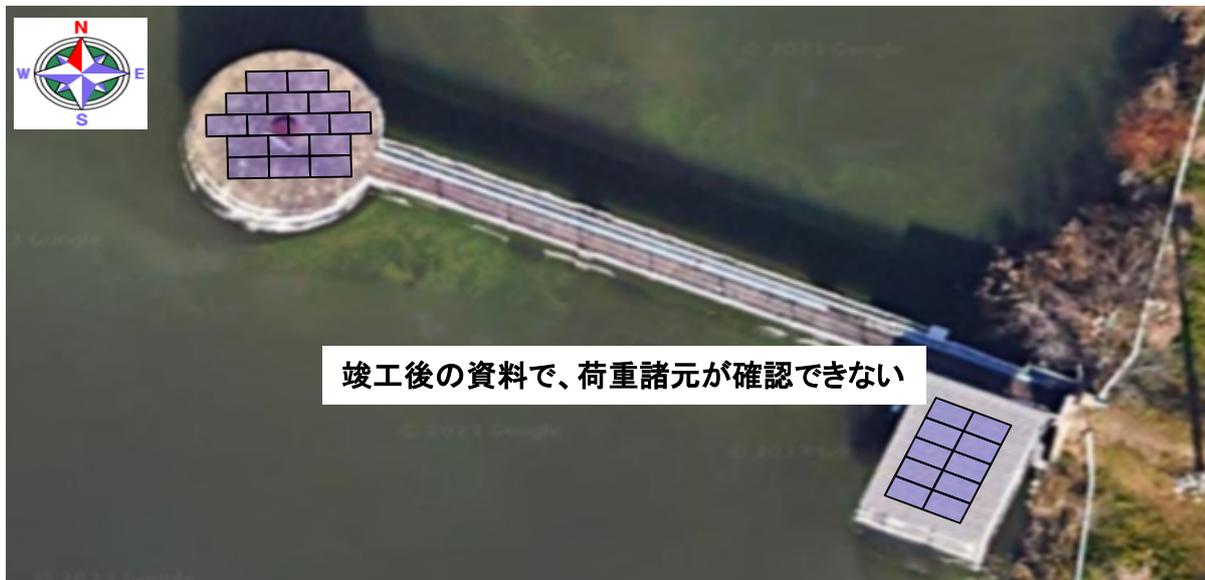
- (2) 新基礎 支持層 $\eta=10.4m$

仕様	材料	施工法	備考
<input type="checkbox"/> RC <input type="checkbox"/> PC <input type="checkbox"/> PHC <input type="checkbox"/> H鋼 <input type="checkbox"/> 鋼管 <input type="checkbox"/> 鋼線鉄 <input type="checkbox"/>	PC (H鋼 <input type="checkbox"/> 鋼管 <input type="checkbox"/> 鋼線鉄) PHC (H鋼 <input type="checkbox"/> 鋼管 <input type="checkbox"/> 鋼線鉄) 鋼材 <input type="checkbox"/> S S 4 0 0 <input type="checkbox"/> S T K 4 0 0 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 打ち込み <input type="checkbox"/> 掘削込み (セメントミルク工法) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	大径認定済 号 年 月 日
<input type="checkbox"/> 場所打ち <input type="checkbox"/> コンクリート鉄	コンクリート 呼び強度 セメント量 kg/m^3 鉄筋 主筋 ϕD HOOP ϕD	<input type="checkbox"/> オールケーシング <input type="checkbox"/> 掘削機 <input type="checkbox"/> リバースサーキュレーション <input type="checkbox"/> アースドリル <input type="checkbox"/> ミニアース <input type="checkbox"/> SH <input type="checkbox"/> 掘削機 <input type="checkbox"/> 外掘削機 <input type="checkbox"/> 掘削機	認定済 日本建築センター認定 号 年 月 日

図3: 支持層

④浮州地ポンプ場(取水塔)

建築概要	構造	階数	建築年度	築年数	耐震基準	屋根仕上げ
	RC造	1	1969	53	旧	-
発電概要	設置方法	パネル設置後の荷重[kg/m ²]				
	折板屋根方式	15				
積載荷重[kg/m ²]	床小梁用	梁柱用	地震用	その他		
	-	-	-	-		
判定	パネル設置後の荷重[kg/m ²]	屋根全体の限度荷重[kg/m ²]		判定		
	15	-				



	陸屋根 コンクリート基礎	陸屋根 乾式基礎(防水アンカー/あと基礎)	陸屋根 乾式基礎(鋼製基礎)	陸屋根 アンカーレス(重き型架台)	折板屋根 ハゼ式用
設置イメージ					
概要	標準的な工法。新築時や大規模改修時等によく使用される。建築躯体の連結される為、強度上も優れている。	既築の建物等に設置する際によく使用される工法。アンカーに防水を巻き上げることで防水を行う。一つ当たりの強度が弱い為、多段設置や高角度には不向き。	既築の建物等に設置する際によく使用される工法。基礎の下部に防水を巻き上げることで防水を行う。	既築の建物等に設置する際によく使用される工法。架台内部にコンクリート二次製品を置き、その重量で風圧荷重に耐える。設置角度は低角度で固定で、設置高さが高い場合は、設置不可。	折板屋根の場合によく使用される工法。屋根のハゼ部分を金具で挟み込むことにより固定を行う。重量は最も軽量となる。
メリット	強度が強く様々な設置に対して対応可能。	コンクリート養生期間の短縮が可能	コンクリート養生期間の短縮が可能	コンクリート養生期間の短縮が可能	軽量・低コスト
備考	参考重量 パネル含む荷重: 90kg~250kg/m ² 程度	参考重量 パネル含む荷重: 15kg~50kg/m ² 程度	参考重量 パネル含む荷重: 26g~250kg/m ² 程度	参考重量 パネル含む荷重: 15kg~30kg/m ² 程度	参考重量 パネル含む荷重: 15kg~30kg/m ² 程度

ポンプ棟
キュービクル置き場

①ポンプ棟・キュービクル置き場共に、ハゼ式用が望ましい

図2: 太陽光パネル設置方法

⑤鞍手町宮葬斎場

建築概要	構造	階数	建築年度	築年数	耐震基準	屋根仕上げ
	RC造	1	1991	30	新	アスファルト
発電概要	設置方法	パネル設置後の荷重[kg/m ²]				
	陸屋根方式	30				
積載荷重[kg/m ²]	床小梁用	梁柱用	地震用	その他		
	-	-	-	-		
判定	パネル設置後の荷重[kg/m ²]		屋根全体の限度荷重[kg/m ²]		判定	
	30		-			

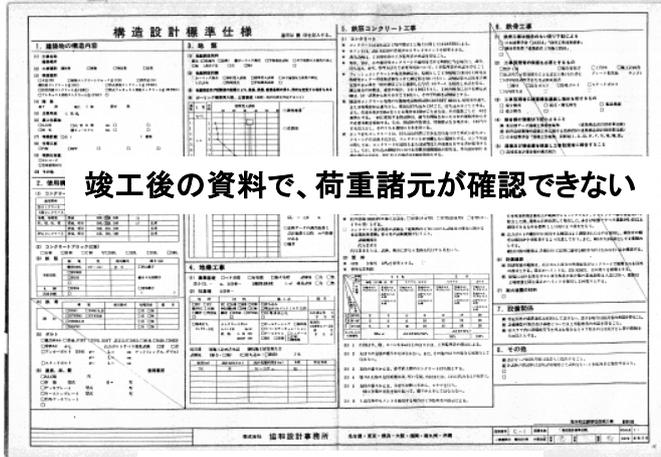


図1: 構造標準図

竣工後の資料で、荷重諸元が確認できない

2. 使用構造材料

(1) コンクリート

適用箇所	種類	設計基準強度 f_c =kg/cm ²	スランプcm	備考
物コンクリート	普通	135, 150		
上階コンクリート	普通	180, 210	15	
基礎、基礎壁	普通	180, 210, 240	18	
柱、梁、床、壁	普通、軽集	180, 210, 240	18	比率
	普通、軽集	180, 210, 240		比率
押えコンクリート	普通、軽集	135, 150, 180		比率

図2: コンクリート設計基準強度

(4) ボーリング標準貫入値、土質構成 (基礎・柱の位置を明記すること)

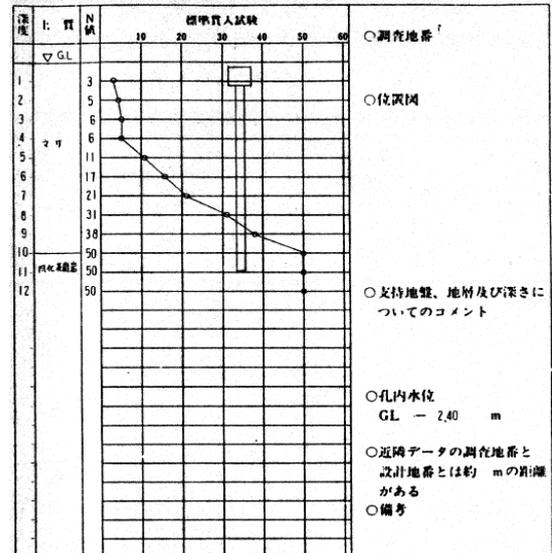


図3: 柱状図

	陸屋根 コンクリート基礎	陸屋根 乾式基礎(防水アンカー/あと基礎)	陸屋根 乾式基礎(鋼製基礎)	陸屋根 アンカーレス(巻き型梁台)	折屋根 ハゼ試用
設置イメージ					
概要	標準的な工法。 新築時や大規模改修時等によく使用される。 建築躯体の連結される為、強度上も優れている。	既築の建物等に設置する際によく使用される工法。アンカーに防水を巻き上げることで防水を行う。 一つ当たりの強度が高い為、多段設置や高角度には不向き。	既築の建物等に設置する際によく使用される工法。基礎の下部に防水を巻き上げることで防水を行う。	既築の建物等に設置する際によく使用される工法。 梁台内部にコンクリート二次製品を置き、その重量で風圧荷重に耐える。 設置角度は低角度で固定。設置高さが高い場合は、設置不可。	折屋根の場合によく使用される工法。 屋根のハゼ部分を金属で挟み込むことにより固定を行う。 重量は最も軽量となる。
メリット	・強度が高く様々な設置に対して対応可能。	・コンクリート養生期間の短縮が可能	・コンクリート養生期間の短縮が可能	・コンクリート養生期間の短縮が可能	・軽量・低コスト
備考	参考重量 パネル重(㎡)質量: 90kg~250kg/㎡程度	参考重量 パネル重(㎡)質量: 15kg~50kg/㎡程度	参考重量 パネル重(㎡)質量: 2.6kg~50kg/㎡程度	参考重量 パネル重(㎡)質量: 15kg~30kg/㎡程度	参考重量 パネル重(㎡)質量: 15kg~30kg/㎡程度

①建物の老朽化を考慮し、より荷重の軽いアンカーレス基礎の採用が望ましい

図2: 太陽光パネル設置方法

⑥文化体育館総合施設(体育館)

建築概要	構造 RC造	階数 1	建築年度 1981	築年数 40	耐震基準 新	屋根仕上げ 不明
発電概要	設置方法 折板屋根方式	パネル設置後の荷重[kg/m ²] 15				
載荷重[kg/	床小梁用	梁柱用	地震用	その他		
	-	-	-	-		
判定	パネル設置後の荷重[kg/m ²] 15		屋根全体の限度荷重[kg/m ²] -		判定	

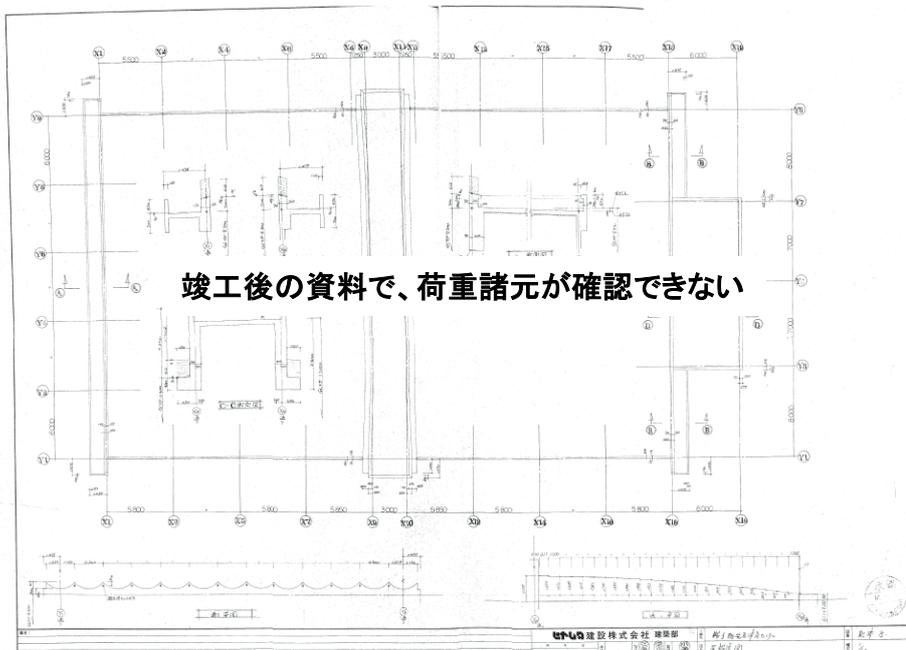


図1:屋根伏せ図

	陸屋根 コンクリート基礎	陸屋根 乾式基礎(防水アンカー/あと基礎)	陸屋根 乾式基礎(鋼製基礎)	陸屋根 アンカーレス(置き型架台)	折板屋根 ハゼ式用
設置イメージ					
概要	標準的な工法。 新築時や大規模改修時等に使用される。 建築躯体の連結される為、強度上も優れている。	既築の建物等に設置する際によく使用される工法。アンカーに防水を巻き上げることで防水を行う。 一つ当たりの強度が弱い為、多段設置や高角度には不向き。	既築の建物等に設置する際によく使用される工法。基礎の下部に防水を巻き上げることで防水を行う。	既築の建物等に設置する際によく使用される工法。 架台内部にコンクリート二次製品を置き、その重量で組立荷重に耐える。 設置角度は低角度で固定で、設置高さが高い場合は、設置不可。	折板屋根の場合によく使用される工法。屋根のハゼ部分を金具で挟み込むことにより固定を行う。 重量は最も軽量となる。
メリット	・強度が強く様々な設置に対して対応可能。	・コンクリート養生期間の短縮が可能。	・コンクリート養生期間の短縮が可能。	・コンクリート養生期間の短縮が可能。	・軽量 ・低コスト
備考	参考重量 パネル含む重量: 90 kg~250 kg/m ² 程度	参考重量 パネル含む重量: 15 kg~50 kg/m ² 程度	参考重量 パネル含む重量: 26 kg~50 kg/m ² 程度	参考重量 パネル含む重量: 15 kg~30 kg/m ² 程度	参考重量 パネル含む重量: 15 kg~30 kg/m ² 程度

①ハゼ式用が望ましい

図2:太陽光パネル設置方法

⑥文化体育館総合施設(鞍手町歴史民俗博物館)

建築概要	構造	階数	建築年度	築年数	耐震基準	屋根仕上げ
	RC造	2	1981	40	新	不明
発電概要	設置方法	パネル設置後の荷重[kg/m ²]				
	折板屋根方式	15				
積載荷重[kg/m ²]	床小梁用	梁柱用	地震用	その他		
	-	-	-	-		
判定	パネル設置後の荷重[kg/m ²]		屋根全体の限度荷重[kg/m ²]		判定	
	15		-			

□設計報告

項目	区分	記号	事項
建設主	住所・氏名 組合		福岡県鞍手郡鞍手町 鞍手町長 豊 知夫
工事名称			鞍手町立歴史民俗資料館新築工事
敷地	地名地番		福岡県鞍手郡鞍手町大字小牧苗原田2097番地
	用途地番		無指定
	防火地番		全上
	その他		新市計画区域内
主要用途			歴史民俗資料館
建物概要	構造		鉄筋コンクリート造 屋根：硬質塩
	敷地の長さ		85.30
面積	敷地面積		2886.16 m ²
	床面積		延床面積 787.79 m ² ※局外作業棟 建坪面積 621.62 m ²
構造			鉄筋コンクリート造 硬質塩 屋根：硬質塩

竣工後の資料で、荷重諸元が確認できない

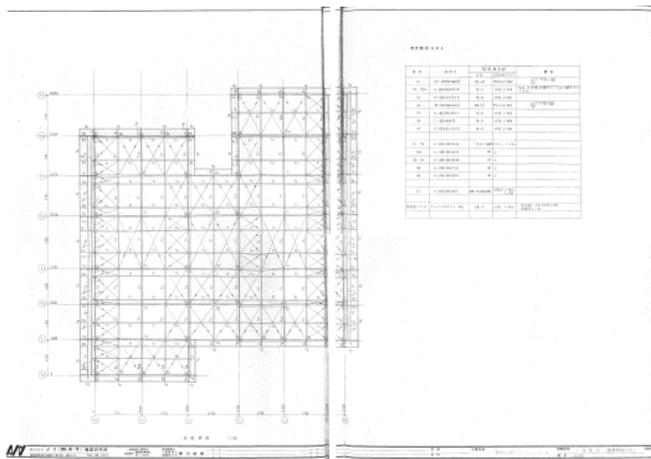


図1: 設計概要

図2: 屋根伏せ図

	陸屋根 コンクリート基礎	陸屋根 乾式基礎(防水アンカー/あと基礎)	陸屋根 乾式基礎(新製基礎)	陸屋根 アンカーレス(置き型梁台)	折板屋根 ハゼ式用
設置イメージ					
概要	標準的な工法。 新築時や大規模改修時等によく使用される。 建築躯体の連結される為、強度上も優れている。	既築の建物等に設置する際によく使用される工法。アンカーに防水を巻き上げることで防水を行う。 一つ当たりの強度が弱い為、多段設置や高角度には不向き。	既築の建物等に設置する際によく使用される工法。基礎の下部に防水を巻き上げることで防水を行う。	既築の建物等に設置する際によく使用される工法。 梁台内部にコンクリート二次製品を置き、その重量で風圧荷重に耐える。 設置角度は低角度で固定で、設置高さが高い場合は、設置不可。	折板屋根の場合によく使用される工法。 屋根のハゼ部分を金具で挟み込むことにより固定を行う。 重量は最も軽量となる。
メリット	・強度が様々な設置に対して対応可能。	・コンクリート養生期間の短縮が可能	・コンクリート養生期間の短縮が可能	・コンクリート養生期間の短縮が可能	・軽量 ・低コスト
備考	参考重量 パネル含むm ² 積重：90kg~250kg/m ² 程度	参考重量 パネル含むm ² 積重：15kg~50kg/m ² 程度	参考重量 パネル含むm ² 積重：26kg~50kg/m ² 程度	参考重量 パネル含むm ² 積重：15kg~30kg/m ² 程度	参考重量 パネル含むm ² 積重：15kg~30kg/m ² 程度

①ハゼ式用が望ましい

図3: 太陽光パネル設置方法

⑦鞍手中学校

建築概要	構造	階数	建築年度	築年数	耐震基準	屋根仕上げ
	SRC造	2	2015	8	新	不明
発電概要	設置方法	パネル設置後の荷重[kg/m ²]				
	陸屋根方式	30				
積載荷重[kg/m ²]	床小梁用	梁柱用	地震用	その他		
	-	-	-	-		
判定	パネル設置後の荷重[kg/m ²]	屋根全体の限度荷重[kg/m ²]			判定	
	30	-				

図1: 構造標準図

§ 5. 鉄筋コンクリート工事

① コンクリート

- 計画供用期間の級
- 短期供用級(30年)
 - 標準供用級(65年)
 - 長期供用級(100年)
 - 超長期供用級(200年)

採用記号	種類	使用箇所	N/mm ²			比量	スラブ
			Fc	Fd	Fq		
● a	普通	基礎	24	24	24	23	15()
● b	普通	上記以外	24	24	24	23	18()
○ c	普通						()
○ d	軽量() 種						()
○ e	軽量() 種						()
○ f	普通	土間					()
● g	普通	防水押え	18			23	15()
○ h							()
○ i							()

Fc: 設計基準強度 Fd: 耐久設計基準強度 Fq: 品質基準強度
() 内のスラブは、ベーススラブを示す。

図2: コンクリート設計基準強度

	陸屋根 コンクリート基礎	陸屋根 乾式基礎(防水アンカー/あと基礎)	陸屋根 乾式基礎(網製基礎)	陸屋根 アンカーレス(置き型架台)	折形屋根 ハゼ式用
設置イメージ					
概要	標準的な工法。新築時や大規模改修時等によく使用される。建築躯体の連結される為、強度上も優れている。	既製の建物等に設置する際によく使用される工法。アンカーに防水を巻き上げることで防水を行う。一つ当たりの強度が弱い為、多段設置や高角度には不向き。	既製の建物等に設置する際によく使用される工法。基礎の下部に防水を巻き上げることで防水を行う。	既製の建物等に設置する際によく使用される工法。架台内部にコンクリート二次製品を置き、その重量で耐圧強度を創成。設置角度は低角度で固定で、設置高さが低い場合は、設置不可。	折形屋根の場合によく使用される工法。屋根のハゼ部分を金属で挟み込むことにより固定を行う。重量は最も軽量となる。
メリット	・強度が高く様々な設置に対して対応可能。	・コンクリート養生期間の短縮が可能	・コンクリート養生期間の短縮が可能	・コンクリート養生期間の短縮が可能	・軽量・低コスト
備考	参考重量 パネル含む㎡積重: 90kg~250kg/㎡程度	参考重量 パネル含む㎡積重: 15kg~50kg/㎡程度	参考重量 パネル含む㎡積重: 26kg~50kg/㎡程度	参考重量 パネル含む㎡積重: 15kg~30kg/㎡程度	参考重量 パネル含む㎡積重: 15kg~30kg/㎡程度

①建物の老朽化を考慮し、別棟は荷重の軽いアンカーレス基礎の採用が望ましい

図3: 太陽光パネル設置方法

⑧剣南小学校

建築概要	構造	階数	建築年度	築年数	耐震基準	屋根仕上げ
	RC造	3	1976	47	旧	不明
発電概要	設置方法	パネル設置後の荷重[kg/m ²]				
	陸屋根方式	30				
積載荷重[kg/m ²]	床小梁用	梁柱用	地震用	その他		
	-	-	-	-		
判定	パネル設置後の荷重[kg/m ²]		屋根全体の限度荷重[kg/m ²]		判定	
	30		-			



竣工後の資料で、荷重諸元が確認できない

図1: 構造標準図

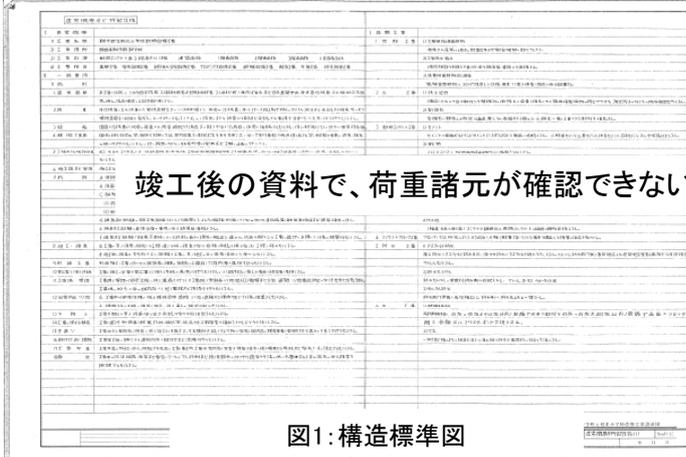
	陸屋根 コンクリート基礎	陸屋根 乾式基礎(防水アンカー/あと基礎)	陸屋根 乾式基礎(鋼製基礎)	陸屋根 アンカーレス(置き型架台)	折板屋根 ハゼ式用
設置イメージ					
概要	標準的な工法。 新築時や大規模改修時等に使用される。 建築躯体の連結される為、強度上も優れている。	既築の建物等に設置する際によく使用される工法。アンカーに防水を巻き上げることで防水を行う。 一つ当たりの強度が強い為、多段設置や高角度には不向き。	既築の建物等に設置する際によく使用される工法。基礎の下部に防水を巻き上げることで防水を行う。	既築の建物等に設置する際によく使用される工法。 架台内部にコンクリート二次製品を置き、その重量で風圧荷重に耐える。 設置角度は低角度で固定で、設置高さが高い場合は、設置不可。	折板屋根の場合によく使用される工法。 屋根のハゼ部分を金具で挟み込むことにより固定を行う。 重量は最も軽量となる。
メリット	・強度が強く様々な設置に対して対応可能。	・コンクリート養生期間の短縮が可能	・コンクリート養生期間の短縮が可能	・コンクリート養生期間の短縮が可能	・軽量 ・低コスト
備考	参考重量 パネル自重の積重：90kg～250kg/m ² /程度	参考重量 パネル自重の積重：15kg～50kg/m ² /程度	参考重量 パネル自重の積重：26kg～50kg/m ² /程度	参考重量 パネル自重の積重：15kg～30kg/m ² /程度	参考重量 パネル自重の積重：15kg～30kg/m ² /程度

①建物の老朽化を考慮し、より荷重の軽いアンカーレス基礎の採用が望ましい

図2: 太陽光パネル設置方法

⑨ 剣北小学校

建築概要	構造	階数	建築年度	築年数	耐震基準	屋根仕上げ
	RC造	3	1980	43	旧	不明
発電概要	設置方法	パネル設置後の荷重[kg/m ²]				
	陸屋根方式	30				
積載荷重[kg/m ²]	床小梁用	梁柱用	地震用	その他		
	-	-	-	-		
判定	パネル設置後の荷重[kg/m ²]		屋根全体の限度荷重[kg/m ²]		判定	
	30		-			



竣工後の資料で、荷重諸元が確認できない。

図1: 構造標準図

1) セメント	セメントハ普通ポルトランドセメントJIS R 5201ラ製品ハ石炭ペースト、小野田セメント、三友セメント、住友セメント、日本セメント、スハ全商品以上トフル。
2) 骨材	JIS G 3112 (- 前材基準用圧縮強度) 規定メルトフル。
3) コンクリート配合	設計基準強度 (28日圧縮強度) $f_c = 210 \text{ kg/cm}^2$ カセ工法用ハB種トラ、同合用強度 (28日圧縮強度) $f_c = 215 \text{ kg/cm}^2$ トフル。
4) 所準スラン	現場地中采 (15cm) 床用及屋根用 (15cm) 用及骨材 (10~21cm) トラセメントハ65%以上、骨材用25%以上トフル。但シモ骨材用スラン混合ハ20cm以上トフル。骨材等、水分0.04%以上含骨材については、補正する事。

図2: コンクリート設計基準強度

	屋根構造 コンクリート基礎	屋根構造 軟式基礎 (防水アンカー/あと基礎)	屋根構造 軟式基礎 (網製基礎)	屋根構造 アンカーレス (置き型基礎)	折板屋根 ハセ式用
設置イメージ					
概要	標準的な工法。新築時や大規模改修時等に使用される。建築躯体の連結される為、強度上も優れている。	既築の建物等に設置する際によく使用される工法。アンカーに防水を巻き上げることでの防水を行う。一つ当たりの強度が弱い為、多段設置や高角度には不向き。	既築の建物等に設置する際によく使用される工法。基礎の下部に防水を巻き上げることでの防水を行う。	既築の建物等に設置する際によく使用される工法。台内部にコンクリート二次製品を置き、その重量で風圧荷重に耐える。設置角度は低角度で固定で、設置高さが高い場合は、設置不可。	折板屋根の場合によく使用される工法。屋根のハセ部分を金具で挟み込むことによる固定を行う。重量は最も軽量となる。
メリット	・強度が強く様々な設置に対して対応可能。	・コンクリート養生期間の短縮が可能	・コンクリート養生期間の短縮が可能	・コンクリート養生期間の短縮が可能	・軽量 ・低コスト
備考	参考重量 パネル含Cm1重量: 90 kg ~ 250 kg/m ² 程度	参考重量 パネル含Cm1重量: 15 kg ~ 50 kg/m ² 程度	参考重量 パネル含Cm1重量: 26 kg ~ 50 kg/m ² 程度	参考重量 パネル含Cm1重量: 15 kg ~ 30 kg/m ² 程度	参考重量 パネル含Cm1重量: 15 kg ~ 30 kg/m ² 程度

① 建物の老朽化を考慮し、より荷重の軽いアンカーレス基礎の採用が望ましい

図3: 太陽光パネル設置方法

⑩古月小学校						
建築概要	構造	階数	建築年度	築年数	耐震基準	屋根仕上げ
	RC造	3	1974	48	旧	不明
発電概要	設置方法	パネル設置後の荷重[kg/m ²]				
	陸屋根方式	30				
積載荷重[kg/m ²]	床小梁用	梁柱用	地震用	その他		
	-	-	-	-		
判定	パネル設置後の荷重[kg/m ²]		屋根全体の限度荷重[kg/m ²]		判定	
	30		-			

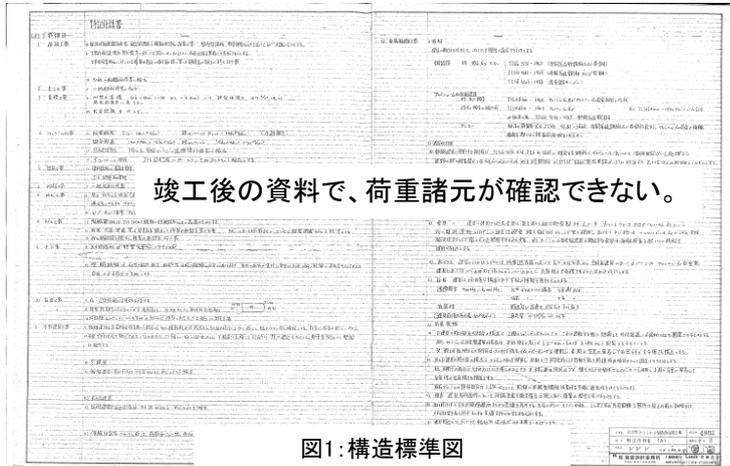


図1: 構造標準図

4. コンクリート工事	① 所要強度 $F_{cd} = 180 \text{ kg/cm}^2$	接コンクリート $F_{cd} = 135 \text{ kg/cm}^2$	(A) 通強
	② 混合強度 $180 + 20 = 200 \text{ kg/cm}^2$	接コンクリート $135 + 20 = 155 \text{ kg/cm}^2$	
	③ 日積強	135以上、強度コンクリートの造作導化措置に依る	
	④ 土留め上、使用	135以上、強度コンクリートに依る	

図2: コンクリート設計基準強度

	陸屋根 コンクリート基礎	陸屋根 鉄骨基礎(鉄骨アンカー/あと基礎)	陸屋根 鉄骨基礎(鋼管基礎)	陸屋根 アンカーレス(置き型架台)	折板屋根 ハゼ式用
設置イメージ					
概要	標準的な工法。 新築時や大規模改修時によく使用される。 建築躯体の連結される為、強度上も優れている。	鉄筋の建物等に設置する際によく使用される工法。アンカーに防水を巻き上げることで防水を行う。 一つ当たりの強度が高い為、多段設置や高角度には不向き。	鉄筋の建物等に設置する際によく使用される工法。基礎の下部に防水を巻き上げることで防水を行う。	鉄筋の建物等に設置する際によく使用される工法。 2台内部にコンクリート二次製品を置き、その重量で風圧荷重に耐える。 設置角度は低角度で固定で、設置高さが高場合は、設置不可。	折板屋根の場合によく使用される工法。 屋根の1/4部分を金具で挟み込むことにより固定を行う。 重量は最も軽量となる。
メリット	・強度が高く様々な設置に対して対応可能	・コンクリート養生期間の短縮が可能	・コンクリート養生期間の短縮が可能	・コンクリート養生期間の短縮が可能	・軽量 → 低コスト
備考	参考重量 1/坪(含む)重量: 90kg ~ 250kg/坪程度	参考重量 1/坪(含む)重量: 15kg ~ 50kg/坪程度	参考重量 1/坪(含む)重量: 20kg ~ 50kg/坪程度	参考重量 1/坪(含む)重量: 15kg ~ 30kg/坪程度	参考重量 1/坪(含む)重量: 15kg ~ 30kg/坪程度

①建物の老朽化を考慮し、より荷重の軽いアンカーレス基礎の採用が望ましい

図3: 太陽光パネル設置方法

①西川小学校

建築概要	構造	階数	建築年度	築年数	耐震基準	屋根仕上げ
	RC造	2	1992	30	新	不明
発電概要	設置方法	パネル設置後の荷重[kg/m ²]				
	陸屋根方式	30				
積載荷重[kg/m ²]	床小梁用	梁柱用	地震用	その他		
	-	-	-	-		
判定	パネル設置後の荷重[kg/m ²]	屋根全体の限度荷重[kg/m ²]		判定		
	30	-				



竣工後の資料で、荷重諸元が確認できない。

2. 使用構造材料

(1) コンクリート

適用箇所	種類	設計基準強度kg/cm ²	スラブcm	備考
コンクリート	普通	Fc=135, (150)	15	
土間コンクリート	普通	Fc=(180) 210	18	
基礎、基礎梁	普通	Fc=180, (210)	18	
柱、梁、床、壁	(普通) 軽量	Fc=180, (210)	18	
	普通、軽量	Fc=180, 210		
押えコンクリート	普通、軽量	Fc=(135) 150, 180	15	

図1: 構造標準図

図2: コンクリート設計基準強度

	陸屋根 コンクリート基礎	陸屋根 乾式基礎(防水アンカー/あと基礎)	陸屋根 乾式基礎(鋼製基礎)	陸屋根 アンカーレス(置き型架台)	折屋根 ハゼ式用
設置イメージ					
概要	標準的な工法。新設時や大規模改修時等によく使用される。建築躯体の連結される為、強度上も優れている。	既築の建物等に設置する際によく使用される工法。アンカーに防水を巻き上げることによって防水を行う。一つ当たりの強度が弱い為、多段設置や高角度には不向き。	既築の建物等に設置する際によく使用される工法。基礎の下部に防水を巻き上げることによって防水を行う。	既築の建物等に設置する際によく使用される工法。架台内部にコンクリート二次製品を置き、その層で風圧降重に耐える。設置角度は低角度で固定で、設置高さが高い場合は、設置不可。	折屋根の場合によく使用される工法。屋根のハゼ部分を金具で挟み込むことにより固定を行う。重量は最も軽くなる。
メリット	・強度が高く様々な設置に対して対応可能。	・コンクリート養生期間の短縮が可能	・コンクリート養生期間の短縮が可能	・コンクリート養生期間の短縮が可能	・軽量 ・低コスト
備考	参考重量 パネル自重: 90kg~250kg/m ² 程度	参考重量 パネル自重: 15kg~50kg/m ² 程度	参考重量 パネル自重: 26kg~50kg/m ² 程度	参考重量 パネル自重: 15kg~30kg/m ² 程度	参考重量 パネル自重: 15kg~30kg/m ² 程度

①建物の老朽化を考慮し、より荷重の軽いアンカーレス基礎の採用が望ましい

図3: 太陽光パネル設置方法

⑫新延小学校

建築概要	構造	階数	建築年度	築年数	耐震基準	屋根仕上げ
	RC造	3	1978	44	旧	
発電概要	設置方法	パネル設置後の荷重[kg/m ²]				
	陸屋根方式	30				
積載荷重[kg/m ²]	床小梁用	梁柱用	地震用	その他		
	-	-	-	-		
判定	パネル設置後の荷重[kg/m ²]	屋根全体の限度荷重[kg/m ²]		判定		
	30	-				

	陸屋根 コンクリート基礎	陸屋根 乾式基礎(防水アンカー/おと基礎)	陸屋根 乾式基礎(併置基礎)	陸屋根 アンカーレス(置き型架台)	折板屋根 ハゼ式用
設置イメージ					
概要	標準的な工法。 新築時や大規模改修時等によく使用される。 建築躯体の連結される為、強度上も優れている。	既築の建物等に設置する際によく使用される工法。アンカーに防水を巻き上げることで防水を行う。 一つ当たりの強度が弱い為、多段設置や高角度には不向き。	既築の建物等に設置する際によく使用される工法。基礎の下部に防水を巻き上げることで防水を行う。	既築の建物等に設置する際によく使用される工法。 柱内部にコンクリート二次製品を置き、その重量で固定荷重に耐える。 設置角度は低角度で固定で、設置向きが狭い場合は、設置不可。	折板屋根の場合によく使用される工法。 屋根のハゼ部分を金具で挟み込むことにより固定を行う。 重量は最も軽量となる。
メリット	・強度が強く様々な設置に対して対応可能。	・コンクリート養生期間の短縮が可能	・コンクリート養生期間の短縮が可能	・コンクリート養生期間の短縮が可能	・軽量 ・低コスト
備考	参考重量 パネル含む自重：90kg/m ² ～250kg/m ² 程度	参考重量 パネル含む自重：15kg/m ² ～50kg/m ² 程度	参考重量 パネル含む自重：26kg/m ² ～50kg/m ² 程度	参考重量 パネル含む自重：15kg/m ² ～30kg/m ² 程度	参考重量 パネル含む自重：15kg/m ² ～30kg/m ² 程度

①建物の老朽化を考慮し、より荷重の軽いアンカーレス基礎の採用が望ましい

図1: 太陽光パネル設置方法

⑬室木小学校

建築概要	構造	階数	建築年度	築年数	耐震基準	屋根仕上げ
	RC造	3	1981	41	新	不明
発電概要	設置方法	パネル設置後の荷重[kg/m ²]				
	陸屋根方式	30				
積載荷重[kg/m ²]	床小梁用	梁柱用	地震用	その他		
	-	-	-	-		
判定	パネル設置後の荷重[kg/m ²]	屋根全体の限度荷重[kg/m ²]		判定		
	30	-				

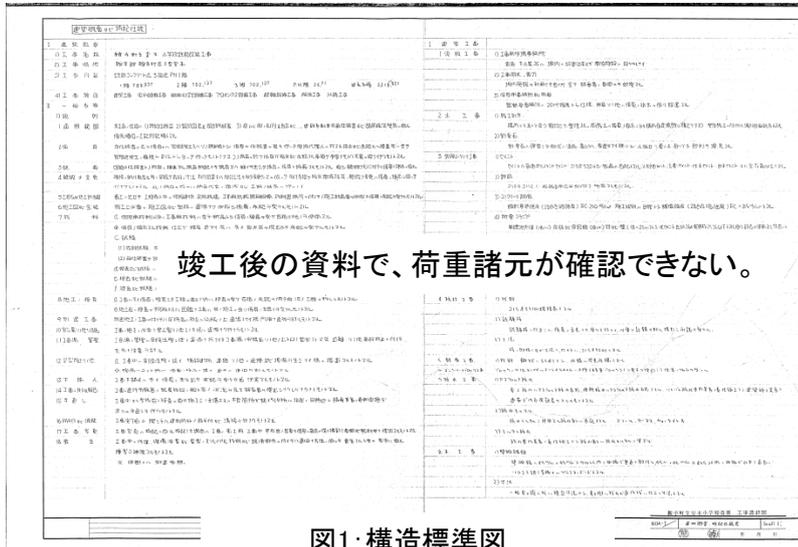


図1: 構造標準図

- 1) コンクリート
コンクリートの強度は JIS S 5013 に規定される。商品名「右記」のコンクリートを使用し、住居用コンクリート、日本コンクリート協会全規格に準拠する。
- 2) 鉄筋
JIS S 5112 (一般用途用圧延鉄筋) 規定に準拠する。
- 3) コンクリート配合
設計基準強度 (28日圧縮強度) FC = 21.0 N/mm²。施工別別 A、B 種は、総合強度 (28日圧縮強度) FC = 21.5 N/mm² とし、
- 4) 引張スラブ
基礎地中深 (18cm) 及び筋コンクリート柱の壁 (18cm) 柱の壁 (18~21cm) のコンクリートは、圧縮強度 25% の引張スラブに併せて使用される場合、20cm 以下とし、荷重等は一層のみ。

図2: コンクリート設計基準強度

	基礎種 コンクリート基礎	基礎種 乾式基礎 (防水アンカー/あと基礎)	基礎種 乾式基礎 (新設基礎)	基礎種 アンカーレス (新設架台)	基礎種 折板屋根 ハセ式用
設置イメージ					
概要	標準的な工法。 新設時や規模改修時等に多く使用される。 建築躯体の連結される為、強度上も優れている。	既築の建物等に設置する際によく使用される工法。アンカーに防水を巻き上げることで防水を行う。 一つ当たりの強度が弱い為、多段設置や高角度には不向き。	既築の建物等に設置する際によく使用される工法。基礎の下部に防水を巻き上げることで防水を行う。	既築の建物等に設置する際によく使用される工法。 架台内部にコンクリート二次製品を置き、その重量で風圧荷重に耐える。 設置角度は低角度で固定で、設置高さが高場合は、設置不可。	折板屋根の場合によく使用される工法。 架台のハセ部分を金具で挟み込むことにより固定を行う。 重量は最も軽量となる。
メリット	強度が強く様々な設置に対して対応可能。	・コンクリート養生期間の短縮が可能	・コンクリート養生期間の短縮が可能	・コンクリート養生期間の短縮が可能	・軽量 ・低コスト
備考	参考重量 バネル重り材重量: 90kg ~ 250kg/m ² 程度	参考重量 バネル重り材重量: 15kg ~ 50kg/m ² 程度	参考重量 バネル重り材重量: 26kg ~ 50kg/m ² 程度	参考重量 バネル重り材重量: 15kg ~ 30kg/m ² 程度	参考重量 バネル重り材重量: 15kg ~ 30kg/m ² 程度

①建物の老朽化を考慮し、より荷重の軽いアンカーレス基礎の採用が望ましい

図3: 太陽光パネル設置方法

⑭鞍手駅舎						
建築概要	構造	階数	建築年度	築年数	耐震基準	屋根仕上げ
	RC造	1	1987	35	新	不明
発電概要	設置方法	パネル設置後の荷重[kg/m ²]				
	折板屋根方式	15				
載荷重[kg/	床小梁用	梁柱用	地震用	その他		
判定	パネル設置後の荷重[kg/m ²]		屋根全体の限度荷重[kg/m ²]		判定	
	15					

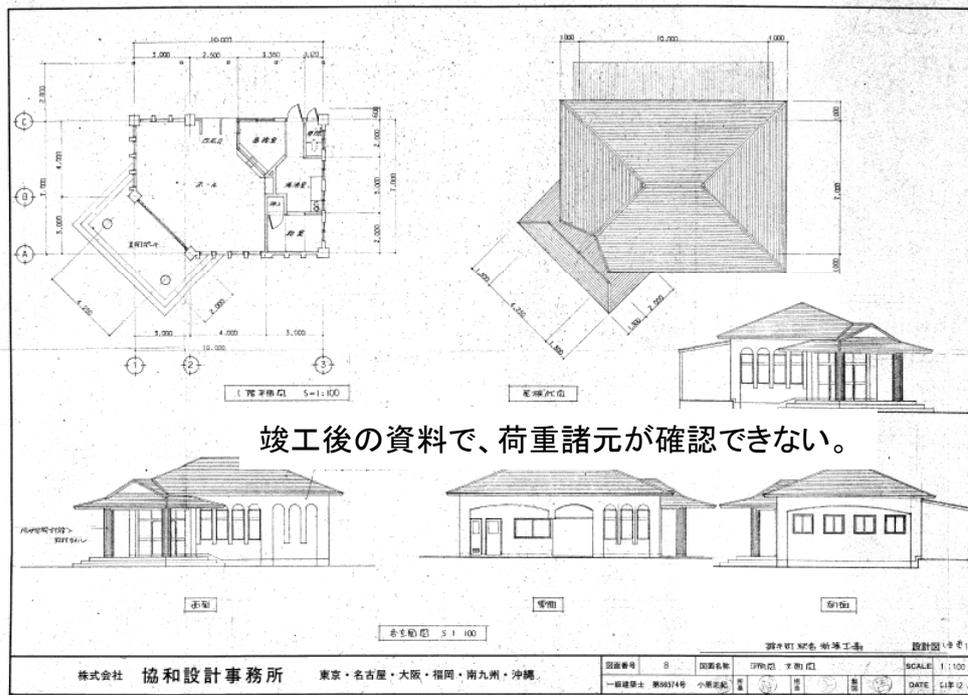


図1:設計図

	降屋根 コンクリート基礎	降屋根 乾式基礎(粘水アンカー/あと基礎)	降屋根 乾式基礎(網製基礎)	降屋根 アンカーレス(置き型架台)	折板屋根 ハゼ式用
設置イメージ					
概要	標準的な工法。 新築時や大規模改修時等によく使用される。 建築躯体の連結される為、強度上も優れている。	既設の建物等に設置する際によく使用される工法。アンカーに防水を巻き上げることによって防水を行う。 一つ当たりの強度が弱い為、多段設置や高角度には不向き。	既設の建物等に設置する際によく使用される工法。基礎の下部に防水を巻き上げることによって防水を行う。	既設の建物等に設置する際によく使用される工法。 架台内部にコンクリート二次製品を置き、その重量で風圧荷重に耐える。 設置角度は低角度で固定で、設置高さが低い場合は、設置不可。	折板屋根の場合によく使用される工法。 屋根のハゼ部分を金具で挟み込むことにより固定を行う。 重量は最も軽量となる。
メリット	・強度が強く様々な設置に対して対応可能。	・コンクリート養生期間の短縮が可能	・コンクリート養生期間の短縮が可能	・コンクリート養生期間の短縮が可能	・軽量 ・低コスト
備考	参考重量 パネル含むり荷重: 90 kg ~ 250 kg / m ² 程度	参考重量 パネル含むり荷重: 15 kg ~ 50 kg / m ² 程度	参考重量 パネル含むり荷重: 26 kg ~ 50 kg / m ² 程度	参考重量 パネル含むり荷重: 15 kg ~ 30 kg / m ² 程度	参考重量 パネル含むり荷重: 15 kg ~ 30 kg / m ² 程度

①ハゼ式用が望ましい

図2:太陽光パネル設置方法

⑩幸ノ浦団地改良住宅 浄化槽

建築概要	構造	階数	建築年度	築年数	耐震基準	屋根仕上げ
	RC造	1	2003	20	新	不明
発電概要	設置方法	パネル設置後の荷重[kg/m ²]				
	折板屋根方式	15				
積載荷重[kg/m ²]	床小梁用	梁柱用	地震用	その他		
	-	-	-	-		
判定	パネル設置後の荷重[kg/m ²]		屋根全体の限度荷重[kg/m ²]		判定	
	15		-			

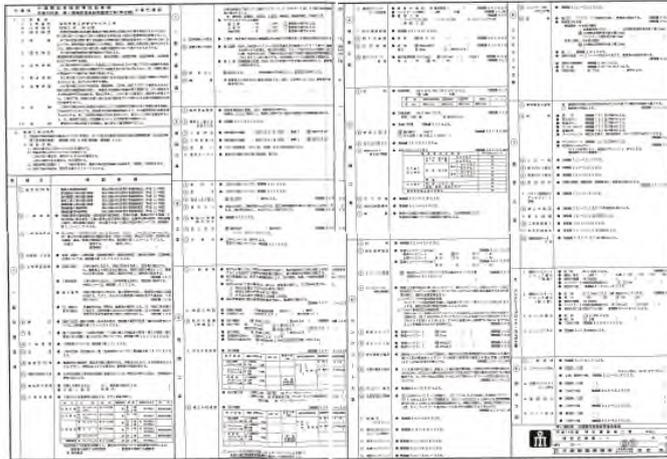


図1: 構造標準図

① 材	料	● 建築編 6.2.1~6.2.4 による。	
② 設計基準強度		● 普通コンクリート(N/mm ²)	(建築編 6.3.1・6.4.2)
		● 躯体コンクリート	・ 18 ⊗ 21 ・ 22.5 ・ 24
		● 土間コンクリート	※ 18 ⊙ 21 ・ 22.5 ・ 24
		● 軽量コンクリート(N/mm ²)	(建築編 6.8.1・6.8.6)
			※ 18 ・ 21 ・ 22.5 ・ 24

図2: コンクリート設計基準強度

	陸屋根 コンクリート基礎	陸屋根 乾式基礎(防水アンカー/あと基礎)	陸屋根 乾式基礎(併製基礎)	陸屋根 アンカーレス(置き型架台)	折板屋根 ハゼ式用
設置イメージ					
概要	標準的な工法。新築時や大規模改修時等によく使用される。建築躯体の連結される為、強度上も優れている。	既築の建物等に設置する際によく使用される工法。アンカーに防水を巻き上げることで防水を行う。一つ当たりの強度が弱い為、多段設置や高角度には不向き。	既築の建物等に設置する際によく使用される工法。基礎の下部に防水を巻き上げることで防水を行う。	既築の建物等に設置する際によく使用される工法。架台内部にコンクリート二次製品を置き、その重量で風圧荷重に耐える。設置角度は低角度で固定。設置向きが高い場合は、設置不可。	折板屋根の場合によく使用される工法。屋根のハゼ部分を金具で挟み込むことにより固定を行う。重量は最も軽量となる。
メリット	・ 強度が強く様々な設置に対して対応可能。	・ コンクリート養生期間の短縮が可能	・ コンクリート養生期間の短縮が可能	・ コンクリート養生期間の短縮が可能	・ 軽量 ・ 低コスト
備考	参考重量 パネル含む自重: 90kg~250kg/m ² 程度	参考重量 パネル含む自重: 15kg~50kg/m ² 程度	参考重量 パネル含む自重: 26kg~50kg/m ² 程度	参考重量 パネル含む自重: 15kg~30kg/m ² 程度	参考重量 パネル含む自重: 15kg~30kg/m ² 程度

①ハゼ式用が望ましい

図3: 太陽光パネル設置方法

3-4 導入先となる施設及び場所の検討

3-1～3-3に基づく調査の結果、下記の施設を導入先となる施設として選定した。

表 3-2 導入先となる公共施設

NO	施設名	所在地	延床面積
1	鞍手町浄水場	大字中山3024番地	149
2	鞍手町総合福祉センター	大字新延414-1	2,227
3	勤労者ふれあい棟		1,496
4	浮州池ポンプ場(取水塔)	大字木月	—
5	鞍手町営葬斎場	大字中山3397	1,279
6	文化体育総合施設	大字小牧2105	5,452
7	鞍手中学校	大字小牧2122-1	14,366
8	剣南小学校	大字中山2213-1	3,395
9	剣北小学校	大字中山3266	3,083
10	古月小学校	大字木月1149	2,766
11	西川小学校	大字新北1081	2,750
12	新延小学校	大字新延1511	3,251
13	室木小学校	大字室木1290	2,142
14	鞍手駅舎	大字小牧573	129
15	舟川町営住宅 浄化槽	新延6番11	—
16	室木町営住宅 浄化槽	室木785番1	—
17	泉水団地改良住宅 浄化槽	新延1240番地1、1292番地1	—
18	幸ノ浦団地改良住宅 浄化槽	八尋1529番地1、八尋1610番地1	—

表 3-3 導入先となる公共遊休地

番号	遊休地名称	住所	面積(m ³)
1	八尋草場	八尋草場1638-1	2,893
2	旧古月保育所跡地	木月字片原1346-1	1,529
3	藤郷用地	小牧字大池2435-1	2,513
4	猪倉用地	猪倉字広狭432	2,091
5	旧鞍手町土地開発公社所有地	上木月字沼550	2,391
6	中山重見用地	中山字重見155番25	1,442
7	京ノ上旧整備公団用地	中山字濁り828-2	1,139

表 3-4 導入先となるため池

番号	ため池名称	住所	満水面積(m ³)
1	西の原池	大字長谷字西の原859	7,000
2	丸尾池	大字中山字上松尾419 外	1,600
3	新幸ノ浦池	大字中山字幸ノ浦3364 外	3,000
4	笹尾池	大字新延字笹尾1076 外	2,000
5	上松尾池	大字中山字上松尾416 外	6,200
6	永谷裏池	大字永谷字向山303	10,000
7	大竜池	大字新延字大竜1012	2,500
8	宮ノ谷池	大字新延字宮ノ谷722-1 外	12,000
9	一ノ谷池	大字新延字一ノ谷1608	7,400

4. 発電量及び日射量等の調査、検討

4-1 公共施設

公共施設の太陽光発電導入検討地の位置図を図4-1に示す。また、導入検討対象施設の調査・検討結果を次ページ以降(2/4～23/4)に示す。公共施設の太陽光パネルは「370W/枚」を前提として検討を実施した。発電量は下記式を用いて算出した。

発電量算出式：発電量(kWh)=日射量(kWh/m²)×発電出力(kW)

日射量は NEDO 日射量データベース閲覧システムの値を引用し、時間毎の発電量を算出した。検討結果には季節別・時間毎の発電量と施設の需要の結果を示した。不足(kWh)、余剰(kWh)は、時間帯別に発電量と需要量を比較して算出した値を示している。需要量の合計値が発電量を上回っているにもかかわらず余剰電力が発生しているのは、時間帯や曜日によって発電量が需要量を上回っている瞬間が生じている為である。

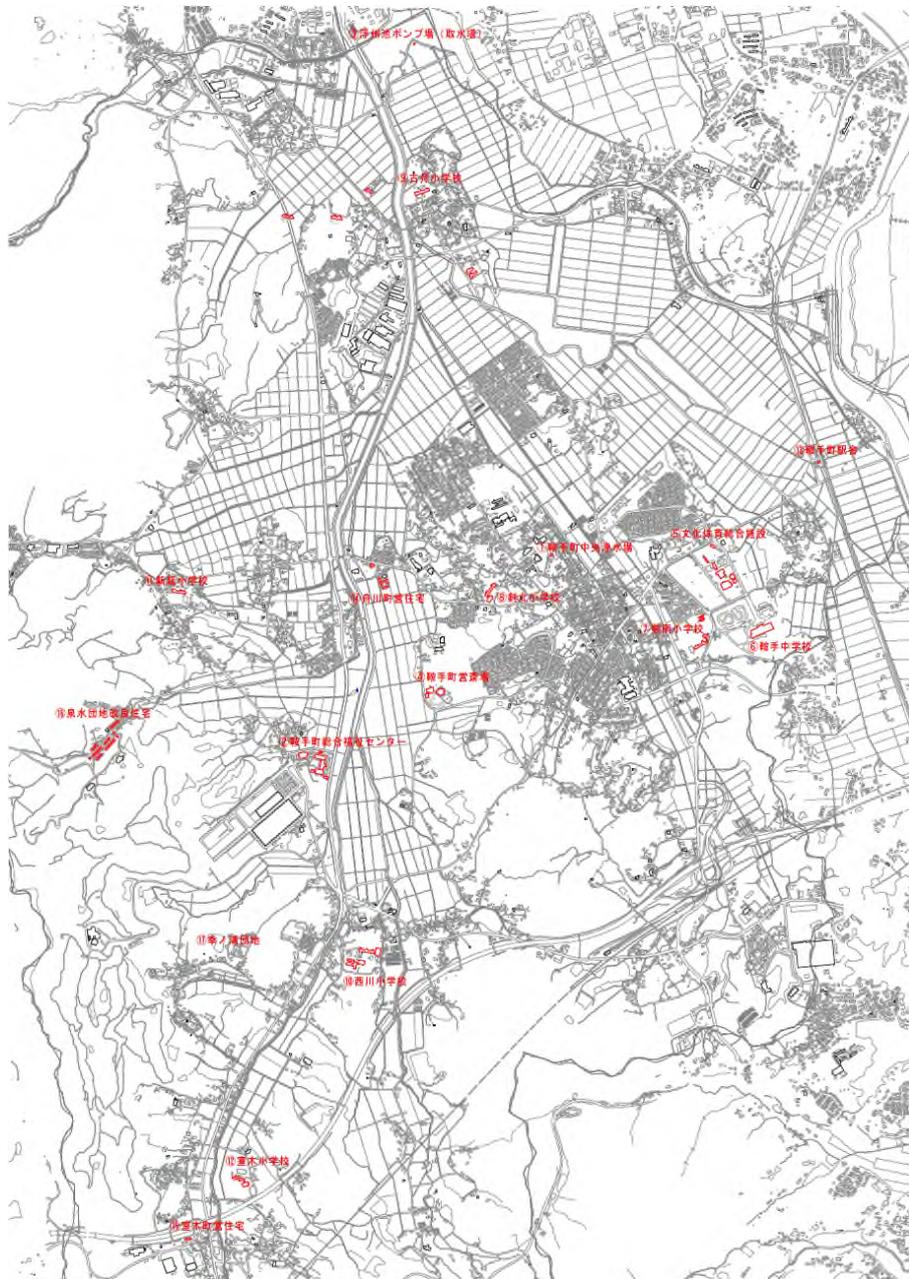


図 4-1 導入検討対象施設位置図

①鞍手町浄水場				住所	福岡県鞍手町大字中山3024番地		
建築概要	年間電力使用量[kWh]	階数	建築年度	築年数	耐震基準	延床面積	屋根仕上げ
	2,864,934	2	1979	43	旧/耐震改修	149	-
発電関係	年間発電量[kWh]	パネル出力[W]	パネル枚数	発電出力[kW]	CO ₂ 削減量[t-CO ₂]	基準年比CO ₂ 削減率[%]	
	67,551	370	169	62.53	24.66	0.0087	

現地調査結果

【工事用搬入路】
敷地内道路にて搬入可能。

【受変電設備】
管理棟西側に設置有り。

【周辺状況】
パネル反射による付近への影響無し。
付近建物による影の影響無し。

【被災履歴】
無し。

【阻害要因】
管理棟はメンテナンスルートが無い為、対象外。



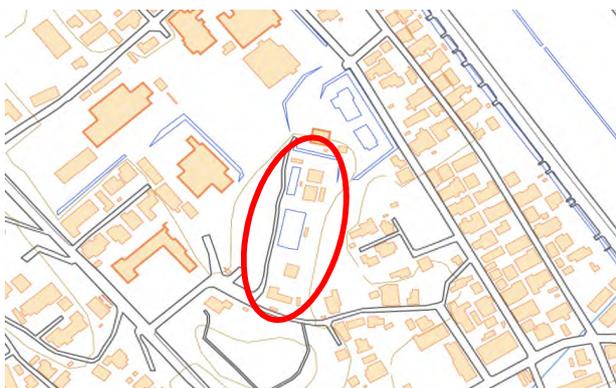
写真①: 2系浄水池の建屋・2系沈殿池



写真②: 汚泥濃縮槽奥の建屋



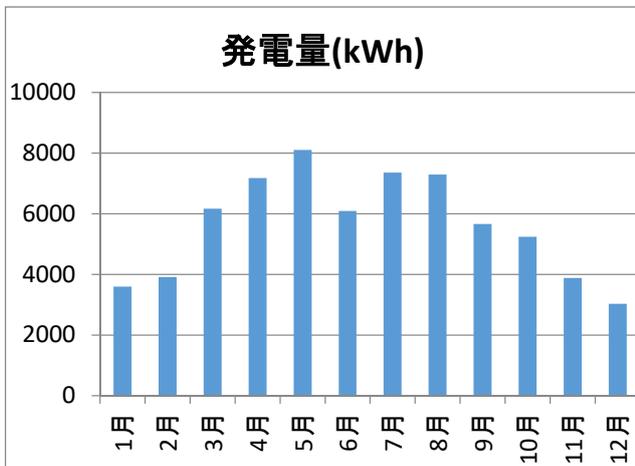
写真③: 電気室・機械室・薬品室の屋上



写真④: 移動式汚泥乾燥装置

①鞍手町浄水場

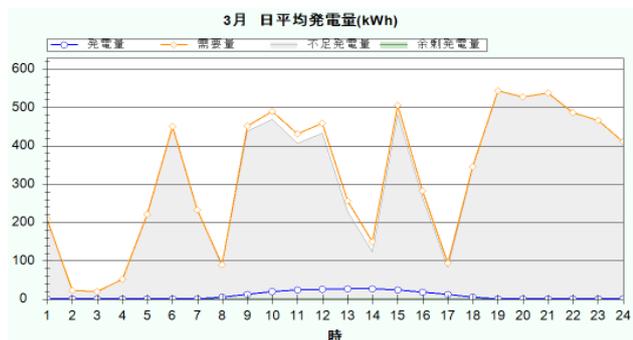
	年間	月			
		3月	6月	9月	12月
需要量[kWh]	2,864,934	239,422	240,648	231,548	241,722
発電量[kWh]	67,551	6,171	6,097	5,667	3,027
自家消費率[%]	99.94	100.00	100.00	100.00	100.00



①: 年間発電量グラフ

月	発電量 (kWh)	需要量 (kWh)	不足(kWh)	余剰(kWh)	自家消費率 (%)
1月	3,598.11	240,906.00	237,307.89	0.00	100.00
2月	3,916.07	217,284.00	213,367.93	0.00	100.00
3月	6,171.39	239,422.00	233,250.61	0.00	100.00
4月	7,180.39	243,818.00	236,637.61	0.00	100.00
5月	8,106.97	242,666.00	234,569.42	10.39	99.87
6月	6,097.47	240,648.00	234,550.53	0.00	100.00
7月	7,363.92	252,610.00	245,246.08	0.00	100.00
8月	7,297.02	240,836.00	233,538.98	0.00	100.00
9月	5,666.94	231,548.00	225,881.06	0.00	100.00
10月	5,243.03	242,848.00	237,604.97	28.50	99.46
11月	3,883.05	230,626.00	226,742.95	0.00	100.00
12月	3,026.90	241,722.00	238,695.10	0.00	100.00
合計	67,551.25	2,864,934.00	2,797,421.64	38.89	99.94

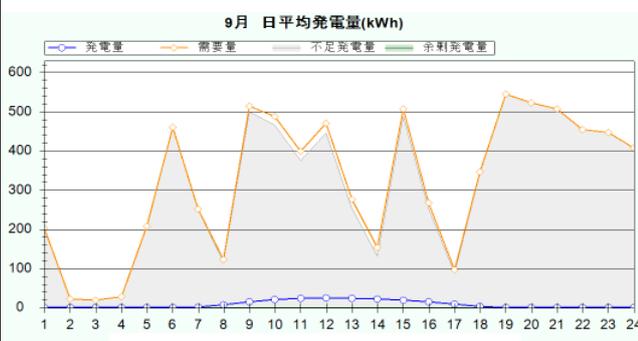
②: 年間発電量/需要量



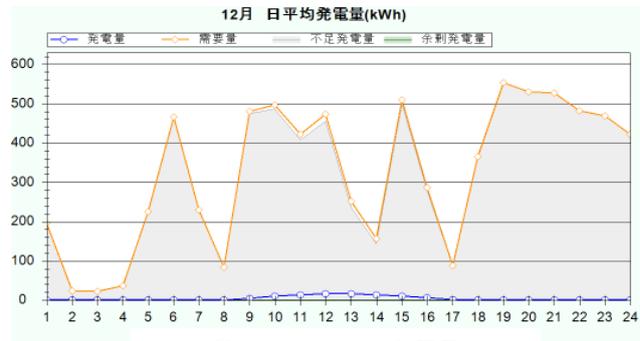
③: 3月の日平均発電量



④: 6月の日平均発電量



⑤: 9月の日平均発電量



⑥: 12月の日平均発電量

- ・施設の需要量に対して想定発電量が下回っており、自家消費率が高い
- ・年間を通してほとんど余剰電力は発生していない
- ・発電出力は適正と考えられる

②鞍手町総合福祉センター				住所	福岡県鞍手町大字新延414-1		
建築概要	年間電力使用量[kWh]	階数	建築年度	築年数	耐震基準	延床面積	屋根仕上げ
	607,226	1	2000	21	新	2,227	丸棧瓦棒葺
発電関係	年間発電量[kWh]	パネル出力[W]	パネル枚数	発電出力[kW]	CO ₂ 削減量[t-CO ₂]	基準年比CO ₂ 削減率[%]	
	366,328	370	919	340.03	133.71	0.047	

現地調査結果

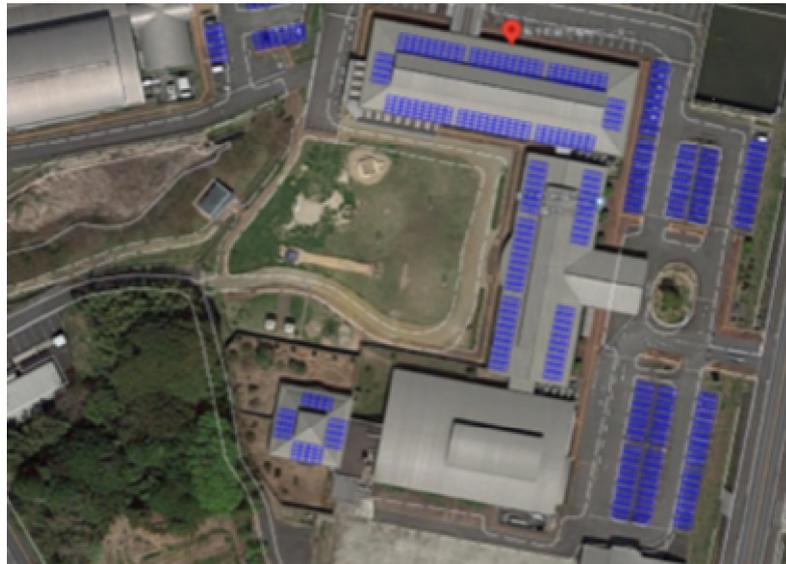
【工事用搬入路】
敷地内道路にて搬入可能。

【受変電設備】
敷地北側に設置有り。

【周辺状況】
パネル反射による付近への影響無し。
付近建物による影の影響無し。

【被災履歴】
無し。

【阻害要因】
無し。



写真①: 福祉管理棟 北東より撮影



写真②: 東側駐車場



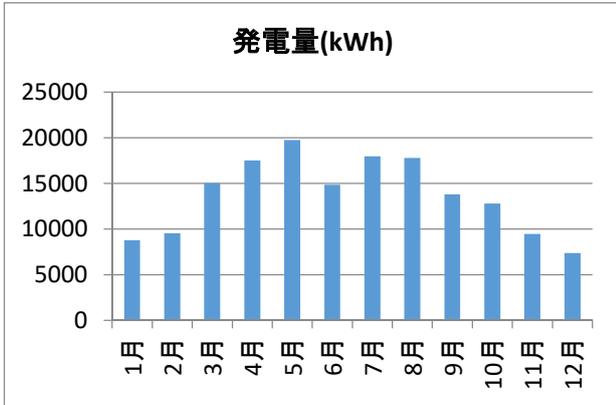
写真③: 屋上屋根の状況



写真④: 福祉管理棟 西側より撮影

②鞍手町総合福祉センター

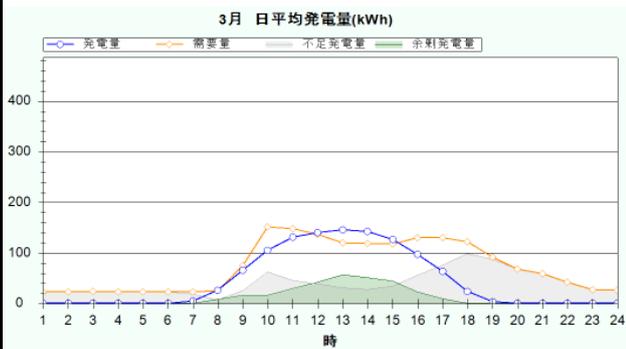
	年間	月					
		3月	6月	9月	12月		
需要量[kWh]	607,226	54,282	35,250	49,934	63,280		
発電量[kWh]	366,328	33,495	33,038	30,716	16,421		
自家消費率[%]	65.07	72.28	56.69	69.25	88.54		



①: 年間発電量グラフ

月	発電量(kWh)	需要量(kWh)	不足(kWh)	余剰(kWh)	自家消費率(%)
1月	19,526.82	70,150.00	52,967.04	2,343.85	88.00
2月	21,234.77	61,220.00	42,542.36	2,557.13	87.96
3月	33,495.44	54,284.00	30,073.84	9,285.29	72.28
4月	38,943.31	24,672.00	10,598.46	24,869.76	36.14
5月	43,965.20	22,104.00	9,005.24	30,866.44	29.79
6月	33,038.20	35,250.00	16,519.96	14,308.16	56.69
7月	39,910.21	76,594.00	42,955.26	6,271.47	84.29
8月	39,561.94	70,006.00	38,952.77	8,508.71	78.49
9月	30,716.03	49,934.00	28,662.95	9,444.99	69.25
10月	28,452.63	37,984.00	21,772.75	12,241.38	56.98
11月	21,062.27	41,748.00	26,076.42	5,390.69	74.41
12月	16,421.48	63,280.00	48,740.03	1,881.51	88.54
合計	366,328.30	607,226.00	368,867.09	127,969.39	65.07

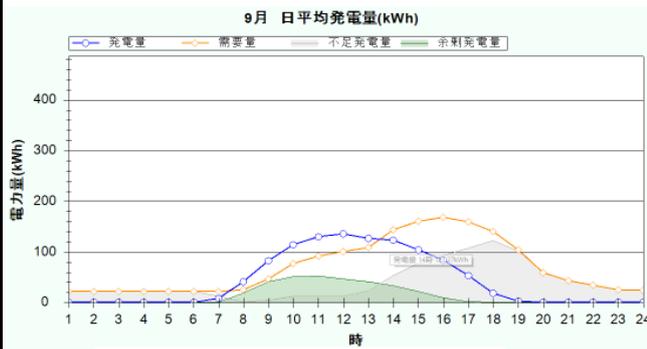
②: 年間発電量/需要量



③: 3月の日平均発電量



④: 6月の日平均発電量



⑤: 9月の日平均発電量



⑥: 12月の日平均発電量

- ・施設の需要量が大きく想定発電量が小さい12月は、想定発電量が需要量を下回っており、自家消費率が高い
- ・需要量が少なく想定発電量が多い6月は、想定発電量が需要量を上回っており、余剰電力が発生している
- ・冬季以外は余剰電力が発生している為、発電出力をさげると自家消費率が上がり電力の有効利用が可能

③勤労者ふれあい棟				住所	福岡県鞍手町大字新延414-1		
建築概要	年間電力使用量[kWh]	階数	建築年度	築年数	耐震基準	延床面積	屋根仕上げ
	188,672	1	2000	21	新	2,227	丸棧瓦棒葺
発電関係	年間発電量[kWh]	パネル出力[W]	パネル枚数	発電出力[kW]	CO ₂ 削減量[t-CO ₂]	基準年比CO ₂ 削減率[%]	
	164,681	370	412	152.44	60.11	0.021	

現地調査結果

【工事用搬入路】
敷地内道路にて搬入可能。

【受変電設備】
敷地北側に設置有り。

【周辺状況】
パネル反射による付近への影響無し。
付近建物による影の影響無し。

【被災履歴】
無し。

【阻害要因】
無し。



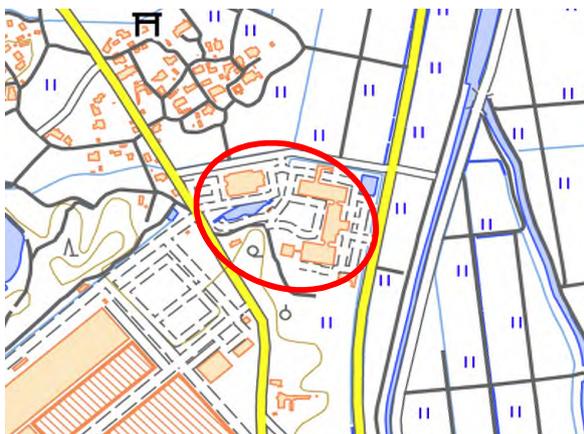
写真①: 体育館



写真②: キュービクル



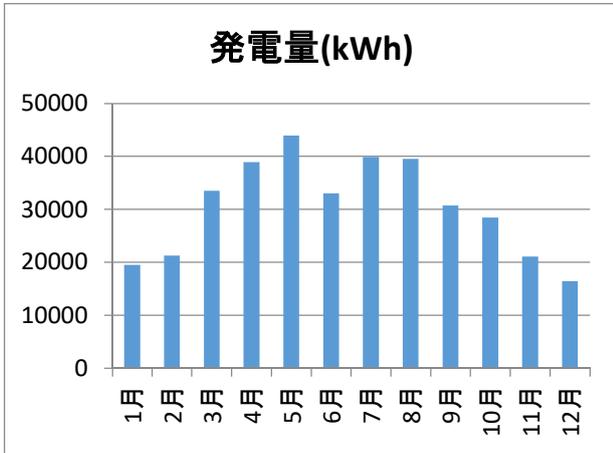
写真③: 南側遊休地



写真④: 体育館裏の駐車場

③勤労者ふれあい棟

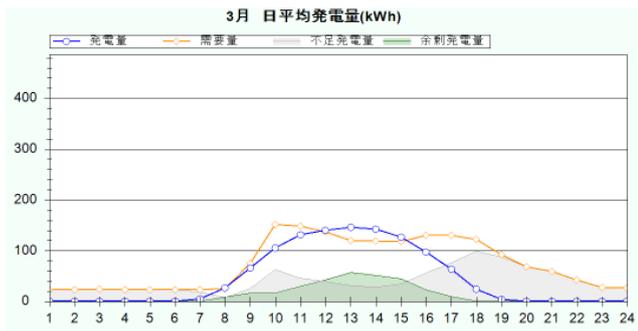
	年間	月					
		3月	6月	9月	12月		
需要量[kWh]	188,672	16,404	11,612	7,214	23,962		
発電量[kWh]	164,681	15,045	14,865	13,815	7,379		
自家消費率[%]	45.36	46.68	35.14	30.93	69.59		



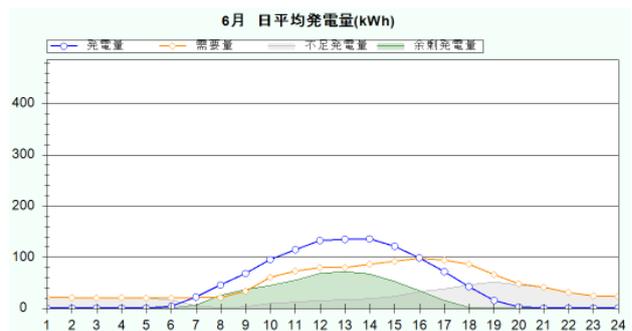
①: 年間発電量グラフ

月	発電量 (kWh)	需要量 (kWh)	不足(kWh)	余剰(kWh)	自家消費率 (%)
1月	8,771.73	21,404.00	15,235.93	2,603.66	70.32
2月	9,546.87	10,558.00	5,298.99	4,287.86	55.09
3月	15,045.05	16,404.00	9,380.60	8,021.65	46.68
4月	17,504.85	13,636.00	7,889.84	11,758.69	32.83
5月	19,763.73	8,126.00	3,952.34	15,590.06	21.12
6月	14,064.85	11,612.00	6,388.76	9,641.61	35.14
7月	17,952.28	30,008.00	17,472.50	5,416.78	69.83
8月	17,789.18	12,616.00	5,322.49	10,495.67	41.00
9月	13,815.26	7,214.00	2,940.91	9,542.17	30.93
10月	12,781.82	15,794.00	9,628.05	6,615.86	49.24
11月	9,466.38	17,338.00	11,631.02	3,759.40	60.29
12月	7,379.19	23,962.00	18,826.69	2,243.88	69.59
合計	164,681.16	188,672.00	113,968.12	89,977.29	45.36

②: 年間発電量/需要量



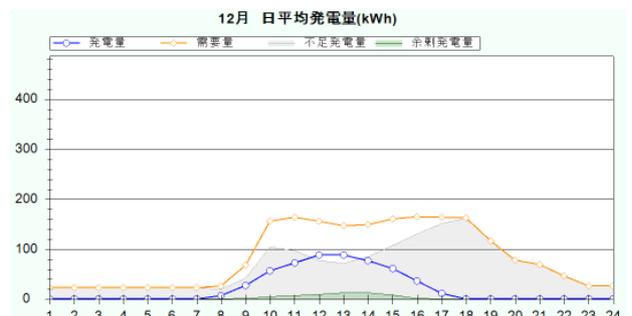
③: 3月の日平均発電量



④: 6月の日平均発電量



⑤: 9月の日平均発電量



⑥: 12月の日平均発電量

- ・施設の需要量が大きく想定発電量が小さい12月は、想定発電量が需要量を下回っており、自家消費率が高い
- ・需要量が少なく想定発電量が多い6月は、想定発電量が需要量を上回っており、余剰電力が発生している
- ・冬季以外は余剰電力が発生している為、発電出力をさげると自家消費率が上がり電力の有効利用が可能

④浮州池ポンプ場(取水塔)				住所 福岡県鞍手町大字木月			
建築概要	年間電力使用量[kWh]	階数	建築年度	築年数	耐震基準	延床面積	屋根仕上げ
	932,270	1	1969	53	旧/耐震改修	-	-
発電関係	年間発電量[kWh]	パネル出力[W]	パネル枚数	発電出力[kW]	CO ₂ 削減量[t-CO ₂]	基準年比CO ₂ 削減率[%]	
	9,193	370	23	8.51	3.36	0.0012	
現地調査結果							
【工事用搬入路】 敷地内通路にて搬入可能。ポンプ場へはわたり廊下にて搬入可能。				【受変電設備】 ポンプ場入口にキュービクル有り。			
【周辺状況】 パネル反射による付近への影響無し。 付近建物による影の影響無し。							
【被災履歴】 無し。				【阻害要因】 無し。			



写真①:ポンプ場外観



写真②:ポンプ場へのわたり廊下



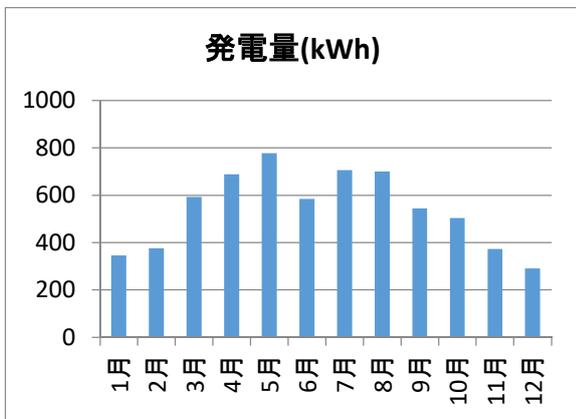
写真③:キュービクル置き場



写真④:連携の状況

④浮州池ポンプ場(取水塔)

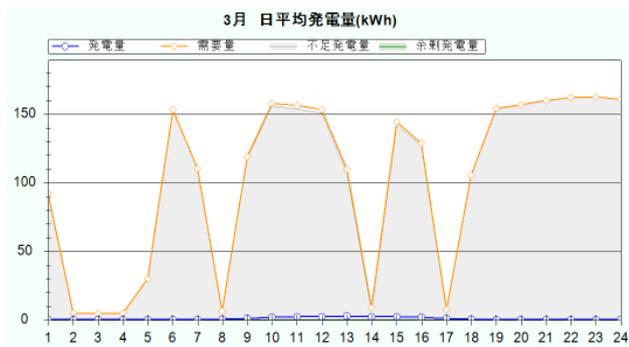
	年間	月					
		3月	6月	9月	12月		
需要量[kWh]	932,270	76,032	80,952	76,208	75,930		
発電量[kWh]	9,193	840	830	771	412		
自家消費率[%]	98.56	98.77	98.30	97.79	100.00		



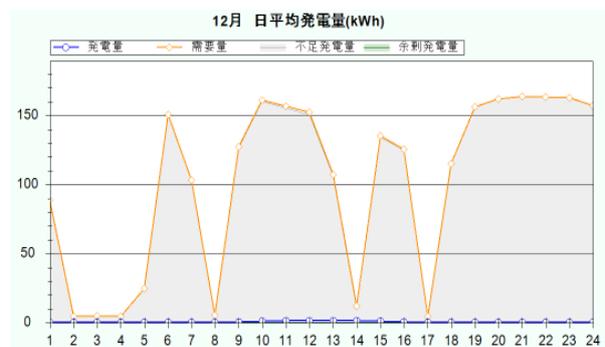
①: 年間発電量グラフ

月	発電量 (kWh)	需要量 (kWh)	不足(kWh)	余剰(kWh)	自家消費率 (%)
1月	489.69	75,240.00	74,750.31	0.00	100.00
2月	532.96	68,552.00	68,023.30	4.26	99.20
3月	839.90	76,032.00	75,202.46	10.36	98.77
4月	977.21	82,612.00	81,647.79	13.00	98.67
5月	1,103.31	80,442.00	79,352.75	14.07	98.72
6月	829.83	80,952.00	80,136.24	14.08	98.30
7月	1,002.19	83,188.00	82,202.75	16.94	98.31
8月	993.08	80,006.00	79,049.20	36.29	96.35
9月	771.24	76,208.00	75,453.83	17.08	97.79
10月	713.55	80,194.00	79,486.33	5.88	99.18
11月	528.47	72,914.00	72,386.16	0.63	99.88
12月	411.95	75,930.00	75,518.05	0.00	100.00
合計	9,193.38	932,270.00	923,209.18	132.57	98.56

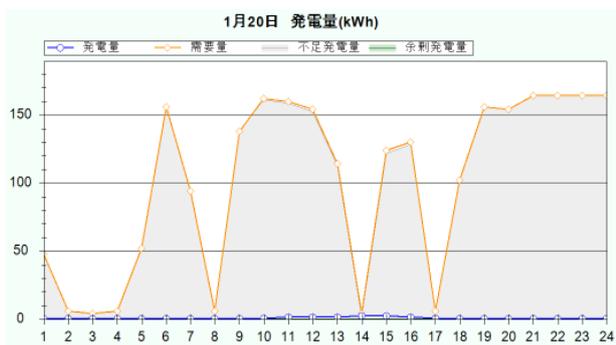
②: 年間発電量/需要量



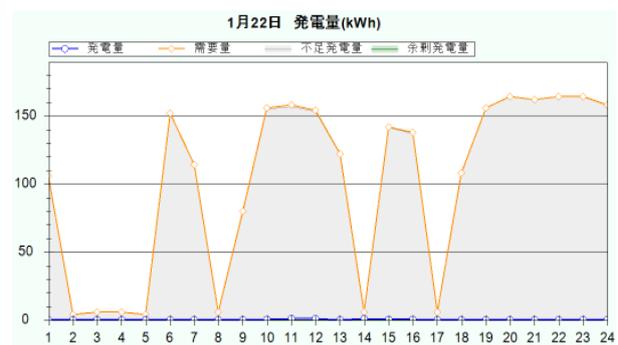
③: 3月の日平均発電量



④: 6月の日平均発電量



⑤: 9月の日平均発電量



⑥: 12月の日平均発電量

- ・施設の需要量に対して想定発電量が下回っており、自家消費率が高い
- ・年間を通してほとんど余剰電力は発生していない
- ・発電出力は適正と考えられる

⑤鞍手町営葬斎場				住所	福岡県鞍手町大字中山3397		
建築概要	年間電力使用量[kWh]	階数	建築年度	築年数	耐震基準	延床面積	屋根仕上げ
	85,748	1	1991	30	新	1279.13	アスファルト防水 塗膜防水
発電関係	年間発電量[kWh]	パネル出力 [W]	パネル枚数	発電出力 [kW]	CO ₂ 削減量 [t-CO ₂]	基準年比CO ₂ 削減率[%]	
	166,280	370	416	153.92	60.69	0.022	

現地調査結果

【工事用搬入路】
敷地内道路にて搬入可能。

【受変電設備】
敷地北側に設置有り。

【周辺状況】
パネル反射による付近への影響無し。
付近建物による影の影響無し。

【被災履歴】
無し。

【阻害要因】
駐車場南側は生垣・高木の影による影響を考慮する
必要あり。



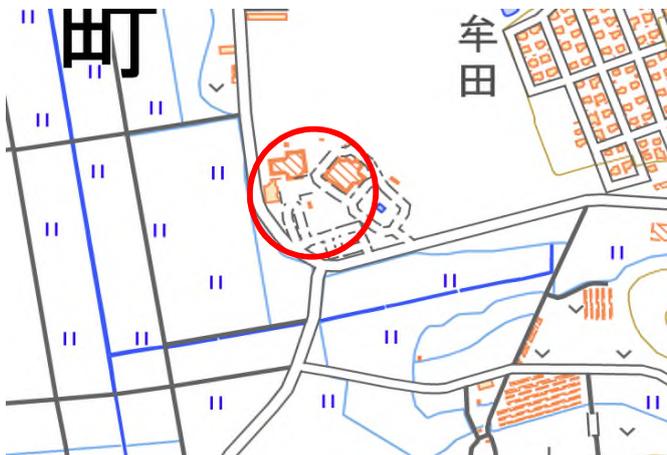
写真①: 東側より撮影



写真②: 第1斎場 屋上状況



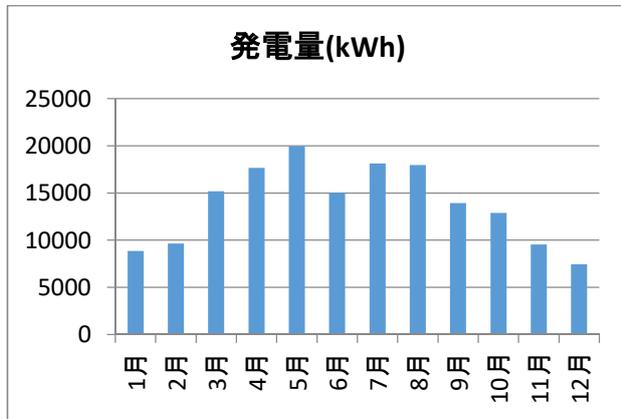
写真③: 第1斎場 裏駐車場の遊休地



写真④: 南側駐車場

⑤鞍手町営葬斎場

	年間	月			
		3月	6月	9月	12月
需要量[kWh]	85,748	月別の資料が無い為、記載無し			
発電量[kWh]	166,280	15,191	15,009	13,949	7,450
自家消費率[%]	-	-	-	-	-



①: 年間発電量グラフ

月	発電量(kWh)	需要量(kWh)	不足(kWh)	余剰(kWh)	自家消費率(%)
1月	8,856.89	0.00	0.00	0.00	0.00
2月	9,639.56	0.00	0.00	0.00	0.00
3月	15,191.12	0.00	0.00	0.00	0.00
4月	17,674.80	0.00	0.00	0.00	0.00
5月	19,955.61	0.00	0.00	0.00	0.00
6月	15,009.16	0.00	0.00	0.00	0.00
7月	18,126.58	0.00	0.00	0.00	0.00
8月	17,961.89	0.00	0.00	0.00	0.00
9月	13,949.38	0.00	0.00	0.00	0.00
10月	12,905.91	0.00	0.00	0.00	0.00
11月	9,558.28	0.00	0.00	0.00	0.00
12月	7,450.83	0.00	0.00	0.00	0.00
合計	166,280.01	0.00	0.00	0.00	0.00

②: 年間発電量



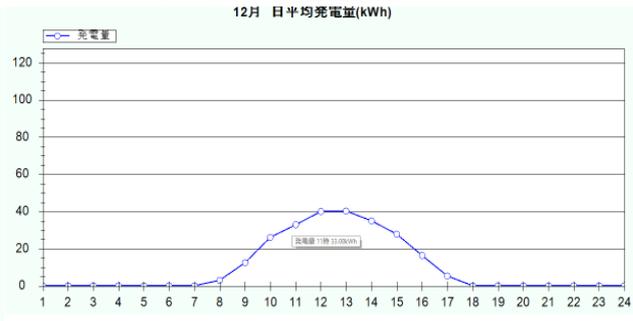
③: 3月の日平均発電量



④: 6月の日平均発電量



⑤: 9月の日平均発電量



⑥: 12月の日平均発電量

・想定発電量が、需要量を上回っている

⑥文化体育総合施設				住所	福岡県鞍手町大字小牧2105		
建築概要	年間電力使用量[kWh]	階数	建築年度	築年数	耐震基準	延床面積	屋根仕上げ
	277,306	3	1981	40	新	2,666.87	シート防水
発電関係	年間発電量[kWh]	パネル出力[W]	パネル枚数	発電出力[kW]	CO ₂ 削減量[t-CO ₂]	基準年比CO ₂ 削減率[%]	
	308,578	370	772	285.64	112.63	0.040	

現地調査結果

【工事用搬入路】
敷地内道路にて搬入可能。

【受変電設備】
中央公民館棟の屋外に設置有り。

【周辺状況】
パネル反射による付近への影響無し。
付近建物による影の影響無し。

【被災履歴】
無し。

【阻害要因】
武道館は屋上へのメンテナンスルートが無い為、パネル設置不可。



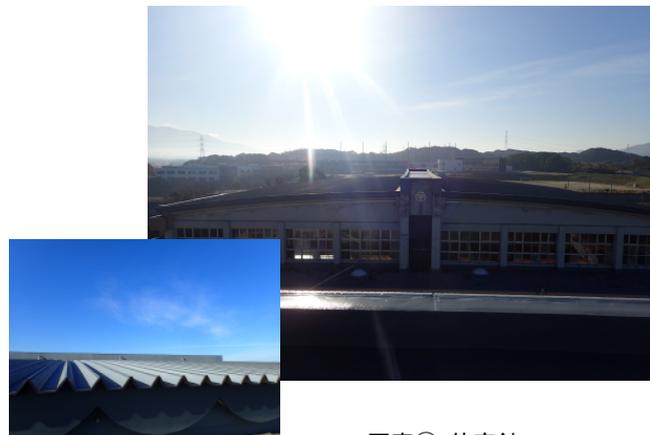
写真①: 武道館



写真②: 中央公民館屋



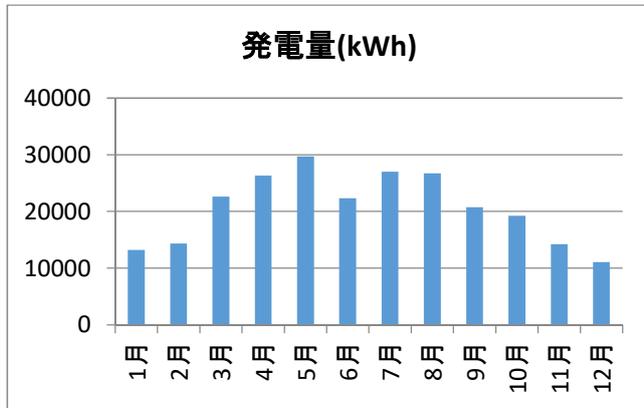
写真③: 歴史民俗博物



写真④: 体育館

⑥文化体育総合施設

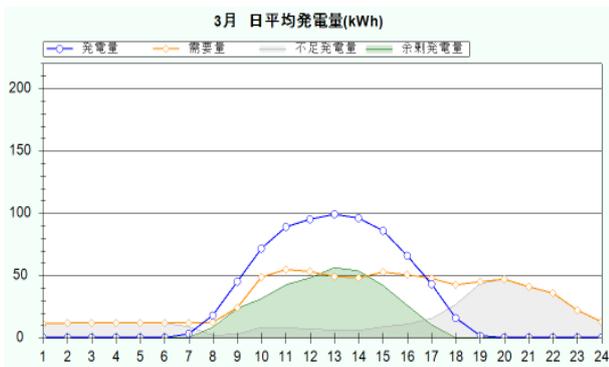
	年間	月			
		3月	6月	9月	12月
需要量[kWh]	277,306	23,928	17,114	16,232	28,146
発電量[kWh]	308,578	28,191	27,854	25,887	13,827
自家消費率[%]	45.11	45.06	34.68	35.38	75.48



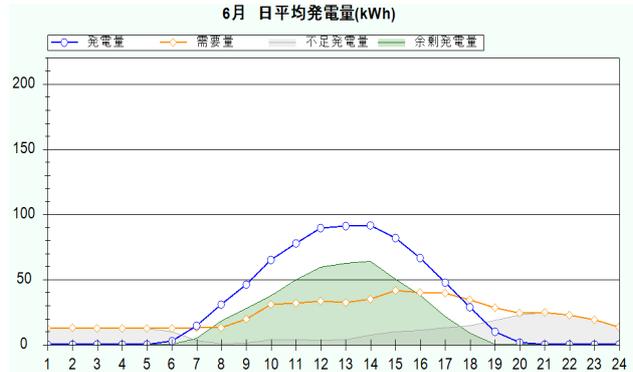
①: 年間発電量グラフ

月	発電量 (kWh)	需要量 (kWh)	不足(kWh)	余剰(kWh)	自家消費率 (%)
1月	16,496.53	32,666.00	19,989.74	3,759.27	77.13
2月	17,888.88	33,882.00	19,502.80	3,509.67	80.38
3月	28,191.27	23,928.00	11,225.62	15,488.89	45.06
4月	32,800.81	16,714.00	7,580.37	23,666.68	27.85
5月	37,032.97	13,532.00	5,610.49	29,111.46	21.39
6月	27,853.53	17,114.00	7,455.33	18,194.87	34.68
7月	33,638.66	32,092.00	12,456.99	14,003.65	58.37
8月	33,333.08	24,980.00	9,655.18	18,008.26	45.97
9月	25,886.88	16,232.00	7,074.08	16,728.95	35.38
10月	23,950.47	18,744.00	9,192.42	14,398.89	39.88
11月	17,738.10	19,276.00	10,655.14	9,117.23	48.60
12月	13,827.24	28,146.00	17,709.72	3,390.96	75.48
合計	308,577.91	277,306.00	138,106.88	169,378.78	45.11

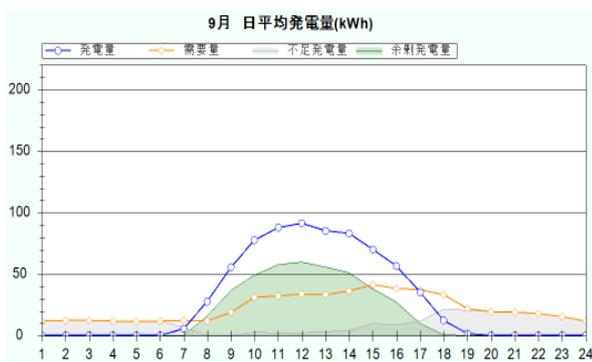
②: 年間発電量/需要量



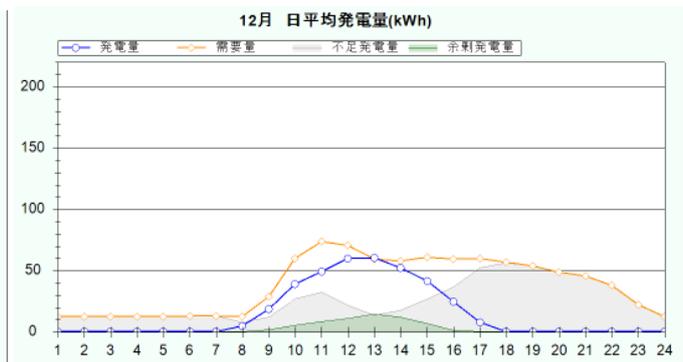
③: 3月の日平均発電量



④: 6月の日平均発電量



⑤: 9月の日平均発電量



⑥: 12月の日平均発電量

・冬季以外は余剰電力が発生している為、発電出力をさげると自家消費率が上がり電力の有効利用が可能

⑦鞍手中学校				住所	福岡県鞍手町大字小牧2122-1		
建築概要	年間電力使用量[kW]	階数	建築年度	築年数	耐震基準	延床面積	屋根仕上げ
	592,066	2	1992	30	新	14,366	不明
発電関係	年間発電量[kWh]	パネル出力[W]	パネル枚数	発電出力[kW]	CO ₂ 削減量[t-CO ₂]	基準年比CO ₂ 削減率[%]	
	428,492	370	1072	396.64	156.40	0.055	

現地調査結果

【工事用搬入路】
敷地内道路にて搬入可能。体育館屋上へは中学校棟からのわたり廊下にてアプローチ可能。

【受変電設備】

【周辺状況】
パネル反射による付近への影響無し。
付近建物による影の影響無し。

【被災履歴】
無し。

【阻害要因】
中学校棟の既存の太陽光発電量との調整。



写真①: 体育館屋上



写真②: 中学校棟屋上



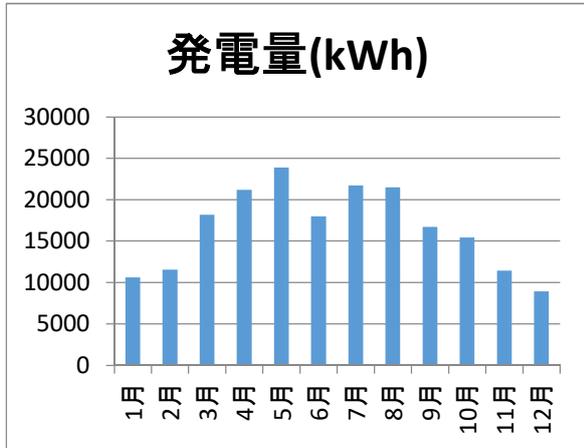
写真③: 別棟



写真④: 別棟屋上

⑦鞍手中学校

	年間	月					
		3月	6月	9月	12月		
需要量[kWh]	592,066	49,546	49,984	50,802	65,512		
発電量[kWh]	428,492	39,146	38,677	35,947	19,201		
自家消費率[%]	53.59	53.77	64.07	58.2	77.71		



発電量(kWh)

月	発電量(kWh)	需要量(kWh)	不足(kWh)	余剰(kWh)	自家消費率(%)
1月	22,823.78	70,022.00	53,871.07	6,672.85	70.76
2月	24,840.51	69,628.00	52,424.10	7,636.61	69.26
3月	39,146.43	49,546.00	28,888.56	18,488.99	52.77
4月	45,546.54	30,078.00	13,647.97	29,116.52	36.07
5月	51,424.02	34,486.00	14,305.97	31,243.98	39.24
6月	38,677.44	49,984.00	25,201.51	13,894.96	64.07
7月	46,710.68	57,302.00	29,682.14	19,090.81	59.13
8月	46,286.35	28,004.00	14,174.82	32,457.17	29.88
9月	35,946.54	50,802.00	29,879.93	15,024.48	58.20
10月	33,257.65	45,606.00	26,026.11	13,677.76	58.87
11月	24,631.14	41,096.00	23,738.91	7,274.04	70.47
12月	19,200.52	65,512.00	50,590.41	4,278.93	77.71
合計	428,491.60	592,066.00	362,431.50	198,857.10	53.59

①: 年間発電量グラフ

②: 年間発電量/需要量



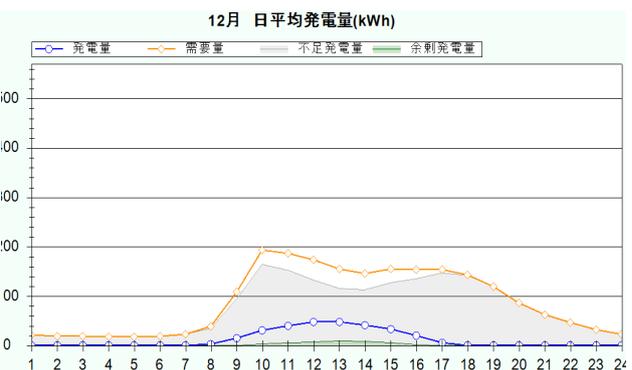
③: 3月の日平均発電量



④: 6月の日平均発電量



⑤: 9月の日平均発電量



⑥: 12月の日平均発電量

- ・8月(夏休み)や春・冬は発電量が需要量を上回っている日や時間帯があり、自家消費率が低い
- ・発電出力を下げると自家消費率が上がり電力の有効利用が可能

⑧剣南小学校				住所	福岡県鞍手町大字中山2213-1		
建築概要	年間電力使用量[kWh]	階数	建築年度	築年数	耐震基準	延床面積	屋根仕上げ
	196,072	3	1975	47	旧/耐震改修	2,801	不明
発電関係	年間発電量[kWh]	パネル出力[W]	パネル枚数	発電出力[kW]	CO ₂ 削減量[t-CO ₂]	基準年比CO ₂ 削減率[%]	
	54,361	370	136	50.32	19.84	0.0070	

現地調査結果

【工事用搬入路】

敷地内道路にて搬入可能。屋上へは階段にてアプローチ可能。

【受変電設備】

【周辺状況】

パネル反射による付近への影響無し。
付近建物による影の影響無し。

【被災履歴】

無し。

【阻害要因】



写真①:校舎



写真②:



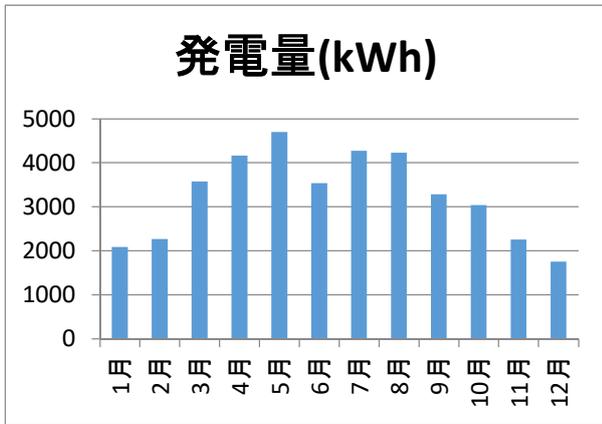
写真③:校舎



写真④:防水の状況

⑧ 剣南小学校

	年間	月			
		3月	6月	9月	12月
需要量[kWh]	196,072	16,096	16,643	20,412	17,294
発電量[kWh]	54,361	4,966	4,907	4,560	2,436
自家消費率[%]	77.49	77.47	88.03	76.50	85.01

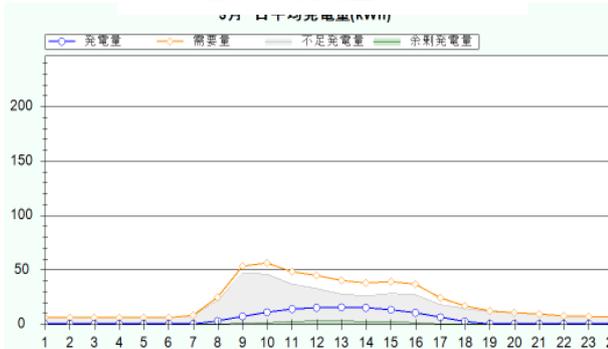


発電量(kWh)

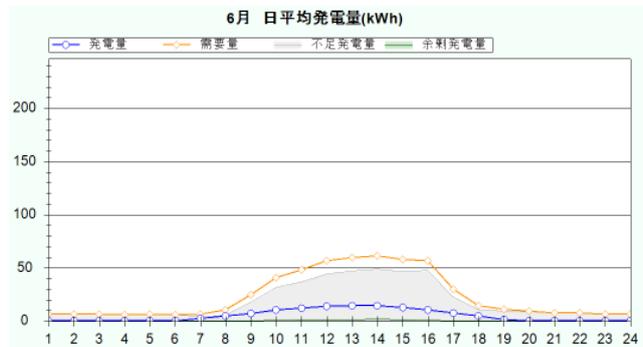
月	発電量(kWh)	需要量(kWh)	不足(kWh)	余剰(kWh)	自家消費率(%)
1月	2,895.55	20,740.00	18,264.54	420.09	85.49
2月	3,151.41	28,062.00	25,417.64	507.05	89.91
3月	4,966.34	16,096.00	12,248.34	1,118.68	77.47
4月	5,778.29	8,134.00	4,150.05	1,794.34	68.95
5月	6,523.94	7,886.00	3,566.99	2,204.93	66.20
6月	4,906.84	16,634.00	12,314.35	587.19	88.03
7月	5,925.98	26,578.00	21,858.00	1,205.98	79.65
8月	5,872.15	8,994.00	5,158.65	2,036.79	65.31
9月	4,560.38	20,412.00	16,923.29	1,071.67	76.50
10月	4,219.25	13,396.00	9,697.30	520.55	87.66
11月	3,124.85	11,846.00	9,124.32	403.16	87.10
12月	2,436.89	17,294.00	15,223.37	365.25	85.01
合計	54,360.87	196,072.00	153,946.83	12,235.70	77.49

①: 年間発電量グラフ

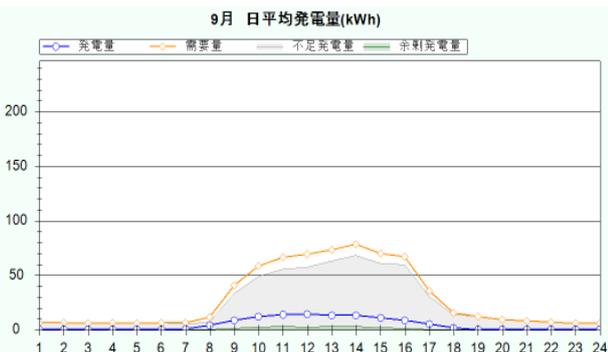
②: 年間発電量/需要量



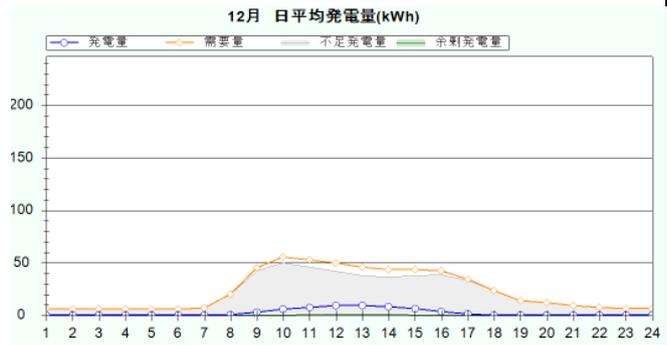
③: 3月の日平均発電量



④: 6月の日平均発電量



⑤: 9月の日平均発電量



⑥: 12月の日平均発電量

- ・年間を通した想定発電量は需要量を下回っている
- ・ほとんどの月で月別の日平均想定発電量は需要量を下回っており、自家消費率が高い
- ・余剰電力は電力需要の少ない月や休日・夏休み等に発生している

⑨剣北小学校				住所	福岡県鞍手町大字中山3266		
建築概要	年間電力使用量「kWh」	階数	建築年度	築年数	耐震基準	延床面積	屋根仕上げ
	148,468	3	1979	43	旧/耐震改修	3083	不明
発電関係	年間発電量「kWh」	パネル出力「W」	パネル枚数	発電出力「kW」	CO ₂ 削減量「t-CO ₂ 」	基準年比CO ₂ 削減率[%]	
	50,763	370	127	46.99	18.53	0.0066	

現地調査結果

【工事用搬入路】
敷地内道路にて搬入可能。屋上へは階段にてアプローチ可能。

【受変電設備】

【周辺状況】
パネル反射による付近への影響無し。
付近建物による影の影響無し。

【被災履歴】
無し。

【阻害要因】
無し。



写真①: 教室棟



写真②: 南側に光害を受ける施設なし



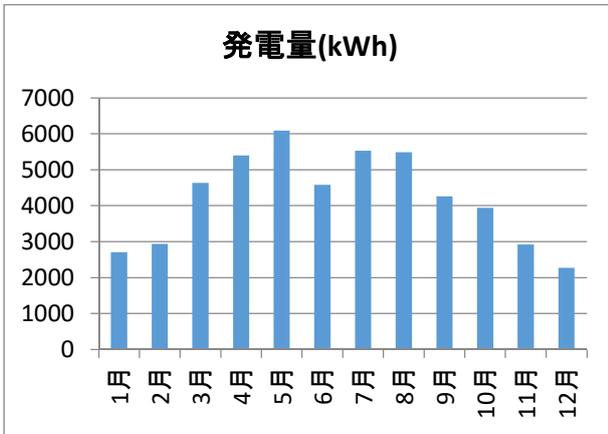
写真③: 校舎屋上 北東より撮影



写真④: 校舎屋上 南西より撮影

⑨ 剣北小学校

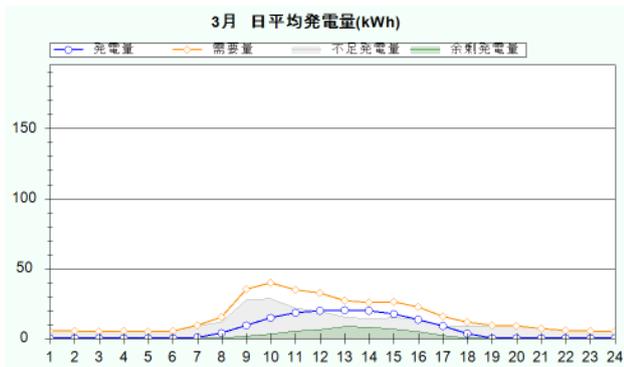
	年間	月			
		3月	6月	9月	12月
需要量[kWh]	148,468	11,314	11,566	13,910	13,212
発電量[kWh]	50,763	4,638	4,582	4,259	2,275
自家消費率[%]	72.81	69.60	82.97	74.06	84.46



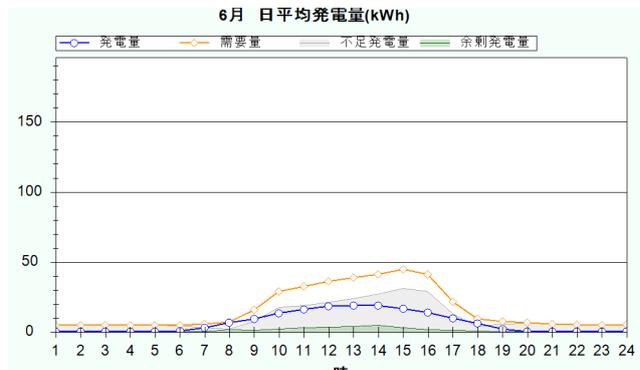
①: 年間発電量グラフ

月	発電量(kWh)	需要量(kWh)	不足(kWh)	余剰(kWh)	自家消費率(%)
1月	2,703.94	17,800.00	15,544.79	448.73	83.40
2月	2,942.86	22,192.00	19,637.44	388.30	86.81
3月	4,637.68	11,314.00	8,086.02	1,409.70	69.60
4月	5,395.91	6,388.00	3,241.34	2,249.25	58.32
5月	6,092.21	6,308.00	2,723.03	2,507.25	58.85
6月	4,582.12	11,566.00	7,764.06	780.19	82.97
7月	5,533.82	20,374.00	15,976.58	1,136.40	79.46
8月	5,493.55	7,474.00	4,116.81	2,126.36	61.22
9月	4,258.59	13,910.00	10,756.16	1,104.75	74.06
10月	3,940.04	9,954.00	6,774.56	760.60	80.70
11月	2,918.05	7,976.00	5,595.76	537.82	81.57
12月	2,274.69	13,212.00	11,290.81	353.49	84.46
合計	50,763.46	148,468.00	111,507.37	13,802.93	72.81

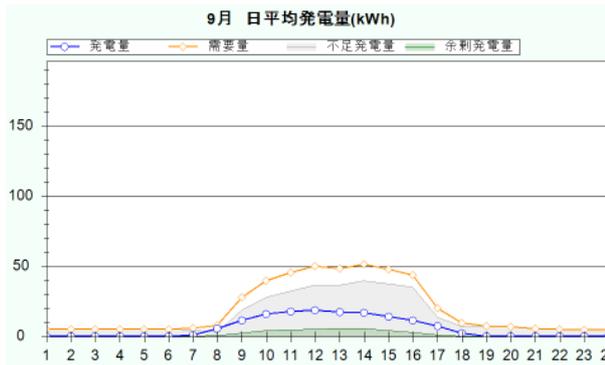
②: 年間発電量/需要量



③: 3月の日平均発電量



④: 6月の日平均発電量



⑤: 9月の日平均発電量



⑥: 12月の日平均発電量

- ・年間を通じた想定発電量は需要量を下回っている
- ・ほとんどの月で月別の日平均想定発電量は需要量を下回っており、自家消費率が高い
- ・余剰電力は電力需要の少ない月や休日・夏休み等に発生している

⑩古月小学校				住所		福岡県鞍手町大字木月1149	
建築概要	年間電力使用量[kWh]	階数	建築年度	築年数	耐震基準	延床面積	屋根仕上げ
	131,912	3	1974	48	旧/耐震改修	2,766	不明
発電関係	年間発電量[kWh]	パネル出力[W]	パネル枚数	発電出力[kW]	CO ₂ 削減量[t-CO ₂]	基準年比CO ₂ 削減率[%]	
	55,160	370	138	51.06	20.13	0.0071	

現地調査結果

【工事用搬入路】 敷地内道路にて搬入可能。屋上へは階段にてアプローチ可能。	【受変電設備】 敷地東側に設置有り。
【周辺状況】 パネル反射による付近への影響無し。 付近建物による影の影響無し。	
【被災履歴】 無し。	【阻害要因】 無し。



写真①:校舎屋上 北東より撮影



写真②:校舎屋上 南西より撮影



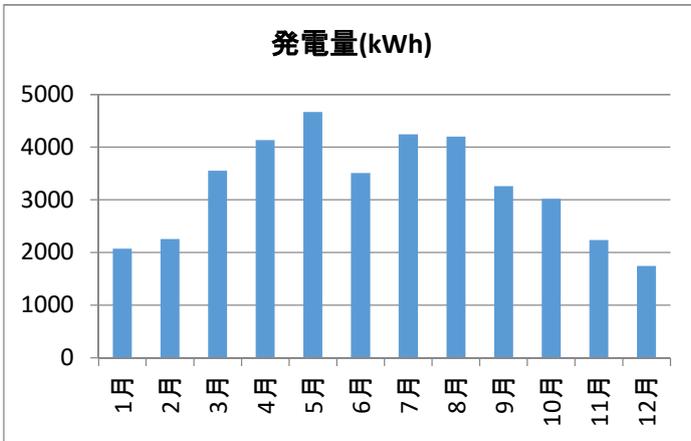
写真③:屋上からの配線ルート



写真④:南側に光害を受ける施設なし

⑩古月小学校

	年間	月			
		3月	6月	9月	12月
需要量[kWh]	131,912	8,668	10,442	13,614	12,706
発電量[kWh]	55,160	5,039	4,979	4,627	2,472
自家消費率[%]	70.74	63.02	82.96	76.62	83.05



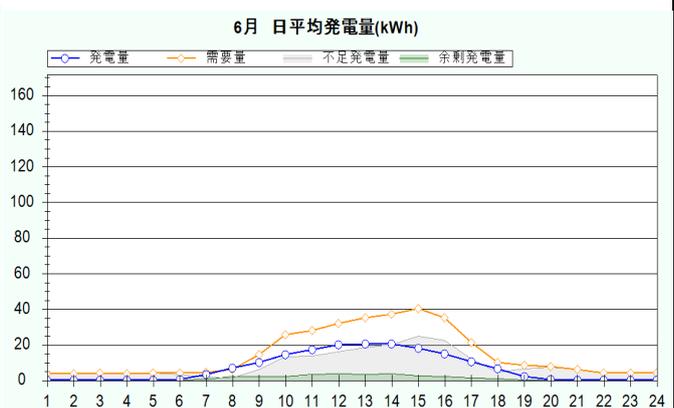
①: 年間発電量グラフ

月	発電量 (kWh)	需要量 (kWh)	不足(kWh)	余剰(kWh)	自家消費率 (%)
1月	2,938.10	15,466.00	13,010.33	482.43	83.58
2月	3,197.74	18,962.00	16,249.85	485.59	84.81
3月	5,039.36	8,668.00	5,492.13	1,863.49	63.02
4月	5,863.28	6,282.00	2,903.93	2,485.21	57.61
5月	6,619.89	5,994.00	2,225.12	2,851.01	56.93
6月	4,979.00	10,442.00	6,311.42	848.43	82.96
7月	6,013.14	16,724.00	12,105.34	1,394.49	76.81
8月	5,958.51	5,746.00	2,699.57	2,912.08	51.13
9月	4,627.44	13,614.00	10,068.32	1,081.76	76.62
10月	4,281.29	10,238.00	6,649.70	692.99	83.81
11月	3,170.78	7,070.00	4,521.76	622.54	80.37
12月	2,471.67	12,706.00	10,653.38	419.05	83.05
合計	55,160.20	131,912.00	92,890.84	16,139.04	70.74

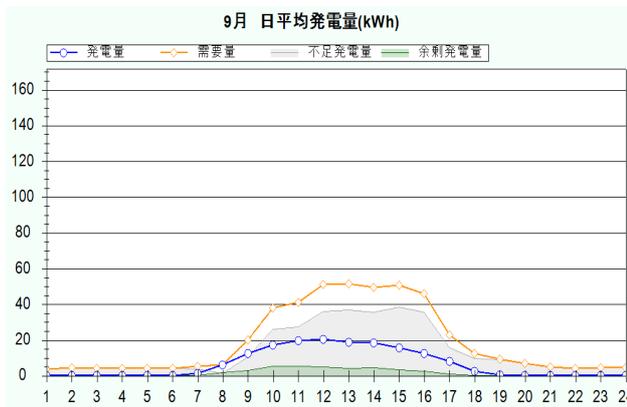
②: 年間発電量/需要量



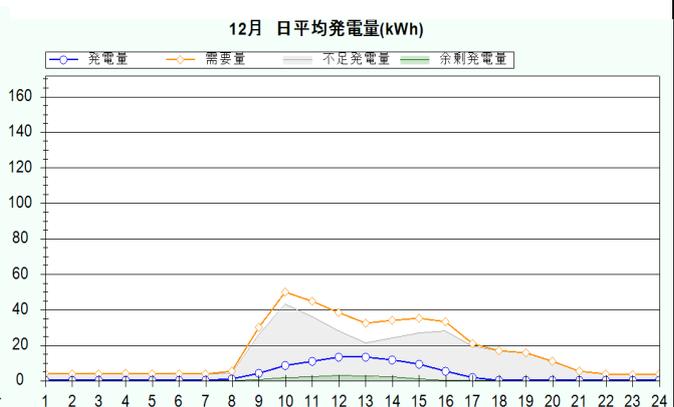
③: 3月の日平均発電量



④: 6月の日平均発電量



⑤: 9月の日平均発電量



⑥: 12月の日平均発電量

- ・年間を通じた想定発電量は需要量を下回っている
- ・ほとんどの月で月別の日平均想定発電量は需要量を下回っており、自家消費率が高い
- ・余剰電力は電力需要の無い、休日・夏休み等に発生している

①西川小学校				住所	福岡県鞍手町大字新北1081		
建築概要	年間電力使用量[kWh]	階数	建築年度	築年数	耐震基準	延床面積	屋根仕上げ
	147,120	2	1992	30	新	2,750	不明
発電関係	年間発電量[kWh]	パネル出力[W]	パネル枚数	発電出力[kW]	CO ₂ 削減量[t-CO ₂]	基準年比CO ₂ 削減率[%]	
	11,991	370	30	11.1	4.38	0.0016	

現地調査結果

【工事用搬入路】

敷地内道路にて搬入可能。屋上へは階段にてアプローチ可能。

【受変電設備】

敷地北側に設置有り。

【周辺状況】

パネル反射による付近への影響無し。
南側駐車場は付近建物による影の影響有り。

【被災履歴】

無し。

【阻害要因】

傾斜屋根の構造はパネル設置可能な強度無し。
駐車場は、南側に山林による影響有り。



写真①:校舎屋上 南側より撮影



写真②:校舎屋上 東側より撮影



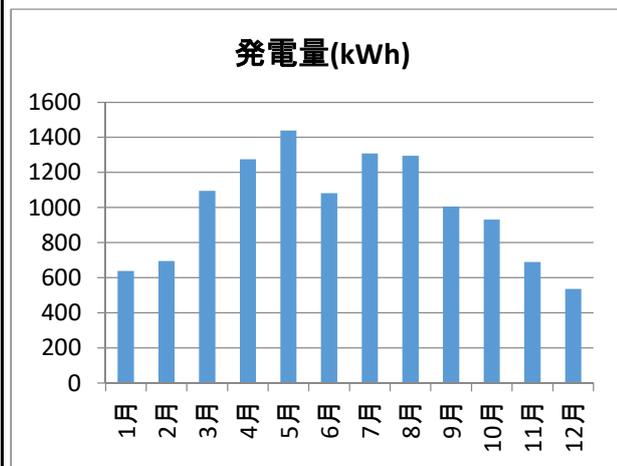
写真③:南側駐車場



写真④:鋼板屋根の状況

⑪西川小学校

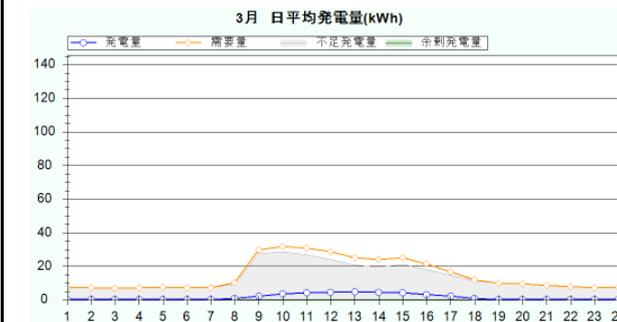
	年間	月			
		3月	6月	9月	12月
需要量[kWh]	147,120	11,052	11,946	14,522	14,258
発電量[kWh]	11,991	1,096	1,082	1,006	537
自家消費率[%]	99.51	99.22	99.88	99.79	100.00



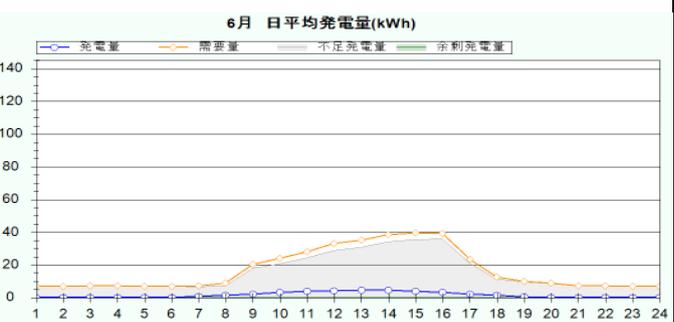
月	発電量(kWh)	需要量(kWh)	不足(kWh)	余剰(kWh)	自家消費率(%)
1月	638.72	15,540.00	14,901.28	0.00	100.00
2月	695.16	18,172.00	17,478.67	1.83	99.74
3月	1,095.51	11,052.00	9,964.99	8.50	99.22
4月	1,274.63	8,284.00	7,014.20	4.83	99.62
5月	1,439.11	7,930.00	6,522.78	31.88	97.78
6月	1,082.39	11,946.00	10,864.92	1.31	99.88
7月	1,307.20	16,608.00	15,303.54	2.74	99.79
8月	1,295.33	7,968.00	6,677.66	4.99	99.62
9月	1,005.97	14,522.00	13,518.12	2.09	99.79
10月	930.71	10,834.00	9,903.29	0.00	100.00
11月	689.30	10,006.00	9,316.70	0.00	100.00
12月	537.32	14,258.00	13,720.68	0.00	100.00
合計	11,991.35	147,120.00	135,186.82	58.17	99.51

①: 年間発電量グラフ

②: 年間発電量/需要量



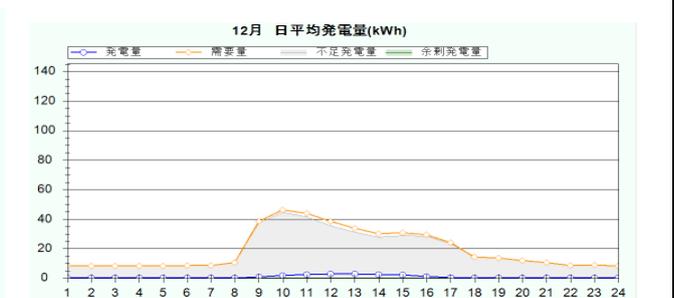
③: 3月の日平均発電量



④: 6月の日平均発電量



⑤: 9月の日平均発電量



⑥: 12月の日平均発電量

- ・年間を通した想定発電量は需要量を下回っている
- ・ほとんどの月で月別の日平均想定発電量は需要量を下回っており、自家消費率が高い
- ・余剰電力は電力需要の少ない5月に多く発生しているが、年間を通して自家消費率が高い

(12)新延小学校				住所	福岡県鞍手町大字新延1511		
建築概要	年間電力使用量[kWh]	階数	建築年度	築年数	耐震基準	延床面積	屋根仕上げ
	105,668	3	1978	44	旧/耐震改修	2,499	不明
発電関係	年間発電量[kWh]	パネル出力[W]	パネル枚数	発電出力[kW]	CO ₂ 削減量[t-CO ₂]	基準年比CO ₂ 削減率[%]	
	119,914	370	300	111	43.77	0.016	

現地調査結果

【工事用搬入路】
敷地内道路にて搬入可能。屋上へは階段にてアプローチ可能。

【受変電設備】
敷地南側に設置有り。

【周辺状況】
パネル反射による付近への影響無し。

【被災履歴】
無し。

【阻害要因】
無し。



写真①: 校舎屋上



写真②: 南側の状況



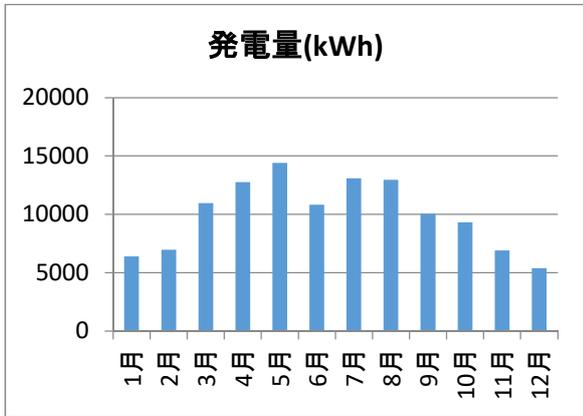
写真③: 配線ルート



写真④: 体育館へのメンテナンスルート

⑫新延小学校

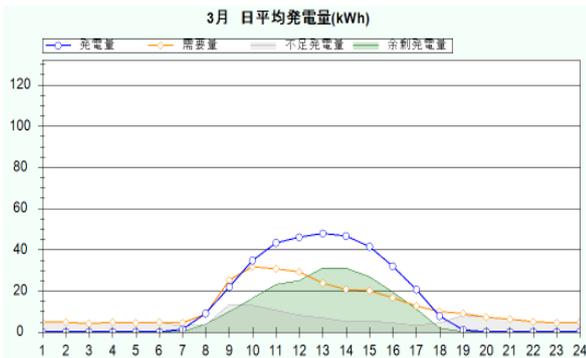
	年間	月					
		3月	6月	9月	12月		
需要量[kWh]	105,668	9,242	7,604	9,904	10,356		
発電量[kWh]	119,914	10,955	10,824	10,060	5,373		
自家消費率[%]	44.03	43.53	44.80	52.87	66.87		



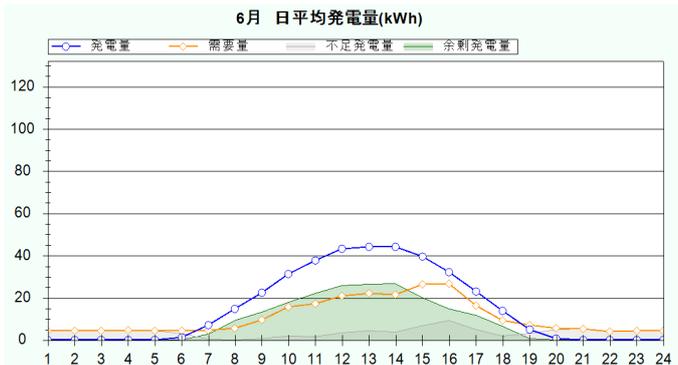
①: 年間発電量グラフ

月	発電量 (kWh)	需要量 (kWh)	不足(kWh)	余剰(kWh)	自家消費率 (%)
1月	6,387.25	11,956.00	7,652.02	2,083.28	67.38
2月	6,951.64	13,840.00	8,767.76	1,879.39	72.96
3月	10,955.16	9,242.00	4,473.12	6,186.28	43.53
4月	12,746.23	5,188.00	2,188.44	9,746.67	23.53
5月	14,391.05	4,862.00	1,605.85	11,134.90	22.63
6月	10,823.91	7,604.00	2,754.35	5,974.26	44.80
7月	13,072.02	11,804.00	4,727.99	5,996.01	54.13
8月	12,953.27	5,780.00	2,201.91	9,375.18	27.62
9月	10,059.67	9,904.00	4,585.33	4,741.00	52.87
10月	9,307.18	7,666.00	3,463.33	5,104.51	45.16
11月	6,893.04	7,466.00	3,686.11	3,113.15	54.84
12月	5,373.28	10,356.00	6,762.66	1,779.94	66.87
合計	119,913.69	105,668.00	52,868.88	67,114.57	44.03

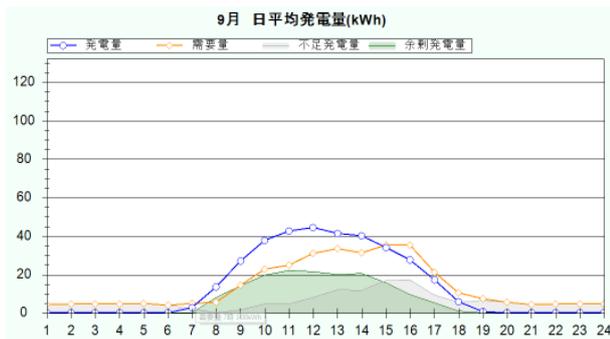
②: 年間発電量/需要量



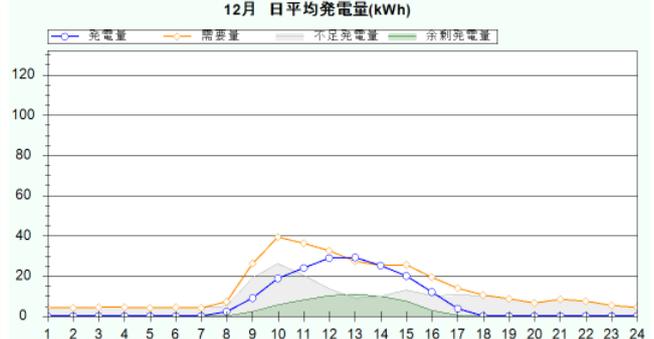
③: 3月の日平均発電量



④: 6月の日平均発電量



⑤: 9月の日平均発電量



⑥: 12月の日平均発電量

- ・年間を通じた想定発電量と需要量はほぼ等しい
- ・冬季以外は発電量が需要を上回っており、余剰電力が発生している
- ・発電出力を下げると自家消費率が上がり電力の有効利用が可能

⑬室木小学校				住所	福岡県鞍手町大字新延1511		
建築概要	年間電力使用量[kWh]	階数	建築年度	築年数	耐震基準	延床面積	屋根仕上げ
	105,668	3	1981	41	新	2,142	不明
発電関係	年間発電量[kWh]	パネル出力[W]	パネル枚数	発電出力[kW]	CO ₂ 削減量[t-CO ₂]	基準年比CO ₂ 削減率[%]	
	21,584	370	54	19.98	7.88	0.0028	

現地調査結果

【工事用搬入路】
敷地内道路にて搬入可能。屋上へは階段にてアプローチ可能。

【受変電設備】
校舎屋上に有り。

【周辺状況】
パネル反射による付近への影響無し。

【被災履歴】
無し。

【阻害要因】
無し。



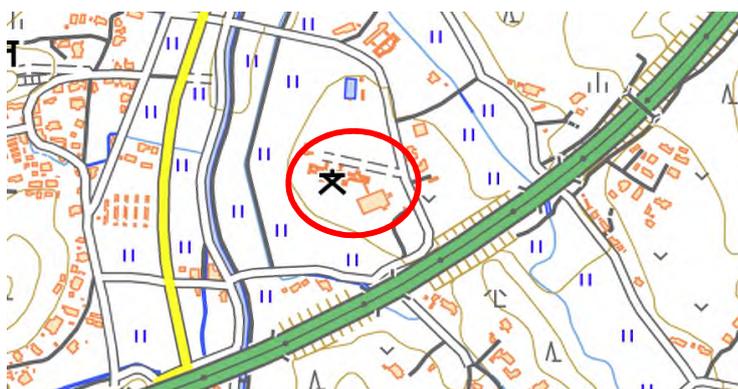
写真①: 校舎屋上 西側より撮影



写真②: 校舎屋上 西側より撮影



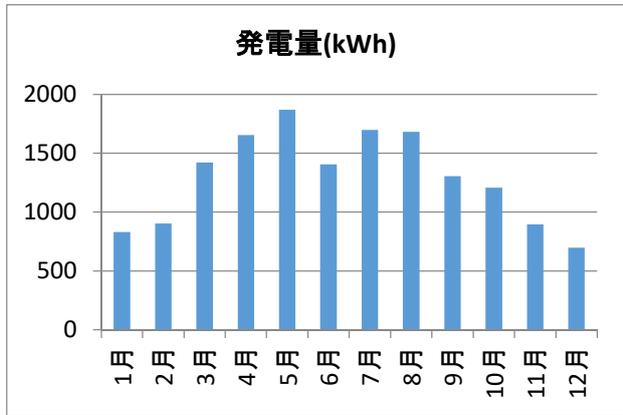
写真③: 南側に光害を受ける施設なし



写真④: 校舎屋上 東側より撮影

⑬室木小学校

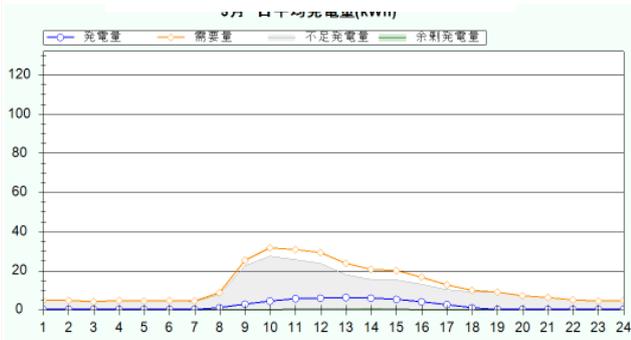
	年間	月			
		3月	6月	9月	12月
需要量[kWh]	105,668	9,242	7,604	9,904	10,356
発電量[kWh]	21,584	1,972	1,948	1,811	967
自家消費率[%]	87.95	90.12	94.16	88.71	93.20



月	発電量 (kWh)	需要量 (kWh)	不足(kWh)	余剰(kWh)	自家消費率 (%)
1月	1,149.71	11,956.00	10,883.09	76.80	93.32
2月	1,251.29	13,840.00	12,687.65	98.94	92.09
3月	1,971.93	9,242.00	7,464.80	194.73	90.12
4月	2,294.32	5,188.00	3,351.34	457.66	80.05
5月	2,590.39	4,862.00	2,805.45	533.84	79.39
6月	1,948.30	7,604.00	5,769.56	113.87	94.16
7月	2,352.96	11,804.00	9,713.69	262.65	88.84
8月	2,331.59	5,780.00	3,926.98	478.57	79.47
9月	1,810.74	9,904.00	8,297.62	204.36	88.71
10月	1,675.29	7,666.00	6,048.30	57.59	96.56
11月	1,240.75	7,466.00	6,282.01	56.76	95.43
12月	967.19	10,356.00	9,454.57	65.76	93.20
合計	21,584.46	105,668.00	86,685.07	2,601.54	87.95

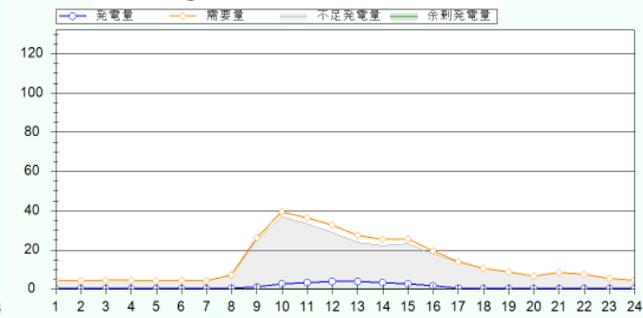
①:年間発電量グラフ

②:年間発電量/需要量



③:3月の日平均発電量

④:6月の日平均発電量



⑤:9月の日平均発電量

⑥:12月の日平均発電量

- ・年間を通して想定発電量は需要量を下回っている
- ・ほとんどの月で月別の日平均想定発電量は需要量を下回っており、自家消費率が高い
- ・余剰電力は電力需要の少ない5月や8月に発生しているが、年間を通して自家消費率が高い

(14)鞍手駅舎				住所	福岡県鞍手町小牧573		
建築概要	年間電力使用量[kWh]	階数	建築年度	築年数	耐震基準	延床面積	屋根仕上げ
		1	1987	35	新	129	不明
発電関係	年間発電量[kWh]	パネル出力[W]	パネル枚数	発電出力[kW]	CO ₂ 削減量[t-CO ₂]	基準年比CO ₂ 削減率[%]	
	9,193	370	23	8.51	3.36	0.0012	

現地調査結果

【工事用搬入路】
前面道路より搬入可能。

【受変電設備】
駅舎南側に引込盤有り。

【周辺状況】
パネル反射による付近への影響無し。

【被災履歴】
無し。

【阻害要因】
駅舎内設備は照明、換気扇のみの為、電力使用量が少ない。発電量と需要量のバランスが必要。



写真①: 駅舎 南側より撮影



写真②: 駅舎 北側より撮影



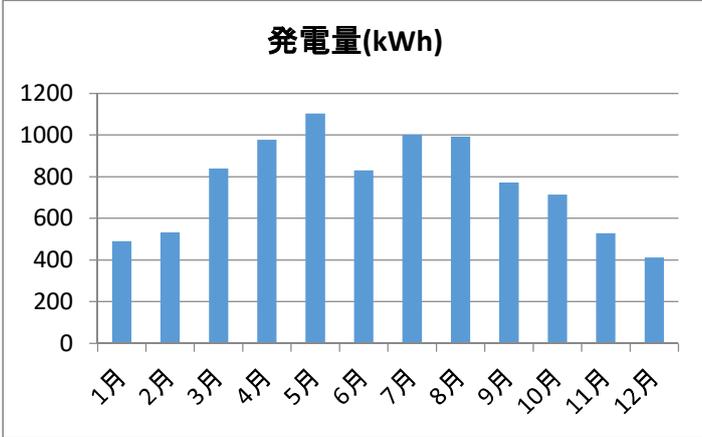
写真③: 駅舎内



写真④: 駅舎南側の状況

⑭鞍手駅舎

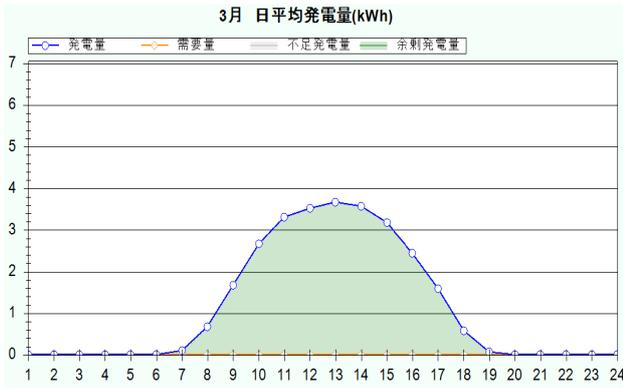
	年間	月			
		3月	6月	9月	12月
需要量[kWh]	資料が無い為、記載無し				
発電量[kWh]	9,193	840	830	771	412
自家消費率[%]	-	-	-	-	-



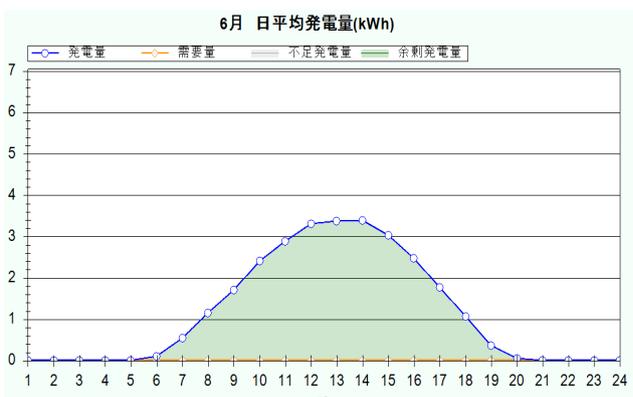
①:年間発電量グラフ

月	発電量(kWh)	需要量(kWh)	不足(kWh)	余剰(kWh)	自家消費率(%)
1月	489.69	0.00	0.00	489.69	0.00
2月	532.96	0.00	0.00	532.96	0.00
3月	839.90	0.00	0.00	839.90	0.00
4月	977.21	0.00	0.00	977.21	0.00
5月	1,103.31	0.00	0.00	1,103.31	0.00
6月	829.83	0.00	0.00	829.83	0.00
7月	1,002.19	0.00	0.00	1,002.19	0.00
8月	993.08	0.00	0.00	993.08	0.00
9月	771.24	0.00	0.00	771.24	0.00
10月	713.55	0.00	0.00	713.55	0.00
11月	528.47	0.00	0.00	528.47	0.00
12月	411.95	0.00	0.00	411.95	0.00
合計	9,193.38	0.00	0.00	9,193.38	0.00

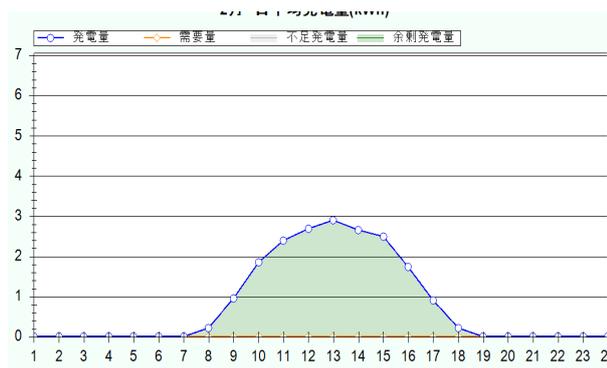
②:年間発電量/需要量



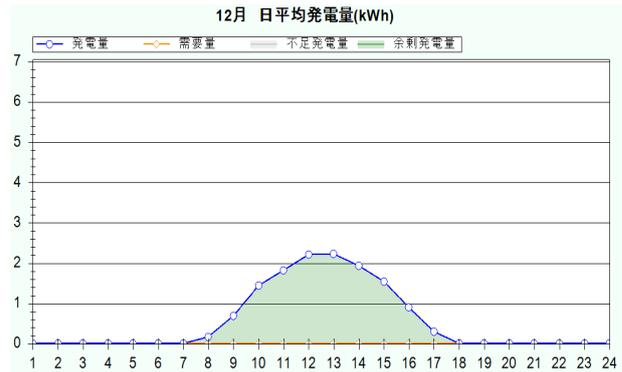
③:3月の日平均発電量



④:6月の日平均発電量



⑤:9月の日平均発電量



⑥:12月の日平均発電量

(15)舟川町営住宅 浄化槽				住所		福岡県鞍手町小牧573	
建築概要	年間電力使用量[kWh]	階数	建築年度	築年数	耐震基準	延床面積	屋根仕上げ
	4,587	1	1987	35	新	129	不明
発電関係	年間発電量[kWh]	パネル出力[W]	パネル枚数	発電出力[kW]	CO ₂ 削減量[t-CO ₂]	基準年比CO ₂ 削減率[%]	
	1,999	370	5	1.85	0.73	0.00026	

現地調査結果

【工事用搬入路】
前面道路より搬入可能。

【受変電設備】
北側より低圧引込。

【周辺状況】
南側は耕地となっており、パネル反射による付近への影響無し。

【被災履歴】
無し。

【阻害要因】
南側の空き地については、地盤の状況により設置不可



写真①:浄化槽北側より撮影



写真②:浄化槽南側より撮



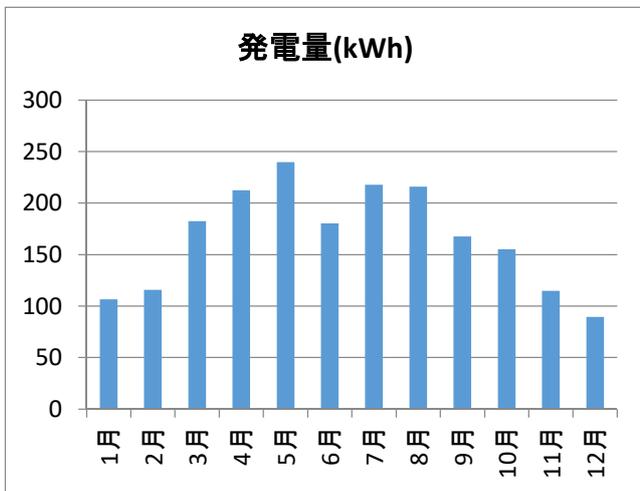
写真③:浄化槽制御盤



写真④:住宅等前面空き地

⑮舟川町営住宅 浄化槽

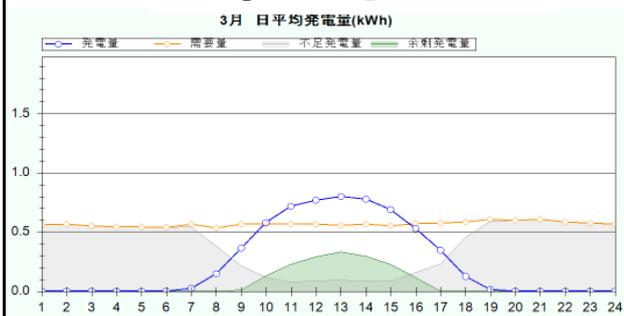
	年間	月平均					
		3月	6月	9月	12月		
需要量[kWh]	4,587	422	310	357	407		
発電量[kWh]	1,999	183	180	168	90		
自家消費率[%]	69.75	72.34	61.66	70.49	91.68		



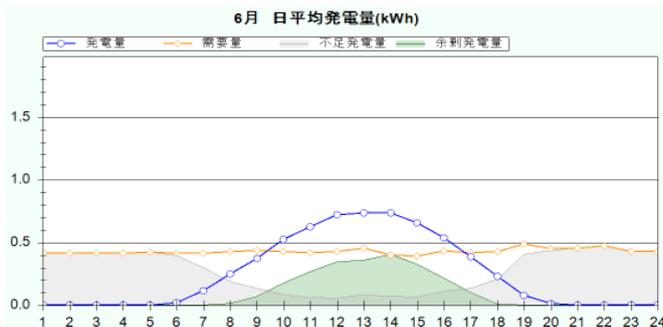
①: 年間発電量グラフ

月	発電量 (kWh)	需要量 (kWh)	不足(kWh)	余剰(kWh)	自家消費率 (%)
1月	106.45	420.20	326.99	13.24	87.56
2月	115.86	374.00	282.73	24.59	78.78
3月	182.59	422.20	290.12	50.51	72.34
4月	212.44	409.50	272.60	75.53	64.44
5月	239.85	414.20	260.93	86.58	63.90
6月	180.40	309.90	198.66	69.16	61.66
7月	217.87	362.40	225.91	81.38	62.65
8月	215.89	344.40	217.05	88.54	58.99
9月	167.66	357.00	238.82	49.48	70.49
10月	155.12	373.90	259.29	40.51	73.88
11月	114.88	392.40	295.02	17.50	84.76
12月	89.55	407.00	324.90	7.45	91.68
合計	1,998.56	4,587.10	3,193.02	604.49	69.75

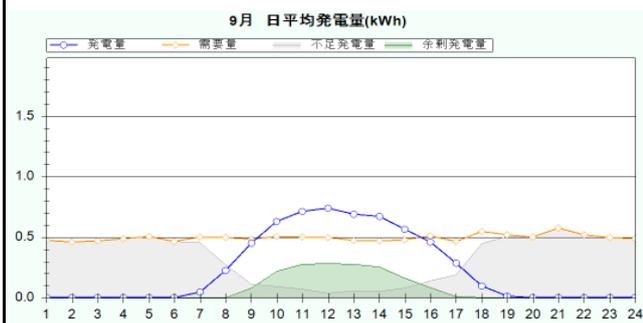
②: 年間発電量/需要量



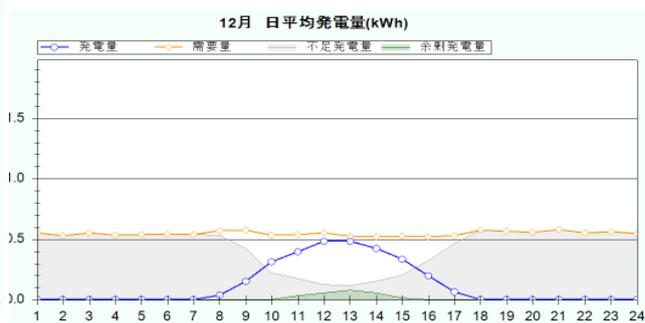
③: 3月の日平均発電量



④: 6月の日平均発電量



⑤: 9月の日平均発電量



⑥: 12月の日平均発電量

- ・年間を通した想定発電量は需要量を下回っている
- ・需要量ほぼ一定で、発電量がピークに達する時間帯で余剰電力が発生している
- ・需要量に合わせて発電出力を下げることで、自家消費率を上げることが可能

⑩室木町宮住宅 浄化槽				住所		福岡県鞍手町小牧573	
建築概要	年間電力使用量[kWh]	階数	建築年度	築年数	耐震基準	延床面積	屋根仕上げ
	4,135	1	1987	35	新	129	不明
発電関係	年間発電量[kWh]	パネル出力[W]	パネル枚数	発電出力[kW]	CO ₂ 削減量[t-CO ₂]	基準年比CO ₂ 削減率[%]	
	5,596	370	14	5.18	2.04	0.00072	

現地調査結果

【工事用搬入路】
前面道路より搬入可能。

【受変電設備】
敷地南側より低圧引込。

【周辺状況】
道路を挟んだ南側に住宅有り。

【被災履歴】
無し。

【阻害要因】
無し。



写真①:南側より撮影



写真②:浄化槽制御盤



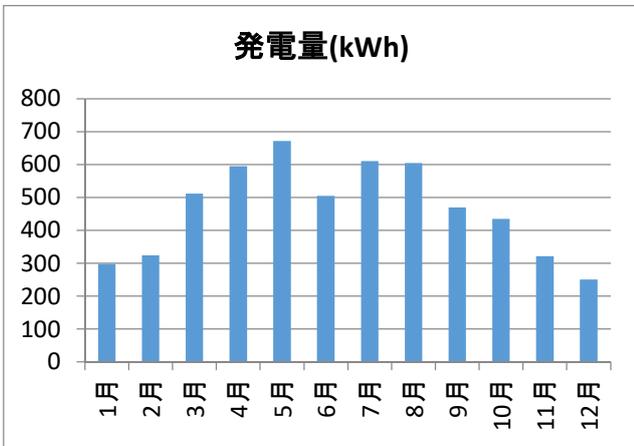
写真③:浄化槽制御盤への電力引込



写真④:浄化槽設置場所

⑩室木町営住宅 浄化槽

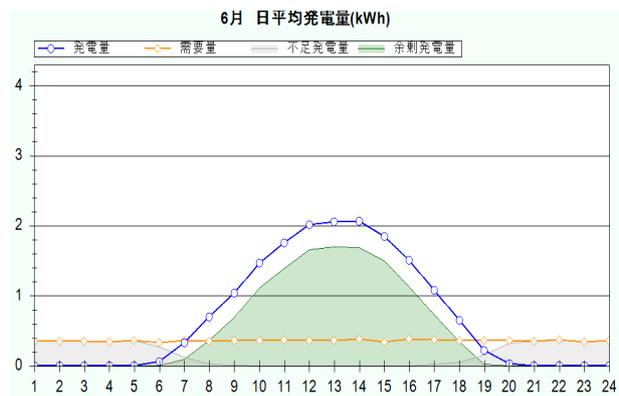
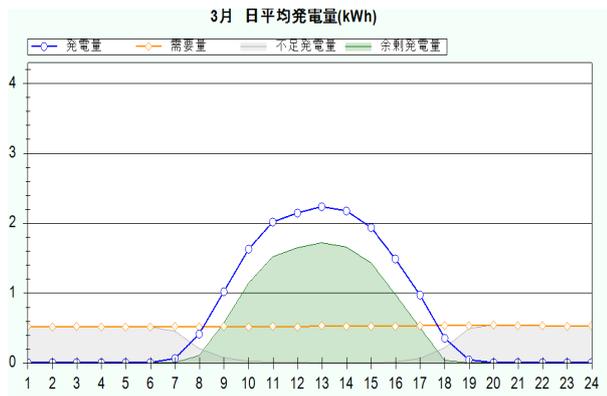
	年間	月					
		3月	6月	9月	12月		
需要量[kWh]	4,135	388	260	391	309		
発電量[kWh]	5,596	511	505	469	251		
自家消費率[%]	30.94	31.61	26.34	35.11	41.50		



1月	298.07	413.50	276.54	161.11	45.95
2月	324.41	289.10	183.39	218.70	32.59
3月	511.24	388.30	226.69	349.63	31.61
4月	594.82	368.50	205.20	431.53	27.45
5月	671.58	323.90	163.92	511.60	23.82
6月	505.12	259.50	126.44	372.05	26.34
7月	610.03	402.60	207.21	414.64	32.03
8月	604.49	305.30	155.41	454.59	24.80
9月	469.45	390.80	225.98	304.63	35.11
10月	434.33	274.30	157.84	317.88	26.81
11月	321.68	410.10	270.23	181.81	43.48
12月	250.75	308.60	204.53	146.68	41.50
合計	5,595.97	4,134.50	2,403.38	3,864.85	30.94

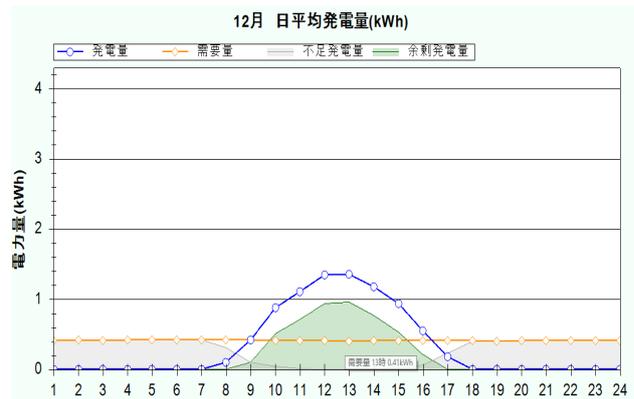
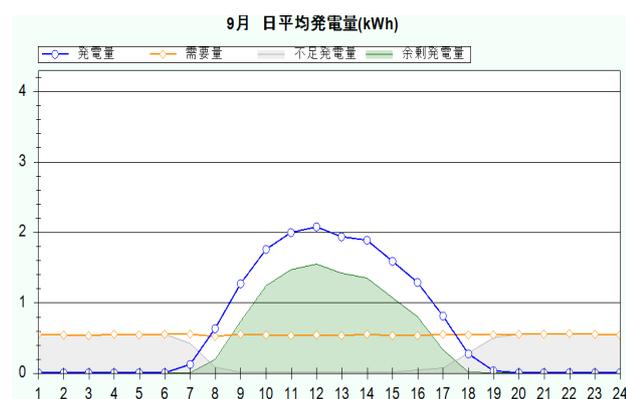
①:年間発電量グラフ

②:年間発電量/需要量



③:3月の日平均発電量

④:6月の日平均発電量



⑤:9月の日平均発電量

⑥:12月の日平均発電量

- ・年間を通して想定発電量は需要量を上回っている
- ・需要量ほぼ一定で、発電量した電力の6~7割が余剰電力として発生している
- ・需要量に合わせて発電出力を下げることで、自家消費率を上げることが可能

⑰ 泉水団地改良住宅 浄水槽				住所	福岡県鞍手町小牧573		
建築概要	年間電力使用量[kWh]	階数	建築年度	築年数	耐震基準	延床面積	屋根仕上げ
	22,628	1	1987	35	新	129	不明
発電関係	年間発電量[kWh]	パネル出力[W]	パネル枚数	発電出力[kW]	CO ₂ 削減量[t-CO ₂]	基準年比CO ₂ 削減率[%]	
	3,198	370	8	2.96	1.17	0.00041	

現地調査結果

【工事用搬入路】
前面道路より搬入可能。

【受変電設備】
北側より低圧引込

【周辺状況】
南側に住宅がある為、住宅窓前を避けたレイアウトが必要
背面が擁壁となっている為、影の範囲を考慮したレイアウトが必要

【被災履歴】
無し

【阻害要因】



写真①: 北側より撮影



写真②: 北側の状況



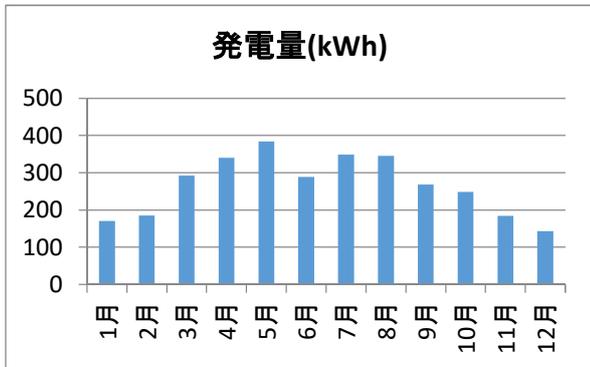
写真③: 浄化槽制御盤



写真④: 浄化槽制御盤への引

⑰ 泉水団地改良住宅 浄水槽

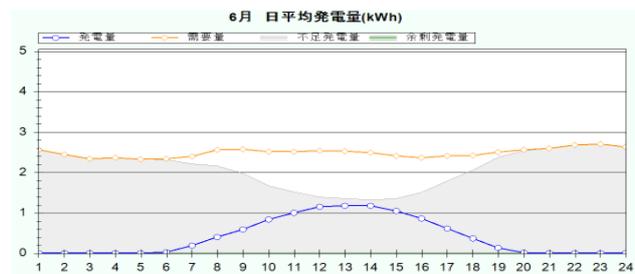
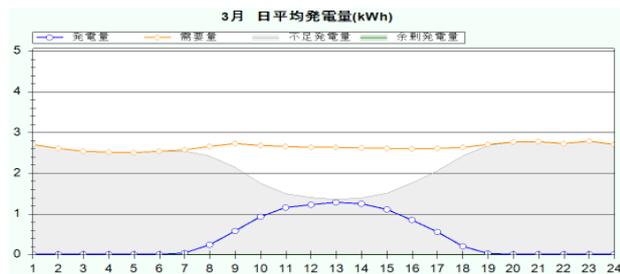
	年間	月					
		3月	6月	9月	12月		
需要量[kWh]	22,628	1,968	1,793	1,826	1,886		
発電量[kWh]	3,198	292	289	268	143		
自家消費率[%]	99.96	100.00	100.00	100.00	100.00		



月	発電量 (kWh)	需要量 (kWh)	不足(kWh)	余剰(kWh)	自家消費率 (%)
1月	170.33	1,499.30	1,329.33	0.35	99.79
2月	185.38	1,639.60	1,455.19	0.97	99.48
3月	292.14	1,967.60	1,675.46	0.00	100.00
4月	339.90	2,372.30	2,032.40	0.00	100.00
5月	383.76	2,128.80	1,745.04	0.00	100.00
6月	288.64	1,793.10	1,504.46	0.00	100.00
7月	348.59	1,865.50	1,516.91	0.00	100.00
8月	345.42	1,901.60	1,556.18	0.00	100.00
9月	268.26	1,825.70	1,557.44	0.00	100.00
10月	248.19	1,919.00	1,670.81	0.00	100.00
11月	183.81	1,829.50	1,645.69	0.00	100.00
12月	143.29	1,885.80	1,742.51	0.00	100.00
合計	3,197.70	22,627.80	19,431.42	1.32	99.96

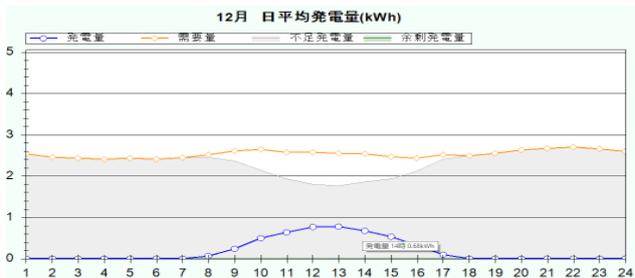
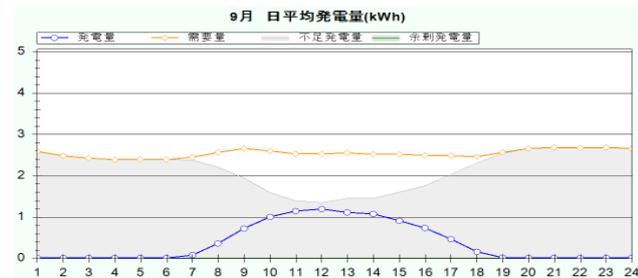
①: 年間発電量グラフ

②: 年間発電量/需要量



③: 3月の日平均発電量

④: 6月の日平均発電量



⑤: 9月の日平均発電量

⑥: 12月の日平均発電量

- ・年間を通して想定発電量は需要量を下回っている
- ・需要量ほぼ一定で、発電量のほとんどが自家消費されているおり、適切な発電出力となっている

⑩幸ノ浦団地改良住宅 浄水槽				住所	福岡県鞍手町小牧573		
建築概要	年間電力使用量[kWh]	階数	建築年度	築年数	耐震基準	延床面積	屋根仕上げ
	22,628	1	1987	35	新	129	不明
発電関係	年間発電量[kWh]	パネル出力[W]	パネル枚数	発電出力[kW]	CO ₂ 削減量[t-CO ₂]	基準年比CO ₂ 削減率[%]	
	13,191	370	33	12.21	4.81	0.0017	

現地調査結果

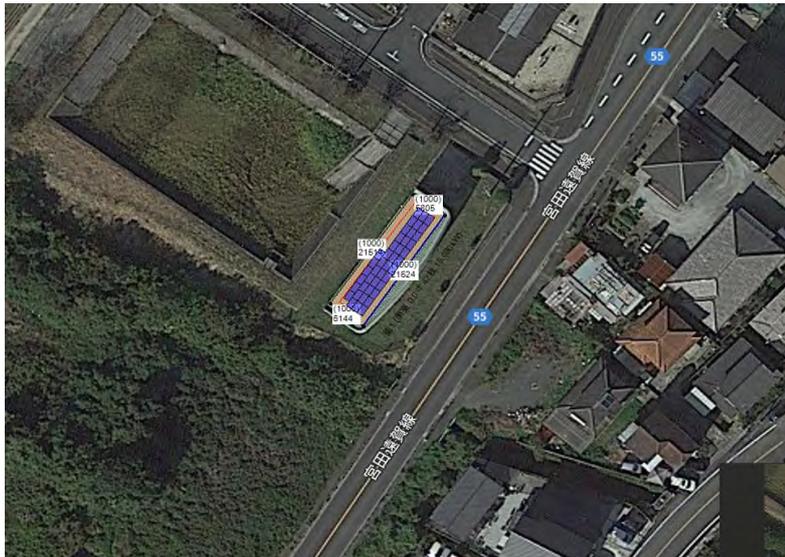
【工事用搬入路】
前面道路より搬入可能。

【受変電設備】
北側より低圧引込。

【周辺状況】
パネル反射による付近への影響無し。

【被災履歴】
無し。

【阻害要因】
無し。



写真①: 北側より撮影



写真②: 浄化槽内部の状況



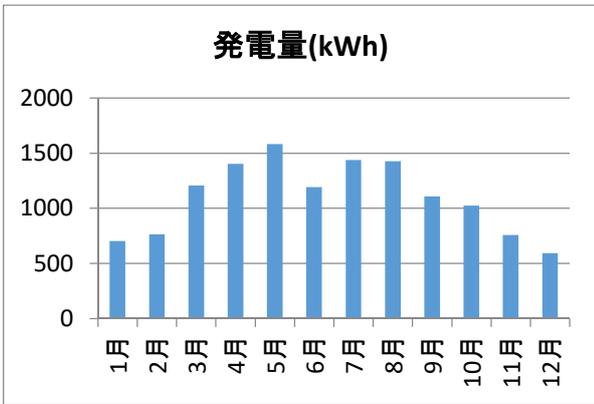
写真③: 浄化槽制御盤



写真④: 浄化槽制御盤への引込

⑩幸ノ浦団地改良住宅 浄水槽

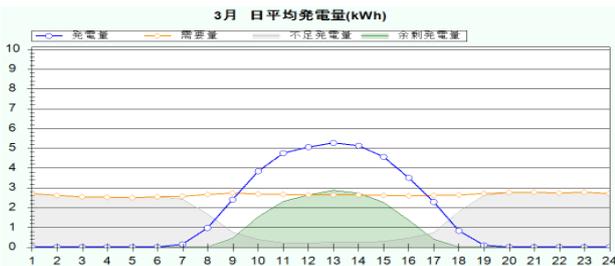
	年間	月			
		3月	6月	9月	12月
需要量[kWh]	22,628	1,968	1,793	183	1,886
発電量[kWh]	13,191	1,205	1,191	1,107	591
自家消費率[%]	59.79	57.30	58.09	61.15	79.24



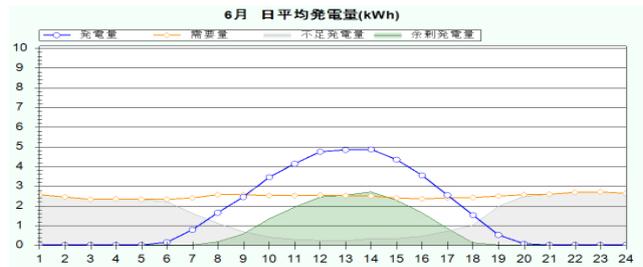
①:年間発電量グラフ

月	発電量 (kWh)	需要量 (kWh)	不足(kWh)	余剰(kWh)	自家消費率 (%)
1月	702.60	1,499.30	1,061.42	264.72	62.32
2月	764.68	1,639.60	1,160.09	285.17	62.71
3月	1,205.07	1,967.60	1,277.14	514.60	57.30
4月	1,402.09	2,372.30	1,512.85	542.64	61.30
5月	1,583.02	2,128.80	1,293.75	747.97	52.75
6月	1,190.63	1,793.10	1,110.51	499.04	58.09
7月	1,437.92	1,865.50	1,080.85	653.28	54.57
8月	1,424.86	1,901.60	1,132.96	656.22	53.94
9月	1,106.56	1,825.70	1,149.00	429.86	61.15
10月	1,023.79	1,919.00	1,265.53	370.32	63.83
11月	758.23	1,829.50	1,288.96	217.69	71.29
12月	591.06	1,885.80	1,417.44	122.70	79.24
合計	13,190.51	22,627.80	14,741.52	5,304.22	59.79

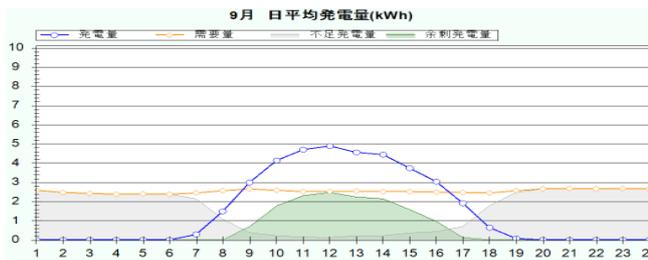
②:年間発電量/需要量



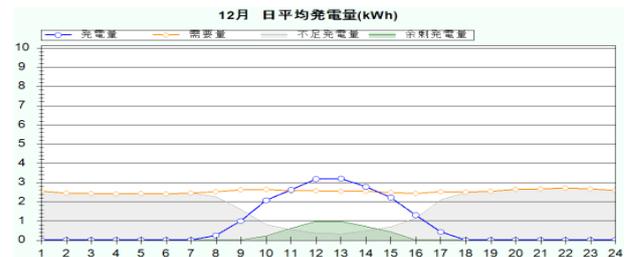
③:3月の日平均発電量



④:6月の日平均発電量



⑤:9月の日平均発電量



⑥:12月の日平均発電量

- ・年間を通して想定発電量は需要量を上回っている
- ・需要量はほぼ一定で、発電した電力の5~8割が余剰電力として発生している
- ・需要量に合わせて発電出力を下げることで、自家消費率を上げることが可能

4-2 公共遊休地

4-2-1 導入検討対象施設の調査・検討結果

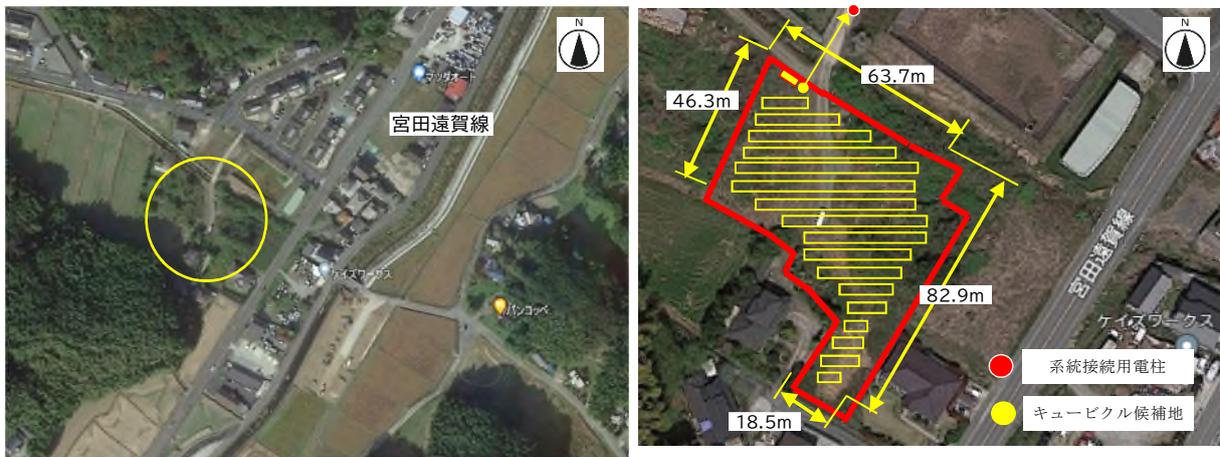
公共遊休地の太陽光発電導入検討地の敷地条件や周辺環境は表 4-2 に示すとおり（7 地区面積：約 1.4ha）。各地区の概要を図 4-1、位置図を図 4-2 に示す。

表 4-1 公共遊休地の敷地条件・周辺環境

NO	遊休地名称	住 所	敷地面積	敷地環境・周辺環境
1	八尋草場	八尋字草場 16338-1	2,893m ²	・西川沿いに走る県道宮田遠賀線の西側に隣接する一画で都市地域に指定されている。敷地平坦で現在は雑草が繁茂している。南側には丘陵の樹林地の他住宅が3軒隣接
2	旧古月保育所跡地	木月字片原 346-1	1,529m ²	・古月集落の一画にあり、東側には剣神社の社叢が、南は参道を介して、西・北側は住宅と直接隣接する。
3	藤郷用地	小牧字大池 2435-1	2,513m ²	・南北に細長い平坦な敷地で、東側と西側は住宅地に隣接する。現在は雑草の繁茂地となっている。
4	猪倉用地	猪倉字広狭 432	2,091m ²	・猪倉集落の南側に広がる田畑地の一画に位置する水田地。隣接地には事業所と資材置場がある。
5	旧鞍手町土地 開発公社所有地	上木月字沼 550	2,391m ²	・木月池からの排水路出口に位置し、周囲は水田地帯。敷地の南西側に鉄塔敷。地形的には平坦地であるが、現在は残土置き場(高さ：2m)。
6	中山重見用地	中山字重見 155番地25	1,442m ²	・町道上松雄・重見線沿いの細長い敷地で北側は丘陵の樹林地。
7	京ノ上旧整備 公団用地	中山字濁り 928-2	1,139m ²	・濁池北側の提体道路(県道直方宗像線)下部の水田地。
計			13,998m ²	

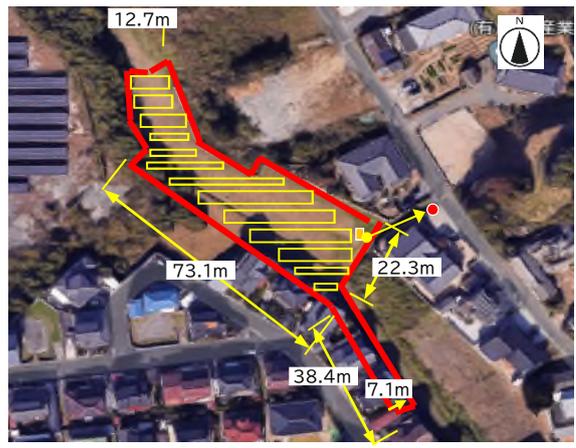
①八尋草場地区

図 4-4 公共遊休地の概要



②旧古月保育園跡地地区 A=1,592m² 木月字片原 346-1

③ 藤郷用地地区



④ 猪倉用地地区



⑤ 旧鞍手町土地開発公社所有地



⑥ 中山重見用地



⑦京ノ上旧整備公団用地

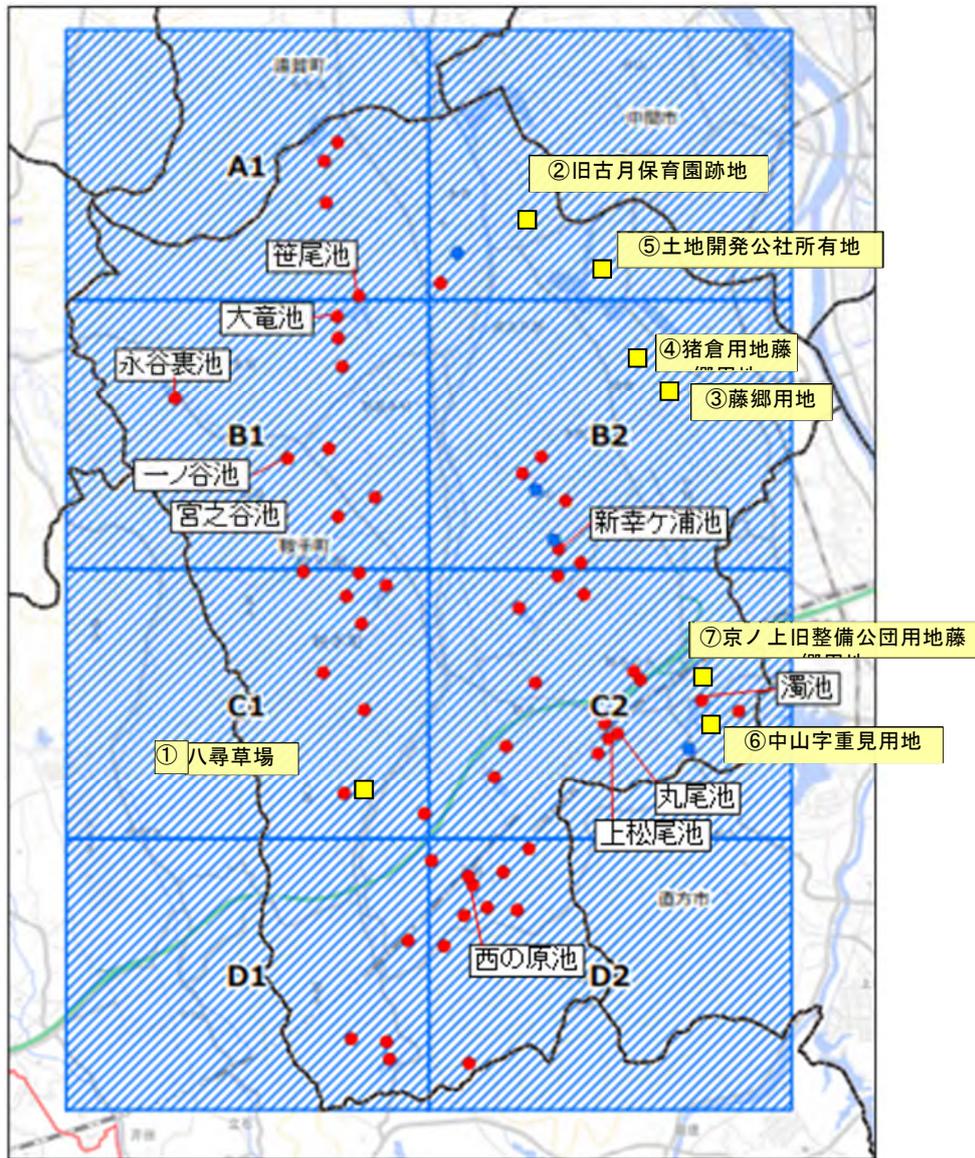
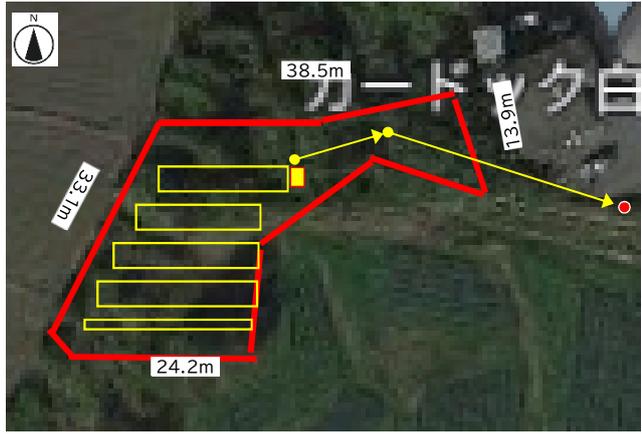


図 4-3 公共遊休地分布図

4-2-2 公共遊休地の発電設備の想定発電量

(1) 公共遊休地の日射条件

日照時間と日射量について、福岡県の「再生可能エネルギー導入支援システム」を使用し、町内4地点の平均値として求めた。その結果によると、年間日照時間は1,823時間/年、日平均日射量は3.61kWh/m²・日と想定される(表4-2)。

表 4-2 鞍手町の日照時間と日射量

		北部(古門/ 伏原池)	南部(室木/ 宮田越下池)	中部(中山/ 新倉予定地)	中部(新延/ 御堂ヶ浦池)	平均
標高	m	30	40	20	10	25
月平均日照時間	時間/月	151.5	152.4	151.4	152.4	151.9
年間日照時間	時間/年	1,818	1,829	1,817	1,829	1,823
日平均日射量	kWh/m ² ・日	3.61	3.64	3.58	3.61	3.61

本町の月別日射量については、NEDOの「MONSOLA-20」より、役場地点で方位は真南(S)、パネル角度は10°の条件で求めた(表4-3)。その結果によると月別平均日射量は2.41(1月)～5.53(5月)kWh/m²・日の範囲にあり、年間平均値は4.01kWh/m²・日で水平面値(3.61 kWh/m²・日)より11.1%増となっている。

表 4-3 鞍手町の月別平均日射量(角度10度)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均
月平均日射量 パネル角度10°	kWh/m ² ・日	2.41	3.07	4.23	4.95	5.53	4.38	5.15	5.33	4.18	3.76	2.95	2.18	4.01

出典「年間月別日射量データベース(MONSOLA-20)」NEDO 値は鞍手町役場地点、方位S角度10°

(2) 公共遊休地の発電量推計

上記の日射量条件・敷地条件による発電出力と発電量は、以下のように推計される(表4-4)。なお、設備利用率は、鞍手町の50kW以上の太陽光発電設備の実績値15.1%(環境省自治体排出カルテ・鞍手町版)を、1kW当りパネル設置面積は12.5m²/kW(10～15m²/kWの平均値)を採用している。各地区の発電出力は、78～210kWの範囲で平均140kW、合計で978kWであった。年間発電量は全体で1,293MWh/年で、2018年度公共施設電力需要=5,125MWhの21.1%、町全体の電力需要=150,231MWhの0.86%に相当している。以上を前提とすると、全体のCO₂削減量は472t-CO₂/年で、基準年度比CO₂削減率は0.167%相当と算定される。

表 4-4 公共遊休地の発電量推計

NO	地区名称	敷地面積 (m ²)	パネル面 積(m ²)	発電出 力(kW)	年間発電量 (MWh/年)	CO ₂ 削減量 (t-CO ₂ /年)	基準年比CO ₂ 削減率(%)
1	八尋草場	2,893	2,630	210	278.3	101.6	0.036%
2	旧古月保育所跡地	1,529	1,340	107	141.8	51.7	0.018%
3	藤郷用地	2,513	1,997	160	211.3	77.1	0.027%
4	猪倉用地	2,091	1,869	149	197.7	72.2	0.026%
5	旧鞍手町土地開発公社所有地	2,391	2,153	172	227.8	83.1	0.029%
6	中山重見用地	1,442	1,258	101	133.2	48.6	0.017%
7	京ノ上旧整備公園用地	1,139	976	78	103.3	37.7	0.013%
計		13,998	12,222	978	1,293	472	0.167%

※年間発電量(kWh)=発電出力(kW)×8,760h(年間発電量)×15.1%(設備利用率)

4-3 ため池

4-3-1 導入検討対象施設の調査・検討結果

表 4-5 調査ため池の概要

分布 地図 NO	台帳- NO	名 称	満水 面積 (㎡)	提体 高(m)	提頂 長(m)	総貯水量 (千m ³)	平均水深 (m)	所有者	管理者
7	2	西の原池	7,000	7.6	142	24	3.4	町	町
18	28	上松尾池	6,200	6.9	92.6	16	2.6	町	町
23	12	新幸ノ浦池	3,000	3.0	36	19	9.5	町	町
27	3	丸尾池	1,600	4.45	97.7	3.7	2.3	町	町
42	43	宮ノ谷池	12,000	5.5	90	49	4.1	町	町
44	45	一ノ谷池	9,000	7.4	80	18	2.0	町	町
47	42	大竜池	2,500	9.5	130	15	6.0	町	町
48	19	笹尾池	2,000	4.5	100	7	3.5	町/他	町
58	39	永谷裏池	10,000	5.0	68	63	6.3	町	町
合計			53,300			214.7			

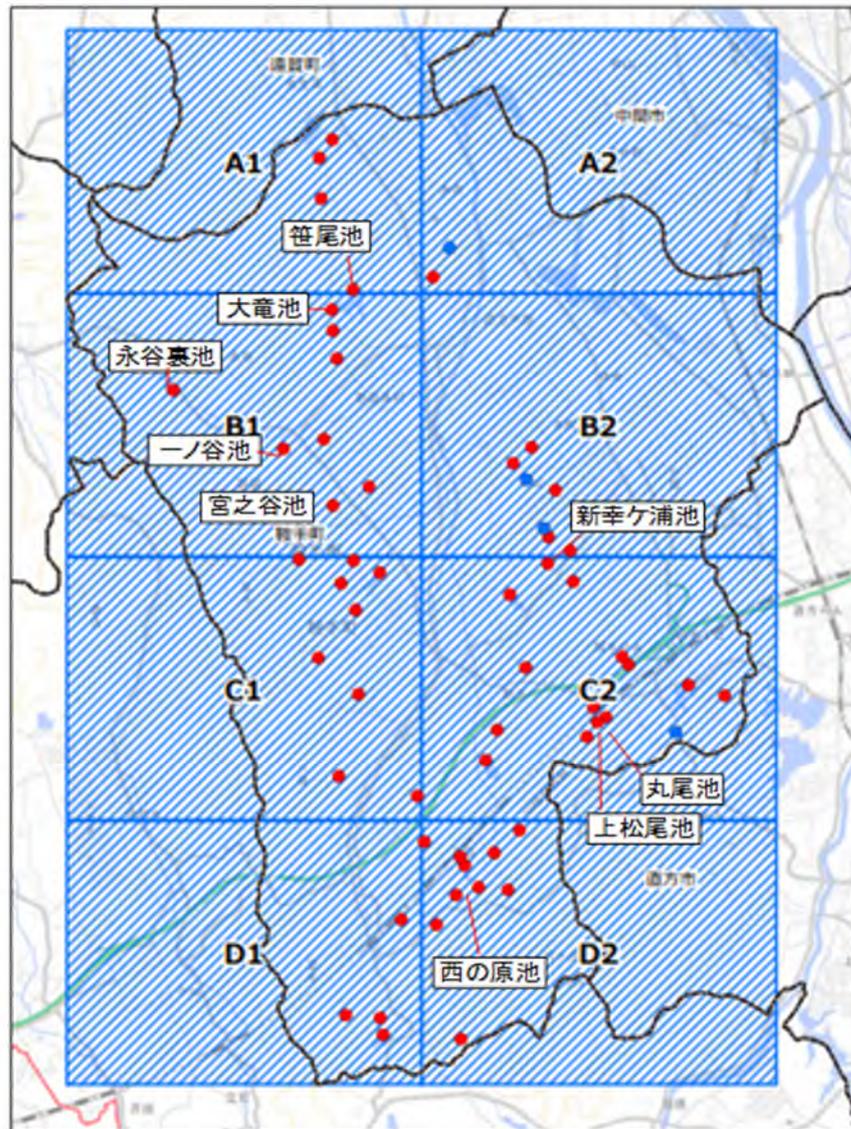


図 4-6 調査ため池の分布図

1 西の原池		29 分布番号	台帳 No: 0402002	住 所	鞍手町大字永谷字西の原 859			
ため池 概 要	貯水量	満水面積	堤高	堤長	平均水深	所有者	管理者	特定農業用ため池
	23,999m ³	7,000m ²	7.6m	142m	3.40m	鞍手町	鞍手町	該当せず
発 電 関 係	フロート面積	フロート台数	発電出力	発電量		CO ₂ 削減量	基準年比CO ₂ 削減率	
	2,410m ²	36基	220kW	293MWh		107t-co ₂	0.038%	
現地確認調査結果							調査日	2022/10/19~20

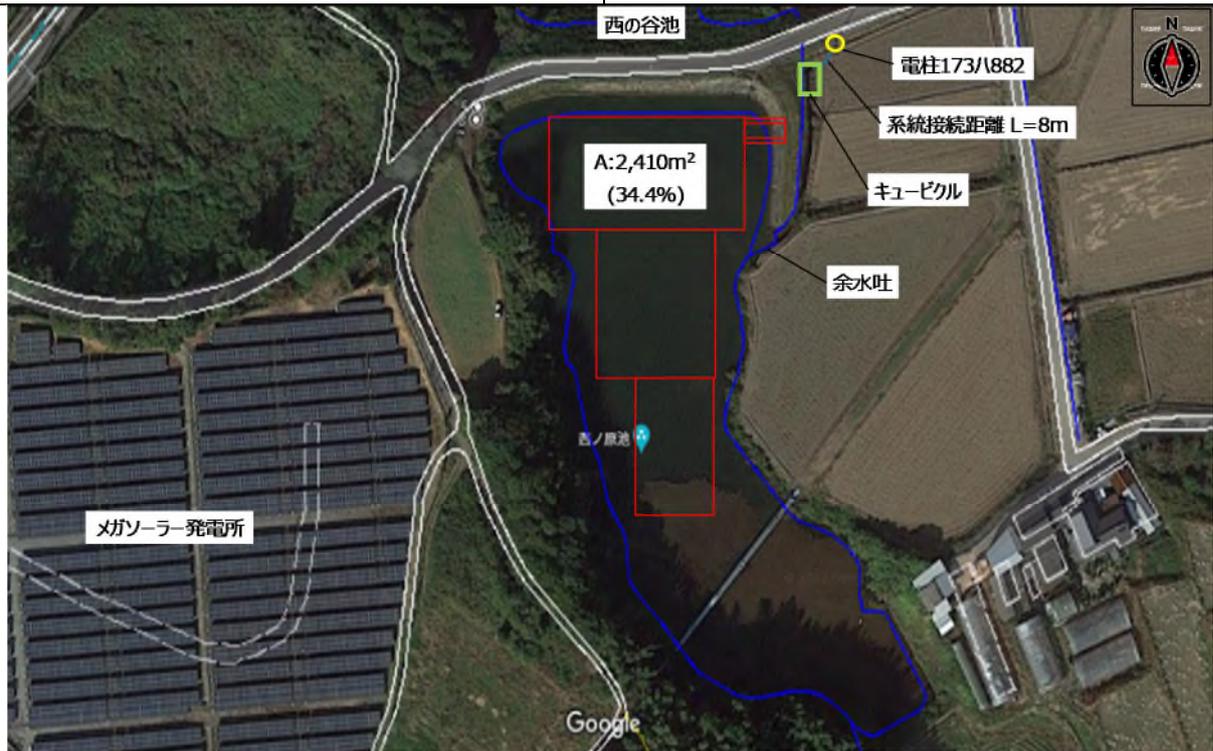
【工事中搬入路】・堤体上を通過する道路(W=4.3m)利用可能 /フロート組立用の仮設作業場が必要。

【受変電設備】・池北東部にキュービクル設置スペース(約100m²)の確保可能。

【周辺状況】・周辺一帯は田園地で、池北部には西の谷池が隣接、その北側には新幹線が東西に通過する。池南東部には集落が隣接する。西側隣接地にはメガソーラー発電所(野建てタイプ)がある。池南部に赤浮草が繁茂。

【被災履歴】・被災履歴なし

【阻害要因】・西側護岸部は樹林地で夕方は水面に影が発生。



写真①:北側の道路が通過する堤体



写真②:堤体(通過道路)から南側池全景



写真③:北東部 PCS 設置予定地



写真④:北西部~見た北側通過道と東側護岸(余水吐)

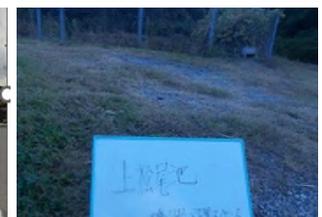
2 上松尾池		18 分布番号	台帳 No: 0402028	住所	鞍手町大字中山字上松尾 416 外			
ため池概要	貯水量	満水面積	堤高	堤長	平均水深	所有者	管理者	特定農業用ため池
	16,000m ³	6,200m ²	6.9m	92.6 m	2.6 m	鞍手町	鞍手町	該当せず
発電関係	フロート面積	フロート台数	発電出力	発電量		CO ₂ 削減量	基準年比CO ₂ 削減率	
	2,680m ²	40基	245 kW	326 MWh		119 t-co ₂	0.042%	
現地確認調査結果							調査日	2022/11/24~25
【工事中搬入路】・新幹線沿いの農道からアクセス可能/フロート組立用の仮設作業場が必要(提体巾 3.4m)					【受変電設備】・提体北東端にキュービクル設置スペース(約100m ²)の確保可能。系統接続電柱まで 200m。			
【周辺状況】・山裾部の谷を堰き止めた谷池。提体側は水田。残りは山林の樹林地で囲まれている。								
【被災履歴】・被災履歴なし					【阻害要因】・池億部の赤浮草が繁茂。			



写真①: 池北東部(提体)から見た池の景観



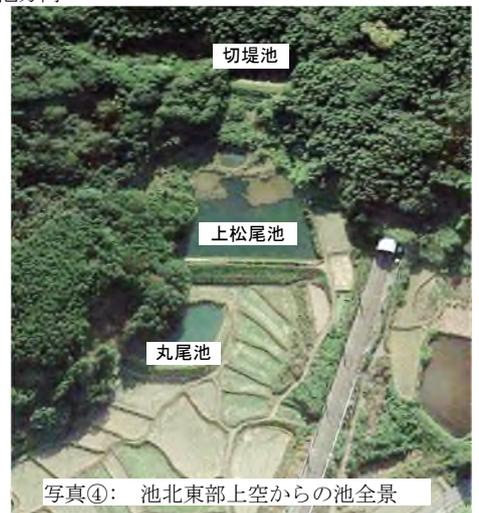
写真②: 進入路入口から見た池方向



写真③: キュービクル候補地



■位置図



写真④: 池北東部上空からの池全景

3 新幸ノ浦池		23 分布番号	台帳 No: 0402012	住所	鞍手町大字中山字幸ノ浦 3364 外			
ため池概要	貯水量	満水面積	堤高	堤長	平均水深	所有者	管理者	特定農業用ため池
	19,000m ³	3,000m ²	3.0m	36 m	6.3 m	鞍手町	鞍手町	該当せず
発電関係	フロート面積	フロート台数	発電出力	発電量		CO ₂ 削減量	基準年比CO ₂ 削減率	
	1,940m ²	29基	177 kW	236 MWh		86 t-co ₂	0.030%	
現地確認調査結果							調査日	2022/11/24~25

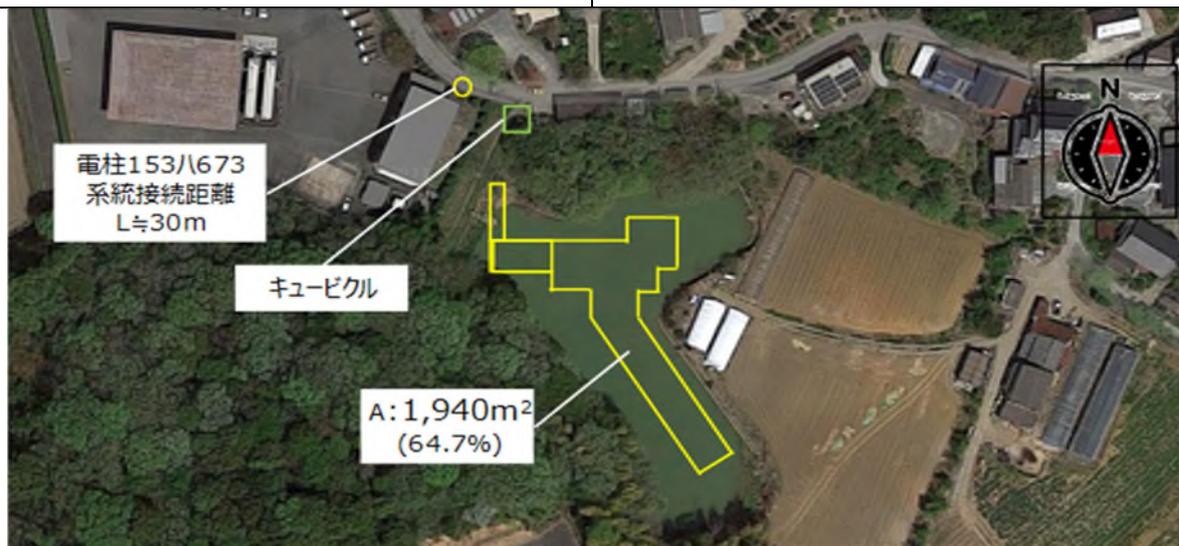
【工事中搬入路】・提体管理用進入路(W=2.5m)利用可能/フロート組立用の仮設作業場が必要。

【受変電設備】・池北西部にキュービクル設置スペース(約60m² 提体巾3.0m)の確保可能。系統接続電柱まで30m。

【周辺状況】・池の東側は畑地、残りは山林・樹林で囲まれている。北西部提体はガス会社敷地に隣接している。

【被災履歴】・被災履歴なし

【阻害要因】・西側右岸側樹林帯の夕方の日陰



写真①: 池東側上空からの池全景



写真②: 池西側提体部と管理用進入路(右側ガス会社敷地)



写真③: 池北西提体管理用進入路入口の景観



写真④: 提体と池西側護岸に迫る樹林景観



■位置図



写真⑤: 提体部から東側を見た池の景観

4 丸尾池 通し番号 18/28 分布番号			台帳 No: 0402028		住 所	鞍手町大字中山字上松尾 419 外		
ため池 概 要	貯水量	満水面積	堤高	堤長	平均水深	所有者	管理者	特定農業用ため池
	3,700m ³	1,600m ³	4.45m	97.7 m	2.3m	鞍手町	鞍手町	該当せず
発 電 関 係	フロート面積	フロート台数	発電出力	発電量		CO ₂ 削減量	基準年比CO ₂ 削減率	
	470m	7基	43 kW	57 MWh		21 t-co ₂	0.007%	
現地確認調査結果							調査日	2022/11/24~25

【工事中搬入路】・東側集落から山裾に入る堤体管理用道路が利用可能/フロート組立用の仮設作業場が必要。

【受変電設備】・池北西部にキュービクル設置スペース(約100m²)の確保可能。系統接続電柱まで95m。堤体巾2.0m

【周辺状況】・山裾にL字型の堤体で作られた重ね池の一つ。北側は田園地帯で、東側100mの位置に集落。

【被災履歴】・被災履歴なし

【阻害要因】・左岸側樹林帯の午前中の日陰



写真⑤: 堤体部から東側を見た池の景観



写真②: 丸尾池と上松尾池堤体部から東側を見た池の景観



写真③: 松尾池の近接景観



写真④: 進入路入口から池方向の景観

5 宮ノ谷池		42 分布番号	台帳 No: 0402043	住所	鞍手町大字新延宮之谷 722-1 外			
ため池概要	貯水量	満水面積	堤高	堤長	平均水深	所有者	管理者	特定農業用ため池
	49,000m ³	12,000m ²	5.5m	90 m	4.1 m	鞍手町	鞍手町	該当せず
発電関係	フロート面積	フロート台数	発電出力	発電量		CO ₂ 削減量	基準年比CO ₂ 削減率	
	2,890m ²	43基	264 kW	352 MWh		128 t-co ₂	0.045%	
現地確認調査結果							調査日	2022/11/25

【工事中搬入路】・神社から保育園へ抜ける道(W=4.2m)利用可能/フロート組立用の仮設作業場が必要。

【受変電設備】・池北東部にキュービクル設置スペース(約100m²)の確保可能。系統接続電柱まで100m。提体巾2.5m

【周辺状況】・丘陵の谷を提体で堰き止めた池。提体部以外の両岸部は樹林帯。北側に保育園・北東側に剣神社社叢。

【被災履歴】・被災履歴なし

【阻害要因】・左岸南側樹林帯の日陰



写真①: 池東端部の提体



写真②: 池提体部管理用進入路入口



写真③: 進入路入口から提体方向



■位置図



写真④: 池北東部提体から西側方向池景観

6 一ノ谷池		39 分布番号	台帳 No: 0402045	住所	鞍手町大字新延字一ノ谷 1608			
ため池概要	貯水量	満水面積	堤高	堤長	平均水深	所有者	管理者	特定農業用ため池
	18,000m ³	7,400m ²	7.4m	80 m	2.0 m	鞍手町	鞍手町	該当せず
発電関係	フロート面積	フロート台数	発電出力	発電量		CO ₂ 削減量	基準年比CO ₂ 削減率	
	1,200m	18基	110 kW	146 MWh		53 t-co ₂	0.019%	
現地確認調査結果							調査日	2022/11/25

【工事用搬入路】・県道より分岐する堤体管理用進入路 (W=3m)利用可能/フロート組立用の仮設作業場が必要。

【受変電設備】・堤体東側端部と進入路出合い地点に設置スペース(約 100m²)の確保可能。系統接続電柱まで 160m。

【周辺状況】・谷の出口を堰き止めた谷池(堤体部側以外は山林/堤体法面下株には野建て型メガソーラーが隣接)

【被災履歴】・被災履歴なし

【阻害要因】・左岸側樹林帯の朝方の日陰



写真①: 池堤体部～見た池の景観



写真②: 進入路入口部の景観



写真③: 堤体下部隣接のメガソーラー
池東端部の堤体



写真④: 池東北部上空からの池全体景観

7 大竜池		40 分布番号	台帳 No: 0402042	住 所	鞍手町大字新延字大竜 1012			
ため池 概 要	貯水量	満水面積	堤高	堤長	平均水深	所有者	管理者	特定農業用ため池
	15,000m ³	2,500m ³	9.5m	130 m	6.0 m	鞍手町	鞍手町	該当せず
発 電 関 係	フロート面積	フロート台数	発電出力	発電量		CO ₂ 削減量	基準年比CO ₂ 削減率	
	536m	8基	49 kW	65 MWh		24 t-co ₂	0.008%	
現地確認調査結果							調査日	2022/11/24~25

【工事中搬入路】・堤体管理用農道(W=2~2.5m)利用可能/フロート組立用の仮設作業場が堤体部必要。

【受変電設備】・堤体の両サイドが想定されるが農道につながる東南側が好ましい(約70m²)の確保可能。堤体巾4.0m

【周辺状況】・谷頭部を高い堤体で堰き止めた谷池。周囲は山林地の樹林地で囲まれている。系統接続電柱まで300m。

【被災履歴】・被災履歴なし

【阻害要因】・南側岸沿いの樹林帯が一日中日陰をつくる。



写真①: 池南東部堤体からの池の景観



写真②: 堤体と池全体の俯瞰景観



■位置図



写真③: 谷入口上空からの池と周辺環境

8 笹尾池		48 分布番号	台帳 No: 0402019		住所	鞍手町大字新延字笹尾 1076 外		
ため池概要	貯水量	満水面積	堤高	堤長	平均水深	所有者	管理者	特定農業用ため池
	7,000m ³	2,000m ³	4.5m	100 m	3.5 m	鞍手町/他	鞍手町	該当せず
発電関係	フロート面積	フロート台数	発電出力	発電量		CO ₂ 削減量	基準年比CO ₂ 削減率	
	670m	10基	61 kW	81 MWh		30 t-co ₂	0.011%	
現地確認調査結果							調査日	2022/11/24~25

【工事中搬入路】・大竜池側への農道の途中からアクセス可能。一部借地（数10m）が必要。/フロート組立用の仮設作業場が必要（堤体巾2.0m）。

【受変電設備】・堤体南端隣接地にキュービクル設置スペース（約70m²）の確保可能。系統接続電柱まで385m。

【周辺状況】・谷を堤体で堰き止めた谷池。堤体部以外の周囲は山林で囲まれている。集落地までは300m以上隔離。

【被災履歴】・被災履歴なし

【阻害要因】・南側左岸側樹林帯の昼～夕方にかけて日陰



写真①: 堤体(北側)からの池の景観



写真②: 遮水型コンクリート壁堤体



写真③: 堤体への進入路



写真④: 上空からの池の全景

9 永谷裏池 通し番号 39/58 分布番号			台帳 No: 0402039		住所		鞍手町大字永谷字向山 303	
ため池概要	貯水量	満水面積	堤高	堤長	平均水深	所有者	管理者	特定農業用ため池
	63,000m ³	10,000m ³	5.0m	68 m	6.3 m	鞍手町	鞍手町	該当せず
発電関係	フロート面積	フロート台数	発電出力	発電量		CO ₂ 削減量	基準年比CO ₂ 削減率	
	2,144m	32基	196 kW	261 MWh		95 t-co ₂	0.034%	
現地確認調査結果							調査日	2022/11/25
【工事用搬入路】・県道(W=6.0m)から提体管理用進入路が利用可能/提体にフロート組立用の仮設作業場が必要。					【受変電設備】・池北西部にキュービクル設置スペース(約150m ²)の確保可能。系統接続電柱まで3m。提体巾.0m			
【周辺状況】・山裾に平行して走る谷を堰き止めた池(左岸側は県道が通過/その東側は集落が隣接。右岸側は山裾樹林帯)。								
【被災履歴】・被災履歴なし					【阻害要因】・水鳥の糞害。右岸側樹林帯の夕方の日陰			



写真①: 池南東端から見た余水吐



写真②: 県道から延びる提体



写真③: 県道からの進入路

写真⑤: 県道から提体管理用侵入道路(左側キュービクル予定地/系統接続電柱)



■位置図



写真④: 提体上空から見た池全景

4-3-2 ため池の発電設備の想定発電量

(1) 鞍手町の日射条件

日照時間と日射量について、福岡県の「再生可能エネルギー導入支援システム」を使用し、町内4地点の平均値として求めた。その結果によると、年間日照時間は1,823時間/年、日平均日射量は3.61kWh/m²・日と想定される(表4-6)。

表 4-6 鞍手町の日照時間と日射量

		北部(古門/ 伏原池)	南部(室木/ 宮田越下池)	中部(中山/ 新 庁舎予定地)	中部(新延/ 御堂ヶ浦池)	平均
標高	m	30	40	20	10	25
月平均日照時間	時間/月	151.5	152.4	151.4	152.4	151.9
年間日照時間	時間/年	1,818	1,829	1,817	1,829	1,823
日平均日射量	kWh/m ² ・日	3.61	3.64	3.58	3.61	3.61

本町の月別日射量については、NEDOの「MONSOLA-11」より、役場地点で方位は真南(S)、パネル角度は10°の条件で求めた(表4-7)。その結果によると月別平均日射量は2.41(1月)～5.53(5月)kWh/m²・日の範囲にあり、年間平均値は4.01kWh/m²・日で水平面値(3.61 kWh/m²・日)より11.1%増となっている。

表 4-7 鞍手町の月別平均日射量(角度10度)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均
月平均日射量 パネル角度10°	kWh/m ² ・日	2.41	3.07	4.23	4.95	5.53	4.38	5.15	5.33	4.18	3.76	2.95	2.18	4.01

出典「年間月別日射量データベース(MONSOLA-20)」NEDO 値は鞍手町役場地点、方位S角度10°

(2) 水上ソーラーによる発電量推計

太陽光発電の発電量は、基本的に設置場所の日射量(日照量)、パネルの設置方位・角度により決定づけられるが、水上ソーラーシステムでは、さらにフロートタイプ(1フロート面積当りの発電出力)の他、パネルの水面上での表面温度低下効果により決定づけられる。なお、パネルの表面温度低下効果については、屋根置きタイプなどより10～15%程度発電量が増加すると言われているが、計画論的にはこの値を幾らに設定するかが課題となる。そのためにここでは香川県が実施した「水上ソーラーによる年間発電量実証試験」の結果を参考に、鞍手町での水上ソーラーによる発電量等の性能を推計することとした。

【香川県による水上ソーラーの年間発電量実証試験結果】

・実証試験内容と結果の概要は、以下の表 4-8 参照

表 4-8 香川県による水上ソーラーの年間発電量実証試験結果

事業名	ため池を活用した太陽光発電施設導入実証実験事業
実施機関	香川県農政水産部農村整備課
実施期間	平成 26 年度～平成 27 年度 (実証実験開始 平成 26 年 11 月 20 日)
実施場所	吉原大池 (善通寺市吉原町) 堤高 H=8.0m、堤長 L=247m、貯水量 376 千 m ³
試験内容	フロートタイプ・パネル角度別発電能力及び風力別安定性
試験装置	樹脂製中空フロート (地中アンカー/ 12° / 6.12kW) 発砲スチロール製フロート (ブロック碇/ 12° / 6.12kW) 発砲スチロール充填パイプフロート (ブロック碇/ 5° 12° 30° / 6.12kW)

実証試験地(月別平均日射量 3.71kWh/m²・日)での 1 フロート(6.12kW、67m²/フロート)当りの年間発電量は 7,534kWh/年(予測値との誤差はわずか 0.1%)で、1kW 当りの発電率は 3.37kwh/kW。また、パネル温度の低下効果により年間の稼働率は 14.1%で、屋根置きタイプの 12~13.7%より高くなっている。水上パネル表面と地上の気温比較では、地上に比べてパネル等の一定の冷却効果が認められている。

【平均気温比較】 水上 ▲0.81°C(水上: 16.53°C、地上: 17.34°C)、
【2015 夏季(5 月~8 月)】 水上▲1.22°C(水上: 24.45 °C、地上: 25.674°C)

この実証試験結果を前提に鞍手町(月別平均日射量 4.01kWh/m²・日)での発電量等は、下記のように推計される(図 4-5、表 4-9 参照)。月別発電量は、夏場より梅雨期前の 5 月が最も多く、最も少ないのは 1 月となっている。

1 フロート当り発電量 : 8,158kWh/年(6.12kW、67m²/フロート=2 メーカーの平均値)
1kWh 当りの発電率 : 3.65kwh/kW(2.10~4.84)
=日平均日射量 × 91.1%=1,333kWh/年
年間稼働率 : 15.2%(8.7~19.7%)

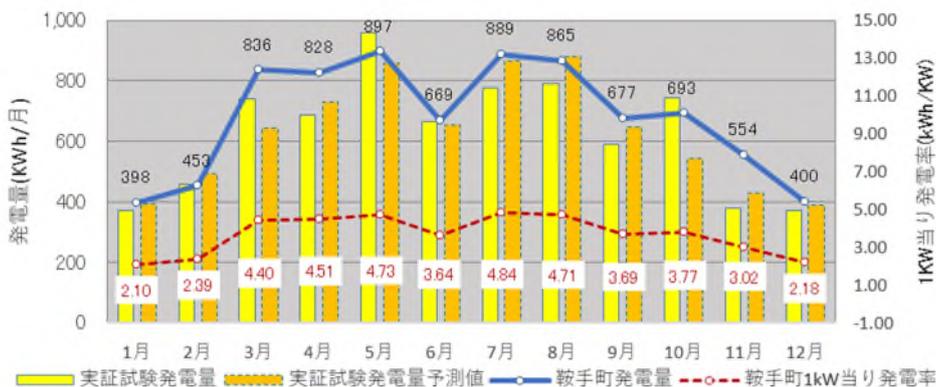


図 4-5 水上ソーラー1 フロート(6.12kW)当り発電量(実証試験結果/鞍手町推計)

表 4-9 水上ソーラー1 フロート当り (6.12kW) 発電量 (実証試験結果/鞍手町推計)

		単位	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計/平均
実証試験	月別日平均日射量	kWh/m ² ・日	2.25	3.11	3.75	4.11	5.92	4.36	4.50	4.86	3.64	4.03	2.03	2.03	3.71
	発電量 実測値	kWh/月	372	459	741	687	960	666	776	789	589	742	381	372	7,534
	実測値	kWh/日	12.0	16.4	23.9	22.9	31.0	22.2	25.0	25.5	19.6	23.9	12.7	12.0	20.6
	予測値	kWh/日	393	493	645	730	858	653	866	881	647	544	429	388	7,527
	1kW出力当り発電量	kWh/kW・日	1.96	2.68	3.90	3.74	5.06	3.63	4.09	4.16	3.21	3.91	2.07	1.96	3.37
	月平均稼働率	%	8.2%	10.1%	16.3%	15.1%	21.1%	14.6%	17.1%	17.3%	12.9%	16.3%	8.4%	8.2%	14.05%
鞍手町推計	月別日平均日射量	kWh/m ² ・日	2.41	3.07	4.23	4.95	5.53	4.38	5.15	5.33	4.18	3.76	2.95	2.18	4.01
	発電量 (試算値)	kWh/月	398	453	836	828	897	669	889	865	677	693	554	400	8,158
		kWh/日	12.8	14.6	27.0	27.6	28.9	22.3	29.6	28.8	22.6	23.1	18.5	13.3	22.4
	1kW出力当り発電量	kWh/kW・日	2.10	2.39	4.40	4.51	4.73	3.64	4.84	4.71	3.69	3.77	3.02	2.18	3.65
計	月平均稼働率	%	8.7%	9.9%	18.4%	18.2%	19.7%	14.7%	19.5%	19.0%	14.9%	15.2%	12.2%	8.8%	15.22%

注1) 出典: 「ため池を活用した太陽光発電施設実証実験結果」香川県農政水産部農村整備課、平成28年7月より作表・作図
 注2) 発電量は1フロート(発電出力6.12kW)当りの発電量、実証試験の発電量は発砲スチロール製フロートタイプと発砲スチロール充填パイプフロートタイプの平均値

表 4-10 ため池太陽光発電設備の発電量推計

分布地図NO	台帳NO	名称	満水面積(m ²)	堤体高(m)	堤頂長(m)	総貯水量(千m ³)	平均水深(m)	所有者	管理者	フロート面積(m ²)	フロート占有面積率(%)	フロート台数	発電出力(kW)	発電量(MWh/年)	CO ₂ 削減量(t-co ₂ /年)	CO ₂ 削減率
7	2	西の原池	7,000	7.6	142	24	3.4	町	町	2410	34.4	36	220	293	107	0.038%
18	28	上松尾池	6,200	6.9	92.6	16	2.6	町	町	2680	43.2	40	245	326	119	0.042%
23	12	新幸ノ浦池	3,000	3.0	36	19	9.5	町	町	1940	64.7	29	177	236	86	0.030%
27	3	丸尾池	1,600	4.45	97.7	3.7	2.3	町	町	470	29.4	7	43	57	21	0.007%
42	43	宮ノ谷池	12,000	5.5	90	49	4.1	町	町	2890	24.1	43	264	352	128	0.045%
44	45	一ノ谷池	9,000	7.4	80	18	2.0	町	町	1200	13.3	18	110	146	53	0.019%
47	42	大電池	2,500	9.5	130	15	6.0	町	町	536	21.4	8	49	65	24	0.008%
48	19	笹尾池	2,000	4.5	100	7	3.5	町/他	町	670	33.5	10	61	81	30	0.011%
58	39	永谷裏池	10,000	5.0	68	63	6.3	町	町	2144	21.4	32	196	261	95	0.034%
合計			53,300			214.7				14940	28.0%	223	1365	1818	663	0.235%

*注): フロート台数(台)=フロート設置面積(m²)÷67m²/台(フロート面積)
 発電出力(KW)=6.12kW/台(1フロートの発電出力)×フロート台数(台)
 年間発電量(MWh)=発電出力(kW)×8,760h(年間発電時間)×15.2%(設備利用率)

4-4 接続先の受変電設備との系統連系接続の可否調査

公共遊休地・ため池については、施設の電力使用量が無い為、系統連系接続により電力と連系する必要がある。送電設備や変電設備の容量には限度があり、その容量は接続したい地域の送電線や変電所によって異なる。また容量いっぱいまで使えるわけではなく、停電を防ぐために利用率は50%（2回線の場合）とされており、送電線の容量の50%が使える上限となる。系統連系接続にあたっては、限度容量＝空き容量を確認し、系統に接続可能かどうか確認が必要となる、本町の商用系統の接続空容量は81MW、ただし上位系統を考慮した空容量は0 MWとなっており、接続のための工事負担金が大きくなる可能性が有る（九州電力(株)HP「九州電力送配電株式会社管内における発電機連系制約マップ」）。また、N-1電制(図4-6)適用可能容量は78 MWとなっている為、系統事故時などの緊急時に本発電系統を遮断することを前提であれば、接続可能な容量だと言える。（公共遊休地・ため池の発電容量合計：約2.3MW）

また、N-1電制あわせて通常の系統接続と異なるノンファーム型接続があり、これは接続可能な容量を決めずに、系統に空きがあるときには送電することがである。N-1電制は、故障時に電源を遮断するものであるが、ノンファーム型の場合は平常時にも系統が混雑していれば出力を抑制することがありえる。本地域はノンファーム型接続対象可能エリアとなっているが、詳細は公開されていない為個別に協議・確認が必要である。

用語	説明
N-1電制	単一設備故障時にリレーシステムで瞬時に電源制限を行うことで運用容量を拡大する取り組み
単一設備故障	1度の一つの設備にだけ故障が生じている状態 例) 2回線ある送電線のうち1回線のみ故障が生じる
電源制限	発電機の出力の抑制または発電機そのものを遮断（停止）させること（送配電等業務指針における「発電抑制」と同義）
N-1電制対象電源 (電制対象電源)	発電所にN-1電制装置を設置し、単一設備故障時にN-1電制による電源制限の対象となる発電所
空き容量	平常時における出力制御を前提とせずに接続できる容量
発電契約者等	一般送配電事業者と発電量調整供給契約を締結している発電契約者、発電設備等を維持・運用する発電者及び一般送配電事業者と特定契約を含む受給契約を締結している特定契約者をいう。

図 4-6 N-1 電制用語説明

5. 地域の経済・社会にもたらす効果等の分析と事業採算性評価のための調査検討

5-1 設備導入によるイニシャルコスト及びランニングコストの調査、検討

5-1-1 公共施設/公共遊休地の太陽光発電設備導入コスト

事業用太陽光発電のシステム費用はすべての規模で低下傾向にあり、2021年に設置された10kW以上の平均値（単純平均）は25.0万円/kW（中央値は24.2万円/kW）となり、前年より0.5万円/kW（1.9%）低減した。平均値の内訳は、太陽光パネルが約44%、工事費が約31%を占める。公共施設・公共遊休地については、経済産業省・調達価格選定委員会で公表されている費用（図5-1, 2）を参考にイニシャル・ランニング費用を算出した（公共施設:表5-1、公共遊休地:表5-2）。

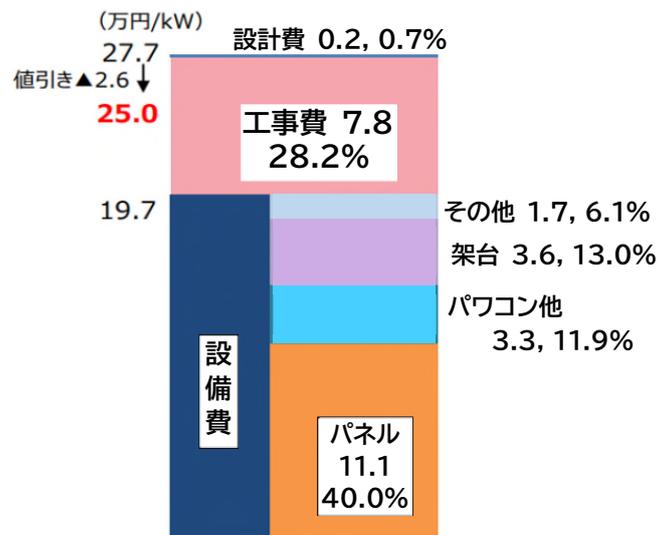


図 5-1 太陽光発電システム費用の内訳

出典：経済産業省・調達価格選定委員会（令和5年度）

		運転維持費 (万円/kW/年)						全体
		10-50kW	50-250kW	250-500kW	500-1,000kW	1,000-2,000kW	2,000kW以上	
全体	平均値	0.53 (0.53)	0.50 (0.48)	0.51 (0.49)	0.59 (0.59)	0.64 (0.63)	0.72 (0.75)	0.54 (0.54)
	中央値	0.42 (0.42)	0.41 (0.41)	0.42 (0.41)	0.51 (0.51)	0.56 (0.56)	0.68 (0.73)	0.43 (0.43)
	件数	24,590	784	1,009	945	1,339	212	28,879
地上設置	平均値	0.52	0.59	0.56	0.62	0.66	0.72	0.53
	中央値	0.42	0.50	0.46	0.54	0.58	0.68	0.44
	件数	16,358	374	730	752	1,241	209	19,664
屋根設置	平均値	0.55	0.43	0.39	0.50	0.41	0.21	0.54
	中央値	0.42	0.30	0.29	0.34	0.34	0.21	0.40
	件数	8,136	399	268	181	88	2	9,074
2023年度 想定値		0.5						

※2022年8月30日時点までに報告された定期報告を対象。

() 内は昨年度の本委員会で検討した運転維持費。

図 5-2 太陽光発電設備の運転維持費

出典：経済産業省・調達価格選定委員会（令和5年度）

表 5-1 公共施設太陽光発電設備のイニシャル・ランニングコスト

NO	施設名	発電出力[kW]	イニシャルコスト[万円]							ランニングコスト[万円]
			太陽電池モジュール	パワーコンディショナ	架台	付属機器類	工事費	設計費	合計	
1	鞍手町浄水場	62.53	625	186	203	95	441	13	1,563	31.265
2	鞍手町総合福祉センター	340.03	3,400	1,012	1,105	519	2,397	68.0	8,501	170.015
2	勤労者ふれあい棟	152.44	1,524	454	495	232	1,075	30.5	3,811	76.22
3	浮州池ポンプ場(取水塔)	8.51	85	25	28	13	60	1.7	213	4.255
4	鞍手町営葬斎場	153.92	1,539	458	500	235	1,085	30.8	3,848	76.96
5	文化体育総合施設	285.64	2,856	850	928	436	2,014	57.1	7,141	142.82
6	鞍手中学校	396.64	3,966	1,180	1,289	605	2,796	79.3	9,916	198.32
7	剣南小学校	50.32	503	150	164	77	355	10.1	1,258	25.16
8	剣北小学校	46.99	470	140	153	72	331	9.4	1,175	23.495
9	古月小学校	51.06	511	152	166	78	360	10.2	1,277	25.53
10	西川小学校	11.10	111	33	36	17	78	2.2	278	5.55
11	新延小学校	111.00	1,110	330	361	169	783	22.2	2,775	55.5
12	室木小学校	19.98	200	59	65	30	141	4.0	500	9.99
13	鞍手駅舎	8.51	85	25	28	13	60	1.7	213	4.255
14	舟川町営住宅 浄化槽	1.85	19	6	6	3	13	0.4	46	0.925
15	室木町営住宅 浄化槽	5.18	52	15	17	8	37	1.0	130	2.59
16	泉水団地改良住宅 浄化槽	2.96	30	9	10	5	21	0.6	74	1.48
17	幸ノ浦団地改良住宅 浄化槽	12.21	122	36	40	19	86	2.4	305	6.105
	合計	1,721	17,209	5,120	5,593	2,624	12,132	344	43,022	860

表 5-2 公共遊休地太陽光発電設備のイニシャル・ランニングコスト

NO	施設名	発電出力[kW]	イニシャルコスト[万円]							ランニングコスト[万円]
			太陽電池モジュール	パワーコンディショナ	架台	付属機器類	工事費	設計費	合計	
1	八尋草場	210	2,100	625	683	320	1,481	36.8	5,245	105
2	旧古月保育所跡地	107	1,070	318	348	163	754	18.7	2,672	53.5
3	藤郷用地	160	1,600	476	520	244	1,128	28.0	3,996	80
4	猪倉用地	149	1,490	443	484	227	1,050	26.1	3,721	74.5
5	旧鞍手町土地開発公社所有地	172	1,720	512	559	262	1,213	30.1	4,296	86
6	中山字重見	101	1,010	300	328	154	712	17.7	2,522	50.5
7	京ノ上旧整備公園用地	78	780	232	254	119	550	13.7	1,948	39
	合計	977	9,770	2,907	3,175	1,490	6,888	171.0	24,401	488.5

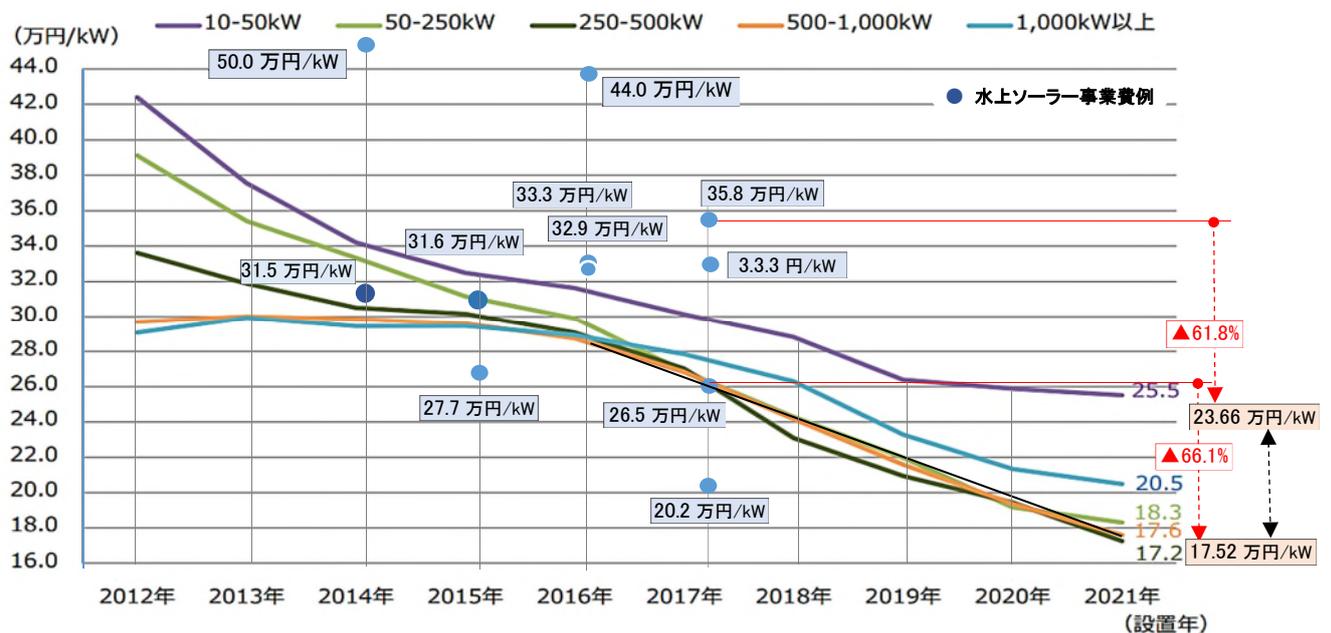
5-1-2 ため池の太陽光発電設備導入コスト

ため池へ設置する水上ソーラーシステムの総事業費例について、インターネットで公表されたデータを整理すると、表 5-3 に示すとおりである。

表 5-3 水上ソーラーシステム導入事業費事例

	2014(H26)	2015(H27)	2016(H28)			2017(H29)			
ため池名/所在地	大阪府岸和田市 傍示池	埼玉県嵐山町 調整池	兵庫県洲本市 塔下新池	香川県さぬき市 野間池	同左 御田神辺池	福岡市西区 蓮花寺池	さぬき市東王田池	兵庫県稲美町 広田池	兵庫県小野市 亥子谷池
総事業費(億円)	5.0	0.86	0.22	8.0	5.0	1.0	8.6	18	2.5
発電出力(kW)	1,000	318	50	2,400	1,520	300	2,400	6,800	1,240
事業費単価(万円/kW)	50.00	27.22	44.0	33.33	32.89	33.33	35.83	26.40	20.16

これによると水上ソーラーシステムでは、地上設置型の太陽光発電設備にフロート設備費とその工事費が加わる他、水上設置工事に不慣れもあって、当初2014年度では50.0万円/kWと極めて高かったが、それ以降は年度を重ねるごとに、一般的な太陽光発電システムの平均価格に近づく傾向が見られる。なお、同資料には近年のデータがないことから、2017年度の3事例の中間値(26.5万円/kW)と高値値(35.8万円/kW)より、一般的太陽光発電の価格推移と同率(▲33.9%)での低下と仮定すると(図5-3)、2021年度の事業費単価は17.5~23.7万円/kWの範囲と試算される。ちなみに水上ソーラーシステムの事業費は、フロートタイプやパネルの設置角度により若干の差異がある。フロートタイプ別では発泡スチロール式が最も安く(100%)、次いで樹脂製中空フロート(110%)、発砲スチロール充填式(115%)の順で高くなると言われている。水上ソーラーシステムの単価を「23.7万円/kW」と設定し、図5-1の内訳にてため池の太陽光発電設備導入コストを算出した(表5-4)。



注1) 出典: 「太陽光発電について」2020年11月、資源エネルギー庁 に加筆

図 5-3 太陽光発電のシステム価格推移と水上ソーラー導入事業費事例の推移

表 5-4 ため池太陽光発電設備のイニシャル・ランニングコスト

NO	施設名	発電出力[kW]	イニシャルコスト[万円]							ランニングコスト[万円]
			太陽電池モジュール	パワーコンディショナ	架台	付属機器類	工事費	設計費	合計	
1	西の原池	220	2,086	620	678	318	1,470	36.5	5,209	110
2	丸尾池	43	408	121	132	62	287	7.1	1,018	21.5
3	新幸ノ浦池	177	1,678	499	545	256	1,183	29.4	4,191	88.5
4	笹尾池	61	578	172	188	88	408	10.1	1,444	30.5
5	上松尾池	245	2,323	691	755	354	1,637	40.6	5,801	122.5
6	永谷裏池	196	1,858	553	604	283	1,310	32.5	4,641	98
7	大竜池	49	465	138	151	71	327	8.1	1,160	24.5
8	宮ノ谷池	264	2,503	745	813	382	1,764	43.8	6,251	132
9	一ノ谷池	110	1,043	310	339	159	735	18.2	2,604	55
合計		1,365	12,940	3,850	4,206	1,973	9,123	226	32,318	682.5

5-2 地域の経済、社会にもたらす効果の調査、検討

5-2-1 事業規模と効果

公共施設への太陽光発電設備導入は、発電場所と電力需要地が同じオンサイト型であり、発電した電力を敷地内で自家消費し電気料金を削減する事業方式が想定される。公共施設への太陽光発電設備の導入規模は、発電出力は合計 1,721kW で、年間発電量は 1,858MWh/年であり、2018 年度公共施設電力需要=5,125MWh/年 の 36%、町全体の電力需要=150,231MWh/年の 1.2%に相当する。(表 5-5 参照)。

公共遊休地及びため池施設への太陽光発電設備導入は、発電場所と電力需要地が異なるオフサイト型であり、商用系統に接続して売電するか、自己託送により町内の電力需要地に供給する方式が想定される。公共遊休地及びため池施設への太陽光発電設備の導入規模は、発電出力は合計で 2,342kW で、年間発電量は 3,111MWh/年であり、2018 年度公共施設電力需要=5,125MWh/年 の 61%、町全体の電力需要=150,231MWh/年の 2.1%に相当(表 5-5 参照)する。

表 5-5 公共施設・公共遊休地・ため池太陽光発電導入規模

発電出力 [kW]	発電量 [MWh/年]	CO2削減量 [t-CO2]
1,721	1,858	678
978	1,293	472
1,364	1,818	664
4,063	4,969	1,814

5-2-2 太陽光発電事業の導入手法

FIT 制度がスタートして 10 年経過した現在、地域で太陽光発電やカーボンフリーな電力を調達する手法と関連制度・補助制度は多様化してきているが、その全容についてまとめると、以下のように整理される。「太陽光発電設備導入手法; ①～⑦グループ」と、再エネ電力やその環境価値を調達する「その他; ⑧～⑩グループ」に分けて表示している。

①	売電	オフサイト	自己設置方式
---	----	-------	--------

- ・投資家等が自己調達資金により自己所有あるいは借用した敷地・建物(借用)に発電設備を整備し、系統接続により FIT 制度を活用して売電する方法。
- ・現在では“売電から自己消費へ”の国の政策転換により、買取価格がスタート当時よりだいぶ低下(10～50KW:10 円/kWh、保証期間 20 年/50kW 以上:競争入札(保証期間 10 年間)しており、また、設備導入に補助金がないことから、事業採算性の確保が難しく事業化が困難になってきている。
- ・本手法による「電力の環境価値」は、発電事業に帰属せず鞍手町の CO2 削減に寄与しない。

②③④	自家利用	オンサイト	自己設置方式/リース方式/PPA 方式
-----	------	-------	---------------------

- ・「②:自己設置方式」は、電力需要家が自己所有の建物・敷地・駐車場に自己資金で発電設備を整備し、発電した電力は敷地内で自家消費する方式。初期導入費用、維持管理経費が必要だが、電気代削減効果が大きく、蓄電池との組合せでさらにその効果が拡大する。
- ・「③:リース方式」は、リース事業者が、需要家の事業所の建物屋根等に太陽光発電設備の設置を行ない、需要家はリース事業者に対して、月々のリース料金を支払う仕組みである。初期費用は不要で余剰

電力の売電は可能。

- ・「④:PPA方式: Power Purchase Agreement; 電力購入契約」は、発電事業者が、需要家の建物・駐車場等に太陽光発電設備を設置し、所有・維持管理をした上で、発電した電気を需要家に供給する仕組み(第三者所有モデル)。需要家は初期費用・維持管理費用は不要で、余剰電力の売電は可能。

⑤	自家利用	隣接地(オンサイト)	自営線方式
---	------	------------	-------

- ・電力需要家または発電事業者が、電力需要施設の敷地外(隣接地)に太陽光発電を設置し、そこで発電した電力量を、商用電力系統とは別に送電線(自営線)を整備して、同事業所に供給・消費する仕組み。
- ・事業対象の公共遊休地やため池の分布図を詳細に見ると、事業対象地に隣接して自営線の設置が可能な範囲に電力需要家(工場・工業団地・住宅団地)が立地しているケースとして、具体的には、新幸ノ浦池、大竜池、笹尾池が候補として挙げられる。
- ・このような条件地では、自営線設置費用が必要だが、託送料が不要であり、設備設置には補助金制度もあり、本手法が利用できる可能性がある。
- ・しかし、本手法での事業化は発電事業者(電力需要者)とため池が1対1で限定されるため、場合によっては発電量と需要量のミスマッチが発生する可能性があり電力の需給管理が課題となる。

⑥	自家利用	オフサイト	自己託送
---	------	-------	------

- ・電力需要家または発電事業者が、電力需要施設の敷地外において太陽光発電を設置し、そこで発電した電力を商用電力系統経由(自己託送制度)にて、同事業所に供給・消費する仕組みで、工場で太陽光発電などにより自家発電した電力を、本社に供給する場合などに利用されている。
- ・具体的には、鞍手町内の電力需要者(工場・事業者等)が、特定の公共遊休地あるいはため池を町より借り受け、自らの資本でそこに発電設備を設置し、かつその維持管理を行い、託送制度で自らの工場・事業所で環境価値のある電気を利用するケースが想定される。
- ・具体的には、鞍手町内の電力需要者(工場・事業者等)が、特定の公共遊休地あるいはため池を町より借り受け、自らの資本でそこに発電設備を設置し、かつその維持管理を行い、託送制度で自らの工場・事業所で環境価値のある電気を利用するケースが想定される。

⑦	自家利用	オフサイト	コーポレート PPA 方式
---	------	-------	---------------

- 本手法は、発電事業者が発電した電力を託送により特定の需要家に供給することを約束し、対象となる発電設備が電力需要施設と離れた場所に設置し、小売電気事業者を介してその需要家に電力を供給する契約方式である。
- 本手法ケースにおいては、鞍手町が直接発電事業となる a ケースと、鞍手町内の電力需要者(工場・事業者等)が単独あるいは組合方式で、町より公共遊休地とため池を借り受け発電事業者となり、小売電気事業者と提携して事業化し、自らの工場・事業所等で環境価値のある電気を調達する b ケースの二つのケースが想定される。
- しかし、b ケースは事業者が登場するかどうかの不確実性と、事業化までに両社の協議・合意までの調整に時間が掛かることから、本事業は鞍手町が事業者となる a ケースを前提として以下の検討を行うものとする。
- a ケースにおいては、発電出力 2.0MW 以上という制約があるが、経済産業省による 補助 制度(「需要家主導による導入促進事業/補助率 1/2」)が利用できる。なお、同補助事業には自治体所有地(ため池、遊休地)を対象とした「自治体連携型/補助率 2/3」も用意されており事業費調達の面でも他の手法に比べて最も有利に事業化に取り組める。

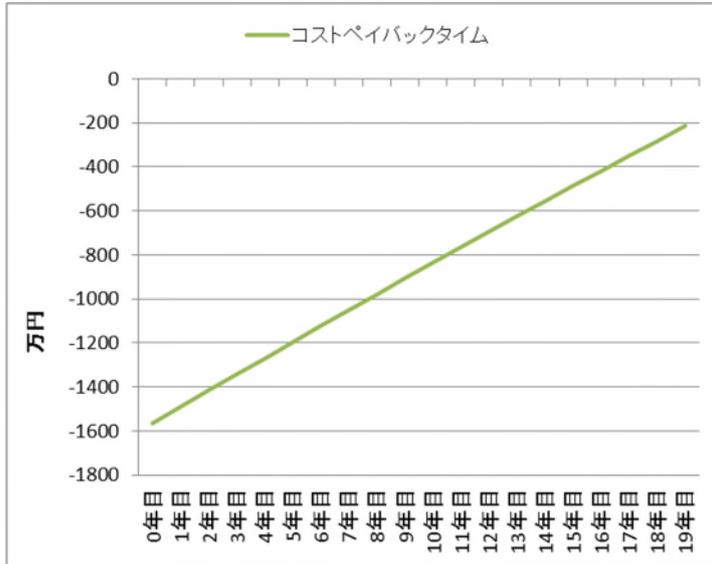
No	電力利用/設備と需要地関係	導入手法	手法概要	補助制度
太陽光発電設備導入	①	自己設置方式	<ul style="list-style-type: none"> 投資家が自己調達資金により自己所有敷地・建物(借用)に発電設備を整備し、系統接続により売電(FIT制度)する。 	■FIT制度 10~50kW:10円/kWh(20年間) 50kW以上:競争入札(10年間)
	②	PPA方式	<ul style="list-style-type: none"> 発電事業者が、需要家の建物・駐車場棟に太陽光発電設備を設置し、所有・維持管理をした上で、発電した電気を需要家に供給する仕組み(第三者所有モデル) 初期費用・維持管理費用は不要 	■ストレージパリティの達成に向けた太陽光発電設備等の価格低減促進事業(対象②③④) 太陽光発電システム(蓄電池有り): PPA・リース5万円/kWh 自家所有4.0kW 蓄電池無し:一律4.0万円/kWh 蓄電池:家庭用5.2万円/kWh 産業用6.3万円/kWh
	③	リース方式	<ul style="list-style-type: none"> リース事業者が、需要家の事業所の建物屋根等に太陽光発電設備の設置を行う。需要家はリース事業者に対して月々のリース料金を支払う仕組み(初期費用は不要/余剰電力売電可能) 	
	④	自己設置方式	<ul style="list-style-type: none"> 電力需要家が自己所有の建物・敷地・駐車場に自己資金で発電設備を整備し、発電した電力は敷地内で自家消費する。 電気代削減効果が大きく、蓄電池との組合せでさらに拡大。 初期導入費用、維持管理経費が必要。余剰電力の売電可能。 	
	⑤	自営線方式	<ul style="list-style-type: none"> 需要家または発電事業者が、電力需要施設の敷地外に太陽光発電を設置し、そこで発電した電力量を電力系統とは別に送電線(自営線)を整備して、同事業所に供給・消費する仕組み 	
	⑥	自己託送方式	<ul style="list-style-type: none"> 需要家または発電事業者が、電力需要施設の敷地外において太陽光発電を設置し、そこで発電した電力量を電力系統を経由(自己託送制度)して、同事業所に供給・消費する仕組み。 自営線方式と比較して、初期投資が小さいが託送料が必要。 	
	⑦	コーポレートPPA方式	<ul style="list-style-type: none"> 発電事業者が発電した電力を特定の需要家に供給することを約束し、対象となる発電設備が電力需要施設と離れた場所に設置された場合に、小売電気事業者を介してその需要家に電力を供給する契約方式(オンサイト方式に比べて大量の再生電力の調達が可能/需要家は設備投資なしで利用しやすい) 	■需要家主導による導入促進事業(対象⑦のみ) ・発電出力2MW以上(複数発電設備合計/1箇所30kW以上) ・補助率1/2 ・設置場所:需要家や自治体の遊休地、他社の工場倉庫(住宅系は不可) ・発電事業者と需要家(主に製造業大規模需要家)の間で長期需給契約(PPA/8年以上+発電量の7割以上) ■同上 自治体連携型 補助率:2/3 ・上記条件の他、自治体所有地(ため池・遊休地他) or 地方公共団体が資本金の過半を出資する補助対象事業者又は地方公共団体内に需要地及び地方公営企業が、当該地方公共団体内に需要地を有する者を需要家として補助事業を実施する場合
	⑧	再エネ(RE100)電力購入代替方式	<ul style="list-style-type: none"> 需要家が、小売電気事業者の「再生電力メニュー」から再生エネ電力(証書を含む)を調達する仕組み 	
	⑨	再エネ(RE100)電力証書購入	<ul style="list-style-type: none"> 電力の需要家が再生エネ電力とは別に再生エネ由来の環境価値だけを証書として購入することで、再生エネ電力の価値(CO₂排出削減効果等)を有することができる仕組み 	<ul style="list-style-type: none"> 経済産業省・環境省・農林水産省運営 0.5~1.0円/kWh程度 日本品質機構運営 2~7円/kWh程度
	⑩	グリーン電力証書		
その他				

5-3 設備導入による事業採算性の調査、検討

5-3-1 公共施設

4章の発電シミュレーション結果を基に、施設毎に事業採算性を評価した。

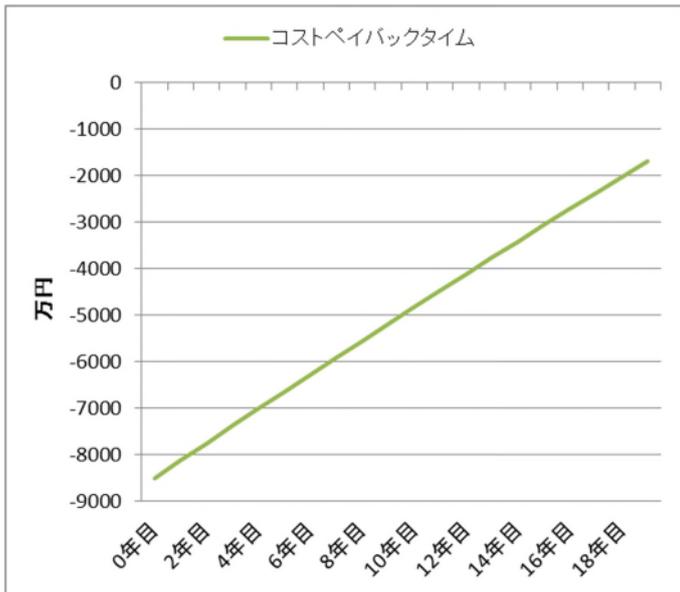
(1) 鞍手町浄水場



年	経済効果(円)
0年目	-15,632,500
1年目	-14,822,087
2年目	-14,015,727
3年目	-13,213,398
4年目	-12,415,082
5年目	-11,620,757
6年目	-10,830,403
7年目	-10,044,001
8年目	-9,261,531
9年目	-8,482,973
10年目	-7,708,308
11年目	-6,937,516
12年目	-6,170,579
13年目	-5,407,476
14年目	-4,648,189
15年目	-3,892,699
16年目	-3,140,986
17年目	-2,393,031
18年目	-1,648,815
19年目	-908,321

初期投資額		年間経済効果		電力量(kWh)	単価(円)	年間(円)
<input checked="" type="radio"/> 1kWあたり単価	250,000 円	自家消費割合(%)	99.94	67,510.72	12.00	\$810,129.00
<input type="radio"/> 工事合計金額	15,632,500 円	売電割合(%)	0.06	40.53	7.00	\$284.00
計算						計算

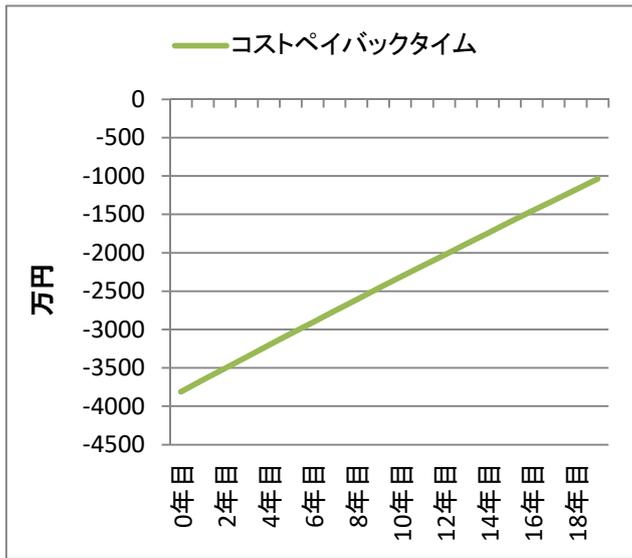
(2) 鞍手町総合福祉センター



年	経済効果(円)
0年目	-85,007,500
1年目	-81,251,353
2年目	-77,513,986
3年目	-73,795,306
4年目	-70,095,219
5年目	-66,413,633
6年目	-62,750,455
7年目	-59,105,593
8年目	-55,478,955
9年目	-51,870,450
10年目	-48,279,988
11年目	-44,707,479
12年目	-41,152,831
13年目	-37,615,957
14年目	-34,096,768
15年目	-30,595,175
16年目	-27,111,090
17年目	-23,644,425
18年目	-20,195,093
19年目	-16,763,008

初期投資額		年間経済効果		電力量(kWh)	単価(円)	年間(円)
<input checked="" type="radio"/> 1kWあたり単価	250,000 円	自家消費割合(%)	65.07	238,369.83	12.00	\$2,860,438.00
<input type="radio"/> 工事合計金額	85,007,500 円	売電割合(%)	34.93	127,958.48	7.00	\$895,709.00
計算						計算

(3) 勤労者ふれあい棟



年	経済効果(円)
0年目	-38,110,000
1年目	-36,583,734
2年目	-35,065,100
3年目	-33,554,059
4年目	-32,050,573
5年目	-30,554,605
6年目	-29,066,117
7年目	-27,585,071
8年目	-26,111,431
9年目	-24,645,159
10年目	-23,186,218
11年目	-21,734,572
12年目	-20,290,184
13年目	-18,853,018
14年目	-17,423,038
15年目	-16,000,208
16年目	-14,584,492
17年目	-13,175,854
18年目	-11,774,260
19年目	-10,379,674

初期投資額

1kWあたり単価 250,000 円

工事合計金額 38,110,000 円

計算

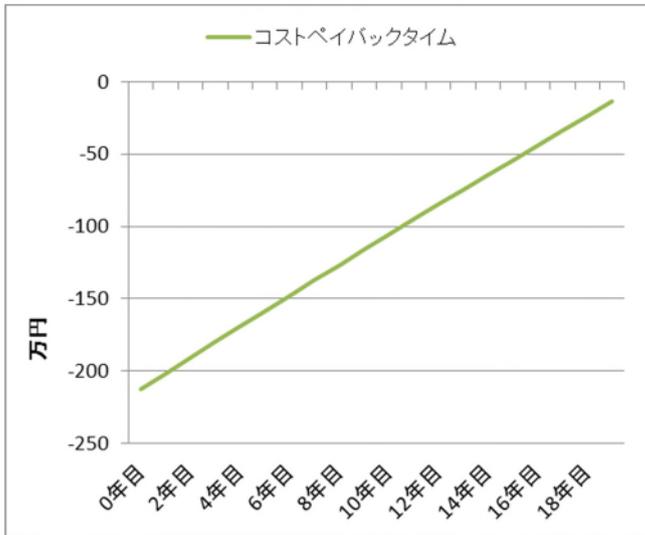
年間経済効果

電力量(kWh) 単価(円) 年間(円)

自家消費割合(%) 45.36 74,699.38 × 12.00 = \$896,393.00 \$1,526,266.00

売電割合(%) 54.64 89,981.79 × 7.00 = \$629,873.00 計算

(4) 浮州池ポンプ場（取水塔）



年	経済効果(円)
0年目	-2,127,500
1年目	-2,017,841
2年目	-1,908,731
3年目	-1,800,167
4年目	-1,692,145
5年目	-1,584,663
6年目	-1,477,718
7年目	-1,371,308
8年目	-1,265,430
9年目	-1,160,082
10年目	-1,055,260
11年目	-950,963
12年目	-847,187
13年目	-743,929
14年目	-641,188
15年目	-538,961
16年目	-437,245
17年目	-336,038
18年目	-235,337
19年目	-135,139

初期投資額

1kWあたり単価 250,000 円

工事合計金額 2,127,500 円

計算

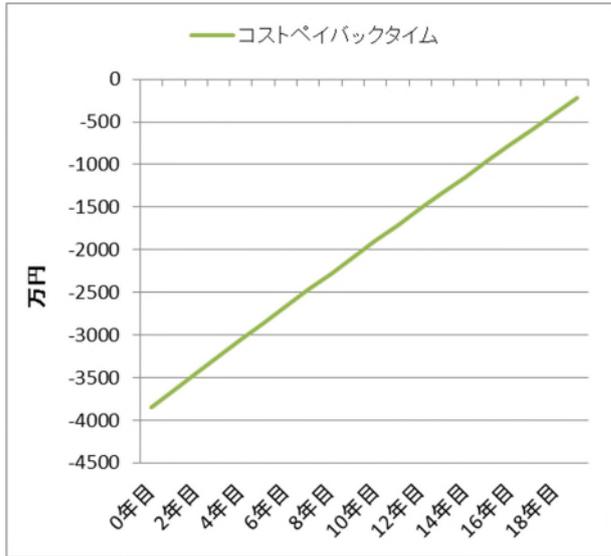
年間経済効果

電力量(kWh) 単価(円) 年間(円)

自家消費割合(%) 98.56 9,061.00 × 12.00 = \$108,732.00 \$109,659.00

売電割合(%) 1.44 132.38 × 7.00 = \$927.00 計算

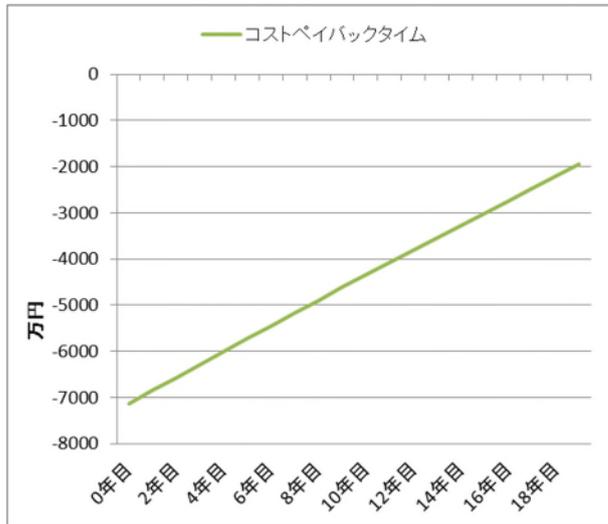
(5) 鞍手町営葬斎場



年	経済効果(円)
0年目	-38,480,000
1年目	-36,484,640
2年目	-34,499,257
3年目	-32,523,801
4年目	-30,558,222
5年目	-28,602,471
6年目	-26,656,499
7年目	-24,720,256
8年目	-22,793,695
9年目	-20,876,766
10年目	-18,969,422
11年目	-17,071,615
12年目	-15,183,297
13年目	-13,304,420
14年目	-11,434,938
15年目	-9,574,803
16年目	-7,723,969
17年目	-5,882,389
18年目	-4,050,017
19年目	-2,226,807

初期投資額		年間経済効果		電力量(kWh)	単価(¥)	年間(¥)
<input checked="" type="radio"/> 1kWあたり単価	250,000 円	自家消費割合(%)	100.00	166,280.01	12.00	\$1,995,360.0
<input type="radio"/> 工事合計金額	38,480,000 円	売電割合(%)			7.00	\$1,995,360.00
<input type="button" value="計算"/>						<input type="button" value="計算"/>

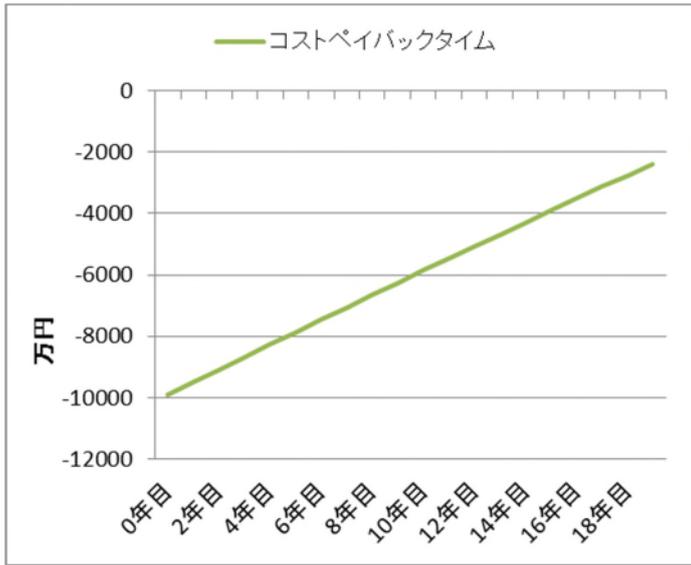
(6) 文化体育総合施設



年	経済効果(円)
0年目	-71,410,000
1年目	-68,553,957
2年目	-65,712,194
3年目	-62,884,640
4年目	-60,071,224
5年目	-57,271,875
6年目	-54,486,522
7年目	-51,715,097
8年目	-48,957,529
9年目	-46,213,748
10年目	-43,483,687
11年目	-40,767,275
12年目	-38,064,446
13年目	-35,375,131
14年目	-32,699,262
15年目	-30,036,772
16年目	-27,387,595
17年目	-24,751,664
18年目	-22,128,913
19年目	-19,519,276

初期投資額		年間経済効果		電力量(kWh)	単価(¥)	年間(¥)
<input checked="" type="radio"/> 1kWあたり単価	250,000 円	自家消費割合(%)	45.11	139,199.49	12.00	\$1,670,394.0
<input type="radio"/> 工事合計金額	71,410,000 円	売電割合(%)	54.89	169,378.41	7.00	\$1,185,649.0
<input type="button" value="計算"/>						<input type="button" value="計算"/>

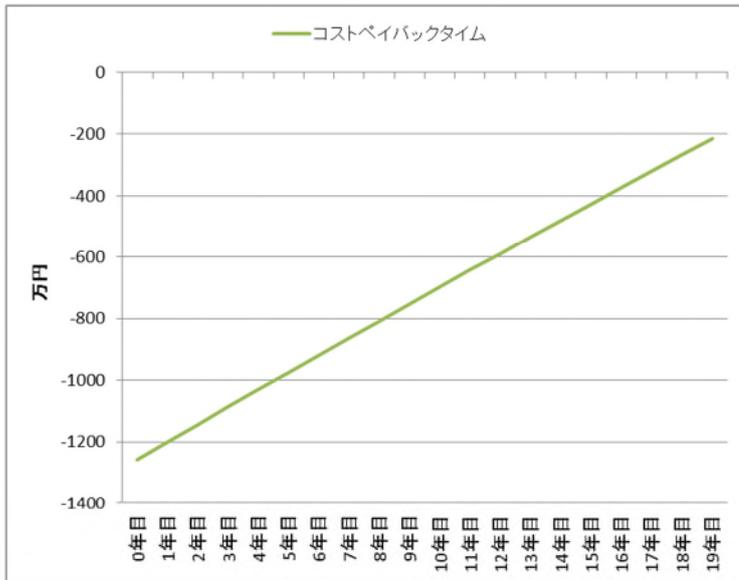
(7) 鞍手中学校



年	経済効果(円)
0年目	-99,160,000
1年目	-95,012,415
2年目	-90,885,569
3年目	-86,779,357
4年目	-82,693,676
5年目	-78,628,423
6年目	-74,583,496
7年目	-70,558,794
8年目	-66,554,216
9年目	-62,569,660
10年目	-58,605,027
11年目	-54,660,217
12年目	-50,735,132
13年目	-46,829,672
14年目	-42,943,740
15年目	-39,077,237
16年目	-35,230,066
17年目	-31,402,131
18年目	-27,593,336
19年目	-23,803,585

初期投資額		年間経済効果			
<input checked="" type="radio"/> 1kWあたり単価	250,000 円	電力量(kWh)	単価(¥)	年間(¥)	
<input type="radio"/> 工事合計金額	99,160,000 円	自家消費割合(%)	229,628.65 × 12.00 =	\$2,755,544.0	\$4,147,585.00
	<input type="button" value="計算"/>	売電割合(%)	46.41 × 198,862.95 × 7.00 =	\$1,392,041.0	<input type="button" value="計算"/>

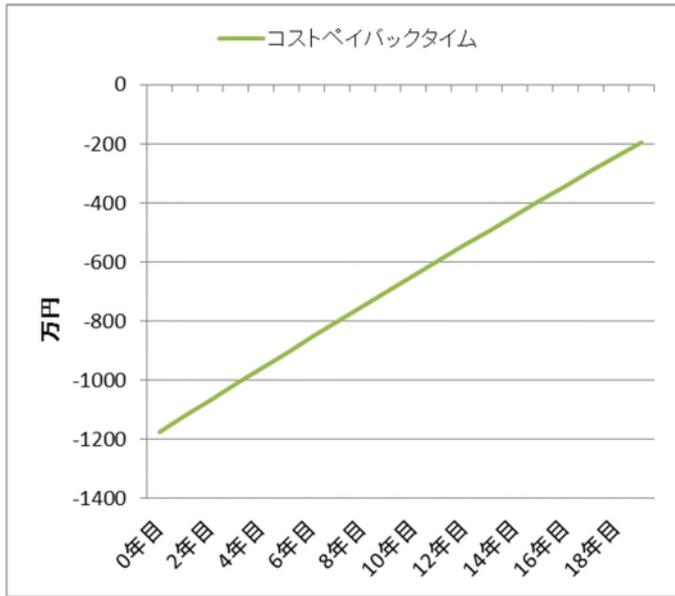
(8) 剣南小学校



年	経済効果(円)
0年目	-12,580,000
1年目	-12,006,412
2年目	-11,435,691
3年目	-10,867,824
4年目	-10,302,796
5年目	-9,740,593
6年目	-9,181,201
7年目	-8,624,607
8年目	-8,070,796
9年目	-7,519,754
10年目	-6,971,466
11年目	-6,425,920
12年目	-5,883,101
13年目	-5,342,997
14年目	-4,805,593
15年目	-4,270,876
16年目	-3,738,833
17年目	-3,209,451
18年目	-2,682,715
19年目	-2,158,612

初期投資額		年間経済効果			
<input checked="" type="radio"/> 1kWあたり単価	250,000 円	電力量(kWh)	単価(¥)	年間(¥)	
<input type="radio"/> 工事合計金額	12,580,000 円	自家消費割合(%)	71.03 × 38,612.53 × 12.00 =	\$463,350.00	\$573,588.00
	<input type="button" value="計算"/>	売電割合(%)	28.97 × 15,748.35 × 7.00 =	\$110,238.00	<input type="button" value="計算"/>

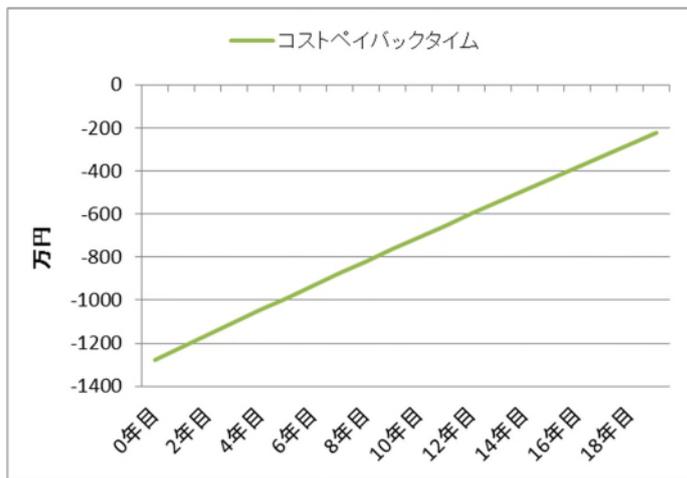
(9) 剣北小学校



年	経済効果(円)
0年目	-11,747,500
1年目	-11,207,351
2年目	-10,669,903
3年目	-10,135,143
4年目	-9,603,056
5年目	-9,073,630
6年目	-8,546,850
7年目	-8,022,704
8年目	-7,501,179
9年目	-6,982,262
10年目	-6,465,940
11年目	-5,952,200
12年目	-5,441,028
13年目	-4,932,412
14年目	-4,426,339
15年目	-3,922,796
16年目	-3,421,771
17年目	-2,923,251
18年目	-2,427,224
19年目	-1,933,677

初期投資額		年間経済効果			
<input checked="" type="radio"/> 1kWあたり単価	250,000 円	電力量(kWh)	単価(円)	年間(円)	
<input type="radio"/> 工事合計金額	11,747,500 円	自家消費割合(%)	36,960.88 × 12.00 = \$443,531.00		\$540,149.00
	計算	売電割合(%)	27.19 × 13,802.59 × 7.00 = \$96,618.00		計算

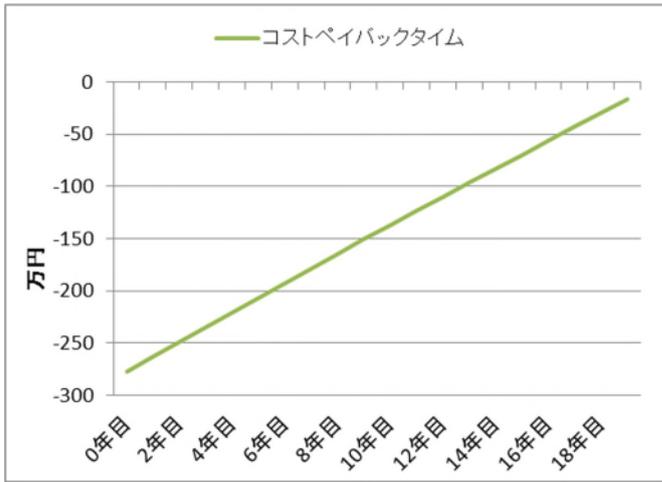
(10) 古月小学校



年	経済効果(円)
0年目	-12,765,000
1年目	-12,183,777
2年目	-11,605,460
3年目	-11,030,035
4年目	-10,457,487
5年目	-9,887,802
6年目	-9,320,965
7年目	-8,756,962
8年目	-8,195,779
9年目	-7,637,402
10年目	-7,081,817
11年目	-6,529,010
12年目	-5,978,967
13年目	-5,431,674
14年目	-4,887,117
15年目	-4,345,283
16年目	-3,806,159
17年目	-3,269,730
18年目	-2,735,983
19年目	-2,204,905

初期投資額		年間経済効果			
<input checked="" type="radio"/> 1kWあたり単価	250,000 円	電力量(kWh)	単価(円)	年間(円)	
<input type="radio"/> 工事合計金額	12,765,000 円	自家消費割合(%)	39,020.32 × 12.00 = \$468,244.00		\$581,223.00
	計算	売電割合(%)	29.26 × 16,139.87 × 7.00 = \$112,979.00		計算

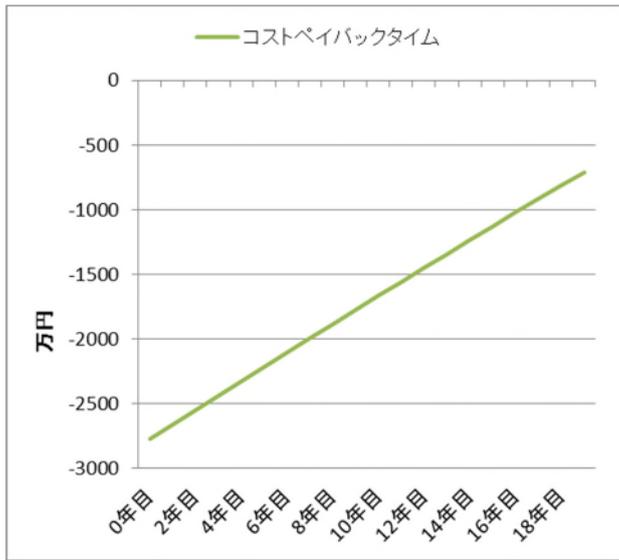
(11) 西川小学校



年	経済効果(円)
0年目	-2,775,000
1年目	-2,631,398
2年目	-2,488,514
3年目	-2,346,344
4年目	-2,204,885
5年目	-2,064,133
6年目	-1,924,085
7年目	-1,784,737
8年目	-1,646,086
9年目	-1,508,128
10年目	-1,370,860
11年目	-1,234,279
12年目	-1,098,380
13年目	-963,161
14年目	-828,618
15年目	-694,748
16年目	-561,546
17年目	-429,011
18年目	-297,138
19年目	-165,925

初期投資額 <input checked="" type="radio"/> 1kWあたり単価 <input type="text" value="250,000"/> 円 <input type="radio"/> 工事合計金額 <input type="text" value="2,775,000"/> 円 <input type="button" value="計算"/>		年間経済効果 自家消費割合(%) <input type="text" value="99.51"/> 電力量(kWh) <input type="text" value="11,932.59"/> × 単価(¥) <input type="text" value="12.00"/> = <input type="text" value="\$143,191.00"/> 年間(¥) <input type="text" value="\$143,602.00"/> 売電割合(%) <input type="text" value="0.49"/> 電力量(kWh) <input type="text" value="58.76"/> × 単価(¥) <input type="text" value="7.00"/> = <input type="text" value="\$411.00"/> 年間(¥) <input type="button" value="計算"/>			
--	--	---	--	--	--

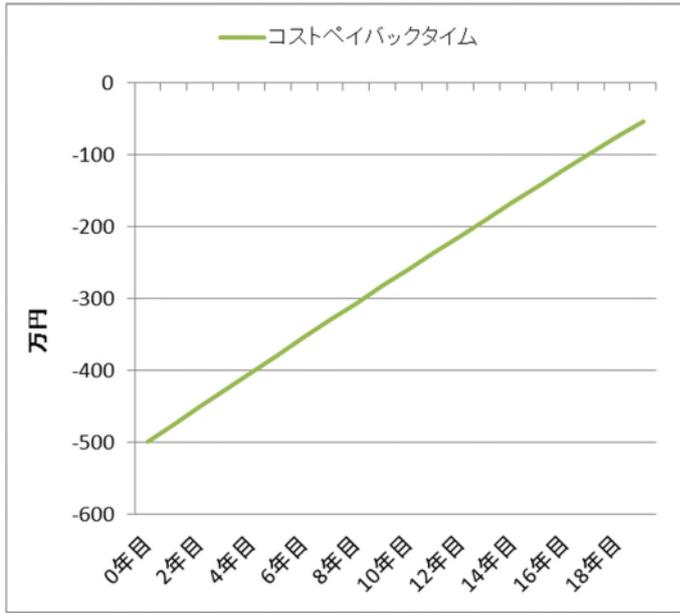
(12) 新延小学校



年	経済効果(円)
0年目	-27,750,000
1年目	-26,613,758
2年目	-25,483,197
3年目	-24,358,289
4年目	-23,239,005
5年目	-22,125,318
6年目	-21,017,199
7年目	-19,914,620
8年目	-18,817,555
9年目	-17,725,975
10年目	-16,639,853
11年目	-15,559,161
12年目	-14,483,873
13年目	-13,413,961
14年目	-12,349,399
15年目	-11,290,160
16年目	-10,236,217
17年目	-9,187,544
18年目	-8,144,114
19年目	-7,105,901

初期投資額 <input checked="" type="radio"/> 1kWあたり単価 <input type="text" value="250,000"/> 円 <input type="radio"/> 工事合計金額 <input type="text" value="27,750,000"/> 円 <input type="button" value="計算"/>		年間経済効果 自家消費割合(%) <input type="text" value="49.51"/> 電力量(kWh) <input type="text" value="59,369.27"/> × 単価(¥) <input type="text" value="12.00"/> = <input type="text" value="\$712,431.00"/> 年間(¥) <input type="text" value="\$1,136,242.00"/> 売電割合(%) <input type="text" value="50.49"/> 電力量(kWh) <input type="text" value="60,544.42"/> × 単価(¥) <input type="text" value="7.00"/> = <input type="text" value="\$423,811.00"/> 年間(¥) <input type="button" value="計算"/>			
---	--	--	--	--	--

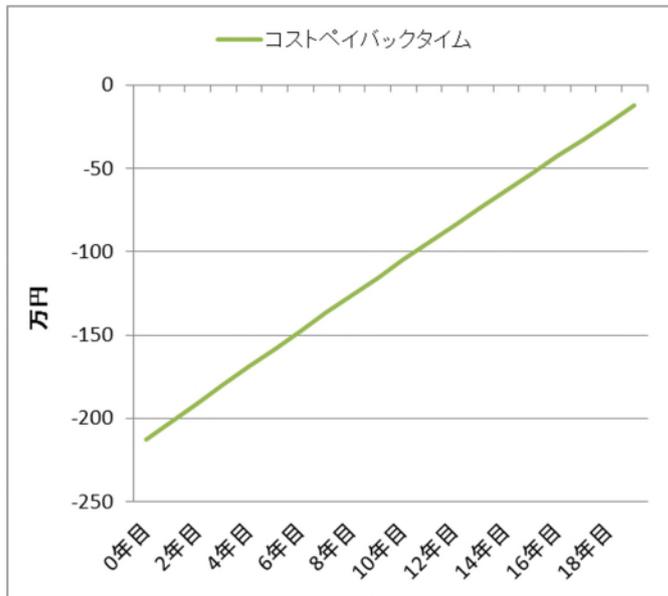
(13) 室木小学校



年	経済効果(円)
0年目	-4,995,000
1年目	-4,748,992
2年目	-4,504,214
3年目	-4,260,659
4年目	-4,018,322
5年目	-3,777,197
6年目	-3,537,277
7年目	-3,298,557
8年目	-3,061,030
9年目	-2,824,691
10年目	-2,589,534
11年目	-2,355,553
12年目	-2,122,741
13年目	-1,891,093
14年目	-1,660,604
15年目	-1,431,267
16年目	-1,203,077
17年目	-976,028
18年目	-750,114
19年目	-525,329

初期投資額		年間経済効果								
<input checked="" type="radio"/> 1kWあたり単価	250,000 円	自家消費割合(%)	87.95	電力量(kWh)	18,983.54	単価(円)	12.00	年間(円)	\$227,802.00	\$246,008.00
<input type="radio"/> 工事合計金額	4,995,000 円	売電割合(%)	12.05		2,600.93		7.00		\$18,206.00	計算
計算										

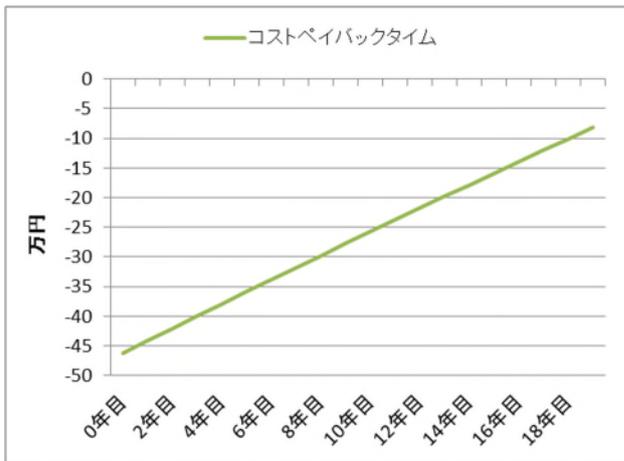
(14) 鞍手駅舎



年	経済効果(円)
0年目	-2,127,500
1年目	-2,017,179
2年目	-1,907,410
3年目	-1,798,190
4年目	-1,689,516
5年目	-1,581,385
6年目	-1,473,795
7年目	-1,366,743
8年目	-1,260,226
9年目	-1,154,242
10年目	-1,048,788
11年目	-943,861
12年目	-839,459
13年目	-735,579
14年目	-632,218
15年目	-529,374
16年目	-427,044
17年目	-325,226
18年目	-223,917
19年目	-123,114

初期投資額		年間経済効果								
<input checked="" type="radio"/> 1kWあたり単価	250,000 円	自家消費割合(%)	100.00	電力量(kWh)	9,193.38	単価(円)	12.00	年間(円)	\$110,321.00	\$110,321.00
<input type="radio"/> 工事合計金額	2,127,500 円	売電割合(%)					0			計算
計算										

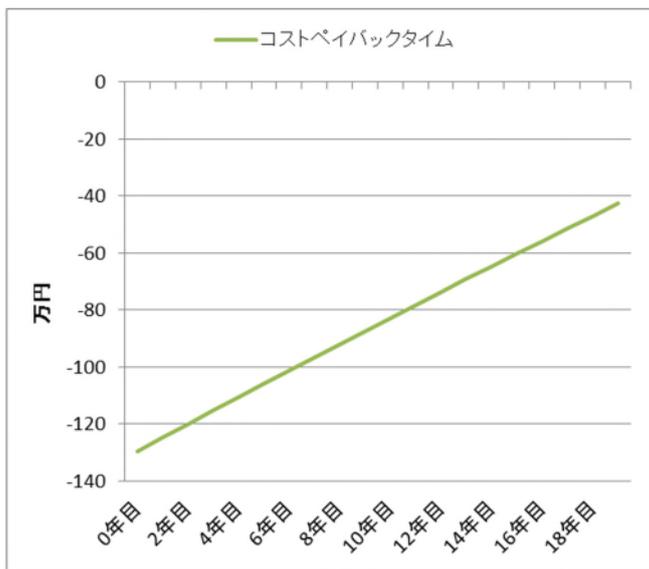
(15) 舟川町営住宅 浄化槽



年	経済効果(円)
0年目	-462,500
1年目	-441,540
2年目	-420,685
3年目	-399,934
4年目	-379,287
5年目	-358,743
6年目	-338,302
7年目	-317,963
8年目	-297,726
9年目	-277,590
10年目	-257,555
11年目	-237,620
12年目	-217,784
13年目	-198,048
14年目	-178,410
15年目	-158,871
16年目	-139,430
17年目	-120,085
18年目	-100,837
19年目	-81,685

初期投資額		年間経済効果			
<input checked="" type="radio"/> 1kWあたり単価	250,000 円	電力量(kWh)	単価(¥)	年間(¥)	
<input type="radio"/> 工事合計金額	462,500 円	自家消費割合(%)	1,394.00 × 12.00 = \$16,728.00		\$20,960.00
	<input type="button" value="計算"/>	売電割合(%)	30.25 × 604.56 × 7.00 = \$4,232.00		<input type="button" value="計算"/>

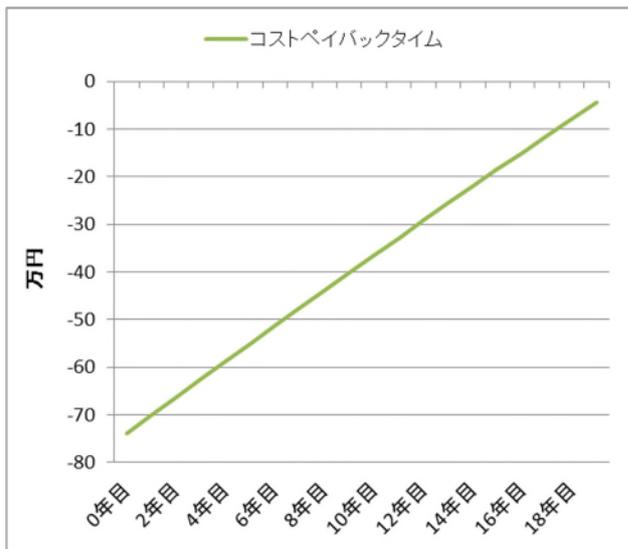
(16) 室木町営住宅 浄化槽



年	経済効果(円)
0年目	-1,295,000
1年目	-1,247,171
2年目	-1,199,581
3年目	-1,152,230
4年目	-1,105,115
5年目	-1,058,236
6年目	-1,011,592
7年目	-965,180
8年目	-919,001
9年目	-873,052
10年目	-827,333
11年目	-781,843
12年目	-736,580
13年目	-691,543
14年目	-646,732
15年目	-602,144
16年目	-557,779
17年目	-513,637
18年目	-469,715
19年目	-426,013

初期投資額		年間経済効果			
<input checked="" type="radio"/> 1kWあたり単価	250,000 円	電力量(kWh)	単価(¥)	年間(¥)	
<input type="radio"/> 工事合計金額	1,295,000 円	自家消費割合(%)	30.94 × 1,731.39 × 12.00 = \$20,777.00		\$47,829.00
	<input type="button" value="計算"/>	売電割合(%)	69.06 × 3,864.58 × 7.00 = \$27,052.00		<input type="button" value="計算"/>

(17) 泉水団地改良住宅 浄化槽



年	経済効果(円)
0年目	-740,000
1年目	-701,628
2年目	-663,447
3年目	-625,457
4年目	-587,657
5年目	-550,046
6年目	-512,623
7年目	-475,387
8年目	-438,338
9年目	-401,474
10年目	-364,794
11年目	-328,298
12年目	-291,984
13年目	-255,852
14年目	-219,900
15年目	-184,128
16年目	-148,535
17年目	-113,120
18年目	-77,882
19年目	-42,820

初期投資額

1kWあたり単価 円

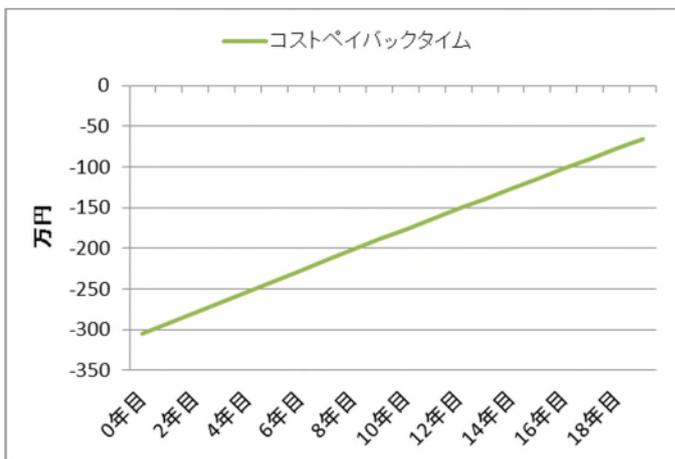
工事合計金額 円

年間経済効果

自家消費割合(%) 電力量(kWh) × 単価(¥) = 年間(¥)

売電割合(%) × =

(18) 幸ノ浦団地改良住宅 浄化槽



年	経済効果(円)
0年目	-3,052,500
1年目	-2,920,734
2年目	-2,789,626
3年目	-2,659,174
4年目	-2,529,374
5年目	-2,400,223
6年目	-2,271,718
7年目	-2,143,856
8年目	-2,016,633
9年目	-1,890,046
10年目	-1,764,091
11年目	-1,638,767
12年目	-1,514,069
13年目	-1,389,995
14年目	-1,266,541
15年目	-1,143,704
16年目	-1,021,482
17年目	-899,870
18年目	-778,866
19年目	-658,468

初期投資額

1kWあたり単価 円

工事合計金額 円

年間経済効果

自家消費割合(%) 電力量(kWh) × 単価(¥) = 年間(¥)

売電割合(%) × × =

5-3-2 蓄電池設置によるレジリエンス強化

レジリエンス強化として、指定避難所となっている小中学校への蓄電池設置を検討した。余剰電力の有効活用・レジリエンス強化として太陽光発電設備と合わせて蓄電池を設置することで停電などの非常時には防災用電源として活用する（図 5-4）。

今回計画した 6 つの小学校と指定避難場所として指定されている鞍手中中学校・文化体育総合施設・鞍手町総合福祉センターの年間の余剰電力は下記（表 5-6）のとおりである。これによると、一日当たりの余剰電力の平均値は 185.1kWh となった。設置する蓄電池容量は各施設の余剰電力に合わせた容量とした。表 5-6 に選定した蓄電池容量とイニシャルコストを記した。蓄電池単価については図 5-5 を基に算出した。

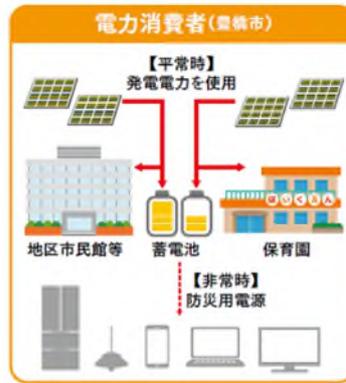


図 5-4 太陽光発電+蓄電池の活用例

出典：新・公民連携最前線 PPP まちづくり

表 5-6 小学校の余剰電力

	余剰電力 [kWh/年]	余剰電力 [kWh/日]	蓄電池容量 [kWh]	イニシャルコスト [万円]
剣南小学校	12,236	33.5	30	726
剣北小学校	13,803	37.8	30	726
古月小学校	16,139	44.2	40	968
西川小学校	58	0.2	0.2	5
新延小学校	67,115	183.9	180	4,356
室木小学校	2,602	7.1	7	169
鞍手中中学校	198,857	544.8	540	13,068
文化体育総合施設	169,378	464.0	460	11,132
鞍手町総合福祉センター	127,969	350.6	350	8,470
平均	67,573	185.1	-	-

日本における蓄電システム価格（電池部分、PCS含む）と工事費（試算）

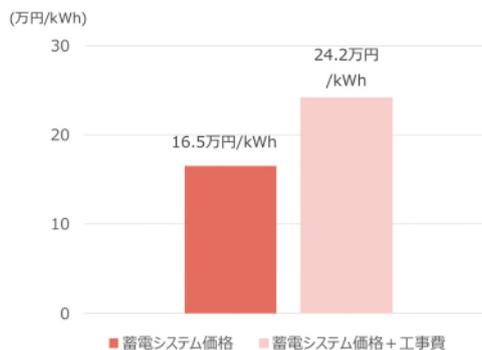


図 5-5 産業用蓄電池システムの価格水準

出典：定置用蓄電システム普及拡大検討会

5-3-3 公共遊休地及びため池

(1) オフサイトコーポレート PPA 手法による事業化の検討

ここでは前章での検討「水上ソーラー導入可能性の3手法の比較検討」で、最も事業効果が高く、事業実現性も高いと判断された「オフサイトコーポレート PPA(自治体連携型)手法」による事業の具体化について詳細検討した。

(2) 事業手法の仕組み

- ・オフサイトコーポレート PPA(自治体連携型)事業手法の仕組みの全体像は、図 5-5 に示すとおりである。事業関係者は、発電事業者、電力需要者、小規模電気事業者、送電事業者の4者である。
- ・「発電事業者」は、鞍手町と小規模電気事業者等による出資法人で、ため池に発電施設を設置・保守管理・発電し、発電した電力は託送制度を利用して電力需要者に供給する。
- ・また、発電事業者は補助金申請者として補助金を調達する他、自己資金や金融機関からの借り入れ等により当該事業に必要な事業資金を調達する。なお、出資法人における鞍手町の出資率は、補助金採択要件により51%以上が必要だが、小規模電気事業者以外に、町内の企業の参加も考えられる。
- ・「電力需要者」には、町内に所在し、かつ電力需要の大きな複数の製造業・事業所などの参加を想定した。電力需要者本事業への参加は、インシヤルコストの負担なしで契約先の変更のみで可能である。また、本事業への参加により環境価値のある電力の導入が可能で、自社のCO2削減が可能になる。なお、不足電力については、従来通り送配電事業から供給を受ける。
- ・「小規模電力事業者」は、電力需要者からの料金徴収業務の他、送配電事業者との契約による決めた託送量に対する発電量の過不足を調整(過不足分は電力市場への売電や買電)する業務を担当する。
- ・「送配電事業者」は、本町では九州電力(株)だが、電力需要者にため池で発電した電力を託送し、また、電力需要者の不足電力を供給する。
- ・なお、発電事業者と電力需要者と小売電気事業者の3者間で、契約期間8年以上の電力供給契約を締結する。また、全体の事業に齟齬をきたさないために、各構成者同士の2者契約を締結する。また、鞍手町と発電事業者との間で貸与契約を締結し、発電事業者は鞍手町に対し一定の公共遊休地とため池の利用料を支払う。

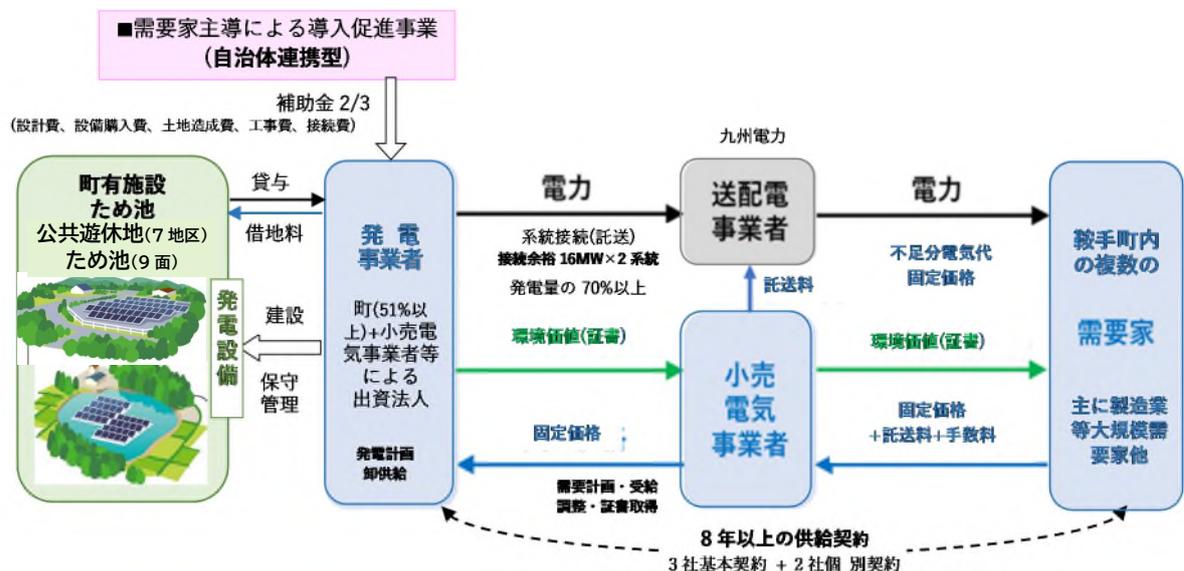


図 5-6 オフサイトコーポレート PPA(自治体連携型) 手法の仕組み

(3) 事業規模と事業効果

- ・公共遊休地・ため池の太陽光発電導入の事業規模と事業効果は、先の検討から表 5-7 に整理したとおりである。
- ・発電出力は 2,342kW、年間発電量はパネル劣化率を考慮して 3,111MWh/年で、これは、2018 年度の製造部門の電力需要の 4.09%(製造部門電力需要カバー率)に相当し、また、町全体の電力需要(電力自給率)の 2.7%に相当する。なお、2018 年度までの太陽光発電導入量を加えると、町の電力自給率を 20.4%に向上させる効果がある。
- ・一方、CO₂削減量は 1,136 千 t-CO₂/年で、基準年比 CO₂削減率は▲0.4%に相当する効果が期待できる。

表 5-7 水上ソーラーシステム導入事業の事業化事業効果

	対象	発電出力 (KW)	発電量 *1 (MWh/年)	製造部門電力需要カバー率(%)	町全体電力の自給率 (%)	CO ₂ 削減量 (千 t-CO ₂ /年)	基準年比 CO ₂ 削減率 (%)
公共遊休地	7 地区	978	1,293	1.3	0.860%	472	0.167
ため池	9 面	1,364	1,818	2.8	1.854%	664	0.235
計		2,342	3,111	4.09	2.714%	1,136	0.402

注 1: 発電量はパネル劣化率:0.25%を考慮した値

(4) 事業費と資金調達スキーム

- ・本事業の総事業費と資金調達スキームは、表 5-8 に示すフレーム(案)とする。事業費は、前項の検討結果よりシステム導入経費は 19.6 万円/kW とし、これに託送用の系統接続工事負担金を加算して 7.035 億円(消費税込み 7.7385 億円)とする。ちなみに補助制度のシステム価格の採択要件は、導入単価が 25 万円 /kW(AC ベース)未満となっている。
- ・資金調達においては、補助金(「需要家主導による太陽光発電導入促進補助金(経産省)」)の「自治体連携型」を活用し、総事業費の 2/3(4.69 億円)を調達する。鞍手町の出資金比率は同補助金制度の規定より 51%と想定し、当初出資金は 7,400 万円と設定した。また、不足する事業資金 1.6 億円は公庫あるいは地銀からの融資(返済期間 8 年)を前提とする。

表 5-8 総事業費と資金調達スキーム

	費目	費用(万円)	備考		費目	金額(万円)	備考
総事業費	発電設備費	39,970	@13.0 万円/kW	資金調達スキーム	資本金	7,400	鞍手町 51%
	工事費	15,875	@5.1 万円/kW		自己資金	14,500	
	計画設計諸手続費	4,505	@1.5 万円/kW		借入金	16,000	公庫 or 地銀等
	系統接続負担金	10,000	@3.2 円/kW		補助金	46,900	総事業費の 2/3
	計	70,350	@22.8 万円/kW		計	77,400	
	消費税	7,035	10%		自己負担金	7,400	総事業費の 1/3
	合計	77,385					

(5) 事業収支推移と事業採算性

・前述の総事業費と資金調達スキーム(案)を前提として、ここでは本事業の「20年間の事業収支の推移と事業採算性」について試算した。収支関連項目の試算条件は、下記表に示す条件を前提とした。

表 5-9 事業採算性試算前提条件

収支関連項目	収支関連項目の試算条件
売電単価	・ 最高 22 円/kWh (1 円 kWh 刻みの低下で事業採算性をシミュレーション) *環境価値分として、再エネ賦課金 3.45 円/kWh 相当額を含む。
売電量	・ 3,111MWh (初年度) パネル劣化率: 0.25%/年
運転管理費	・ 432 円/kW (含む人件費・法定福利費) 出典: 「日本の太陽光発電の発電コスト」自然エネルギー財団、2019 年 7 月
託送料	・ 3.295 円/kWh (九州電力) 高圧標準接続送電: サービス基本料金 686 円/kW 従量料金 2.78 円/kWh
手数料	・ 1.2 円/kWh 小売電気事業者手数料
設備保守費	・ 1,444 円/kW (定期点検費:536 円、修繕費:510 円、保険代: 398 円) (出典同上) ・ 13/14 年目にパワーコンディショナ交換経費: 4,796 円(1.5 万円/kW)
借地料	・ 1,000 円/kW
固定資産税・都市計画税等	・ 取得価格の残存価値の 1.4%
発電設備減価償却費	・ 定額法 17 年(残存価値 0) ・ 初年度・2 年目で基準取得価格の 30%の特別償却
借入金利	・ 1.2%(公庫:7.2 億円、融資期間:8 年)
法人税等	・ 30.62%(実効税率)

【現在の産業用電気料金と売電価格】

現在(2022 年)の九州電力の産業用電気料金は、上昇傾向にあり、再エネ賦課金(3.45 円/kWh)込みで、様々なパターンで試算したところ 23.4 円/kWh~28.6 円/kWh となった(図 5-7)。本料金は今後も社会・経済状況の変動により上下する。

これに対し本事業の売電価格は、契約期間中(8 年以上)は固定される。また、事業の趣旨から上記料金より安価であることが求められることから、本試算では最高売電価格を 22 円/kWh(21.52 円を繰り上げ)とし、1 円/kWh 刻みで低下させ、事業採算性が確保できる範囲についてシミュレーションした。なお、売電価格 21.52 円/kWh の内訳は、表 5-10 に示すように製造原価(8.92 円/kWh)に再エネ賦課金(3.45 円/kWh)と利益(9.15 円/kWh)で構成される。

表 5-10 事業収支と収益性等評価

	運転管理費	設備保守費	借地料	税金	減価償却費	託送料	手数料	再エネ賦課金	利益
出力当り単価 [円/kW/年]・①	432	1,444	1,000						
発電出力 [kW]・②	2,342	2,342	2,342						
年間費用[万円] =①×②・③	101	338	234						
発電量 [MWh]・④	3,111	3,111	3,111						
発電量当り単価 「円/kWh」 =③/④/1000	0.33	1.09	0.75	0.395	1.864	3.295	1.2	3.45	9.15
	4.42				4.50				
	8.92							12.6	
合計[円]					21.52				

産業用電力 A お客さまの電気料金のシミュレーション結果です

供給電圧	6 kV併給	
ご契約電力	124 kW	
力率	95 %	
電気ご使用量	56,000 kWh	
基本料金	2,046.00 円 × 124 kW × 0.90 = 238,333.60 円	力率補正 100-(95-85)=90% 電気料金にご適用されない場合は基本料金は半額とし、力率は85%とみなします。
電力需料金	11.62 円 × 56,000 kWh = 650,720.00 円	その標準単価を適用しています。
燃料費等調整額	7.76 円 × 56,000 kWh = 434,560.00 円	燃料費等調整率に關しては「0.00」を適用してください。
再エネ調整金	3.45 円 × 56,000 kWh = 193,200.00 円	2023年1月分の再エネ調整金は、3.45 円/kWhです。再エネ調整額は、3.45 円/kWhです。再エネ調整額は、3.45 円/kWhです。再エネ調整額は、3.45 円/kWhです。
お支払金額	① + ② + ③ + ④ = 1,565,813 円	円未満は切捨てます。
消費税率相当額 (内税)	⑤ × 10 / 110 = 136,583 円	円未満は切捨てます。

②6.9 円/kwh

産業用電力 A お客さまの電気料金のシミュレーション結果です

供給電圧	6 kV併給	
ご契約電力	230 kW	
力率	95 %	
電気ご使用量	110,200 kWh	
基本料金	2,046.00 円 × 230 kW × 0.90 = 423,522.00 円	力率補正 100-(95-85)=90% 電気料金にご適用されない場合は基本料金は半額とし、力率は85%とみなします。
電力需料金	11.62 円 × 110,200 kWh = 1,280,524.00 円	その標準単価を適用しています。
燃料費等調整額	4.64 円 × 110,200 kWh = 511,328.00 円	燃料費等調整率に關しては「0.00」を適用してください。
再エネ調整金	3.45 円 × 110,200 kWh = 380,190.00 円	2023年1月分の再エネ調整金は、3.45 円/kWhです。再エネ調整額は、3.45 円/kWhです。再エネ調整額は、3.45 円/kWhです。
お支払金額	① + ② + ③ + ④ = 2,595,564 円	円未満は切捨てます。
消費税率相当額 (内税)	⑤ × 10 / 110 = 235,960 円	円未満は切捨てます。

②3.6 円/kwh

産業用電力 A-1d お客さまの電気料金のシミュレーション結果です

供給電圧	6 kV併給	
ご契約電力	120 kW	
力率	95 %	
電気ご使用量	56,000 kWh	
基本料金	1,776.00 円 × 120 kW × 0.90 = 149,760.00 円	力率補正 100-(95-85)=90% 電気料金にご適用されない場合は基本料金は半額とし、力率は85%とみなします。
電力需料金	11.76 円 × 56,000 kWh = 658,536.00 円	その標準単価を適用しています。
燃料費等調整額	7.76 円 × 56,000 kWh = 434,560.00 円	燃料費等調整率に關しては「0.00」を適用してください。
再エネ調整金	3.45 円 × 56,000 kWh = 193,200.00 円	2023年1月分の再エネ調整金は、3.45 円/kWhです。再エネ調整額は、3.45 円/kWhです。再エネ調整額は、3.45 円/kWhです。
お支払金額	① + ② + ③ + ④ = 1,475,056 円	円未満は切捨てます。
消費税率相当額 (内税)	⑤ × 10 / 110 = 144,000 円	円未満は切捨てます。

②8.6 円/kwh

家庭用従量電灯 B お客さまの電気料金のシミュレーション結果です

供給電圧	200 V単相	
ご契約電力	315 kVA	
基本料金	508.00 円	全く電気を使用されなかった場合は半額とさせていただきます。
基本料率	17.76 円 × 120 kWh = 2,131.20 円	基本料率120kWhまでのご使用量に適用いたします。
基本料率	23.06 円 × 180 kWh = 4,150.80 円	120kWh超過300kWhまでのご使用量に適用いたします。
基本料率	20.06 円 × 15 kWh = 300.90 円	300kWhを超えたご使用量に適用いたします。
基本料率	1.54 円 × 315 kWh = 485.10 円	2023年1月分の再エネ調整率は、1.54 円/kWhです。再エネ調整額は、1.54 円/kWhです。再エネ調整額は、1.54 円/kWhです。
電力需料金	① + ② + ③ + ④ = 2,248.00 円	
燃料費等調整額	55.00 円	燃料費等調整率に關しては「0.00」を適用してください。
再エネ調整金	① + ② + ③ = 7,707 円	①=④の14.29%未満の場合は、①=④×14.29%とさせていただきます。円未満は切捨てます。
再エネ調整金	3.45 円 × 315 kWh = 1,086 円	2023年1月分の再エネ調整金は、3.45 円/kWhです。再エネ調整額は、3.45 円/kWhです。
お支払金額	① + ② + ③ + ④ + ⑤ = 8,973 円	円未満は切捨てます。
消費税率相当額 (内税)	⑥ × 10 / 110 = 806 円	円未満は切捨てます。

②8.2 円/kwh

業務用電力 A お客さまの電気料金のシミュレーション結果です

供給電圧	6 kV併給	
ご契約電力	25 kW	
力率	100 %	
電気ご使用量	10,000 kWh	
基本料金	2,046.00 円 × 25 kW × 0.85 = 43,477.50 円	力率補正 100-(100-85)=85% 電気料金にご適用されない場合は基本料金は半額とし、力率は85%とみなします。
電力需料金	12.06 円 × 10,000 kWh = 120,600.00 円	その標準単価を適用しています。
燃料費等調整額	4.64 円 × 10,000 kWh = 46,400.00 円	燃料費等調整率に關しては「0.00」を適用してください。
再エネ調整金	3.45 円 × 10,000 kWh = 34,500.00 円	2023年1月分の再エネ調整金は、3.45 円/kWhです。再エネ調整額は、3.45 円/kWhです。
お支払金額	① + ② + ③ + ④ = 244,977 円	円未満は切捨てます。
消費税率相当額 (内税)	⑤ × 10 / 110 = 22,270 円	円未満は切捨てます。

②4.5 円/kwh

業務用季節別電力 A お客さまの電気料金のシミュレーション結果です

供給電圧	6kV併給	
ご契約電力	125 kW	
力率	95 %	
電気ご使用量 (夏期)	25,710 kWh	
電気ご使用量 (冬期)	27,000 kWh	
基本料金	2,046.00 円 × 125 kW × 0.90 = 230,175.00 円	力率補正 100-(95-85)=90% 電気料金にご適用されない場合は基本料金は半額とし、力率は85%とみなします。
基本料率	17.53 円 × 35,710 kWh = 624,156.30 円	
基本料率	9.06 円 × 27,000 kWh = 244,620.00 円	
電力需料金	① + ② = 222,776.30 円	その標準単価を適用しています。
燃料費等調整額	4.64 円 × 62,710 kWh = 290,744.40 円	燃料費等調整率に關しては「0.00」を適用してください。
再エネ調整金	3.45 円 × 62,710 kWh = 215,249 円	2023年1月分の再エネ調整金は、3.45 円/kWhです。再エネ調整額は、3.45 円/kWhです。
お支払金額	① + ② + ③ + ④ = 1,465,274 円	円未満は切捨てます。
消費税率相当額 (内税)	⑤ × 10 / 110 = 133,200 円	円未満は切捨てます。

②3.4 円/kwh

図 5-7 九州電力の産業用電気料金(2023 年1・2月度)

出典：九州電力 HP にてシミュレーション

【事業採算性の試算結果】

事業採算性については、事業が成立しない分岐点の売電価格は 11.6 円/kWh で、売電価格 22/kWh 時は勿論、それ以下の価格でも、純利益が低下するものの採算性が確保できる。実際の事業化段階での売電価格は、以下に示す内部利益率や事業リスク、電力需要者の本事業への参加のしやすさなどを総合的に判断して決定することになる。

【売電価格 22 円/kWh 時の事業収支と事業採算性】

売電価格 22 円/kWh 時の 20 年間の事業収支推移と収益性については、表 5-11 と表 5-12 に示すとおりである。

単年度平均で、売電売上: 8,969 万円に対し、売上原価: 3,833 万円(売上の 42.7%)、営業外損益を差し引いた経常利益: 4,856 万円(54.2%)、税引き後利益: 3,369 万円(37.6%)、借入金返済後の資金収支残高(キャッシュフロー:CF)は 3,299 万円(36.7%)となる。

配当は、単年度 CF の 15%と仮定すると 2,243 万円/年の配当が可能となる。したがって鞍手町はその 51%(1,144 と借地料(305 万円)の計 1,449 万円/年を受け取ることが可能で、ため池管理費用や別途 CO₂ 削減対策等への投資用として活用することができる。

また、この時の電力製造原価は 9.40 円/kWh で、内部利益率(IRR)は 5.13%、債務返済比率(DSCR)は 4.7 倍、投資回収年は 3.3 年(補助金無しでは 8.5 年)と比較的収益性が高く、リスクの少ない事業と評価される。

表 5-11 事業収支と収益性等評価 (売電価格:22.0 円/kWh ケース)

項目	内訳項目	金額(万円)	比率	単年度平均 (万円)	備考
売上高	計	179,374	100.0%	8,969	
	売電売上(@22.0円/kWh)	179,374	100.0%	8,969	4,077MWh/年
売上原価	計	76,666	42.7%	3,833	
	運転管理費	2,935	3.8%	147	432円/kW
	託送料	29,552	38.5%	1,478	3.3円/kWh
	小売電気事業者手数料	10,762	14.0%	538	1.2円/kWh
	設備保守費	8,909	11.6%	445	1.44円/kWh
	借地料	6,100	8.0%	305	1,000円/kW
	固定資産税都市計画税	3,222	4.2%	161	残存価値の1.4%
	発電設備減価償却費	13,633	17.8%	682	定額法17年
売上総利益	計	102,709	57.3%	5,135	
	営業外損益				
営業外損益	設備再投資	4,796	2.7%	240	13~14年目
	営業外利益/運用益	5	0.0%	0	
	営業外費用/借入金利息	788	0.4%	39	
経常利益		97,129	54.1%	4,856	
法人税等	実効税率30.62%	29,741	16.6%	1,487	
税引後利益		67,388	37.6%	3,369	
元本返済金	融資期間8年	16,000	8.9%	800	
資金収支残高 累積(CF)	純利益	64,581	36.0%	3,229	
配当	(単年度CFの15%)	44,864		2,243	
収益性等評価	プロジェクトIRR(税引前)	5.13%	売電価 格別内 部利益 率	22円/KWh	5.13%
	債務返済比率 DSCR	4.70		21円/KWh	4.31%
	投資回収年(年)	3.3		20円/KWh	3.53%
	電力製造原価(円/kWh)	9.40		19円/KWh	2.70%
	事業成立分岐点売電 単価(円/kWh)	11.6		18円/KWh	1.85%

*1) 設備関係保険費は設備保守費に含む。

*2) FIT 制度の契約期間終了後も発電事業の継続による電力の地産地消費を目指して事業の継続を前提としているため設備撤去費用は含まず。

(6) 事業化の課題

- ・以上検討してきた公共遊休地・ため池太陽光発電導入事業の今後の具体的事業化においては、以下のような留意事項が課題である。

■ 事業開始年度と補助金制度実施期間

- ・「需要家主導による太陽光発電導入促進補助金制度」は、2030年度の長期エネルギー需給見通しの実現に寄与するために、2022(令和4)年度から四年間を目途に継続する事業とされており、制度運用の最終年度は2026(令和7)年度。また、補助金申請年度末以内の発電・電力供給の運用開始が採択条件となっている。
- ・当該補助金制度は2026年度以降も継続される可能性は不透明なことから、事業化は遅くとも2026(令和8)年度以前に準備・段取りして、2026年4月(一次公募)に補助金申請し、採択後速やかに工事着工して、年度末(2027年3月町)までに運用開始する必要がある。また、補助金申請時までには、系統接続関係の手続きと接続工事負担金額を決定しておく必要もある。
- ・なお、同補助金の採択は、以下5つのポイントが高ければ高いほど加点され、採択される可能性が高くなる。
 - ① 補助対象設備による発電量に対する需要家の買取率(70%以上)の高さ
 - ② 需要家による買取期間(8年)の長さ
 - ③ kW当たりの単価(25万円/kW以下)の低廉さ
 - ④ 一カ所当たりの平均出力(30kW以上)の大きさ
 - ⑤ 一需要地当たりの平均需要の大きさ

■ 電力供給量と契約販売量の一致

- ・前述のとおり検討した(発電出力:2.3MW)の事業化を前提にすると、発電による電力供給可能量は3,111MW/年で、これは製造部門の現在(2018年度)の電力消費量の約4%に相当する。事業化の計画策定段階では、この供給可能量と町内の電力需要家への供給量(売電量)を、基本的に一致させる必要がある。
- ・公平性を期すためには、できるだけ多くの町内の需要家への供給を可能にしたい一方で、その数が多くなる程、一連の事務手続きが複雑で経費も掛かる。したがって、供給先は当面、公募方式で数社程に限定し、各社の供給希望量を調整して、需給バランスを一致させる必要がある。
- ・その場合、下記の本町の製造業の電力需要を前提にすると、1事業所当り平均供給量は約680MWh/年で、1事業所当りの総需要の50%に相当する。

*鞍手町の製造業事業所数:74事業所、製造業全体の電力消費量:99,671MWh \div 1,347MWh/事業所
- ・なお、需要家は発電が開始され電力供給の運用が開始されてから、遅くとも三ヶ月以内に受電を開始することが補助金採択要件になっていることから、その旨を公募段階では告知する必要がある。

6. ため池台帳（案）

ため池台帳（案）

ため池台帳(概要)

名称	所在地	データベース更新新年度
水系	行政コード 404020001	旧台帳の地区番号
型式	河川地域	JISコード
農政局	地形	座標
事業者	管区	着工年度
目的	築造年代	
施設所有者	底地所有者	
多目的利用	将来の利用予定	
管理者、管理者名称	代表者(法人又は団体の場合)	鞍手町長 岡崎邦博
管理者住所	管理者電話番号	0949-42-2111
管理の内容	管理者の権限の種類	管理者区分 行政
市町村担当課	市町村電話番号	その他
都道府県担当部署	都道府県電話番号	地震強度区分
堤 体 諸 元		
所有者(堤)	所有者住所(堤)	
所有者区分(堤)	所有者(池敷)	
型式:形式(1)	形式(2)	
止水材料	その他	
天端幅(m)	堤高(m)	
堤頂長(m)	総貯水量(千 m^3)	
法勾配:上流法面勾	下流法面勾配	
流域面積(km^2)	満水面積(km^2)	
かいがい受益面積(ha)	かんがい戸数(戸)	
洪水吐諸元:形式	洪水吐諸元:材質	
洪水吐諸元:断面(高さ)	パイプの式の場合の断面(径)	流下能力(m^3/s)
設計洪水量(m^3/s)	常時満水位から堤頂までの高さ(m)	
取水工諸元:形式	取水工諸元:断面寸法	
底樋諸元:形式	底樋諸元:断面寸法	
緊急放流施設の有無	緊急放流施設数	
被 災 歴		
被災歴の有無	被災年度	
復旧内容		
防災重点ため池選定状況	改修歴(1)改修年度	
(1)改修内容		
特定農業用ため池指定の有無	特定農業用ため池の指定年月日	

ため池台帳(概要)

名称	白旗池	所在地	大字八尋字白旗163 外	データベース更新新年度
	しらはたいけ	行政コード	404020001	旧台帳の地区番号
水系		河川地域		
型式		地形	JISコード	
農政局		表層地域	座標	
事業者		管区		
目的		事業費	着工年度	
施設所有者			築造年代	
多目的利用			底地所有者	
管理者、管理者名称	鞍手町		将来の利用予定	
管理者住所	鞍手郡鞍手町大字中山3705		代表者(法人又は団体の場合)	鞍手町長 岡崎邦博
管理の内容	維持、修繕		管理者電話番号	0949-42-2111
市町村担当課			管理者の権限の種類	その他
都道府県担当部署			市町村電話番号	
			都道府県電話番号	地震強度区分
			諸元	
所有者(堤)	鞍手町 外	所有者住所(堤)	鞍手郡鞍手町大字中山3705	
所有者区分(堤)	行政	所有者(池敷)	国	
型式:形式(1)	ゾーン型(傾斜遮水ゾーン型)	形式(2)	谷池	
止水材料	土(粘性土)	その他	-	
天端幅(m)	3.2	堤高(m)	6	
堤頂長(m)	263	総貯水量(千 m^3)	34	
法勾配:上流法面勾	1.9	下流法面勾配	1.9	
流域面積(km^2)	0.415	満水面積(km^2)	0.015	
かいがい受益面積(ha)	15.3	かんがい戸数(戸)	25	
洪水吐諸元:形式	側水路式	洪水吐諸元:材質	コンクリート	
洪水吐諸元:断面(高さ)	2	パイプの式の場合の断面(径)		流下能力(m^3/s)
設計洪水量(m^3/s)		常時満水位から堤頂までの高さ(m)	0	
取水工諸元:形式	斜樋	取水工諸元:断面寸法	-	
底樋諸元:形式	HP管コンクリート巻立	底樋諸元:断面寸法	ϕ 600mm	
緊急放流施設の有無	有り	緊急放流施設数	1	
		被災歴	改修歴	
被災歴の有無	無し	被災年度		
復旧内容				
防災重点ため池選定状況	堤体 堤体法尻部(下流)に多くの漏水が見られる。下流水田は基礎からの漏水のための樋田化し工作不能である。漏水量 $Q=1.8l/100m^2$	改修歴(1)改修年度	1987/1/1	
(1)改修内容	S			
特定農業用ため池指定の有無	洪水吐 断面狭小のため能力不足 取水施設 斜樋 底樋とまじり老朽 特定農業用ため池指定の有無し			

ため池台帳(概要)

名称	西の原池	所在地	大字長谷字西の原859	データベース更新新年度
	にしのはらいけ	行政コード	404020002	旧台帳の地区番号
水系		河川地域		
型式		地形	JISコード	
農政局		表層地域	座標	
事業者		管区		
目的		事業費	着工年度	
施設所有者		築造年代		
多目的利用		底地所有者		
管理者、管理者名称	鞍手町	将来の利用予定		
管理者住所	鞍手郡鞍手町大字中山3705	代表者(法人又は団体の場合)	鞍手町長 岡崎邦博	
管理の内容	維持、修繕	管理者電話番号	0949-42-2111	管理者区分
市町村担当課		管理者の権限の種類	その他	
都道府県担当部署		市町村電話番号		
		都道府県電話番号		地震強度区分
		諸元		
所有者(堤)	鞍手町	所有者住所(堤)	鞍手郡鞍手町大字中山3705	
所有者区分(堤)	行政	所有者(池敷)	鞍手町	
型式:形式(1)	ゾーン型(傾斜遮水ゾーン型)	形式(2)	谷池	
止水材料	土(粘性土)	その他	重ね池	
天端幅(m)	4.3	堤高(m)	7.6	
堤頂長(m)	142	総貯水量(千 m^3)	24	
法勾配:上流法面勾	2	下流法面勾配	2	
流域面積(km^2)	0.22	満水面積(km^2)	0.007	
かいがい受益面積(ha)	12	かんがい戸数(戸)	21	
洪水吐諸元:形式	側水路式	洪水吐諸元:材質	コンクリート	
洪水吐諸元:断面(高さ)	1.5	パイプの式の場合の断面(径)		流下能力(m^3/s)
設計洪水量(m^3/s)		常時満水位から堤頂までの高さ(m)	0	
取水工諸元:形式	斜樋	取水工諸元:断面寸法	-	
底樋諸元:形式	HP管コンクリート巻立	底樋諸元:断面寸法	ϕ 600mm	
緊急放流施設の有無	有り	緊急放流施設数	1	
		被災歴	改修歴	
被災歴の有無	有り	被災年度	1984	
復旧内容				
防災重点ため池選定状況		改修歴(1)改修年度		
(1)改修内容	-			
特定農業用ため池指定の有無	無し	特定農業用ため池の指定年月日		

ため池台帳(概要)

名称	唐ヶ崎下池	所在地	大字中山字唐ヶ崎3536 外	データベース更新新年度
	からがさきしもいけ	行政コード	404020004	旧台帳の地区番号
水系		河川地域		
型式		地形	JISコード	
農政局		表層地域	座標	
事業者		管区		
目的		事業費	着工年度	
施設所有者			築造年代	
多目的利用			底地所有者	
管理者、管理者名称	鞍手町		将来の利用予定	
管理者住所	鞍手郡鞍手町大字中山3705		代表者(法人又は団体の場合)	鞍手町長 岡崎邦博
管理の内容	維持、修繕		管理者電話番号	0949-42-2111
市町村担当課			管理者の権限の種類	委任
都道府県担当部署			市町村電話番号	
			都道府県電話番号	
				地震強度区分
			諸元	
所有者(堤)	鞍手町 外		所有者住所(堤)	不明
所有者区分(堤)	集落		所有者(池敷)	-
型式:形式(1)	ゾーン型(傾斜遮水ゾーン型)		形式(2)	谷池
止水材料	土(粘性土)		その他	-
天端幅(m)	4.5		堤高(m)	5.4
堤頂長(m)	45		総貯水量(千 m^3)	11
法勾配:上流法面勾	1.5		下流法面勾配	1.8
流域面積(km^2)	0.02		満水面積(km^2)	0.003
かいがい受益面積(ha)	8		かんがい戸数(戸)	23
洪水吐諸元:形式	側水路式		洪水吐諸元:材質	コンクリート
洪水吐諸元:断面(高さ)	0.6		パイプの式の断面(径)	
設計洪水量(m^3/s)			常時満水位から堤頂までの高さ(m)	0
取水工諸元:形式	斜樋		取水工諸元:断面寸法	斜樋管 ϕ 300
底樋諸元:形式	HP管コンクリート巻立		底樋諸元:断面寸法	ϕ 600mm
緊急放流施設の有無	有り		緊急放流施設数	1
			被災歴	改修歴
被災歴の有無	無し		被災年度	
復旧内容				
防災重点ため池選定状況			改修歴(1)改修年度	
(1)改修内容	-			
特定農業用ため池指定の有無	有り		特定農業用ため池の指定年月日	43962

ため池台帳(概要)

名称	唐ヶ崎上池	所在地	大字中山字唐ヶ崎3516	データベース更新新年度
水系	からがさきかみいけ	行政コード	404020005	旧台帳の地区番号
型式		河川地域		JISコード
農政局		地形		座標
事業者		表層地域		
目的		事業費		着工年度
施設所有者		築造年代		
多目的利用		底地所有者		
管理者、管理者名称	鞍手町	将来の利用予定		
管理者住所	鞍手郡鞍手町大字中山3705	代表者(法人又は団体の場合)	鞍手町長 岡崎邦博	行政
管理の内容	維持、修繕	管理者電話番号	0949-42-2111	管理者区分
市町村担当課		管理者の権限の種類	委任	
都道府県担当部署		市町村電話番号		
		都道府県電話番号		地震強度区分
堤 体 諸 元				
所有者(堤)	中山	所有者住所(堤)	不明	
所有者区分(堤)	集落	所有者(池敷)	-	
型式:形式(1)	ゾーン型(傾斜遮水ゾーン型)	形式(2)	皿池	
止水材料	土(粘性土)	その他	-	
天端幅(m)	2	堤高(m)	5.4	
堤頂長(m)	40	総貯水量(千m ³)	12	
法勾配:上流法面勾	1.5	下流法面勾配	1.8	
流域面積(km ²)	0.03	満水面積(km ²)	0.003	
かいがい受益面積(ha)	3	かんがい戸数(戸)	10	
洪水吐諸元:形式	側水路式	洪水吐諸元:材質	コンクリート	
洪水吐諸元:断面(高さ)	0.5	パイプの式の断面(径)		流下能力(m ³ /s)
設計洪水量(m ³ /s)		常時満水位から堤頂までの高さ(m)	0	
取水工諸元:形式	取水塔	取水工諸元:断面寸法	-	
底樋諸元:形式	HP管コンクリート巻立	底樋諸元:断面寸法	-	
緊急放流施設の有無	有り	緊急放流施設数	1	
被 災 歴				
被災歴の有無	無し	被災年度		
復旧内容				
防災重点ため池選定状況		改修歴(1)改修年度		
(1)改修内容	-			
特定農業用ため池指定の有無	無し	特定農業用ため池の指定年月日		

ため池台帳(概要)

名称	倉坂池	所在地	大字古門字倉坂2854	データベース更新新年度
水系	くらかさいけ	行政コード	404020006	旧台帳の地区番号
型式		河川地域		JISコード
農政局		地形		座標
事業者		表層地域		
目的		管区		着工年度
施設所有者		事業費		
多目的利用				
管理者、管理者名称	鞍手町			
管理者住所	鞍手郡鞍手町大字中山3705		0949-42-2111	鞍手町長 岡崎邦博
管理の内容	維持、修繕			管理者区分 行政
市町村担当課				
都道府県担当部署				地震強度区分
堤 体 諸 元				
所有者(堤)		共有		所有者住所(堤) 不明
所有者区分(堤)		不明		所有者(池敷) -
型式:形式(1)		ゾーン型(傾斜遮水ゾーン型)		形式(2) 皿池
止水材料		土(粘性土)		その他 -
天端幅(m)	2.5			堤高(m) 5.4
堤頂長(m)	35			総貯水量(千 m^3) 25
法勾配:上流法面勾	1.5			下流法面勾配 1.8
流域面積(km^2)	0.06			満水面積(km^2) 0.008
かいがい受益面積(ha)	7			かんがい戸数(戸) 25
洪水吐諸元:形式	側水路式			洪水吐諸元:材質 コンクリート
洪水吐諸元:断面(高さ)	0.5	洪水吐諸元:(幅)	0.5	パイプの式の断面(径)
設計洪水量(m^3/s)				常時満水位から堤頂までの高さ(m) 0
取水工諸元:形式	斜樋			取水工諸元:断面寸法 斜樋管 ϕ 300
底樋諸元:形式	HP管コンクリート巻立			底樋諸元:断面寸法 -
緊急放流施設の有無	有り			緊急放流施設数 1
被 災 歴				
被災歴の有無		無し		被災年度
復旧内容				
防災重点ため池選定状況				改修歴(1)改修年度
(1)改修内容		-		
特定農業用ため池指定の有無		有り		特定農業用ため池の指定年月日 43962

ため池台帳(概要)

名称	伏原池	所在地	大字古門字伏原68 外	データベース更新新年度
水系	ふしはらいけ	行政コード	404020007	旧台帳の地区番号
型式		河川地域		JISコード
農政局		地形		座標
事業者		管区		
目的		事業費		着工年度
施設所有者		築造年代		
多目的利用		底地所有者		
管理者、管理者名称	鞍手町	将来の利用予定		
管理者住所	鞍手郡鞍手町大字中山3705	代表者(法人又は団体の場合)	鞍手町長 岡崎邦博	
管理の内容	維持、修繕	管理者電話番号	0949-42-2111	管理者区分
市町村担当課		管理者の権限の種類	その他	
都道府県担当部署		市町村電話番号		
		都道府県電話番号		地震強度区分
		堤 体	元	
所有者(堤)		所有者住所(堤)	-	
所有者区分(堤)		所有者(池敷)	国	
型式:形式(1)	ゾーン型(傾斜遮水ゾーン型)	形式(2)	谷池	
止水材料	土(粘性土)	その他	-	
天端幅(m)	2.3	堤高(m)	5	
堤頂長(m)	310	総貯水量(千m ³)	30	
法勾配:上流法面勾	1.8	下流法面勾配	1.7	
流域面積(km ²)	0.75	満水面積(km ²)	0.01	
かいがい受益面積(ha)	5	かんがい戸数(戸)	10	
洪水吐諸元:形式	側水路式	洪水吐諸元:材質	コンクリート	
洪水吐諸元:断面(高さ)	0.4	パイプの式の場合の断面(径)		流下能力(m ³ /s)
設計洪水量(m ³ /s)		常時満水位から堤頂までの高さ(m)	0	
取水工諸元:形式	斜樋	取水工諸元:断面寸法	斜樋管φ200	
底樋諸元:形式	HP管コンクリート巻立	底樋諸元:断面寸法	φ200mm	
緊急放流施設の有無	有り	緊急放流施設数	1	
		被災歴	改修歴	
被災歴の有無	無し	被災年度		
復旧内容				
防災重点ため池選定状況		改修歴(1)改修年度	2009/1/1	
(1)改修内容	張ブロックを施工			
特定農業用ため池指定の有無	無し			

ため池台帳(概要)

名称	藺牟田地	所在地	大字中山字藺牟田3334-1 外	データベース更新新年度
	いむたいけ	行政コード	404020008	旧台帳の地区番号
水系		河川地域		
型式		地形	JISコード	
農政局		表層地域	座標	
事業者		管区		
目的		事業費	着工年度	
施設所有者			築造年代	
多目的利用			底地所有者	
管理者、管理者名称	鞍手町		将来の利用予定	
管理者住所	鞍手郡鞍手町大字中山3705		代表者(法人又は団体の場合)	鞍手町長 岡崎邦博
管理の内容	維持、修繕		管理者電話番号	0949-42-2111
市町村担当課			管理者の権限の種類	その他
都道府県担当部署			市町村電話番号	
			都道府県電話番号	地震強度区分
			諸元	
所有者(堤)	鞍手町		所有者住所(堤)	鞍手郡鞍手町大字中山3705
所有者区分(堤)	行政		所有者(池敷)	-
型式:形式(1)	均一型		形式(2)	谷池
止水材料	土(粘性土)		その他	-
天端幅(m)	2		堤高(m)	4
堤頂長(m)	50		総貯水量(千m ³)	8
法勾配:上流法面勾	0.3		下流法面勾配	1.8
流域面積(km ²)	0.04		満水面積(km ²)	0.003
かいがい受益面積(h)	5		かんがい戸数(戸)	10
洪水吐諸元:形式	側水路式		洪水吐諸元:材質	コンクリート
洪水吐諸元:断面(高さ)	0.5		パイプの式の場合の断面(径)	
設計洪水量(m ³ /s)			常時満水位から堤頂までの高さ(m)	0
取水工諸元:形式	取水塔		取水工諸元:断面寸法	-
底樋諸元:形式	HP管コンクリート巻立		底樋諸元:断面寸法	φ300mm
緊急放流施設の有無	有り		緊急放流施設数	1
			被災歴	
被災歴の有無	無し		被災年度	
復旧内容				
防災重点ため池選定状況			改修歴(1)改修年度	
(1)改修内容	-			
特定農業用ため池指定の有無	無し		特定農業用ため池の指定年月日	

ため池台帳(概要)

名称	旧幸ノ浦池	所在地	大字中山幸ノ浦3361-1	データベース更新新年度
水系	きゆうさいのうらいけ	行政コード	404020009	旧台帳の地区番号
型式		河川地域		JISコード
農政局		地形		座標
事業者		表層地域		
目的		事業費		着工年度
施設所有者		築造年代		
多目的利用		底地所有者		
管理者、管理者名称	鞍手町	将来の利用予定		
管理者住所	鞍手郡鞍手町大字中山3705	代表者(法人又は団体の場合)	鞍手町長 岡崎邦博	
管理の内容	維持、修繕	管理者電話番号	0949-42-2111	管理者区分
市町村担当課		管理者の権限の種類	委任	
都道府県担当部署		市町村電話番号		
		都道府県電話番号		地震強度区分
		諸元		
所有者(堤)	大字中山	所有者住所(堤)	不明	
所有者区分(堤)	集落	所有者(池敷)	-	
型式:形式(1)	均一型	形式(2)	皿池	
止水材料	土(粘性土)	その他	重ね池	
天端幅(m)	4	堤高(m)	3.5	
堤頂長(m)	50	総貯水量(千m ³)	10	
法勾配:上流法面勾	0.5	下流法面勾配	1.8	
流域面積(km ²)	0.03	満水面積(km ²)	0.004	
かいがい受益面積(ha)	4	かんがい戸数(戸)	10	
洪水吐諸元:形式	側水路式	洪水吐諸元:材質	コンクリート	
洪水吐諸元:断面(高さ)	1	パイプの式の場合の断面(径)		流下能力(m ³ /s)
設計洪水量(m ³ /s)		常時満水位から堤頂までの高さ(m)	0	
取水工諸元:形式	斜樋	取水工諸元:断面寸法	-	
底樋諸元:形式	HP管コンクリート巻立	底樋諸元:断面寸法	-	
緊急放流施設の有無	有り	緊急放流施設数	1	
		被災歴	改修歴	
被災歴の有無	無し	被災年度		
復旧内容				
防災重点ため池選定状況		改修歴(1)改修年度		
(1)改修内容	-			
特定農業用ため池指定の有無	無し	特定農業用ため池の指定年月日		

ため池台帳(概要)

名称	井手ノ元池	所在地	大字中山字井手ノ元2743-1 外	データベース更新新年度
水系	いでのものといけ	行政コード	404020010	旧台帳の地区番号
型式		河川地域		JISコード
農政局		地形		座標
事業者		表層地域		
目的		事業費		
施設所有者		築造年代	着工年度	
多目的利用		底地所有者		
管理者、管理者名称	鞍手町	将来の利用予定		
管理者住所	鞍手郡鞍手町大字中山3705	代表者(法人又は団体の場合)	鞍手町長 岡崎邦博	
管理の内容	維持、修繕	管理者電話番号	0949-42-2111	管理者区分
市町村担当課		管理者の権限の種類	その他	
都道府県担当部署		市町村電話番号		
		都道府県電話番号		地震強度区分
		堤 体	諸 元	
所有者(堤)	鞍手町	所有者住所(堤)	鞍手郡鞍手町大字中山3705	
所有者区分(堤)	行政	所有者(池敷)	-	
型式:形式(1)	ゾーン型(傾斜遮水ゾーン型)	形式(2)	谷池	
止水材料	土(粘性土)	その他	重ね池	
天端幅(m)	2	堤高(m)	5	
堤頂長(m)	75	総貯水量(千 m^3)	20	
法勾配:上流法面勾	1.5	下流法面勾配	1.8	
流域面積(km^2)	0.01	満水面積(km^2)	0.007	
かいがい受益面積(ha)	5	かんがい戸数(戸)	10	
洪水吐諸元:形式	側水路式	洪水吐諸元:材質	コンクリート	
洪水吐諸元:断面(高さ)	0.5	パイプの式の場合の断面(径)		流下能力(m^3/s)
設計洪水量(m^3/s)		常時満水位から堤頂までの高さ(m)	0	
取水工諸元:形式	取水塔	取水工諸元:断面寸法	斜樋管 ϕ 200	
底樋諸元:形式	HP管コンクリート巻立	底樋諸元:断面寸法	ϕ 300mm	
緊急放流施設の有無	有り	緊急放流施設数	1	
被災歴の有無	無し	被災歴	改 修 歴	
復旧内容		被災年度		
防災重点ため池選定状況		改修歴(1)改修年度		
(1)改修内容	-			
特定農業用ため池指定の有無	無し	特定農業用ため池の指定年月日		

ため池台帳(概要)

名称	猿喰池	所在地	無番地(大字中山字猿喰1654付近)	データベース更新新年度
	さるぐらみいけ	行政コード	404020011	旧台帳の地区番号
水系		河川地域		
型式		地形	JISコード	
農政局		表層地域	座標	
事業者		管区		
目的		事業費	着工年度	
施設所有者			築造年代	
多目的利用			底地所有者	
管理者、管理者名称	鞍手町		将来の利用予定	
管理者住所	鞍手郡鞍手町大字中山3705		代表者(法人又は団体の場合)	鞍手町長 岡崎邦博
管理の内容	維持、修繕		管理者電話番号	0949-42-2111
市町村担当課			管理者の権限の種類	その他
都道府県担当部署			市町村電話番号	
			都道府県電話番号	地震強度区分
			諸元	
所有者(堤)	鞍手町		所有者住所(堤)	鞍手郡鞍手町大字中山3705
所有者区分(堤)	行政		所有者(池敷)	-
型式:形式(1)	均一型		形式(2)	谷池
止水材料	土(粘性土)		その他	-
天端幅(m)	5		堤高(m)	5
堤頂長(m)	50		総貯水量(千m ³)	8
法勾配:上流法面勾	0.3		下流法面勾配	1.8
流域面積(km ²)	0.04		満水面積(km ²)	0.003
かいがい受益面積(h)	3		かんがい戸数(戸)	10
洪水吐諸元:形式	側水路式		洪水吐諸元:材質	コンクリート
洪水吐諸元:断面(高さ)	0.5		パイプの式の場合の断面(径)	
設計洪水量(m ³ /s)			常時満水位から堤頂までの高さ(m)	0
取水工諸元:形式	取水塔		取水工諸元:断面寸法	斜樋管φ200
底樋諸元:形式	HP管コンクリート巻立		底樋諸元:断面寸法	φ300mm
緊急放流施設の有無	有り		緊急放流施設数	1
			被災歴	
被災歴の有無	無し		被災年度	
復旧内容				
防災重点ため池選定状況			改修歴(1)改修年度	
(1)改修内容	-			
特定農業用ため池指定の有無	無し		特定農業用ため池の指定年月日	

ため池台帳(概要)

名称	新幸ノ浦池	所在地	大字中山字幸ノ浦3364 外	データベース更新新年度
水系	しんさいのうらいけ	行政コード	404020012	旧台帳の地区番号
型式		河川地域		JISコード
農政局		地形		座標
事業者		表層地域		
目的		事業費		着工年度
施設所有者			築造年代	
多目的利用			底地所有者	
管理者、管理者名称	鞍手町		将来の利用予定	
管理者住所	鞍手郡鞍手町大字中山3705		代表者(法人又は団体の場合)	鞍手町長 岡崎邦博
管理の内容	維持、修繕		管理者電話番号	0949-42-2111
市町村担当課			管理者の権限の種類	その他
都道府県担当部署			市町村電話番号	
			都道府県電話番号	地震強度区分
			諸元	
所有者(堤)	鞍手町		所有者住所(堤)	鞍手郡鞍手町大字中山3705
所有者区分(堤)	行政		所有者(池敷)	鞍手町
型式:形式(1)	ゾーン型(傾斜遮水ゾーン型)		形式(2)	谷池
止水材料	土(粘性土)		その他	重ね池
天端幅(m)	3		堤高(m)	3
堤頂長(m)	36		総貯水量(千 m^3)	19
法勾配:上流法面勾	2		下流法面勾配	1.5
流域面積(km^2)	0.01		満水面積(km^2)	0.003
かいがい受益面積(ha)	4		かんがい戸数(戸)	10
洪水吐諸元:形式	側水路式		洪水吐諸元:材質	コンクリート
洪水吐諸元:断面(高さ)	0.9		パイプの式の場合の断面(径)	
設計洪水量(m^3/s)			常時満水位から堤頂までの高さ(m)	0
取水工諸元:形式	斜樋		取水工諸元:断面寸法	斜樋管 ϕ 200
底樋諸元:形式	-		底樋諸元:断面寸法	-
緊急放流施設の有無	有り		緊急放流施設数	1
			被災歴	
被災歴の有無	無し		被災年度	
復旧内容				
防災重点ため池選定状況			改修歴(1)改修年度	
(1)改修内容	-			
特定農業用ため池指定の有無	無し		特定農業用ため池の指定年月日	

ため池台帳(概要)

名称	仁代池	所在地	大字新北字仁代1964	データベース更新新年度
水系	にだいいけ	行政コード	404020013	旧台帳の地区番号
型式		河川地域		JISコード
農政局		地形		座標
事業者		表層地域		
目的		事業費		着工年度
施設所有者			築造年代	
多目的利用			底地所有者	
管理者、管理者名称	鞍手町		将来の利用予定	
管理者住所	鞍手郡鞍手町大字中山3705		代表者(法人又は団体の場合)	鞍手町長 岡崎邦博
管理の内容	維持、修繕		管理者電話番号	0949-42-2111
市町村担当課			管理者の権限の種類	委任
都道府県担当部署			市町村電話番号	
			都道府県電話番号	地震強度区分
			諸元	
所有者(堤)	桜井源三郎 外		所有者住所(堤)	不明
所有者区分(堤)	個人		所有者(池敷)	-
型式:形式(1)	ゾーン型(傾斜遮水ゾーン型)		形式(2)	谷池
止水材料	土(粘性土)		その他	-
天端幅(m)	2		堤高(m)	6
堤頂長(m)	120		総貯水量(千m ³)	41
法勾配:上流法面勾	1.5		下流法面勾配	2
流域面積(km ²)	0.06		満水面積(km ²)	0.012
かいがい受益面積(ha)	8		かんがい戸数(戸)	10
洪水吐諸元:形式	側水路式		洪水吐諸元:材質	コンクリート
洪水吐諸元:断面(高さ)	0.9	洪水吐諸元:(幅)	パイプの式の断面(径)	
設計洪水量(m ³ /s)			常時満水位から堤頂までの高さ(m)	0
取水工諸元:形式	取水塔		取水工諸元:断面寸法	-
底樋諸元:形式	HP管コンクリート巻立		底樋諸元:断面寸法	φ450mm
緊急放流施設の有無	有り		緊急放流施設数	1
			被災歴	
被災歴の有無	無し		被災年度	
復旧内容				
防災重点ため池選定状況			改修歴(1)改修年度	
(1)改修内容	-			
特定農業用ため池指定の有無	有り		特定農業用ため池の指定年月日	43962

ため池台帳(概要)

名称	山田池	所在地	大字新北字山田1803	データベース更新新年度
	やまだいけ	行政コード	404020014	旧台帳の地区番号
水系		河川地域		JISコード
型式		地形		座標
農政局		表層地域		
事業者		管区		
目的		事業費		着工年度
施設所有者		築造年代		
多目的利用		底地所有者		
管理者、管理者名称	鞍手町	将来の利用予定		
管理者住所	鞍手郡鞍手町大字中山3705	代表者(法人又は団体の場合)	鞍手町長 岡崎邦博	
管理の内容	維持、修繕	管理者電話番号	0949-42-2111	管理者区分
市町村担当課		管理者の権限の種類	委任	
都道府県担当部署		市町村電話番号		
		都道府県電話番号		地震強度区分
		堤 体 諸 元		
所有者(堤)		所有者住所(堤)	不明	
所有者区分(堤)		所有者(池敷)	-	
型式:形式(1)	ゾーン型(傾斜遮水ゾーン型)	形式(2)	谷池	
止水材料	土(粘性土)	その他	-	
天端幅(m)	2	堤高(m)	4	
堤頂長(m)	30	総貯水量(千 m^3)	12	
法勾配:上流法面勾	1.5	下流法面勾配	1.8	
流域面積(km^2)	0.08	満水面積(km^2)	0.004	
かいがい受益面積(ha)	4	かんがい戸数(戸)	10	
洪水吐諸元:形式	側水路式	洪水吐諸元:材質	コンクリート	
洪水吐諸元:断面(高さ)	0.6	パイプの式の断面(径)		流下能力(m^3/s)
設計洪水量(m^3/s)		常時満水位から堤頂までの高さ(m)	0	
取水工諸元:形式	取水塔	取水工諸元:断面寸法	斜樋管 ϕ 200	
底樋諸元:形式	HP管コンクリート巻立	底樋諸元:断面寸法	ϕ 250mm	
緊急放流施設の有無	有り	緊急放流施設数	1	
		被災歴	改 修 歴	
被災歴の有無	無し	被災年度		
復旧内容				
防災重点ため池選定状況		改修歴(1)改修年度		
(1)改修内容	-			
特定農業用ため池指定の有無	有り	特定農業用ため池の指定年月日	43962	

ため池台帳(概要)

名称	山ヶ崎上池	所在地	大字中山山ヶ崎3788	データベース更新新年度
	やまがさかみいけ	行政コード	404020015	旧台帳の地区番号
水系		河川地域		
型式		地形	JISコード	
農政局		表層地域	座標	
事業者		管区		
目的		事業費	着工年度	
施設所有者			築造年代	
多目的利用			底地所有者	
管理者、管理者名称	鞍手町		将来の利用予定	
管理者住所	鞍手郡鞍手町大字中山3705		代表者(法人又は団体の場合)	鞍手町長 岡崎邦博
管理の内容	維持、修繕		管理者電話番号	0949-42-2111
市町村担当課			管理者の権限の種類	委任
都道府県担当部署			市町村電話番号	
			都道府県電話番号	
			地震強度区分	
			諸元	
所有者(堤)	大字中山	所有者住所(堤)	不明	
所有者区分(堤)	集落	所有者(池敷)	-	
型式:形式(1)	ゾーン型(傾斜遮水ゾーン型)	形式(2)	谷池	
止水材料	土(粘性土)	その他	-	
天端幅(m)	2	堤高(m)	4	
堤頂長(m)	35	総貯水量(千m ³)	6	
法勾配:上流法面勾	1.5	下流法面勾配	1.8	
流域面積(km ²)	0.01	満水面積(km ²)	0.002	
かいがい受益面積(ha)	6	かんがい戸数(戸)	15	
洪水吐諸元:形式	側水路式	洪水吐諸元:材質	コンクリート	
洪水吐諸元:断面(高さ)	0.6	パイプの式の断面(径)		流下能力(m ³ /s)
設計洪水量(m ³ /s)		常時満水位から堤頂までの高さ(m)	0	
取水工諸元:形式	取水塔	取水工諸元:断面寸法	斜樋管φ200	
底樋諸元:形式	その他(VP管)	底樋諸元:断面寸法	φ200mm	
緊急放流施設の有無	有り	緊急放流施設数	1	
		被災歴	改修歴	
被災歴の有無	無し	被災年度		
復旧内容				
防災重点ため池選定状況		改修歴(1)改修年度		
(1)改修内容	-			
特定農業用ため池指定の有無	有り	特定農業用ため池の指定年月日	43962	

ため池台帳(概要)

名称	大日池	所在地	大字新北字大日前1370 外	データベース更新新年度
	だいにちいけ	行政コード	404020016	旧台帳の地区番号
水系		河川地域		
型式		地形	JISコード	
農政局		表層地域	座標	
事業者		管区		
目的		事業費	着工年度	
施設所有者		築造年代		
多目的利用		底地所有者		
管理者、管理者名称	鞍手町	将来の利用予定		
管理者住所	鞍手郡鞍手町大字中山3705	代表者(法人又は団体の場合)	鞍手町長 岡崎邦博	
管理の内容	維持、修繕	管理者電話番号	0949-42-2111	管理者区分
市町村担当課		管理者の権限の種類	その他	
都道府県担当部署		市町村電話番号		
		都道府県電話番号		地震強度区分
		堤 体 諸 元		
所有者(堤)	鞍手町 外	所有者住所(堤)	鞍手郡鞍手町大字中山3705	
所有者区分(堤)	行政	所有者(池敷)	国	
型式:形式(1)	ゾーン型(傾斜遮水ゾーン型)	形式(2)	谷池	
止水材料	土(粘性土)	その他	-	
天端幅(m)	4.5	堤高(m)	3	
堤頂長(m)	60	総貯水量(千m ³)	45	
法勾配:上流法面勾	0.3	下流法面勾配	1	
流域面積(km ²)	0.02	満水面積(km ²)	0.005	
かいがい受益面積(h)	25	かんがい戸数(戸)	36	
洪水吐諸元:形式	側水路式	洪水吐諸元:材質	コンクリート	
洪水吐諸元:断面(高さ)	1.3	パイプの式の場合の断面(径)		流下能力(m ³ /s)
設計洪水量(m ³ /s)		常時満水位から堤頂までの高さ(m)	0	
取水工諸元:形式	取水塔	取水工諸元:断面寸法	-	
底樋諸元:形式	HP管コンクリート巻立	底樋諸元:断面寸法	φ450mm	
緊急放流施設の有無	有り	緊急放流施設数	1	
		被災歴	改 修 歴	
被災歴の有無	無し	被災年度		
復旧内容				
防災重点ため池選定状況		改修歴(1)改修年度		
(1)改修内容	-			
特定農業用ため池指定の有無	無し	特定農業用ため池の指定年月日		

ため池台帳(概要)

名称	乙ヶ谷池	所在地	大字新延字乙ヶ谷1186 外	データベース更新新年度
	おとがたにいけ	行政コード	404020017	旧台帳の地区番号
水系		河川地域		
型式		地形	JISコード	
農政局		表層地域	座標	
事業者		管区		
目的		事業費	着工年度	
施設所有者			築造年代	
多目的利用			底地所有者	
管理者、管理者名称	鞍手町		将来の利用予定	
管理者住所	鞍手郡鞍手町大字中山3705		代表者(法人又は団体の場合)	鞍手町長 岡崎邦博
管理の内容	維持、修繕		管理者電話番号	0949-42-2111
市町村担当課			管理者の権限の種類	委任
都道府県担当部署			市町村電話番号	
			都道府県電話番号	地震強度区分
			諸元	
所有者(堤)	鞍手町 外	所有者住所(堤)	鞍手郡鞍手町大字新延2112 外	
所有者区分(堤)	個人	所有者(池敷)	鞍手町	
型式:形式(1)	ゾーン型(傾斜遮水ゾーン型)	形式(2)	谷池	
止水材料	土(粘性土)	その他	-	
天端幅(m)	4	堤高(m)	10.3	
堤頂長(m)	61	総貯水量(千m ³)	22	
法勾配:上流法面勾	2.2	下流法面勾配	2.2	
流域面積(km ²)	0.0649	満水面積(km ²)	0.0071	
かいがい受益面積(H)	9.28	かんがい戸数(戸)	27	
洪水吐諸元:形式	側水路式	洪水吐諸元:材質	コンクリート	
洪水吐諸元:断面(高さ)	2.9	パイプの式の断面(径)		流下能力(m ³ /s) 2.89
設計洪水量(m ³ /s)	2.89	常時満水位から堤頂までの高さ(m)	0	
取水工諸元:形式	斜樋	取水工諸元:断面寸法	-	
底樋諸元:形式	HP管コンクリート巻立	底樋諸元:断面寸法	φ800mm	
緊急放流施設の有無	有り	緊急放流施設数	1	
		被災歴	改修歴	
被災歴の有無	無し	被災年度		
復旧内容				
防災重点ため池選定状況		改修歴(1)改修年度	2006/1/1	
(1)改修内容	堤体、洪水吐、取水施設			
特定農業用ため池指定の有無	有り	特定農業用ため池の指定年月日	43962	

ため池台帳(概要)

名称	御堂ヶ浦池	所在地	大字新延字御堂ヶ浦953 外	データベース更新新年度
水系	みどうがうらいけ	行政コード	404020018	旧台帳の地区番号
型式		河川地域		JISコード
農政局		地形		座標
事業者		管区		
目的		事業費		着工年度
施設所有者		築造年代		
多目的利用		底地所有者		
管理者、管理者名称	鞍手町	将来の利用予定		
管理者住所	鞍手郡鞍手町大字中山3705	代表者(法人又は団体の場合)	鞍手町長 岡崎邦博	管理者区分
管理の内容	維持、修繕	管理者の権限の種類	その他	行政
市町村担当課		市町村電話番号		
都道府県担当部署		都道府県電話番号		地震強度区分
堤 体 諸 元				
所有者(堤)		官有地	-	
所有者区分(堤)		行政	国	
型式:形式(1)	ゾーン型(傾斜遮水ゾーン型)	形式(2)	谷池	
止水材料	土(粘性土)	その他	重ね池	
天端幅(m)	5	堤高(m)	6.5	
堤頂長(m)	86	総貯水量(千 m^3)	88	
法勾配:上流法面勾	1.5	下流法面勾配	2	
流域面積(km^2)	0	満水面積(km^2)	0.011	
かいがい受益面積(ha)	28	かんがい戸数(戸)	20	
洪水吐諸元:形式	側水路式	洪水吐諸元:材質	コンクリート	
洪水吐諸元:断面(高さ)	1.5	パイプの式の場合の断面(径)		流下能力(m^3/s)
設計洪水量(m^3/s)		常時満水位から堤頂までの高さ(m)	0	
取水工諸元:形式	斜樋	取水工諸元:断面寸法	斜樋管 ϕ 200	
底樋諸元:形式	HP管コンクリート巻立	底樋諸元:断面寸法	ϕ 300mm	
緊急放流施設の有無	有り	緊急放流施設数	1	
被 災 歴				
被災歴の有無	無し	被災年度		
復旧内容				
防災重点ため池選定状況		改修歴(1)改修年度		
(1)改修内容	-			
特定農業用ため池指定の有無	無し	特定農業用ため池の指定年月日		

ため池台帳(概要)

名称	笹尾池	所在地	大字新延字笹尾1076 外	データベース更新新年度
水系	ささおいけ	行政コード	404020019	旧台帳の地区番号
型式		河川地域		JISコード
農政局		地形		座標
事業者		管区		
目的		事業費		着工年度
施設所有者		築造年代		
多目的利用		底地所有者		
管理者、管理者名称	鞍手町	将来の利用予定		
管理者住所	鞍手郡鞍手町大字中山3705	代表者(法人又は団体の場合)	鞍手町長 岡崎邦博	行政
管理の内容	維持、修繕	管理者電話番号	0949-42-2111	管理者区分
市町村担当課		管理者の権限の種類	その他	
都道府県担当部署		市町村電話番号		
		都道府県電話番号		地震強度区分
堤 体 諸 元				
所有者(堤)	鞍手町 外	所有者住所(堤)	鞍手郡鞍手町大字中山3705	
所有者区分(堤)	行政	所有者(池敷)	鞍手町	
型式:形式(1)	表面遮水壁型	形式(2)	谷池	
止水材料	土(粘性土)	その他	-	
天端幅(m)	2	堤高(m)	4.5	
堤頂長(m)	100	総貯水量(千 m^3)	7	
法勾配:上流法面勾	1.5	下流法面勾配	1.8	
流域面積(km^2)	0.06	満水面積(km^2)	0.002	
かいがい受益面積(ha)	3	かんがい戸数(戸)	5	
洪水吐諸元:形式	越流堰式	洪水吐諸元:材質	コンクリート	
洪水吐諸元:断面(高さ)	1.1	パイプの式の場合の断面(径)		流下能力(m^3/s)
設計洪水量(m^3/s)		常時満水位から堤頂までの高さ(m)	0	
取水工諸元:形式	取水塔	取水工諸元:断面寸法	-	
底樋諸元:形式	HP管コンクリート巻立	底樋諸元:断面寸法	ϕ 600mm	
緊急放流施設の有無	有り	緊急放流施設数	1	
被 災 歴				
被災歴の有無	無し	被災年度		
復旧内容				
防災重点ため池選定状況		改修歴(1)改修年度		
(1)改修内容	-			
特定農業用ため池指定の有無	無し	特定農業用ため池の指定年月日		

ため池台帳(概要)

名称	松ヶ浦池	所在地	大字新延字松ヶ浦956 外	データベース更新新年度
	まつがうらいけ	行政コード	404020020	旧台帳の地区番号
水系		河川地域		
型式		地形	JISコード	
農政局		表層地域	座標	
事業者		管区		
目的		事業費	着工年度	
施設所有者			築造年代	
多目的利用			底地所有者	
管理者、管理者名称	鞍手町		将来の利用予定	
管理者住所	鞍手郡鞍手町大字中山3705		代表者(法人又は団体の場合)	鞍手町長 岡崎邦博
管理の内容	維持、修繕		管理者電話番号	0949-42-2111
市町村担当課			管理者の権限の種類	その他
都道府県担当部署			市町村電話番号	
			都道府県電話番号	地震強度区分
			諸元	
所有者(堤)		鞍手町 外	所有者住所(堤)	鞍手郡鞍手町大字中山3705
所有者区分(堤)		行政	所有者(池敷)	鞍手町
型式:形式(1)	ゾーン型(傾斜遮水ゾーン型)		形式(2)	谷池
止水材料	土(粘性土)		その他	-
天端幅(m)	2.5		堤高(m)	4.5
堤頂長(m)	62		総貯水量(千m ³)	5
法勾配:上流法面勾	1.5		下流法面勾配	2
流域面積(km ²)	0.04		満水面積(km ²)	0.002
かいがい受益面積(h)	5		かんがい戸数(戸)	5
洪水吐諸元:形式	側水路式		洪水吐諸元:材質	コンクリート
洪水吐諸元:断面(高さ)	0.6	洪水吐諸元:(幅)	パイプの式の場合の断面(径)	
設計洪水量(m ³ /s)		1.1	常時満水位から堤頂までの高さ(m)	0
取水工諸元:形式	不明		取水工諸元:断面寸法	-
底樋諸元:形式	-		底樋諸元:断面寸法	-
緊急放流施設の有無	無し		緊急放流施設数	2
			被災歴	改修歴
被災歴の有無	無し		被災年度	
復旧内容				
防災重点ため池選定状況			改修歴(1)改修年度	
(1)改修内容	-			
特定農業用ため池指定の有無	無し		特定農業用ため池の指定年月日	

ため池台帳(概要)

名称	不動面池	所在地	大字八尋字不動面1441	データベース更新新年度
水系	ふどうめんいけ	行政コード	404020021	旧台帳の地区番号
型式		河川地域		JISコード
農政局		地形		座標
事業者		管区		
目的		事業費		着工年度
施設所有者		築造年代		
多目的利用		底地所有者		
管理者、管理者名称	鞍手町	将来の利用予定		
管理者住所	鞍手郡鞍手町大字中山3705	代表者(法人又は団体の場合)	鞍手町長 岡崎邦博	
管理の内容	維持、修繕	管理者電話番号	0949-42-2111	管理者区分
市町村担当課		管理者の権限の種類	その他	
都道府県担当部署		市町村電話番号		
		都道府県電話番号		地震強度区分
		堤 体 諸 元		
所有者(堤)		所有者住所(堤)	-	
所有者区分(堤)		所有者(池敷)	国	
型式:形式(1)	均一型	形式(2)	谷池	
止水材料	土(粘性土)	その他	-	
天端幅(m)	3	堤高(m)	3.5	
堤頂長(m)	50	総貯水量(千m ³)	10	
法勾配:上流法面勾	1.5	下流法面勾配	1.5	
流域面積(km ²)	0.02	満水面積(km ²)	0.008	
かいがい受益面積(h)	24	かんがい戸数(戸)	35	
洪水吐諸元:形式	側水路式	洪水吐諸元:材質	土	
洪水吐諸元:断面(高さ)	0	パイプの式の場合の断面(径)		流下能力(m ³ /s)
設計洪水量(m ³ /s)		常時満水位から堤頂までの高さ(m)	0	
取水工諸元:形式	取水塔	取水工諸元:断面寸法	-	
底樋諸元:形式	HP管コンクリート巻立	底樋諸元:断面寸法	-	
緊急放流施設の有無	有り	緊急放流施設数	1	
		被災歴	改 修 歴	
被災歴の有無	無し	被災年度		
復旧内容				
防災重点ため池選定状況		改修歴(1)改修年度		
(1)改修内容	-			
特定農業用ため池指定の有無	無し	特定農業用ため池の指定年月日		

ため池台帳(概要)

名称	草田池	所在地	大字長谷草田817-2 外のいずれか	データベース更新新年度
	くさだいけ	行政コード	404020022	旧台帳の地区番号
水系		河川地域		
型式		地形	JISコード	
農政局		表層地域	座標	
事業者		管区		
目的		事業費	着工年度	
施設所有者			築造年代	
多目的利用			底地所有者	
管理者、管理者名称	鞍手町		将来の利用予定	
管理者住所	鞍手郡鞍手町大字中山3705		代表者(法人又は団体の場合)	鞍手町長 岡崎邦博
管理の内容	維持、修繕		管理者電話番号	0949-42-2111
市町村担当課			管理者の権限の種類	委任
都道府県担当部署			市町村電話番号	
			都道府県電話番号	地震強度区分
			諸元	
所有者(堤)	杉山博 外		所有者住所(堤)	鞍手郡鞍手町大字八尋字39 外
所有者区分(堤)	個人		所有者(池敷)	鞍手町
型式:形式(1)	均一型		形式(2)	谷池
止水材料	土(粘性土)		その他	-
天端幅(m)	2.5		堤高(m)	4
堤頂長(m)	92		総貯水量(千m ³)	10
法勾配:上流法面勾	1.8		下流法面勾配	1.8
流域面積(km ²)	0.08		満水面積(km ²)	0.005
かいがい受益面積(H)	7		かんがい戸数(戸)	15
洪水吐諸元:形式	側水路式		洪水吐諸元:材質	コンクリート
洪水吐諸元:断面(高さ)	0.6		パイプの式の場合の断面(径)	
設計洪水量(m ³ /s)			常時満水位から堤頂までの高さ(m)	0
取水工諸元:形式	取水塔		取水工諸元:断面寸法	-
底樋諸元:形式	HP管コンクリート巻立		底樋諸元:断面寸法	φ200mm
緊急放流施設の有無	有り		緊急放流施設数	1
			被災歴	
被災歴の有無	無し		被災年度	
復旧内容				
防災重点ため池選定状況			改修歴(1)改修年度	
(1)改修内容	-			
特定農業用ため池指定の有無	有り		特定農業用ため池の指定年月日	43962

ため池台帳(概要)

名称	裏田池	所在地	大字室木字浦田614 外のいづれか	データベース更新新年度
水系	うらたいけ	行政コード	404020024	旧台帳の地区番号
型式		河川地域		JISコード
農政局		地形		座標
事業者		管区		
目的		事業費		着工年度
施設所有者		築造年代		
多目的利用		底地所有者		
管理者、管理者名称	鞍手町	将来の利用予定		
管理者住所	鞍手郡鞍手町大字中山3705	代表者(法人又は団体の場合)	鞍手町長 岡崎邦博	管理者区分
管理の内容	維持、修繕	管理者電話番号	0949-42-2111	行政
市町村担当課		管理者の権限の種類	委任	
都道府県担当部署		市町村電話番号		
		都道府県電話番号		地震強度区分
		諸元		
所有者(堤)	井上信明 外	所有者住所(堤)	鞍手郡鞍手町大字室木908 外	
所有者区分(堤)	個人	所有者(池敷)	国	
型式:形式(1)	均一型	形式(2)	谷池	
止水材料	土(粘性土)	その他	-	
天端幅(m)	2.5	堤高(m)	5	
堤頂長(m)	70	総貯水量(千m ³)	17	
法勾配:上流法面勾	1.5	下流法面勾配	1.5	
流域面積(km ²)	0.07	満水面積(km ²)	0.0025	
かいがい受益面積(ha)	5	かんがい戸数(戸)	10	
洪水吐諸元:形式	側水路式	洪水吐諸元:材質	コンクリート	
洪水吐諸元:断面(高さ)	0.9	パイプの式の場合の断面(径)		流下能力(m ³ /s)
設計洪水量(m ³ /s)		常時満水位から堤頂までの高さ(m)	0	
取水工諸元:形式	斜樋	取水工諸元:断面寸法	-	
底樋諸元:形式	HP管コンクリート巻立	底樋諸元:断面寸法	-	
緊急放流施設の有無	有り	緊急放流施設数	1	
		被災歴	改修歴	
被災歴の有無	無し	被災年度		
復旧内容				
防災重点ため池選定状況		改修歴(1)改修年度		
(1)改修内容	-			
特定農業用ため池指定の有無	有り	特定農業用ため池の指定年月日	43962	

ため池台帳(概要)

名称	鍋倉池	所在地	大字室木字鍋倉650	データベース更新新年度
水系	なべくらいけ	行政コード	404020025	旧台帳の地区番号
型式		河川地域		JISコード
農政局		地形		座標
事業者		管区		
目的		事業費		着工年度
施設所有者		築造年代		
多目的利用		底地所有者		
管理者、管理者名称	鞍手町	将来の利用予定		
管理者住所	鞍手郡鞍手町大字中山3705	代表者(法人又は団体の場合)	鞍手町長 岡崎邦博	
管理の内容	維持、修繕	管理者電話番号	0949-42-2111	管理者区分
市町村担当課		管理者の権限の種類	その他	
都道府県担当部署		市町村電話番号		
		都道府県電話番号		地震強度区分
		堤 体 諸 元		
所有者(堤)		所有者住所(堤)	-	
所有者区分(堤)		所有者(池敷)	国	
型式:形式(1)	均一型	形式(2)	谷池	
止水材料	土(粘性土)	その他	重ね池	
天端幅(m)	1.5	堤高(m)	4	
堤頂長(m)	32	総貯水量(千m ³)	7	
法勾配:上流法面勾	1.3	下流法面勾配	1.3	
流域面積(km ²)	0.02	満水面積(km ²)	0.002	
かいがい受益面積(ha)	4	かんがい戸数(戸)	10	
洪水吐諸元:形式	越流堰式	洪水吐諸元:材質	コンクリート	
洪水吐諸元:断面(高さ)	0.9	パイプの式の断面(径)		流下能力(m ³ /s)
設計洪水量(m ³ /s)		常時満水位から堤頂までの高さ(m)	0	
取水工諸元:形式	取水塔	取水工諸元:断面寸法	斜樋管φ200	
底樋諸元:形式	HP管コンクリート巻立	底樋諸元:断面寸法	-	
緊急放流施設の有無	有り	緊急放流施設数	1	
		被災歴	改 修 歴	
被災歴の有無	無し	被災年度		
復旧内容				
防災重点ため池選定状況		改修歴(1)改修年度		
(1)改修内容	-			
特定農業用ため池指定の有無	無し	特定農業用ため池の指定年月日		

ため池台帳(概要)

名称	宮田越下池	所在地	大字室木字宮田越192	データベース更新新年度
水系	みやだしもいけ	行政コード	404020026	旧台帳の地区番号
型式		河川地域		JISコード
農政局		地形		座標
事業者		管区		
目的		事業費		着工年度
施設所有者		築造年代		
多目的利用		底地所有者		
管理者、管理者名称	鞍手町	将来の利用予定		
管理者住所	鞍手郡鞍手町大字中山3705	代表者(法人又は団体の場合)	鞍手町長 岡崎邦博	
管理の内容	維持、修繕	管理者電話番号	0949-42-2111	管理者区分
市町村担当課		管理者の権限の種類	その他	
都道府県担当部署		市町村電話番号		
		都道府県電話番号		地震強度区分
		堤 体 諸 元		
所有者(堤)		所有者住所(堤)	-	
所有者区分(堤)		所有者(池敷)	国	
型式:形式(1)	均一型	形式(2)	谷池	
止水材料	土(粘性土)	その他	重ね池	
天端幅(m)	2.5	堤高(m)	4	
堤頂長(m)	77	総貯水量(千m ³)	16	
法勾配:上流法面勾	1.8	下流法面勾配	1.5	
流域面積(km ²)	0.3	満水面積(km ²)	0.008	
かいがい受益面積(h)	20	かんがい戸数(戸)	20	
洪水吐諸元:形式	側水路式	洪水吐諸元:材質	石張り	
洪水吐諸元:断面(高さ)	0.7	パイプの式の場合の断面(径)		流下能力(m ³ /s)
設計洪水量(m ³ /s)		常時満水位から堤頂までの高さ(m)	0	
取水工諸元:形式	斜樋	取水工諸元:断面寸法	斜樋管φ200	
底樋諸元:形式	HP管コンクリート巻立	底樋諸元:断面寸法	φ300mm	
緊急放流施設の有無	有り	緊急放流施設数	1	
		被災歴	改修歴	
被災歴の有無	無し	被災年度		
復旧内容				
防災重点ため池選定状況		改修歴(1)改修年度		
(1)改修内容	-			
特定農業用ため池指定の有無	無し	特定農業用ため池の指定年月日		

ため池台帳(概要)

名称	八久保池	所在地	大字長谷字八久保767 外	データベース更新新年度
水系	はちくほいけ	行政コード	404020027	旧台帳の地区番号
型式		河川地域		JISコード
農政局		地形		座標
事業者		表層地域		
目的		事業費		着工年度
施設所有者			築造年代	
多目的利用			底地所有者	
管理者、管理者名称	鞍手町		将来の利用予定	
管理者住所	鞍手郡鞍手町大字中山3705		代表者(法人又は団体の場合)	鞍手町長 岡崎邦博
管理の内容	維持、修繕		管理者電話番号	0949-42-2111
市町村担当課			管理者の権限の種類	その他
都道府県担当部署			市町村電話番号	
			都道府県電話番号	地震強度区分
			諸元	
所有者(堤)	鞍手町		所有者住所(堤)	鞍手郡鞍手町大字中山3705
所有者区分(堤)	行政		所有者(池敷)	-
型式:形式(1)	均一型		形式(2)	谷池
止水材料	土(粘性土)		その他	-
天端幅(m)	2		堤高(m)	6
堤頂長(m)	90		総貯水量(千m ³)	35
法勾配:上流法面勾	1.5		下流法面勾配	2
流域面積(km ²)	0.21		満水面積(km ²)	0.004
かいがい受益面積(H)	10		かんがい戸数(戸)	21
洪水吐諸元:形式	側水路式		洪水吐諸元:材質	コンクリート
洪水吐諸元:断面(高さ)	1.7		パイプの式の場合の断面(径)	
設計洪水量(m ³ /s)			常時満水位から堤頂までの高さ(m)	0
取水工諸元:形式	斜樋		取水工諸元:断面寸法	斜樋管φ200
底樋諸元:形式	HP管コンクリート巻立		底樋諸元:断面寸法	-
緊急放流施設の有無	有り		緊急放流施設数	1
			被災歴	改修歴
被災歴の有無	無し		被災年度	
復旧内容				
防災重点ため池選定状況			改修歴(1)改修年度	
(1)改修内容	-			
特定農業用ため池指定の有無	無し		特定農業用ため池の指定年月日	

ため池台帳(概要)

名称	上松尾池	所在地	大字中山字上松尾416 外	データベース更新新年度
	かみまつおいけ	行政コード	404020028	旧台帳の地区番号
水系		河川地域		JISコード
型式		地形		座標
農政局		表層地域		
事業者		管区		
目的		事業費		着工年度
施設所有者		築造年代		
多目的利用		底地所有者		
管理者、管理者名称	鞍手町	将来の利用予定		
管理者住所	鞍手郡鞍手町大字中山3705	代表者(法人又は団体の場合)	鞍手町長 岡崎邦博	
管理の内容	維持、修繕	管理者電話番号	0949-42-2111	管理者区分
市町村担当課		管理者の権限の種類	その他	
都道府県担当部署		市町村電話番号		
		都道府県電話番号		地震強度区分
堤 体 諸 元				
所有者(堤)	鞍手町	所有者住所(堤)	鞍手郡鞍手町大字中山3705	
所有者区分(堤)	行政	所有者(池敷)	鞍手町	
型式:形式(1)	均一型	形式(2)	谷池	
止水材料	土(粘性土)	その他	重ね池	
天端幅(m)	3.4	堤高(m)	6.9	
堤頂長(m)	92.6	総貯水量(千 m^3)	16	
法勾配:上流法面勾	2	下流法面勾配	1.9	
流域面積(km^2)	0.178	満水面積(km^2)	0.0062	
かいがい受益面積(ha)	10.7	かんがい戸数(戸)	29	
洪水吐諸元:形式	側水路式	洪水吐諸元:材質	コンクリート	
洪水吐諸元:断面(高さ)	2.95	パイプの式の断面(径)		流下能力(m^3/s)
設計洪水量(m^3/s)	4.1	常時満水位から堤頂までの高さ(m)	0	4.1
取水工諸元:形式	斜樋	取水工諸元:断面寸法	本樋:斜樋管 ϕ 200 中樋:斜樋管 ϕ 200	
底樋諸元:形式	HP管コンクリート巻立	底樋諸元:断面寸法	ϕ 800 ϕ 300	
緊急放流施設の有無	有り	緊急放流施設数	1	
被 災 歴				
被災歴の有無	無し	被災年度		
復旧内容				
防災重点ため池選定状況		改修歴(1)改修年度	2011/1/1	
(1)改修内容	堤体、洪水吐、取水施設			
特定農業用ため池指定の有無	無し			

ため池台帳(概要)

名称	西の谷池	所在地	大字長谷字西の原897-1	データベース更新新年度
	にしのたにいけ	行政コード	404020029	旧台帳の地区番号
水系		河川地域		
型式		地形	JISコード	
農政局		表層地域	座標	
事業者		管区		
目的		事業費	着工年度	
施設所有者		築造年代		
多目的利用		底地所有者		
管理者、管理者名称	鞍手町	将来の利用予定		
管理者住所	鞍手郡鞍手町大字中山3705	代表者(法人又は団体の場合)	鞍手町長 岡崎邦博	
管理の内容	維持、修繕	管理者電話番号	0949-42-2111	管理者区分
市町村担当課		管理者の権限の種類	その他	
都道府県担当部署		市町村電話番号		
		都道府県電話番号		地震強度区分
		堤 体 諸 元		
所有者(堤)		所有者住所(堤)	-	
所有者区分(堤)		所有者(池敷)	国	
型式:形式(1)	ゾーン型(傾斜遮水ゾーン型)	形式(2)	谷池	
止水材料	土(粘性土)	その他	重ね池	
天端幅(m)	2	堤高(m)	4	
堤頂長(m)	160	総貯水量(千 m^3)	11	
法勾配:上流法面勾	1.5	下流法面勾配	1.8	
流域面積(km^2)	0.23	満水面積(km^2)	0.005	
かいがい受益面積(ha)	10	かんがい戸数(戸)	21	
洪水吐諸元:形式	越流堰式	洪水吐諸元:材質	コンクリート	
洪水吐諸元:断面(高さ)	1.2	パイプの式の断面(径)		流下能力(m^3/s)
設計洪水量(m^3/s)		常時満水位から堤頂までの高さ(m)	0	
取水工諸元:形式	その他	取水工諸元:断面寸法	-	
底樋諸元:形式	HP管コンクリート巻立	底樋諸元:断面寸法	-	
緊急放流施設の有無	有り	緊急放流施設数	1	
		被災歴	改 修 歴	
被災歴の有無	無し	被災年度		
復旧内容				
防災重点ため池選定状況		改修歴(1)改修年度		
(1)改修内容	-			
特定農業用ため池指定の有無	無し	特定農業用ため池の指定年月日		

ため池台帳(概要)

名称	水上池	所在地	大字長谷字水上544 外	データベース更新新年度
	みずかみいけ	行政コード	404020030	旧台帳の地区番号
水系		河川地域		
型式		地形	JISコード	
農政局		表層地域	座標	
事業者		管区		
目的		事業費	着工年度	
施設所有者			築造年代	
多目的利用			底地所有者	
管理者、管理者名称	鞍手町		将来の利用予定	
管理者住所	鞍手郡鞍手町大字中山3705		代表者(法人又は団体の場合)	鞍手町長 岡崎邦博
管理の内容	維持、修繕		管理者電話番号	0949-42-2111
市町村担当課			管理者の権限の種類	その他
都道府県担当部署			市町村電話番号	
			都道府県電話番号	地震強度区分
			諸元	
所有者(堤)	鞍手町		所有者住所(堤)	鞍手郡鞍手町大字中山3705
所有者区分(堤)	行政		所有者(池敷)	国
型式:形式(1)	ゾーン型(傾斜遮水ゾーン型)		形式(2)	谷池
止水材料	土(粘性土)		その他	-
天端幅(m)	2.5		堤高(m)	4.5
堤頂長(m)	112		総貯水量(千m ³)	5
法勾配:上流法面勾	1.5		下流法面勾配	2
流域面積(km ²)	0.51		満水面積(km ²)	0.001
かいがい受益面積(h ²)	2		かんがい戸数(戸)	5
洪水吐諸元:形式	側水路式		洪水吐諸元:材質	コンクリート
洪水吐諸元:断面(高さ)	0.6		パイプの式の場合の断面(径)	
設計洪水量(m ³ /s)			常時満水位から堤頂までの高さ(m)	0
取水工諸元:形式	取水塔		取水工諸元:断面寸法	-
底樋諸元:形式	HP管コンクリート巻立		底樋諸元:断面寸法	φ200mm
緊急放流施設の有無	有り		緊急放流施設数	1
			被災歴	
被災歴の有無	無し		被災年度	
復旧内容				
防災重点ため池選定状況			改修歴(1)改修年度	
(1)改修内容	-			
特定農業用ため池指定の有無	無し		特定農業用ため池の指定年月日	

ため池台帳(概要)

名称	切堤池	所在地	大字中山字上松尾391	データベース更新新年度
	きりつづみいけ	行政コード	404020031	旧台帳の地区番号
水系		河川地域		
型式		地形	JISコード	
農政局		表層地域	座標	
事業者		管区		
目的		事業費	着工年度	
施設所有者		築造年代		
多目的利用		底地所有者		
管理者、管理者名称	鞍手町	将来の利用予定		
管理者住所	鞍手郡鞍手町大字中山3705	代表者(法人又は団体の場合)	鞍手町長 岡崎邦博	
管理の内容	維持、修繕	管理者電話番号	0949-42-2111	管理者区分
市町村担当課		管理者の権限の種類	委任	
都道府県担当部署		市町村電話番号		
		都道府県電話番号		地震強度区分
		堤 体 諸 元		
所有者(堤)	大字中山	所有者住所(堤)	不明	
所有者区分(堤)	集落	所有者(池敷)	鞍手町	
型式:形式(1)	ゾーン型(傾斜遮水ゾーン型)	形式(2)	谷池	
止水材料	土(粘性土)	その他	重ね池	
天端幅(m)	2	堤高(m)	5	
堤頂長(m)	100	総貯水量(千 m^3)	6	
法勾配:上流法面勾	1.2	下流法面勾配	1.8	
流域面積(km^2)	0.04	満水面積(km^2)	0.002	
かいがい受益面積(ha)	3	かんがい戸数(戸)	5	
洪水吐諸元:形式	越流堰式	洪水吐諸元:材質	コンクリート	
洪水吐諸元:断面(高さ)	0.9	パイプの式の場合の断面(径)		流下能力(m^3/s)
設計洪水量(m^3/s)		常時満水位から堤頂までの高さ(m)	0	
取水工諸元:形式	斜樋	取水工諸元:断面寸法	斜樋管 ϕ 250	
底樋諸元:形式	-	底樋諸元:断面寸法	-	
緊急放流施設の有無	有り	緊急放流施設数	1	
		被災歴	改 修 歴	
被災歴の有無	無し	被災年度		
復旧内容				
防災重点ため池選定状況		改修歴(1)改修年度		
(1)改修内容	-			
特定農業用ため池指定の有無	有り	特定農業用ため池の指定年月日	43962	

ため池台帳(概要)

名称	宮田越上池	所在地	大字室木字ユスノ木原188-1	データベース更新新年度
水系	みやだかみいけ	行政コード	404020032	旧台帳の地区番号
型式		河川地域		JISコード
農政局		地形		座標
事業者		表層地域		
目的		事業費		着工年度
施設所有者			築造年代	
多目的利用			底地所有者	
管理者、管理者名称	鞍手町		将来の利用予定	
管理者住所	鞍手郡鞍手町大字中山3705		代表者(法人又は団体の場合)	鞍手町長 岡崎邦博
管理の内容	維持、修繕		管理者電話番号	0949-42-2111
市町村担当課			管理者の権限の種類	その他
都道府県担当部署			市町村電話番号	
			都道府県電話番号	地震強度区分
			諸元	
所有者(堤)	鞍手町	所有者住所(堤)	鞍手郡鞍手町大字中山3705	
所有者区分(堤)	行政	所有者(池敷)	国	
型式:形式(1)	ゾーン型(傾斜遮水ゾーン型)	形式(2)	谷池	
止水材料	土(粘性土)	その他	-	
天端幅(m)	2.5	堤高(m)	5	
堤頂長(m)	70	総貯水量(千m ³)	25	
法勾配:上流法面勾	1.8	下流法面勾配	1.5	
流域面積(km ²)	0.03	満水面積(km ²)	0.1	
かいがい受益面積(h)	19	かんがい戸数(戸)	20	
洪水吐諸元:形式	側水路式	洪水吐諸元:材質	コンクリート	
洪水吐諸元:断面(高さ)	0.6	パイプの式の断面(径)		流下能力(m ³ /s)
設計洪水量(m ³ /s)		常時満水位から堤頂までの高さ(m)	0	
取水工諸元:形式	取水塔	取水工諸元:断面寸法	斜樋管φ250	
底樋諸元:形式	HP管コンクリート巻立	底樋諸元:断面寸法	-	
緊急放流施設の有無	有り	緊急放流施設数	1	
		被災歴	改修歴	
被災歴の有無	無し	被災年度		
復旧内容				
防災重点ため池選定状況		改修歴(1)改修年度		
(1)改修内容	-			
特定農業用ため池指定の有無	無し	特定農業用ため池の指定年月日		

ため池台帳(概要)

名称	下宮上池	所在地	大字中山字尾登1354-2 外	データベース更新新年度
	げぐうかみいけ	行政コード	404020033	旧台帳の地区番号
水系		河川地域		
型式		地形	JISコード	
農政局		表層地域	座標	
事業者		管区		
目的		事業費	着工年度	
施設所有者			築造年代	
多目的利用			底地所有者	
管理者、管理者名称	鞍手町		将来の利用予定	
管理者住所	鞍手郡鞍手町大字中山3705		代表者(法人又は団体の場合)	鞍手町長 岡崎邦博
管理の内容	維持、修繕		管理者電話番号	0949-42-2111
市町村担当課			管理者の権限の種類	その他
都道府県担当部署			市町村電話番号	
			都道府県電話番号	地震強度区分
			諸元	
所有者(堤)	鞍手町		所有者住所(堤)	鞍手郡鞍手町大字中山3705
所有者区分(堤)	行政		所有者(池敷)	鞍手町
型式:形式(1)	均一型		形式(2)	谷池
止水材料	土(粘性土)		その他	-
天端幅(m)	3		堤高(m)	5
堤頂長(m)	70		総貯水量(千m ³)	8
法勾配:上流法面勾	1.8		下流法面勾配	1.8
流域面積(km ²)	0.1		満水面積(km ²)	0.002
かいがい受益面積(ha)	4		かんがい戸数(戸)	20
洪水吐諸元:形式	側水路式		洪水吐諸元:材質	コンクリート
洪水吐諸元:断面(高さ)	0.8		パイプの式の場合の断面(径)	
設計洪水量(m ³ /s)			常時満水位から堤頂までの高さ(m)	0
取水工諸元:形式	取水塔		取水工諸元:断面寸法	-
底樋諸元:形式	HP管コンクリート巻立		底樋諸元:断面寸法	-
緊急放流施設の有無	有り		緊急放流施設数	1
			被災歴	
被災歴の有無	無し		被災年度	
復旧内容				
防災重点ため池選定状況			改修歴(1)改修年度	
(1)改修内容	-			
特定農業用ため池指定の有無	無し		特定農業用ため池の指定年月日	

ため池台帳(概要)

名称	石田池	所在地	大字新北字石田680 外	データベース更新新年度
	いしだいけ	行政コード	404020034	旧台帳の地区番号
水系		河川地域		
型式		地形	JISコード	
農政局		表層地域	座標	
事業者		管区		
目的		事業費	着工年度	
施設所有者		築造年代		
多目的利用		底地所有者		
管理者、管理者名称	鞍手町	将来の利用予定		
管理者住所	鞍手郡鞍手町大字中山3705	代表者(法人又は団体の場合)	鞍手町長 岡崎邦博	
管理の内容	維持、修繕	管理者電話番号	0949-42-2111	管理者区分
市町村担当課		管理者の権限の種類	その他	
都道府県担当部署		市町村電話番号		
		都道府県電話番号		地震強度区分
		堤 体 諸 元		
所有者(堤)	鞍手町	所有者住所(堤)	鞍手郡鞍手町大字中山3705	
所有者区分(堤)	行政	所有者(池敷)	国	
型式:形式(1)	ゾーン型(傾斜遮水ゾーン型)	形式(2)	谷池	
止水材料	土(粘性土)	その他	-	
天端幅(m)	3	堤高(m)	7	
堤頂長(m)	260	総貯水量(千 m^3)	53	
法勾配:上流法面勾	2	下流法面勾配	1.8	
流域面積(km^2)	0.08	満水面積(km^2)	0.008	
かいがい受益面積(ha)	16	かんがい戸数(戸)	30	
洪水吐諸元:形式	側水路式	洪水吐諸元:材質	コンクリート	
洪水吐諸元:断面(高さ)	0.8	パイプの式の断面(径)		流下能力(m^3/s)
設計洪水量(m^3/s)		常時満水位から堤頂までの高さ(m)	0	
取水工諸元:形式	取水塔	取水工諸元:断面寸法	-	
底樋諸元:形式	HP管コンクリート巻立	底樋諸元:断面寸法	ϕ 300mm	
緊急放流施設の有無	有り	緊急放流施設数	1	
		被災歴	改 修 歴	
被災歴の有無	無し	被災年度		
復旧内容				
防災重点ため池選定状況		改修歴(1)改修年度		
(1)改修内容	-			
特定農業用ため池指定の有無	無し	特定農業用ため池の指定年月日		

ため池台帳(概要)

名称	幸ノ塔池	所在地	大字中山字上松尾529 外	データベース更新新年度
	さやのとういけ	行政コード	404020035	旧台帳の地区番号
水系		河川地域		JISコード
型式		地形		座標
農政局		表層地域		
事業者		管区		
目的		事業費		着工年度
施設所有者			築造年代	
多目的利用			底地所有者	
管理者、管理者名称	鞍手町		将来の利用予定	
管理者住所	鞍手郡鞍手町大字中山3705		代表者(法人又は団体の場合)	鞍手町長 岡崎邦博
管理の内容	維持、修繕		管理者電話番号	0949-42-2111
市町村担当課			管理者の権限の種類	委任
都道府県担当部署			市町村電話番号	
			都道府県電話番号	
				地震強度区分
			諸元	
所有者(堤)	大字中山 外	所有者住所(堤)	不明 外	
所有者区分(堤)	集落	所有者(池敷)	鞍手町	
型式:形式(1)	ゾーン型(傾斜遮水ゾーン型)	形式(2)	谷池	
止水材料	土(粘性土)	その他	-	
天端幅(m)	2	堤高(m)	4.5	
堤頂長(m)	80	総貯水量(千 m^3)	6	
法勾配:上流法面勾	1.5	下流法面勾配	2	
流域面積(km^2)	0.06	満水面積(km^2)	0.03	
かいがい受益面積(ha)	5	かんがい戸数(戸)	20	
洪水吐諸元:形式	側水路式	洪水吐諸元:材質	コンクリート	
洪水吐諸元:断面(高さ)	0.5	パイプの式の断面(径)		流下能力(m^3/s)
設計洪水量(m^3/s)		常時満水位から堤頂までの高さ(m)	0	
取水工諸元:形式	取水塔	取水工諸元:断面寸法	-	
底樋諸元:形式	HP管コンクリート巻立	底樋諸元:断面寸法	ϕ 200mm	
緊急放流施設の有無	有り	緊急放流施設数	1	
		被災歴	改修歴	
被災歴の有無	無し	被災年度		
復旧内容				
防災重点ため池選定状況		改修歴(1)改修年度		
(1)改修内容	-			
特定農業用ため池指定の有無	有り	特定農業用ため池の指定年月日	43962	

ため池台帳(概要)

名称	浦ノ原(小)池	所在地	大字古門字浦ノ原1972-2 外	データベース更新新年度
水系	うらの(はら)しょういけ	行政コード	404020036	旧台帳の地区番号
型式		河川地域		JISコード
農政局		地形		座標
事業者		表層地域		
目的		事業費		
施設所有者		築造年代	着工年度	
多目的利用		底地所有者		
管理者、管理者名称	鞍手町	将来の利用予定		
管理者住所	鞍手郡鞍手町大字中山3705	代表者(法人又は団体の場合)	鞍手町長 岡崎邦博	
管理の内容	維持、修繕	管理者電話番号	0949-42-2111	管理者区分
市町村担当課		管理者の権限の種類	その他	
都道府県担当部署		市町村電話番号		
		都道府県電話番号		地震強度区分
		堤 体 諸 元		
所有者(堤)	鞍手町 外	所有者住所(堤)	鞍手郡鞍手町大字中山3705	
所有者区分(堤)	行政	所有者(池敷)	国	
型式:形式(1)	ゾーン型(傾斜遮水ゾーン型)	形式(2)	谷池	
止水材料	土(粘性土)	その他	-	
天端幅(m)	10	堤高(m)	5	
堤頂長(m)	70	総貯水量(千 m^3)	6	
法勾配:上流法面勾	0.3	下流法面勾配	2	
流域面積(km^2)	0.28	満水面積(km^2)	0.025	
かいがい受益面積(ha)	40	かんがい戸数(戸)	50	
洪水吐諸元:形式	側水路式	洪水吐諸元:材質	コンクリート	
洪水吐諸元:断面(高さ)	1	パイプの式の場合の断面(径)		流下能力(m^3/s)
設計洪水量(m^3/s)		常時満水位から堤頂までの高さ(m)	0	
取水工諸元:形式	斜樋	取水工諸元:断面寸法	-	
底樋諸元:形式	HP管コンクリート巻立	底樋諸元:断面寸法	ϕ 800mm	
緊急放流施設の有無	有り	緊急放流施設数	1	
被災歴の有無	無し	被災歴	改修歴	
復旧内容		被災年度		
防災重点ため池選定状況		改修歴(1)改修年度	1987/1/1	
(1)改修内容	堤体、取水施設			
特定農業用ため池指定の有無	無し			

ため池台帳(概要)

名称	浦ノ原(大)池	所在地	大字古門字浦ノ原1972-1 外	データベース更新新年度
水系	うらのほら(だい)いけ	行政コード	404020037	旧台帳の地区番号
型式		河川地域		JISコード
農政局		地形		座標
事業者		管区		
目的		事業費		着工年度
施設所有者			築造年代	
多目的利用			底地所有者	
管理者、管理者名称	鞍手町		将来の利用予定	
管理者住所	鞍手郡鞍手町大字中山3705		代表者(法人又は団体の場合)	鞍手町長 岡崎邦博
管理の内容	維持、修繕		管理者電話番号	0949-42-2111
市町村担当課			管理者の権限の種類	その他
都道府県担当部署			市町村電話番号	
			都道府県電話番号	地震強度区分
堤 体 諸 元				
所有者(堤)		鞍手町 外	所有者住所(堤)	鞍手郡鞍手町大字中山3705
所有者区分(堤)		行政	所有者(池敷)	国
型式:形式(1)		ゾーン型(傾斜遮水ゾーン型)	形式(2)	谷池
止水材料		土(粘性土)	その他	重ね池
天端幅(m)	3.8		堤高(m)	8.9
堤頂長(m)	172		総貯水量(千 m^3)	150
法勾配:上流法面勾	2		下流法面勾配	1.5
流域面積(km^2)	0.26		満水面積(km^2)	0.038
かいがい受益面積(ha)	71		かんがい戸数(戸)	50
洪水吐諸元:形式	越流堰式		洪水吐諸元:材質	コンクリート
洪水吐諸元:断面(高さ)	1.9	洪水吐諸元:(幅)3	パイプの式の断面(径)	
設計洪水量(m^3/s)			常時満水位から堤頂までの高さ(m)	0
取水工諸元:形式	斜樋		取水工諸元:断面寸法	-
底樋諸元:形式	HP管コンクリート巻立		底樋諸元:断面寸法	ϕ 1000mm
緊急放流施設の有無	有り		緊急放流施設数	1
被 災 歴				
被災歴の有無	無し		被災年度	
復旧内容				
防災重点ため池選定状況			改修歴(1)改修年度	1985/1/1
(1)改修内容	堤体、洪水吐、取水施設			
特定農業用ため池指定の有無	無し			

ため池台帳(概要)

名称	西ノ浦池	所在地	大字古門字神崎2137-2 外	データベース更新新年度
	にしのうらいけ	行政コード	404020038	旧台帳の地区番号
水系		河川地域		
型式		地形	JISコード	
農政局		表層地域	座標	
事業者		管区		
目的		事業費	着工年度	
施設所有者			築造年代	
多目的利用			底地所有者	
管理者、管理者名称	鞍手町		将来の利用予定	
管理者住所	鞍手郡鞍手町大字中山3705		代表者(法人又は団体の場合)	鞍手町長 岡崎邦博
管理の内容	維持、修繕		管理者電話番号	0949-42-2111
市町村担当課			管理者の権限の種類	その他
都道府県担当部署			市町村電話番号	
			都道府県電話番号	地震強度区分
			諸元	
所有者(堤)	鞍手町 外	所有者住所(堤)	鞍手郡鞍手町大字中山3705	
所有者区分(堤)	行政	所有者(池敷)	国	
型式:形式(1)	ゾーン型(傾斜遮水ゾーン型)	形式(2)	谷池	
止水材料	土(砂質土)	その他	-	
天端幅(m)	3	堤高(m)	10	
堤頂長(m)	240	総貯水量(千 m^3)	103	
法勾配:上流法面勾	1.5	下流法面勾配	1.8	
流域面積(km^2)	0.2	満水面積(km^2)	0.019	
かいがい受益面積(ha)	11	かんがい戸数(戸)	20	
洪水吐諸元:形式	側水路式	洪水吐諸元:材質	コンクリート	
洪水吐諸元:断面(高さ)	1.5	パイプの式の断面(径)		流下能力(m^3/s)
設計洪水量(m^3/s)		常時満水位から堤頂までの高さ(m)	0	
取水工諸元:形式	斜樋	取水工諸元:断面寸法	-	
底樋諸元:形式	HP管コンクリート巻立	底樋諸元:断面寸法	ϕ 800mm	
緊急放流施設の有無	有り	緊急放流施設数	1	
		被災歴	改修歴	
被災歴の有無	無し	被災年度		
復旧内容				
防災重点ため池選定状況		改修歴(1)改修年度	1970/1/1	
(1)改修内容	堤体、洪水吐、取水施設			
特定農業用ため池指定の有無	無し			

ため池台帳(概要)

名称	永谷裏池	所在地	大字永谷字向山303	データベース更新新年度
水系	ながたにうらいけ	行政コード	404020039	旧台帳の地区番号
型式		河川地域		JISコード
農政局		地形		座標
事業者		表層地域		
目的		事業費		着工年度
施設所有者			築造年代	
多目的利用			底地所有者	
管理者、管理者名称	鞍手町		将来の利用予定	
管理者住所	鞍手郡鞍手町大字中山3705		代表者(法人又は団体の場合)	鞍手町長 岡崎邦博
管理の内容	維持、修繕		管理者電話番号	0949-42-2111
市町村担当課			管理者の権限の種類	その他
都道府県担当部署			市町村電話番号	
			都道府県電話番号	地震強度区分
			諸元	
所有者(堤)	鞍手町		所有者住所(堤)	鞍手郡鞍手町大字中山3705
所有者区分(堤)	行政		所有者(池敷)	鞍手町
型式:形式(1)	ゾーン型(傾斜遮水ゾーン型)		形式(2)	谷池
止水材料	土(粘性土)		その他	-
天端幅(m)	4		堤高(m)	5
堤頂長(m)	68		総貯水量(千 m^3)	63
法勾配:上流法面勾	1.5		下流法面勾配	2
流域面積(km^2)	0.8		満水面積(km^2)	0.01
かいがい受益面積(ha)	31		かんがい戸数(戸)	30
洪水吐諸元:形式	側水路式		洪水吐諸元:材質	コンクリート
洪水吐諸元:断面(高さ)	4	洪水吐諸元:(幅)	パイプの式の断面(径)	
設計洪水量(m^3/s)		3	常時満水位から堤頂までの高さ(m)	0
取水工諸元:形式	斜樋		取水工諸元:断面寸法	-
底樋諸元:形式	HP管コンクリート巻立		底樋諸元:断面寸法	ポンプ場につながっている?
緊急放流施設の有無	有り		緊急放流施設数	1
			被災歴	改修歴
被災歴の有無	無し		被災年度	
復旧内容				
防災重点ため池選定状況			改修歴(1)改修年度	1975/1/1
(1)改修内容	堤体、洪水吐、取水施設			
特定農業用ため池指定の有無	無し			

ため池台帳(概要)

名称	濁池	所在地	大字中山字濁93-1 外	データベース更新新年度
	にごりいけ	行政コード	404020040	旧台帳の地区番号
水系		河川地域		JISコード
型式		地形		座標
農政局		表層地域		
事業者		管区		
目的		事業費		着工年度
施設所有者			築造年代	
多目的利用			底地所有者	
管理者、管理者名称	鞍手町		将来の利用予定	
管理者住所	鞍手郡鞍手町大字中山3705		代表者(法人又は団体の場合)	鞍手町長 岡崎邦博
管理の内容	維持、修繕		管理者電話番号	0949-42-2111
市町村担当課			管理者の権限の種類	その他
都道府県担当部署			市町村電話番号	
			都道府県電話番号	地震強度区分
			諸元	
所有者(堤)	鞍手町 外		所有者住所(堤)	鞍手郡鞍手町大字中山3705
所有者区分(堤)	行政		所有者(池敷)	鞍手町
型式:形式(1)	ゾーン型(傾斜遮水ゾーン型)		形式(2)	谷池
止水材料	土(粘性土)		その他	-
天端幅(m)	8		堤高(m)	9.5
堤頂長(m)	226		総貯水量(千 m^3)	150
法勾配:上流法面勾	1.5		下流法面勾配	2
流域面積(km^2)	0.32		満水面積(km^2)	0.028
かいがい受益面積(ha)	37		かんがい戸数(戸)	40
洪水吐諸元:形式	側水路式		洪水吐諸元:材質	コンクリート
洪水吐諸元:断面(高さ)	1	洪水吐諸元:(幅)	パイプの式の断面(径)	
				流下能力(m^3/s)
設計洪水量(m^3/s)			常時満水位から堤頂までの高さ(m)	0
取水工諸元:形式	取水塔		取水工諸元:断面寸法	斜樋管 ϕ 200
底樋諸元:形式	HP管コンクリート巻立		底樋諸元:断面寸法	ϕ 800mm
緊急放流施設の有無	有り		緊急放流施設数	1
			被災歴	改修歴
被災歴の有無	無し		被災年度	
復旧内容				
防災重点ため池選定状況			改修歴(1)改修年度	1964/1/1
(1)改修内容	-			
特定農業用ため池指定の有無	無し		特定農業用ため池の指定年月日	

ため池台帳(概要)

名称	金木原池	所在地	大字中山字大正寺1-51 外	データベース更新新年度
	かなざはらいけ	行政コード	404020041	旧台帳の地区番号
水系		河川地域		JISコード
型式		地形		座標
農政局		表層地域		
事業者		管区		
目的		事業費		着工年度
施設所有者			築造年代	
多目的利用			底地所有者	
管理者、管理者名称	鞍手町		将来の利用予定	
管理者住所	鞍手郡鞍手町大字中山3705		代表者(法人又は団体の場合)	鞍手町長 岡崎邦博
管理の内容	維持、修繕		管理者電話番号	0949-42-2111
市町村担当課			管理者の権限の種類	委任
都道府県担当部署			市町村電話番号	
			都道府県電話番号	地震強度区分
			諸元	
所有者(堤)	鞍手町 外		所有者住所(堤)	鞍手郡鞍手町大字中山2354 外
所有者区分(堤)	個人		所有者(池敷)	鞍手町
型式:形式(1)	ゾーン型(傾斜遮水ゾーン型)		形式(2)	皿池
止水材料	土(砂質土)		その他	-
天端幅(m)	11		堤高(m)	10.5
堤頂長(m)	88.5		総貯水量(千m ³)	103.3
法勾配:上流法面勾	2.1		下流法面勾配	2.1
流域面積(km ²)	0.15		満水面積(km ²)	0.038
かいがい受益面積(H)	83		かんがい戸数(戸)	80
洪水吐諸元:形式	越流堰式		洪水吐諸元:材質	コンクリート
洪水吐諸元:断面(高さ)	1	洪水吐諸元:(幅)	パイプの式の断面(径)	
設計洪水量(m ³ /s)			常時満水位から堤頂までの高さ(m)	0
取水工諸元:形式	斜樋		取水工諸元:断面寸法	-
底樋諸元:形式	HP管コンクリート巻立		底樋諸元:断面寸法	-
緊急放流施設の有無	有り		緊急放流施設数	1
			被災歴	改修歴
被災歴の有無	無し		被災年度	
復旧内容				
防災重点ため池選定状況			改修歴(1)改修年度	1993/1/1
(1)改修内容	堤体形式:前刃金型フィルダム、取水設備型式 斜樋φ100×6、φ100×1			
特定農業用ため池指定の有無	有り		特定農業用ため池の指定年月日	43962

ため池台帳(概要)

名称	大竜池	所在地	大字新延字大竜1012	データベース更新新年度
水系	おおりゆういけ	行政コード	404020042	旧台帳の地区番号
型式		河川地域		JISコード
農政局		地形		座標
事業者		表層地域		
目的		事業費		着工年度
施設所有者		築造年代		
多目的利用		底地所有者		
管理者、管理者名称	鞍手町	将来の利用予定		
管理者住所	鞍手郡鞍手町大字中山3705	代表者(法人又は団体の場合)	鞍手町長 岡崎邦博	管理者区分
管理の内容	維持、修繕	管理者の権限の種類	その他	行政
市町村担当課		市町村電話番号		
都道府県担当部署		都道府県電話番号		地震強度区分
堤 体 諸 元				
所有者(堤)	鞍手町	所有者住所(堤)	鞍手郡鞍手町大字中山3705	
所有者区分(堤)	行政	所有者(池敷)	鞍手町	
型式:形式(1)	ゾーン型(傾斜遮水ゾーン型)	形式(2)	谷池	
止水材料	土(粘性土)	その他	-	
天端幅(m)	4	堤高(m)	9.5	
堤頂長(m)	130	総貯水量(千 m^3)	15	
法勾配:上流法面勾	2.1	下流法面勾配	2	
流域面積(km^2)	0.06	満水面積(km^2)	0.0025	
かいがい受益面積(ha)	3	かんがい戸数(戸)	5	
洪水吐諸元:形式	越流堰式	洪水吐諸元:材質	コンクリート	
洪水吐諸元:断面(高さ)	1.5	パイプの式の場合の断面(径)		流下能力(m^3/s)
設計洪水量(m^3/s)		常時満水位から堤頂までの高さ(m)	0	
取水工諸元:形式	斜樋	取水工諸元:断面寸法	-	
底樋諸元:形式	HP管コンクリート巻立	底樋諸元:断面寸法	ϕ 600mm	
緊急放流施設の有無	有り	緊急放流施設数	1	
被 災 歴				
被災歴の有無	無し	被災年度		
復旧内容				
防災重点ため池選定状況		改修歴(1)改修年度	1994/1/1	
(1)改修内容	堤体形式—中心コア—型フィルダム、余水吐—直線越流式、取水施設—斜樋方式、底樋管— ϕ 600			
特定農業用ため池指定の有無	無し	特定農業用ため池の指定年月日		

ため池台帳(概要)

名称	宮ノ谷池	所在地	大字新延字宮ノ谷722-1 外	データベース更新新年度
水系	みやのたにいけ	行政コード	404020043	旧台帳の地区番号
型式		河川地域		JISコード
農政局		地形		座標
事業者		表層地域		
目的		事業費		
施設所有者		築造年代	着工年度	
多目的利用		底地所有者		
管理者、管理者名称	鞍手町	将来の利用予定		
管理者住所	鞍手郡鞍手町大字中山3705	代表者(法人又は団体の場合)	鞍手町長 岡崎邦博	
管理の内容	維持、修繕	管理者電話番号	0949-42-2111	管理者区分
市町村担当課		管理者の権限の種類	その他	
都道府県担当部署		市町村電話番号		
		都道府県電話番号		地震強度区分
		堤 体 諸 元		
所有者(堤)	鞍手町	所有者住所(堤)	鞍手郡鞍手町大字中山3705	
所有者区分(堤)	行政	所有者(池敷)	鞍手町	
型式:形式(1)	ゾーン型(傾斜遮水ゾーン型)	形式(2)	谷池	
止水材料	土(粘性土)	その他	-	
天端幅(m)	2.5	堤高(m)	5.5	
堤頂長(m)	90	総貯水量(千 m^3)	49	
法勾配:上流法面勾	2	下流法面勾配	2	
流域面積(km^2)	0.04	満水面積(km^2)	0.012	
かいがい受益面積(ha)	7	かんがい戸数(戸)	10	
洪水吐諸元:形式	越流堰式	洪水吐諸元:材質	コンクリート	
洪水吐諸元:断面(高さ)	1	パイプの式の場合の断面(径)		流下能力(m^3/s)
設計洪水量(m^3/s)		常時満水位から堤頂までの高さ(m)	0	
取水工諸元:形式	斜樋	取水工諸元:断面寸法	斜樋管 ϕ 250	
底樋諸元:形式	HP管コンクリート巻立	底樋諸元:断面寸法	ϕ 600mm	
緊急放流施設の有無	有り	緊急放流施設数	1	
被災歴の有無	無し	被災歴	改 修 歴	
復旧内容		被災年度		
防災重点ため池選定状況		改修歴(1)改修年度	1970/1/1	
(1)改修内容	堤体、洪水吐、取水施設			
特定農業用ため池指定の有無	無し			

ため池台帳(概要)

名称	碓池	所在地	大字新延1575-1 外	データベース更新新年度
水系	いかりいけ	行政コード	404020044	旧台帳の地区番号
型式		河川地域		JISコード
農政局		地形		座標
事業者		管区		
目的		事業費		着工年度
施設所有者		築造年代		
多目的利用		底地所有者		
管理者、管理者名称	鞍手町	将来の利用予定		
管理者住所	鞍手郡鞍手町大字中山3705	代表者(法人又は団体の場合)	鞍手町長 岡崎邦博	行政
管理の内容	維持、修繕	管理者電話番号	0949-42-2111	管理者区分
市町村担当課		管理者の権限の種類	その他	
都道府県担当部署		市町村電話番号		
		都道府県電話番号		地震強度区分
堤 体 諸 元				
所有者(堤)	鞍手町 外	所有者住所(堤)	鞍手郡鞍手町大字中山3705	
所有者区分(堤)	行政	所有者(池敷)	市町村	
型式:形式(1)	表面遮水壁型	形式(2)	皿池	
止水材料	土(砂質土)	その他	-	
天端幅(m)	3.5	堤高(m)	6.5	
堤頂長(m)	7	総貯水量(千m ³)	81	
法勾配:上流法面勾	2	下流法面勾配	2	
流域面積(km ²)	0.04	満水面積(km ²)	0.015	
かいがい受益面積(h)	16	かんがい戸数(戸)	20	
洪水吐諸元:形式	側水路型	洪水吐諸元:材質	コンクリート	
洪水吐諸元:断面(高さ)	0.8	パイプの式の場合の断面(径)		流下能力(m ³ /s)
設計洪水量(m ³ /s)		常時満水位から堤頂までの高さ(m)	0	
取水工諸元:形式	取水塔	取水工諸元:断面寸法	-	
底樋諸元:形式	HP管コンクリート巻立	底樋諸元:断面寸法	-	
緊急放流施設の有無	有り	緊急放流施設数	1	
被 災 歴				
被災歴の有無	無し	被災年度		
復旧内容				
防災重点ため池選定状況		改修歴(1)改修年度	1980/1/1	
(1)改修内容	堤体、洪水吐、取水施設			
特定農業用ため池指定の有無	無し			

ため池台帳(概要)

名称	一ノ谷池	所在地	大字新延字一ノ谷1608	データベース更新新年度
	いちのたにいけ	行政コード	404020045	旧台帳の地区番号
水系		河川地域		
型式		地形	JISコード	
農政局		表層地域	座標	
事業者		管区		
目的		事業費	着工年度	
施設所有者			築造年代	
多目的利用			底地所有者	
管理者、管理者名称	鞍手町		将来の利用予定	
管理者住所	鞍手郡鞍手町大字中山3705		代表者(法人又は団体の場合)	鞍手町長 岡崎邦博
管理の内容	維持、修繕		管理者電話番号	0949-42-2111
市町村担当課			管理者の権限の種類	その他
都道府県担当部署			市町村電話番号	
			都道府県電話番号	地震強度区分
			諸元	
所有者(堤)	鞍手町		所有者住所(堤)	鞍手郡鞍手町大字中山3705
所有者区分(堤)	行政		所有者(池敷)	鞍手町
型式:形式(1)	ゾーン型(傾斜遮水ゾーン型)		形式(2)	谷池
止水材料	土(粘性土)		その他	重ね池
天端幅(m)	4		堤高(m)	7.4
堤頂長(m)	80		総貯水量(千 m^3)	18
法勾配:上流法面勾	1.5		下流法面勾配	2.3
流域面積(km^2)	0.3		満水面積(km^2)	0.009
かいがい受益面積(ha)	21		かんがい戸数(戸)	20
洪水吐諸元:形式	側水路式		洪水吐諸元:材質	コンクリート
洪水吐諸元:断面(高さ)	1.1	洪水吐諸元:(幅)	パイプの式の断面(径)	
設計洪水量(m^3/s)			常時満水位から堤頂までの高さ(m)	0
取水工諸元:形式	斜樋		取水工諸元:断面寸法	-
底樋諸元:形式	HP管コンクリート巻立		底樋諸元:断面寸法	ϕ 600mm
緊急放流施設の有無	有り		緊急放流施設数	1
			被災歴	改修歴
被災歴の有無	無し		被災年度	
復旧内容				
防災重点ため池選定状況			改修歴(1)改修年度	1975/1/1
(1)改修内容	堤体、洪水吐、取水施設			
特定農業用ため池指定の有無	無し			

ため池台帳(概要)

名称	野田池	所在地	大字新延字野田1280 外	データベース更新新年度
	のだいけ	行政コード	404020046	旧台帳の地区番号
水系		河川地域		JISコード
型式		地形		座標
農政局		表層地域		
事業者		管区		
目的		事業費		着工年度
施設所有者			築造年代	
多目的利用			底地所有者	
管理者、管理者名称	鞍手町		将来の利用予定	
管理者住所	鞍手郡鞍手町大字中山3705		代表者(法人又は団体の場合)	鞍手町長 岡崎邦博
管理の内容	維持、修繕		管理者電話番号	0949-42-2111
市町村担当課			管理者の権限の種類	その他
都道府県担当部署			市町村電話番号	
			都道府県電話番号	地震強度区分
			諸元	
所有者(堤)	鞍手町 外	所有者住所(堤)	鞍手郡鞍手町大字中山3705	
所有者区分(堤)	行政	所有者(池敷)	国	
型式:形式(1)	ゾーン型(傾斜遮水ゾーン型)	形式(2)	谷池	
止水材料	土(粘性土)	その他	-	
天端幅(m)	4	堤高(m)	11.5	
堤頂長(m)	75	総貯水量(千m ³)	19	
法勾配:上流法面勾	2.1	下流法面勾配	2	
流域面積(km ²)	0.04	満水面積(km ²)	0.004	
かいがい受益面積(h ²)	2	かんがい戸数(戸)	5	
洪水吐諸元:形式	越流堰式	洪水吐諸元:材質	コンクリート	
洪水吐諸元:断面(高さ)	1.4	パイプの式の断面(径)		流下能力(m ³ /s)
設計洪水量(m ³ /s)		常時満水位から堤頂までの高さ(m)	0	
取水工諸元:形式	斜樋	取水工諸元:断面寸法	-	
底樋諸元:形式	HP管コンクリート巻立	底樋諸元:断面寸法	φ600mm	
緊急放流施設の有無	有り	緊急放流施設数	1	
		被災歴	改修歴	
被災歴の有無	無し	被災年度		
復旧内容				
防災重点ため池選定状況		改修歴(1)改修年度	1992/1/1	
(1)改修内容	堤体:前刃金型フィルダム 基礎処理-カーテンングラウト、洪水吐型式:越流堰式、取水設備:斜樋式(取水孔-溜池栓φ100、土砂吐600×600スルースゲート、底樋-コンクリート全巻φ600)			
特定農業用ため池指定の有無	無し	特定農業用ため池の指定年月日		

ため池台帳(概要)

名称	榑谷池	所在地	大字室木字榑谷50 外	データベース更新新年度
水系	つばきだにいけ	行政コード	404020047	旧台帳の地区番号
型式		河川地域		JISコード
農政局		地形		座標
事業者		管区		
目的		事業費		着工年度
施設所有者			築造年代	
多目的利用			底地所有者	
管理者、管理者名称	鞍手町		将来の利用予定	
管理者住所	鞍手郡鞍手町大字中山3705		代表者(法人又は団体の場合)	鞍手町長 岡崎邦博
管理の内容	維持、修繕		管理者電話番号	0949-42-2111
市町村担当課			管理者の権限の種類	その他
都道府県担当部署			市町村電話番号	
			都道府県電話番号	地震強度区分
			諸元	
所有者(堤)	鞍手町	所有者住所(堤)	鞍手郡鞍手町大字中山3705	
所有者区分(堤)	行政	所有者(池敷)	国	
型式:形式(1)	ゾーン型(傾斜遮水ゾーン型)	形式(2)	谷池	
止水材料	土(粘性土)	その他	-	
天端幅(m)	4.5	堤高(m)	11.5	
堤頂長(m)	80	総貯水量(千 m^3)	20	
法勾配:上流法面勾	2.5	下流法面勾配	2.5	
流域面積(km^2)	0.27	満水面積(km^2)	0.018	
かいがい受益面積(ha)	7	かんがい戸数(戸)	10	
洪水吐諸元:形式	側水路式	洪水吐諸元:材質	コンクリート	
洪水吐諸元:断面(高さ)	2.6	パイプの式の断面(径)		流下能力(m^3/s)
設計洪水量(m^3/s)		常時満水位から堤頂までの高さ(m)	0	
取水工諸元:形式	斜樋	取水工諸元:断面寸法	-	
底樋諸元:形式	HP管コンクリート巻立	底樋諸元:断面寸法	-	
緊急放流施設の有無	有り	緊急放流施設数	1	
		被災歴	改修歴	
被災歴の有無	無し	被災年度		
復旧内容				
防災重点ため池選定状況		改修歴(1)改修年度	1984/1/1	
(1)改修内容	堤体一前刃金型、洪水吐一越流式、取水施設一斜樋			
特定農業用ため池指定の有無	無し	特定農業用ため池の指定年月日		

ため池台帳(概要)

名称	谷山池	所在地	大字室木字谷山205-6 外	データベース更新新年度
	たにやまいけ	行政コード	404020048	旧台帳の地区番号
水系		河川地域		
型式		地形	JISコード	
農政局		表層地域	座標	
事業者		管区		
目的		事業費	着工年度	
施設所有者			築造年代	
多目的利用			底地所有者	
管理者、管理者名称	鞍手町		将来の利用予定	
管理者住所	鞍手郡鞍手町大字中山3705		代表者(法人又は団体の場合)	鞍手町長 岡崎邦博
管理の内容	維持、修繕		管理者電話番号	0949-42-2111
市町村担当課			管理者の権限の種類	その他
都道府県担当部署			市町村電話番号	
			都道府県電話番号	地震強度区分
			諸元	
所有者(堤)	鞍手町		所有者住所(堤)	鞍手郡鞍手町大字中山3705
所有者区分(堤)	行政		所有者(池敷)	国
型式:形式(1)	ゾーン型(傾斜遮水ゾーン型)		形式(2)	谷池
止水材料	土(砂質土)		その他	-
天端幅(m)	6		堤高(m)	23.9
堤頂長(m)	224		総貯水量(千 m^3)	305
法勾配:上流法面勾	2.3		下流法面勾配	1.8
流域面積(km^2)	0.32		満水面積(km^2)	0.04
かいがい受益面積(ha)	31		かんがい戸数(戸)	20
洪水吐諸元:形式	側水路式		洪水吐諸元:材質	コンクリート
洪水吐諸元:断面(高さ)	2.2	洪水吐諸元:(幅)	パイプの式の断面(径)	
		4	常時満水位から堤頂までの高さ(m)	0
設計洪水量(m^3/s)			取水工諸元:断面寸法	-
取水工諸元:形式	斜樋		底樋諸元:断面寸法	-
底樋諸元:形式	HP管コンクリート巻立		緊急放流施設の有無	1
緊急放流施設の有無	有り		被災歴	改修歴
被災歴の有無	無し		被災年度	
復旧内容			改修歴(1)改修年度	1980/1/1
防災重点ため池選定状況			(1)改修内容	堤体、型式:中央コア型ロックフィルダム 洪水吐 取水施設
特定農業用ため池指定の有無	無し		特定農業用ため池指定の年月日	

ため池台帳(概要)

名称	百立池	所在地	大字八尋字百立1329-23 外	データベース更新新年度
	ももだちいけ	行政コード	404020049	旧台帳の地区番号
水系		河川地域		
型式		地形	JISコード	
農政局		表層地域	座標	
事業者		管区		
目的		事業費	着工年度	
施設所有者			築造年代	
多目的利用			底地所有者	
管理者、管理者名称	鞍手町		将来の利用予定	
管理者住所	鞍手郡鞍手町大字中山3705		代表者(法人又は団体の場合)	鞍手町長 岡崎邦博
管理の内容	維持、修繕		管理者電話番号	0949-42-2111
市町村担当課			管理者の権限の種類	その他
都道府県担当部署			市町村電話番号	
			都道府県電話番号	地震強度区分
			諸元	
所有者(堤)	鞍手町		所有者住所(堤)	鞍手郡鞍手町大字中山3705
所有者区分(堤)	行政		所有者(池敷)	国
型式:形式(1)	ゾーン型(傾斜遮水ゾーン型)		形式(2)	谷池
止水材料	土(粘性土)		その他	-
天端幅(m)	4		堤高(m)	7
堤頂長(m)	104		総貯水量(千 m^3)	16
法勾配:上流法面勾	2.3		下流法面勾配	2
流域面積(km^2)	0.29		満水面積(km^2)	0.006
かいがい受益面積(ha)	9		かんがい戸数(戸)	15
洪水吐諸元:形式	側水路式		洪水吐諸元:材質	コンクリート
洪水吐諸元:断面(高さ)	2.3	洪水吐諸元:(幅)	パイプの式の断面(径)	
設計洪水量(m^3/s)			常時満水位から堤頂までの高さ(m)	0
取水工諸元:形式	斜樋		取水工諸元:断面寸法	-
底樋諸元:形式	HP管コンクリート巻立		底樋諸元:断面寸法	ϕ 1000mm
緊急放流施設の有無	有り		緊急放流施設数	1
			被災歴	改修歴
被災歴の有無	無し		被災年度	
復旧内容				
防災重点ため池選定状況			改修歴(1)改修年度	1980/1/1
(1)改修内容	堤体一前刃金型、洪水吐一越流式、取水施設一斜樋 ϕ 250、単軸スルーステージト手動			
特定農業用ため池指定の有無	無し		特定農業用ため池の指定年月日	

ため池台帳(概要)

名称	入生池	所在地	大字新北字入生浦445 外	データベース更新新年度
水系	いりゅういけ	行政コード	404020050	旧台帳の地区番号
型式		河川地域		JISコード
農政局		地形		座標
事業者		管区		
目的		事業費		着工年度
施設所有者		築造年代		
多目的利用		底地所有者		
管理者、管理者名称	鞍手町	将来の利用予定		
管理者住所	鞍手郡鞍手町大字中山3705	代表者(法人又は団体の場合)	鞍手町長 岡崎邦博	管理者区分
管理の内容	維持、修繕	管理者の権限の種類	委任	行政
市町村担当課		市町村電話番号		
都道府県担当部署		都道府県電話番号		地震強度区分
堤 体 諸 元				
所有者(堤)		所有者住所(堤)	不明 外	
所有者区分(堤)		所有者(池敷)	鞍手町	
型式:形式(1)	ゾーン型(傾斜遮水ゾーン型)	形式(2)	谷池	
止水材料	土(粘性土)	その他	-	
天端幅(m)	3.5	堤高(m)	7.5	
堤頂長(m)	129.5	総貯水量(千 m^3)	41	
法勾配:上流法面勾	2.2	下流法面勾配	2	
流域面積(km^2)	0.19	満水面積(km^2)	0.009	
かいがい受益面積(ha)	7	かんがい戸数(戸)	15	
洪水吐諸元:形式	側水路式	洪水吐諸元:材質	コンクリート	
洪水吐諸元:断面(高さ)	2.1	パイプの式の場合の断面(径)		流下能力(m^3/s)
設計洪水量(m^3/s)		常時満水位から堤頂までの高さ(m)	0	
取水工諸元:形式	斜樋	取水工諸元:断面寸法	-	
底樋諸元:形式	HP管コンクリート巻立	底樋諸元:断面寸法	ϕ 600mm	
緊急放流施設の有無	有り	緊急放流施設数	1	
被 災 歴				
被災歴の有無	無し	被災年度		
復旧内容				
防災重点ため池選定状況		改修歴(1)改修年度	1986/1/1	
(1)改修内容	堤体一前刃金型、余水吐一越流式、取水施設一斜樋(1号取水施設 ϕ 300、2号取水施設 ϕ 200)			
特定農業用ため池指定の有無	有り	特定農業用ため池の指定年月日	43962	

ため池台帳(概要)

名称	狸坂池	所在地	大字古門字狸坂1182 外	データベース更新新年度
	たぬざいかいけ	行政コード	404020051	旧台帳の地区番号
水系		河川地域		
型式		地形	JISコード	
農政局		表層地域	座標	
事業者		管区		
目的		事業費	着工年度	
施設所有者			築造年代	
多目的利用			底地所有者	
管理者、管理者名称	鞍手町		将来の利用予定	
管理者住所	鞍手郡鞍手町大字中山3705		代表者(法人又は団体の場合)	鞍手町長 岡崎邦博
管理の内容	維持、修繕		管理者電話番号	0949-42-2111
市町村担当課			管理者の権限の種類	その他
都道府県担当部署			市町村電話番号	
			都道府県電話番号	地震強度区分
			諸元	
所有者(堤)	鞍手町 外	所有者住所(堤)	鞍手郡鞍手町大字中山3705	
所有者区分(堤)	行政	所有者(池敷)	国	
型式:形式(1)	ゾーン型(傾斜遮水ゾーン型)	形式(2)	谷池	
止水材料	土(粘性土)	その他	-	
天端幅(m)	1.5	堤高(m)	3	
堤頂長(m)	80	総貯水量(千m ³)	4	
法勾配:上流法面勾	1.5	下流法面勾配	1.5	
流域面積(km ²)	0.03	満水面積(km ²)	0.001	
かいがい受益面積(h)	3	かんがい戸数(戸)	10	
洪水吐諸元:形式	側水路式	洪水吐諸元:材質	コンクリート	
洪水吐諸元:断面(高さ)	0.3	パイプの式の場合の断面(径)		流下能力(m ³ /s)
設計洪水量(m ³ /s)		常時満水位から堤頂までの高さ(m)	0	
取水工諸元:形式	斜樋	取水工諸元:断面寸法	-	
底樋諸元:形式	-	底樋諸元:断面寸法	-	
緊急放流施設の有無	有り	緊急放流施設数	1	
		被災歴	改修歴	
被災歴の有無	無し	被災年度		
復旧内容				
防災重点ため池選定状況		改修歴(1)改修年度		
(1)改修内容	-			
特定農業用ため池指定の有無	無し	特定農業用ため池の指定年月日		

ため池台帳(概要)

名称	西山池	所在地	大字古門字大久保1294-1	データベース更新新年度
水系	にしやまいけ	行政コード	404020052	旧台帳の地区番号
型式		河川地域		JISコード
農政局		地形		座標
事業者		管区		
目的		事業費		着工年度
施設所有者		築造年代		
多目的利用		底地所有者		
管理者、管理者名称	鞍手町	将来の利用予定		
管理者住所	鞍手郡鞍手町大字中山3705	代表者(法人又は団体の場合)	鞍手町長 岡崎邦博	
管理の内容	維持、修繕	管理者電話番号	0949-42-2111	管理者区分
市町村担当課		管理者の権限の種類	その他	
都道府県担当部署		市町村電話番号		
		都道府県電話番号		地震強度区分
		堤 体 諸 元		
所有者(堤)		所有者住所(堤)	-	
所有者区分(堤)		所有者(池敷)	国	
型式:形式(1)	均一型	形式(2)	谷池	
止水材料	土(粘性土)	その他	-	
天端幅(m)	1.5	堤高(m)	4	
堤頂長(m)	60	総貯水量(千m ³)	3	
法勾配:上流法面勾	1.5	下流法面勾配	1.8	
流域面積(km ²)	0.05	満水面積(km ²)	0.001	
かいがい受益面積(ha)	6	かんがい戸数(戸)	10	
洪水吐諸元:形式	側水路式	洪水吐諸元:材質	コンクリート	
洪水吐諸元:断面(高さ)	0.3	パイプの式の場合の断面(径)		流下能力(m ³ /s)
設計洪水量(m ³ /s)		常時満水位から堤頂までの高さ(m)	0	
取水工諸元:形式	その他	取水工諸元:断面寸法	-	
底樋諸元:形式	HP管コンクリート巻立	底樋諸元:断面寸法	φ200mm	
緊急放流施設の有無	有り	緊急放流施設数	1	
		被災歴		
被災歴の有無	無し	被災年度		
復旧内容				
防災重点ため池選定状況		改修歴(1)改修年度		
(1)改修内容	-			
特定農業用ため池指定の有無	無し	特定農業用ため池の指定年月日		

ため池台帳(概要)

名称	打木原池	所在地	大字木月字長穀2168	データベース更新新年度
水系	まつぐまいけ	行政コード	404020053	旧台帳の地区番号
型式		河川地域		JISコード
農政局		地形		座標
事業者		管区		
目的		事業費		着工年度
施設所有者		築造年代		
多目的利用		底地所有者		
管理者、管理者名称	鞍手町	将来の利用予定		
管理者住所	鞍手郡鞍手町大字中山3705	代表者(法人又は団体の場合)	鞍手町長 岡崎邦博	
管理の内容	維持、修繕	管理者電話番号	0949-42-2111	管理者区分
市町村担当課		管理者の権限の種類	その他	
都道府県担当部署		市町村電話番号		
		都道府県電話番号		地震強度区分
		堤 体 諸 元		
所有者(堤)		所有者住所(堤)	-	
所有者区分(堤)		所有者(池敷)	国	
型式:形式(1)	ゾーン型(傾斜遮水ゾーン型)	形式(2)	谷池	
止水材料	土(粘性土)	その他	-	
天端幅(m)	2	堤高(m)	2.2	
堤頂長(m)	50	総貯水量(千 m^3)	2	
法勾配:上流法面勾	1.5	下流法面勾配	1.5	
流域面積(km^2)	0.02	満水面積(km^2)	0.001	
かいがい受益面積(ha)	2	かんがい戸数(戸)	5	
洪水吐諸元:形式	側水路式	洪水吐諸元:材質	コンクリート	
洪水吐諸元:断面(高さ)	0.9	パイプの式の場合の断面(径)		流下能力(m^3/s)
設計洪水量(m^3/s)		常時満水位から堤頂までの高さ(m)	0	
取水工諸元:形式	取水塔	取水工諸元:断面寸法	-	
底樋諸元:形式	HP管コンクリート巻立	底樋諸元:断面寸法	ϕ 300mm	
緊急放流施設の有無	有り	緊急放流施設数	1	
		被災歴	改 修 歴	
被災歴の有無	無し	被災年度		
復旧内容				
防災重点ため池選定状況		改修歴(1)改修年度		
(1)改修内容	-			
特定農業用ため池指定の有無	無し	特定農業用ため池の指定年月日		

ため池台帳(概要)

名称	打木原池	所在地	大字古門字打木原1992 外	データベース更新新年度
	うつきばるいけ	行政コード	404020055	旧台帳の地区番号
水系		河川地域		
型式		地形	JISコード	
農政局		表層地域	座標	
事業者		管区		
目的		事業費	着工年度	
施設所有者			築造年代	
多目的利用			底地所有者	
管理者、管理者名称	鞍手町		将来の利用予定	
管理者住所	鞍手郡鞍手町大字中山3705		代表者(法人又は団体の場合)	鞍手町長 岡崎邦博
管理の内容	維持、修繕		管理者電話番号	0949-42-2111
市町村担当課			管理者の権限の種類	その他
都道府県担当部署			市町村電話番号	
			都道府県電話番号	地震強度区分
堤 体 諸 元				
所有者(堤)		官有地	-	
所有者区分(堤)		行政	国	
型式:形式(1)	ゾーン型(傾斜遮水ゾーン型)		谷池	
止水材料	土(粘性土)		-	
天端幅(m)	2		堤高(m)	4
堤頂長(m)	60		総貯水量(千 m^3)	2
法勾配:上流法面勾	1.5		下流法面勾配	1.8
流域面積(km^2)	0.15		満水面積(km^2)	0.003
かいがい受益面積(ha)	10		かんがい戸数(戸)	20
洪水吐諸元:形式	側水路式		洪水吐諸元:材質	コンクリート
洪水吐諸元:断面(高さ)	0.6	洪水吐諸元:(幅)	0.7	パイプの式の場合の断面(径)
設計洪水量(m^3/s)				常時満水位から堤頂までの高さ(m)
取水工諸元:形式	斜樋			取水工諸元:断面寸法
底樋諸元:形式	HP管コンクリート巻立			底樋諸元:断面寸法
緊急放流施設の有無	有り			緊急放流施設数
被 災 歴				
被災歴の有無	無し			被災年度
復旧内容				
防災重点ため池選定状況				改修歴(1)改修年度
(1)改修内容	-			
特定農業用ため池指定の有無	無し			特定農業用ため池の指定年月日

ため池台帳(概要)

名称	下宮下池	所在地	大字中山字尾登1349	データベース更新新年度
	げぐうしもいけ	行政コード	404020056	旧台帳の地区番号
水系		河川地域		JISコード
型式		地形		座標
農政局		表層地域		
事業者		管区		
目的		事業費		着工年度
施設所有者		築造年代		
多目的利用		底地所有者		
管理者、管理者名称	鞍手町	将来の利用予定		
管理者住所	鞍手郡鞍手町大字中山3705	代表者(法人又は団体の場合)	鞍手町長 岡崎邦博	管理者区分
管理の内容	維持、修繕	管理者電話番号	0949-42-2111	行政
市町村担当課		管理者の権限の種類	委任	
都道府県担当部署		市町村電話番号		
		都道府県電話番号		地震強度区分
		堤 体 諸 元		
所有者(堤)	大字中山	所有者住所(堤)	不明	
所有者区分(堤)	集落	所有者(池敷)	鞍手町	
型式:形式(1)	ゾーン型(傾斜遮水ゾーン型)	形式(2)	谷池	
止水材料	土(粘性土)	その他	重ね池	
天端幅(m)	2.5	堤高(m)	2	
堤頂長(m)	80	総貯水量(千m ³)	2.5	
法勾配:上流法面勾	1.5	下流法面勾配	1.5	
流域面積(km ²)	0.1	満水面積(km ²)	0.001	
かいがい受益面積(ha)	4	かんがい戸数(戸)	20	
洪水吐諸元:形式	越流堰式	洪水吐諸元:材質	コンクリート	
洪水吐諸元:断面(高さ)	0.8	パイプの式の場合の断面(径)		流下能力(m ³ /s)
設計洪水量(m ³ /s)		常時満水位から堤頂までの高さ(m)	0	
取水工諸元:形式	取水塔	取水工諸元:断面寸法	-	
底樋諸元:形式	HP管コンクリート巻立	底樋諸元:断面寸法	φ150mm	
緊急放流施設の有無	有り	緊急放流施設数	1	
		被災歴	改修歴	
被災歴の有無	無し	被災年度		
復旧内容				
防災重点ため池選定状況		改修歴(1)改修年度		
(1)改修内容	-			
特定農業用ため池指定の有無	有り	特定農業用ため池の指定年月日	43962	

ため池台帳(概要)

名称	辰ヶ下池	所在地	大字長谷字辰ヶ下607	データベース更新新年度
	たつがしいけ	行政コード	404020059	旧台帳の地区番号
水系		河川地域		
型式		地形	JISコード	
農政局		表層地域	座標	
事業者		管区		
目的		事業費	着工年度	
施設所有者		築造年代		
多目的利用		底地所有者		
管理者、管理者名称	鞍手町	将来の利用予定		
管理者住所	鞍手郡鞍手町大字中山3705	代表者(法人又は団体の場合)	鞍手町長 岡崎邦博	
管理の内容	維持、修繕	管理者電話番号	0949-42-2111	管理者区分
市町村担当課		管理者の権限の種類	その他	
都道府県担当部署		市町村電話番号		
		都道府県電話番号		地震強度区分
		堤 体 諸 元		
所有者(堤)	鞍手町	所有者住所(堤)	鞍手郡鞍手町大字中山3705	
所有者区分(堤)	行政	所有者(池敷)	鞍手町	
型式:形式(1)	均一型	形式(2)	谷池	
止水材料	土(粘性土)	その他	-	
天端幅(m)	1.5	堤高(m)	2	
堤頂長(m)	20	総貯水量(千 m^3)	1	
法勾配:上流法面勾	1	下流法面勾配	1.7	
流域面積(km^2)	0.2	満水面積(km^2)	0.001	
かいがい受益面積(ha)	2	かんがい戸数(戸)	5	
洪水吐諸元:形式	側水路式	洪水吐諸元:材質	土	
洪水吐諸元:断面(高さ)	0.7	パイプの式の場合の断面(径)		流下能力(m^3/s)
設計洪水量(m^3/s)		常時満水位から堤頂までの高さ(m)	0	
取水工諸元:形式	取水塔	取水工諸元:断面寸法	-	
底樋諸元:形式	その他(土管)	底樋諸元:断面寸法	ϕ 300mm	
緊急放流施設の有無	有り	緊急放流施設数	1	
		被災歴	改 修 歴	
被災歴の有無	無し	被災年度		
復旧内容				
防災重点ため池選定状況		改修歴(1)改修年度		
(1)改修内容	-			
特定農業用ため池指定の有無	無し	特定農業用ため池の指定年月日		

ため池台帳(概要)

名称	重見池	所在地	無番地(大字中山字重見201-1付近)	データベース更新新年度
	しげみいけ	行政コード	404020060	旧台帳の地区番号
水系		河川地域		
型式		地形	JISコード	
農政局		表層地域	座標	
事業者		管区		
目的		事業費	着工年度	
施設所有者			築造年代	
多目的利用			底地所有者	
管理者、管理者名称	鞍手町		将来の利用予定	
管理者住所	鞍手郡鞍手町大字中山3705		代表者(法人又は団体の場合)	鞍手町長 岡崎邦博
管理の内容	維持、修繕		管理者電話番号	0949-42-2111
市町村担当課			管理者の権限の種類	その他
都道府県担当部署			市町村電話番号	
			都道府県電話番号	地震強度区分
			諸元	
所有者(堤)	鞍手町		所有者住所(堤)	鞍手郡鞍手町大字中山3705
所有者区分(堤)	行政		所有者(池敷)	0
型式:形式(1)	0		形式(2)	0
止水材料	0		その他	堀込池
天端幅(m)	0		堤高(m)	2.5
堤頂長(m)	20		総貯水量(千 m^3)	0.8
法勾配:上流法面勾	0		下流法面勾配	0
流域面積(km^2)	0		満水面積(km^2)	0
かいがい受益面積(ha)	0		かんがい戸数(戸)	0
洪水吐諸元:形式	0		洪水吐諸元:材質	0
洪水吐諸元:断面(高さ)	0		パイプの式の場合の断面(径)	
設計洪水量(m^3/s)			常時満水位から堤頂までの高さ(m)	0
取水工諸元:形式			取水工諸元:断面寸法	
底樋諸元:形式			底樋諸元:断面寸法	
緊急放流施設の有無	無し		緊急放流施設数	
			被災歴	
被災歴の有無	無し		被災年度	
復旧内容				
防災重点ため池選定状況			改修歴(1)改修年度	
(1)改修内容				
特定農業用ため池指定の有無	無し		特定農業用ため池の指定年月日	

ため池台帳(概要)

名称	大谷池	所在地	大字長谷大字大谷246	データベース更新新年度
水系	おおたにいけ	行政コード	404020061	旧台帳の地区番号
型式		河川地域		JISコード
農政局		地形		座標
事業者		表層地域		
目的		事業費		着工年度
施設所有者		築造年代		
多目的利用		底地所有者		
管理者、管理者名称	鞍手町	将来の利用予定		
管理者住所	鞍手郡鞍手町大字中山3705	代表者(法人又は団体の場合)	鞍手町長 岡崎邦博	行政
管理の内容	維持、修繕	管理者電話番号	0949-42-2111	管理者区分
市町村担当課		管理者の権限の種類	その他	
都道府県担当部署		市町村電話番号		
		都道府県電話番号		地震強度区分
		堤 体 諸 元		
所有者(堤)	鞍手町	所有者住所(堤)	鞍手郡鞍手町大字中山3705	
所有者区分(堤)	行政	所有者(池敷)	0	
型式:形式(1)	0	形式(2)	0	
止水材料	0	その他	0	
天端幅(m)	0	堤高(m)	2.5	
堤頂長(m)	27	総貯水量(千 m^3)	0.25	
法勾配:上流法面勾	0	下流法面勾配	0	
流域面積(km^2)	0	満水面積(km^2)	0	
かいがい受益面積(ha)	0	かんがい戸数(戸)	0	
洪水吐諸元:形式	0	洪水吐諸元:材質	0	
洪水吐諸元:断面(高さ)	0	パイプの式の場合の断面(径)		流下能力(m^3/s)
設計洪水量(m^3/s)		常時満水位から堤頂までの高さ(m)	0	
取水工諸元:形式		取水工諸元:断面寸法		
底樋諸元:形式		底樋諸元:断面寸法		
緊急放流施設の有無	無し	緊急放流施設数		
		被災歴	改 修 歴	
被災歴の有無	無し	被災年度		
復旧内容				
防災重点ため池選定状況		改修歴(1)改修年度		
(1)改修内容				
特定農業用ため池指定の有無	無し	特定農業用ため池の指定年月日		

ため池台帳(概要)

名称	徳楽上池	所在地	大字八尋字徳楽75	データベース更新新年度
水系	とくらくかみいけ	行政コード	404020062	旧台帳の地区番号
型式		河川地域		JISコード
農政局		地形		座標
事業者		管区		
目的		事業費		着工年度
施設所有者		築造年代		
多目的利用		底地所有者		
管理者、管理者名称	鞍手町	将来の利用予定		
管理者住所	鞍手町大字中山3705	代表者(法人又は団体の場合)	岡崎邦博	
管理の内容	維持、修繕	管理者電話番号	0949-42-2111	管理者区分
市町村担当課		管理者の権限の種類	委任	
都道府県担当部署		市町村電話番号		
		都道府県電話番号		地震強度区分
堤 体 諸 元				
所有者(堤)	原田吉郎	所有者住所(堤)	不明	
所有者区分(堤)	個人	所有者(池敷)	0	
型式:形式(1)	0	形式(2)	0	
止水材料	0	その他	0	
天端幅(m)	0	堤高(m)	3.5	
堤頂長(m)	15	総貯水量(千m ³)	1.6	
法勾配:上流法面勾	0	下流法面勾配	0	
流域面積(km ²)	0	満水面積(km ²)	0	
かいがい受益面積(h)	0	かんがい戸数(戸)	0	
洪水吐諸元:形式	0	洪水吐諸元:材質	0	
洪水吐諸元:断面(高さ)	0	パイプの式の場合の断面(径)		流下能力(m ³ /s)
設計洪水量(m ³ /s)		常時満水位から堤頂までの高さ(m)	0	
取水工諸元:形式		取水工諸元:断面寸法		
底樋諸元:形式		底樋諸元:断面寸法		
緊急放流施設の有無	無し	緊急放流施設数		
被 災 歴				
被災歴の有無	無し	被災年度		
復旧内容				
防災重点ため池選定状況		改修歴(1)改修年度		
(1)改修内容				
特定農業用ため池指定の有無	有り	特定農業用ため池の指定年月日	43962	

ため池台帳(概要)

名称	小北浦池	所在地	大字八尋字小北浦673	データベース更新新年度
	こきたうらいけ	行政コード	404020063	旧台帳の地区番号
水系		河川地域		
型式		地形	JISコード	
農政局		表層地域	座標	
事業者		管区		
目的		事業費	着工年度	
施設所有者			築造年代	
多目的利用			底地所有者	
管理者、管理者名称	鞍手町		将来の利用予定	
管理者住所	鞍手郡鞍手町大字中山3705		代表者(法人又は団体の場合)	鞍手町長 岡崎邦博
管理の内容	維持、修繕		管理者電話番号	0949-42-2111
市町村担当課			管理者の権限の種類	その他
都道府県担当部署			市町村電話番号	
			都道府県電話番号	地震強度区分
			諸元	
所有者(堤)	鞍手町		所有者住所(堤)	鞍手郡鞍手町大字中山3705
所有者区分(堤)	行政		所有者(池敷)	0
型式:形式(1)	0		形式(2)	0
止水材料	0		その他	0
天端幅(m)	0		堤高(m)	3.5
堤頂長(m)	40		総貯水量(千 m^3)	3.5
法勾配:上流法面勾	0		下流法面勾配	0
流域面積(km^2)	0		満水面積(km^2)	0
かいがい受益面積(ha)	0		かんがい戸数(戸)	0
洪水吐諸元:形式	0		洪水吐諸元:材質	0
洪水吐諸元:断面(高さ)	0		パイプの式の場合の断面(径)	
設計洪水量(m^3/s)			常時満水位から堤頂までの高さ(m)	0
取水工諸元:形式			取水工諸元:断面寸法	
底樋諸元:形式			底樋諸元:断面寸法	
緊急放流施設の有無	無し		緊急放流施設数	
			被災歴	
被災歴の有無	無し		被災年度	
復旧内容				
防災重点ため池選定状況			改修歴(1)改修年度	
(1)改修内容				
特定農業用ため池指定の有無	無し		特定農業用ため池の指定年月日	

「(一社) 地域循環共生社会連携協会から交付された環境省補助事業である
令和3年度(補正)二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金
(地域脱炭素実現に向けた再エネの最大限導入のための計画づくり支援事業)
により作成されたものである」